

令和 6 年度 市民意識調査結果報告書

令和 7 年 1 月



目 次

1	調査の概要	1
2	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
問 1	性別	2
問 2	年齢	2
問 3	居住地区	2
(2)	住みごこちや愛着等について	3
問 4	東近江市の住みごこち	3
問 5	東近江市に住み続けたいか	5
問 6	東近江市への愛着	7
問 7	東近江市を自慢できるか	9
問 8	「鈴鹿 10 座」の認知度	11
問 9	友人・知人に東近江市を紹介するところ	13
問 10	近江鉄道八日市駅周辺の訪問頻度	15
問 11	中心市街地（八日市駅周辺）が活性化するために必要なこと	17
問 12	東近江市イメージ	19
問 13	持続可能なまちづくりに必要な対策	23
問 14	持続可能で安定的な行財政運営に必要な取組	31
(3)	健康や福祉について	33
問 15	かかりつけ医の有無	33
問 16	医療体制への満足度	35
問 17	健康づくりのために取り組んでいること	37
問 18	朝食を食べているか	43
問 19	運動の実施頻度	47
問 20	不安、悩み、ストレスを感じたか	49
問 21	不安、悩み、ストレスは解消できているか	53
問 22	東近江市民の障害者に対する理解	55
問 23	障害者に対する理解に向けて今後特に力を入れるべきこと	57
(4)	環境や暮らしについて	59
問 24	市の自然環境保全の取組への満足度	59
問 25	自然との関わりの実感度	61
問 26	環境にやさしい取組の実践	63
問 27	東近江市の働く場所は十分か	65
問 28	男女の地位は平等になっているか	67
問 29	消費生活センターの認知度	72
問 30	市民生活相談課の認知度	74

問 31	市内の公共交通への満足度	76
問 32	近江鉄道について	78
問 33	近江鉄道の利用頻度	80
問 34	災害への備え	84
(5)	子育てや教育関連の取組について	86
問 35	子育てをするのに良い環境か	86
問 36	通学路の安全確保について	88
問 37	人権が尊重されるまちになっているか	90
問 38	人権に関する講座等への参加	92
(6)	都市整備について	94
問 39	市内の都市基盤整備に対する満足度	94
(7)	購買状況等について	103
問 40	食品や日用雑貨品、衣料品等の購入先	103
問 41	野菜等を購入する際の基準	108
問 42	市内の農産物直売所の利用状況	110
問 43	キャッシュレス決済の利用頻度	112
(8)	協働のまちづくりについて	120
問 44	協働のまちづくりができているか	120
問 45	地域での住民同士の助け合いができているか	122
問 46	地域活動又はNPOやボランティア等の活動への参加状況	124
問 47	多文化共生社会の実現	128
(9)	広報等の情報について	130
問 48	市の情報（お知らせ）の取得方法	130
問 49	「広報ひがしおうみ」を読んでいるか	133
問 50	「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度	137
問 51	「東近江市議会だより」を読んでいるか	147
問 52	「市議会本会議」の様子を見たことがあるか	149
(10)	市役所のサービスに関して	151
問 53	市役所職員の対応の印象	151
(11)	まちづくりに対する意見等について	153
問 54	まちづくりに対する意見や提案（自由記述）	153
3	総括	156
4	調査票	159

1 調査の概要

(1) 調査の目的

東近江市では、平成 28 年度に策定した「第 2 次東近江市総合計画」に基づき、「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を目指してまちづくりを進めています。住みよいまちを実現するために、市民の意識や生活スタイルなど、まちづくりに関する意見を聞くことを目的に、市民意識調査を実施しました。

(2) 調査対象

令和 6 年 9 月 1 日現在、東近江市在住の満 18 歳以上の市民 3,037 人を対象としました。（住民基本台帳から無作為抽出）

(3) 調査期間

令和 6 年 9 月 20 日から同年 10 月 4 日まで

(4) 調査方法

郵送による配布・回収、無記名

(5) 回収状況

調査票の配布数 3,037 件に対し、宛先不明として返送されてきた調査票が 9 件あり、到達した配布数は 3,028 件でした。回収した調査票数 1,371 件に対し、無効の調査票数は 1 件で、有効回収調査票数は 1,370 件、回収率は 45.2% でした。

配 布			回 収			到達配布数に対する回収率
配布数	不到達数	到達配布数	回収調査票数	無効調査票数	有効回収調査票数	
3,037	9	3,028	1,371	1	1,370	45.2%

(6) 調査結果の表示方法

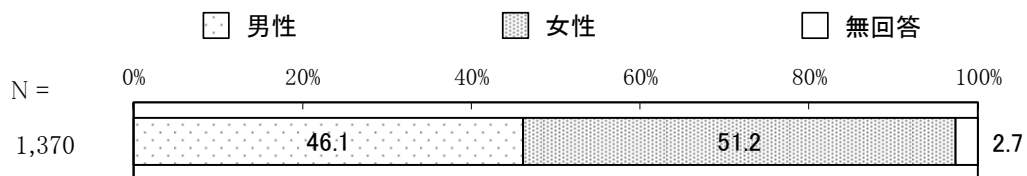
- ・回答は、各設問の有効回答数（N）を母数とした百分率（%）で示しています。また、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問については、回答者が全体（N=1,370）に対してどのくらいの比率であるかという表記になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。ただし、分岐設問の場合は、N の値が異なります。
- ・調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外の表（複数選択の設問）は、最も高い割合の回答（無回答を除く。）に  で網かけをしています。
- ・指定の回答数以上の回答や分岐設問等での誤った回答などは、「その他」の設問がある問は「その他」として、そのほかはすべて「無回答」として集計しています。
- ・性別や年代別、居住地区別の集計の場合、無回答を排除しているため、その有効回答数の合計と全体の有効回答数が合致しないことがあります。

2 調査結果

(1) 回答者属性

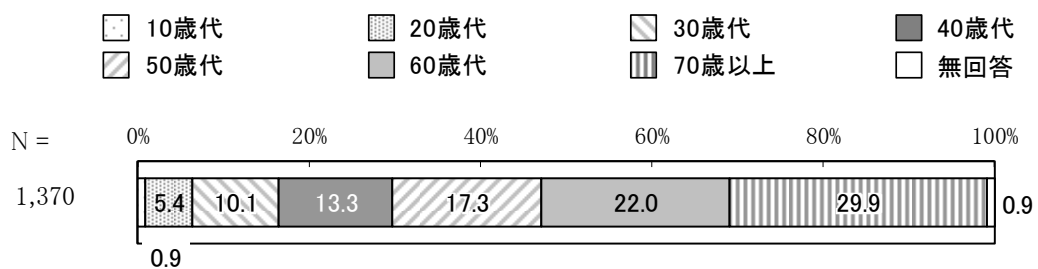
問 1 性別

- 「男性」が46.1%、「女性」が51.2%で、女性が多くなっています。



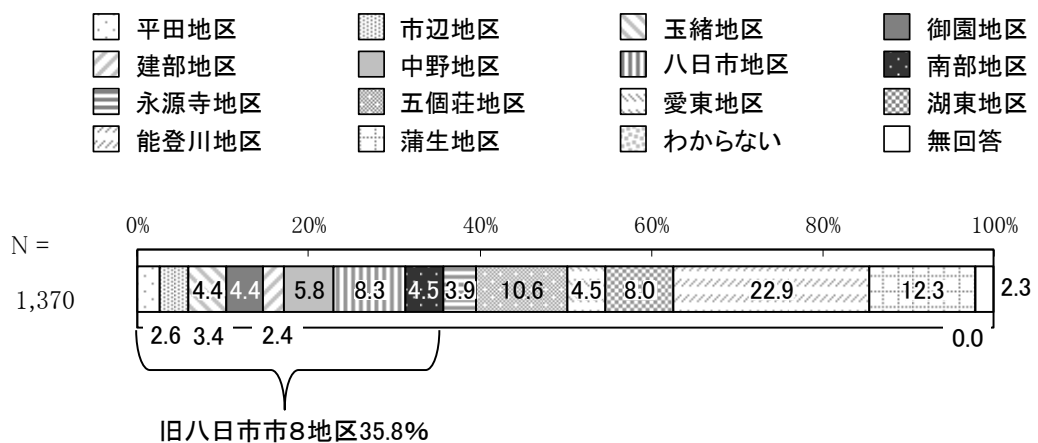
問 2 年齢

- 年齢については、「70歳以上」が29.9%と最も多く、次いで「60歳代」が22.0%で、60歳以上が51.9%と半数以上を占めています。



問 3 居住地区

- 居住地区については、「能登川地区」が22.9%と最も多く、次いで「蒲生地区」が12.3%、「五個荘地区」が10.6%となっています。
- 旧八日市市の8地区を合計すると、35.8%となっています。

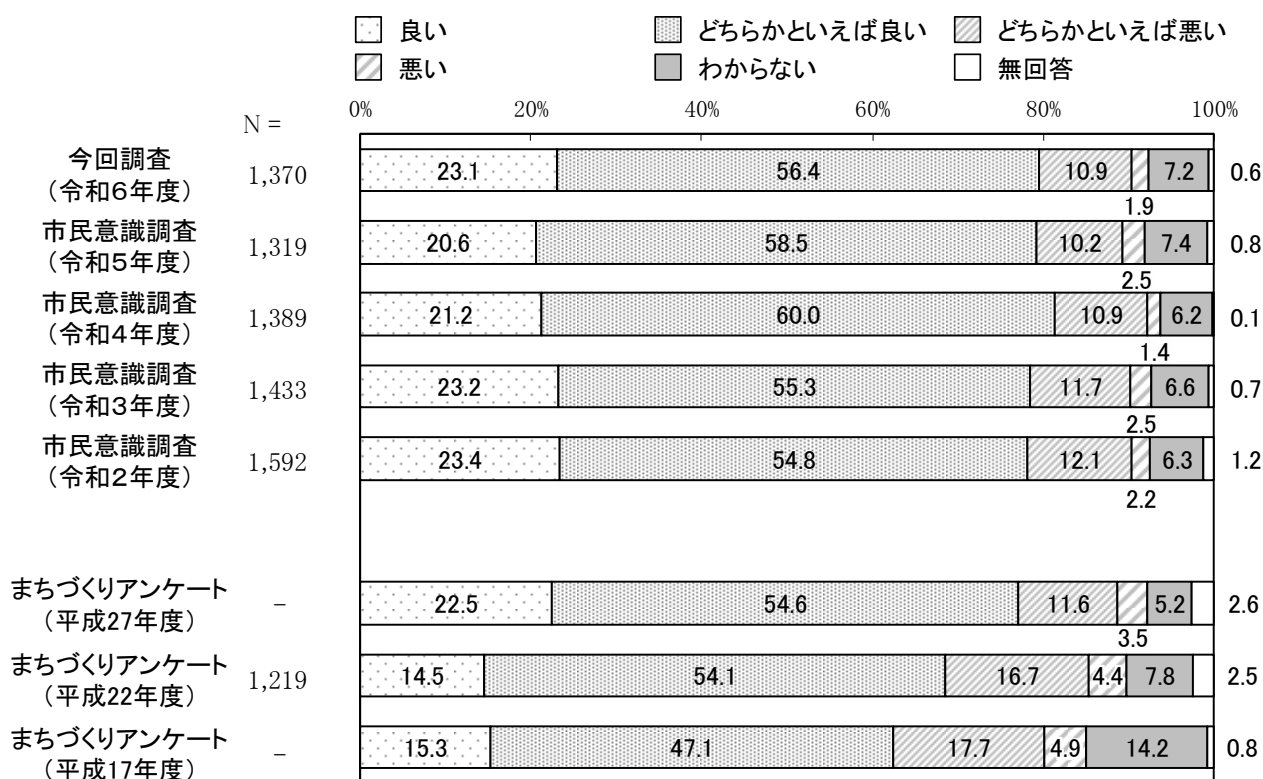


(2) 住みごこちや愛着等について

問4 あなたは、東近江市の住みごこちをどう思いますか。《○1つ》

8割近くが住みごこちが良い

- ・ 東近江市の住みごこちについては、「良い」が23.1%、「どちらかといえば良い」が56.4%で、これらを合わせると79.5%となり、8割近くの人が住みごこちが良いと感じています。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせると12.8%となっています。
- ・ 年代別では、住みごこちが良い（「良い」と「どちらかといえば良い」の合計）の割合が、30歳代や70歳以上で8割を超えています。10歳代では住みごこちが「良い」と回答した人が3割を超える一方で、住みごこちが悪い（「どちらかといえば悪い」と「悪い」の合計）と回答した人も2割見られ、いずれもほかの年代と比べ高くなっています。
- ・ 居住地区別では、住みごこちが良い（前述）の割合が、建部地区で9割を超えている一方で、蒲生地区でやや低くなっています。



単位：％

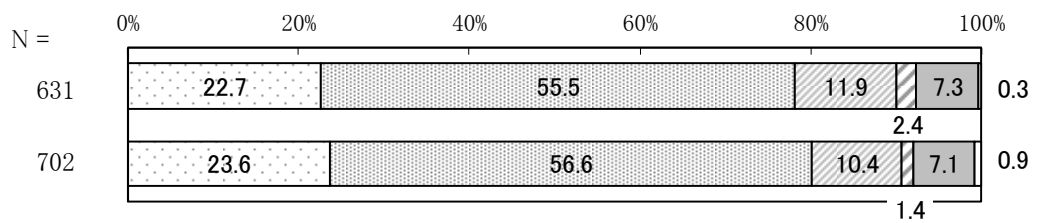
	良い*	悪い*	差
①今回調査(令和6年度)	79.5	12.8	66.7
②市民意識調査(令和5年度)	79.1	12.7	66.4
③市民意識調査(令和4年度)	81.2	12.3	68.9
④市民意識調査(令和3年度)	78.5	14.2	64.3
⑤市民意識調査(令和2年度)	78.2	14.3	63.9
①－⑤	1.3	-1.5	2.8
まちづくりアンケート(平成27年度)	77.1	15.1	62.0
まちづくりアンケート(平成22年度)	68.6	21.1	47.5
まちづくりアンケート(平成17年度)	62.4	22.6	39.8

* 良い:「良い」と「どちらかといえば良い」の合計

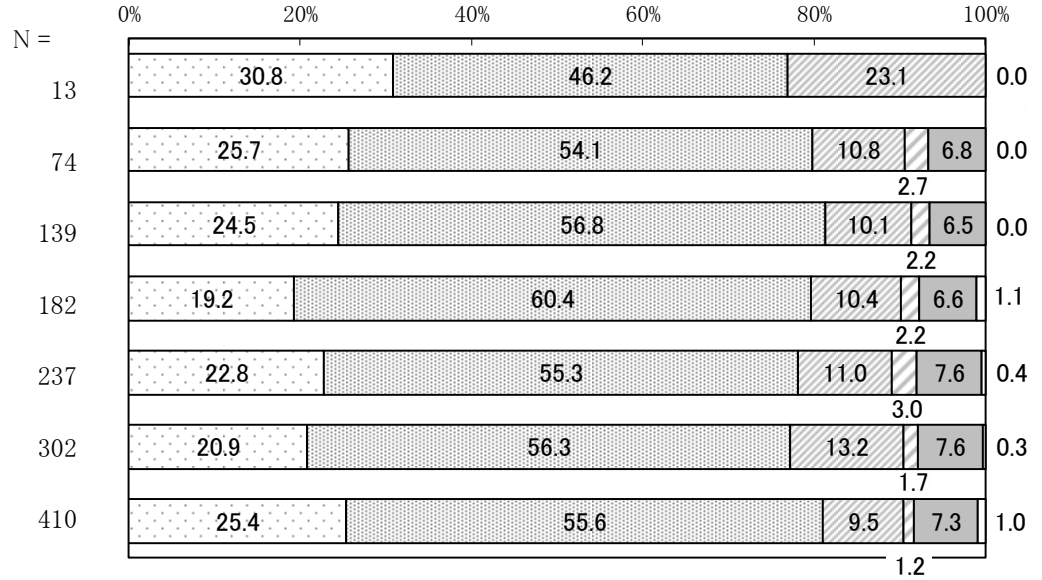
* 悪い:「どちらかといえば悪い」と「悪い」の合計

良い
 どちらかといえば良い
 どちらかといえば悪い
 悪い
 わからない
 無回答

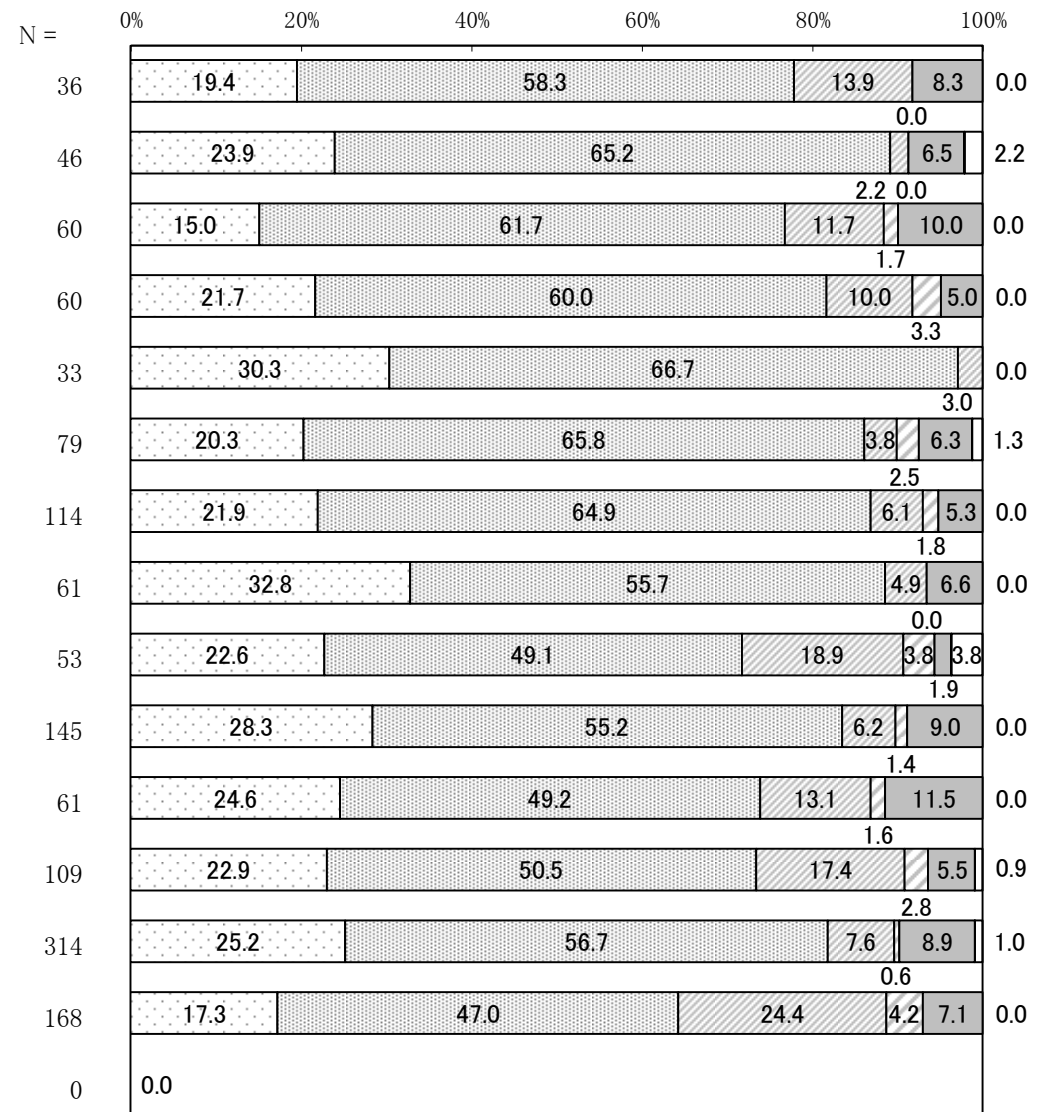
【性 別】



【年代別】



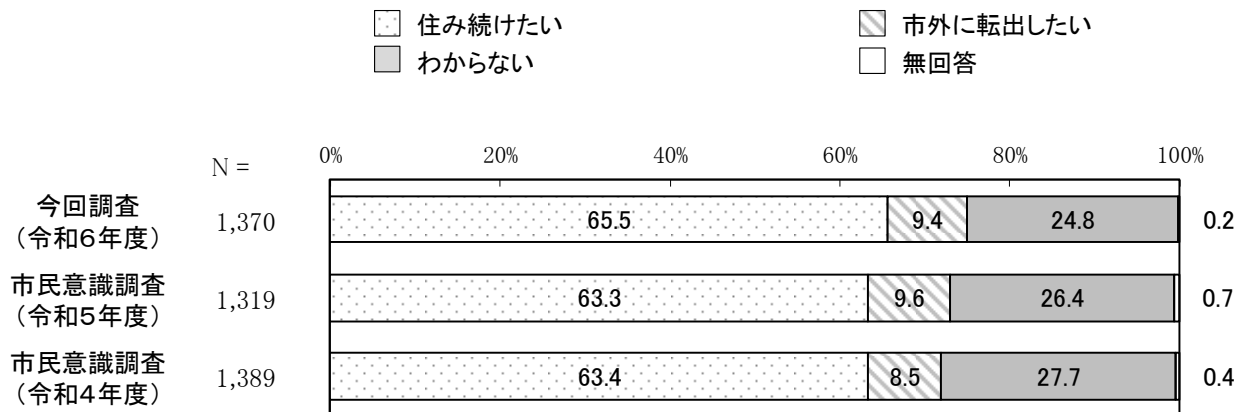
【居住地区別】



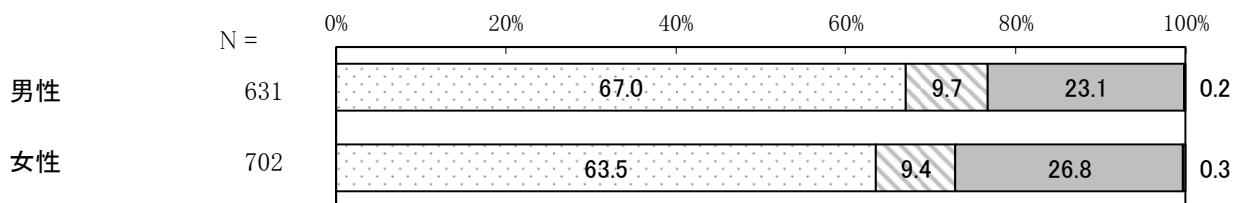
問5 あなたは、東近江市にずっと住み続けたいと思いますか。《○1つ》

7割近くが東近江市に住み続けたい

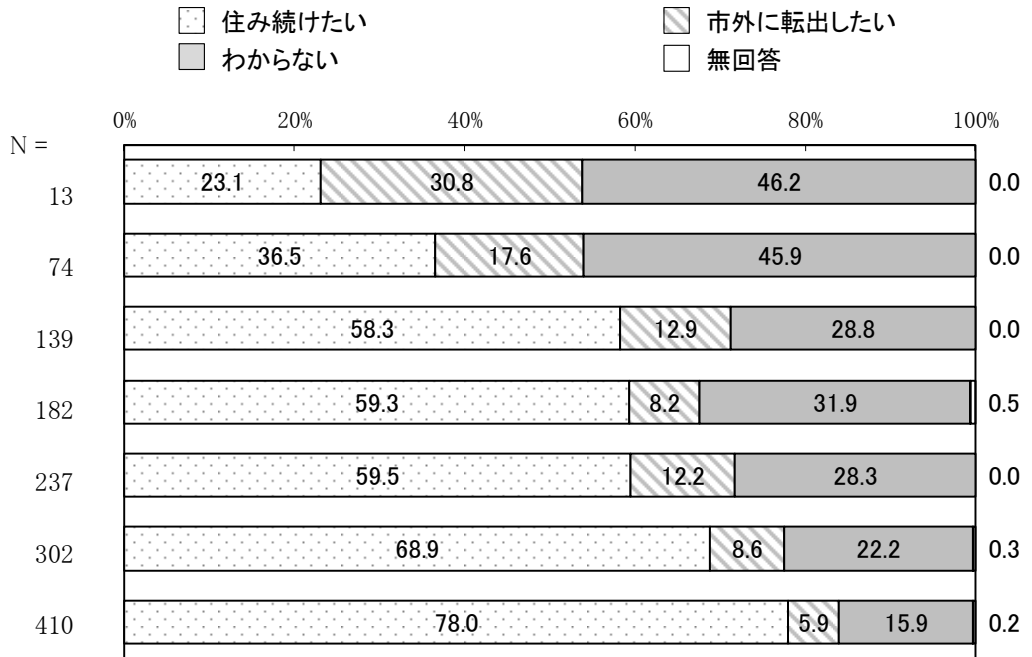
- ・ 東近江市にずっと住み続けたいかについては、「住み続けたい」が65.5%と7割近くの人が東近江市に住み続けたいと回答しています。一方、「市外に転出したい」が9.4%で、「わからない」とする人も24.8%と2割います。
- ・ 過去の調査と比較すると、「わからない」と回答した人の割合が減少傾向にあり、「住み続けたい」と回答した人の割合が増加しています。
- ・ 年代別では、「住み続けたい」の割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向があり、60歳代では7割近く、70歳以上は8割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、「住み続けたい」の割合が、建部地区で8割近くと高い一方、蒲生地区、平田地区で6割未満とほかの地区に比べ低くなっています。



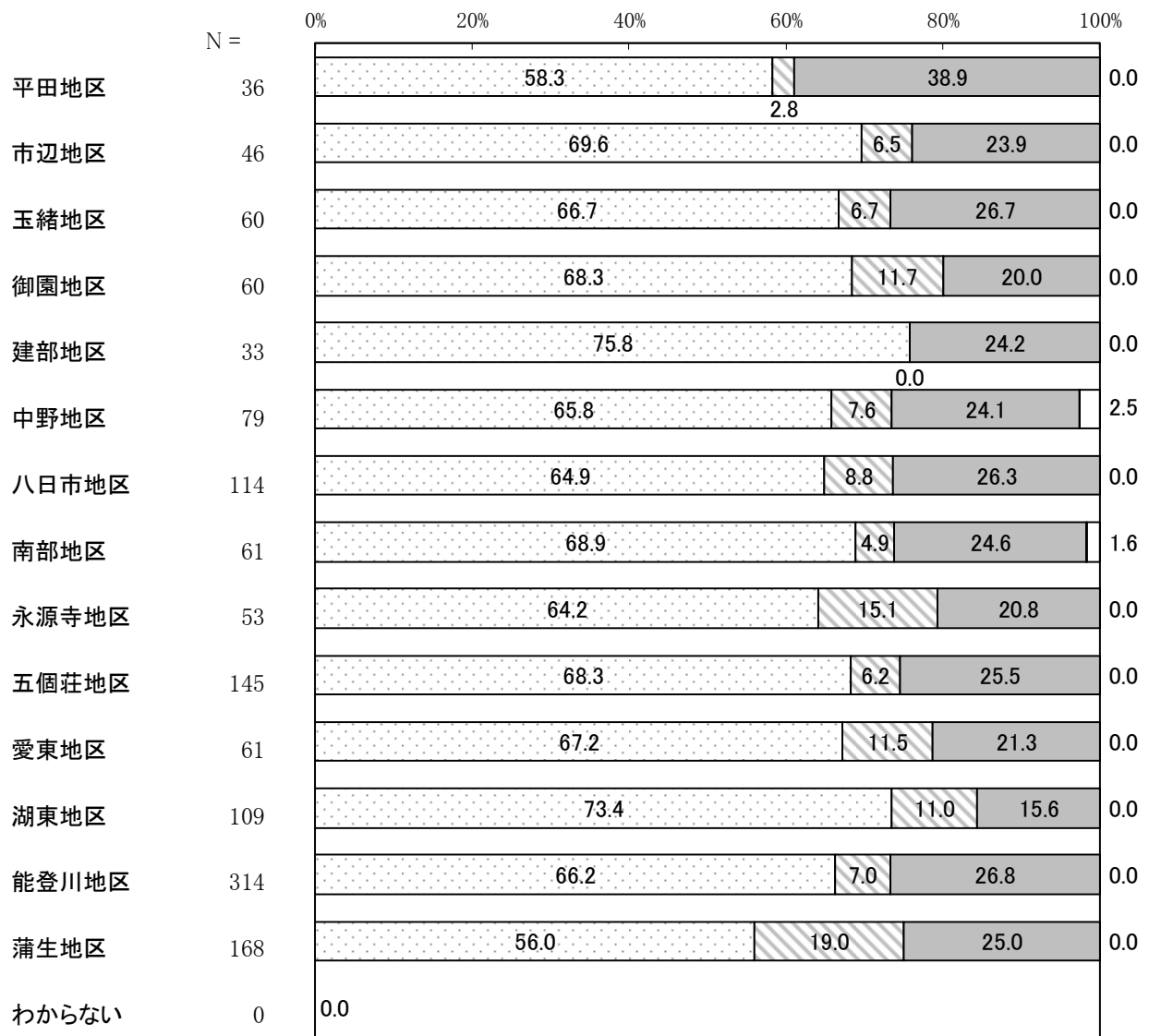
【性別】



【年代別】



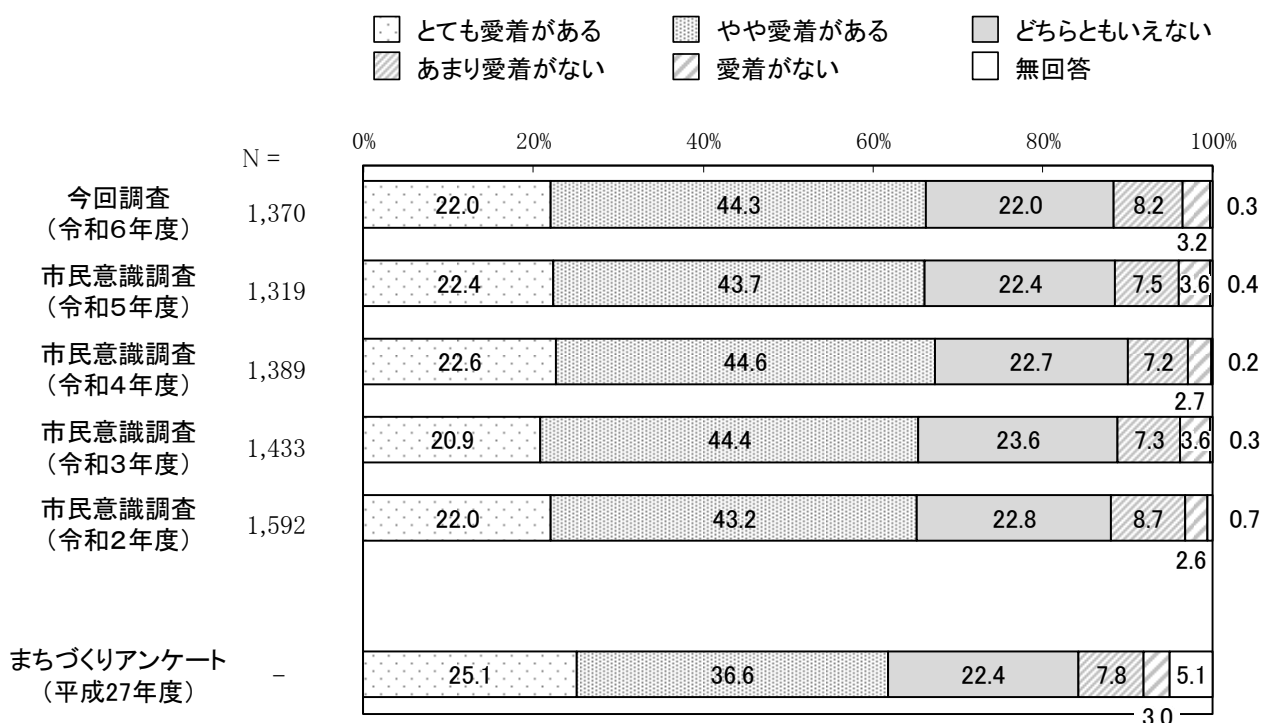
【居住地区別】



問6 あなたは、東近江市に対して愛着がありますか。《○1つ》

7割近くが東近江市に対して愛着がある

- ・ 東近江市に対する愛着については、「とても愛着がある」が22.0%、「やや愛着がある」が44.3%で、これらを合わせると66.3%となり、7割近くの人が東近江市に愛着があると回答しています。一方、「あまり愛着がない」と「愛着がない」を合わせると11.4%となっています。また、「どちらともいえない」とする人も22.0%と2割います。
- ・ 年代別では、「とても愛着がある」の割合は、20歳以上で年齢が上がるほど高くなる傾向があり、70歳以上で3割近くとなっています。愛着がある（「とても愛着がある」と「やや愛着がある」の合計）の割合は、10歳代で8割以上と最も高く、次いで70歳以上が7割以上となっています。
- ・ 居住地区別では、愛着がある（前述）の割合が、建部地区、平田地区で8割以上と高い一方、蒲生地区で6割未満とほかの地区に比べ低くなっています。



単位：％

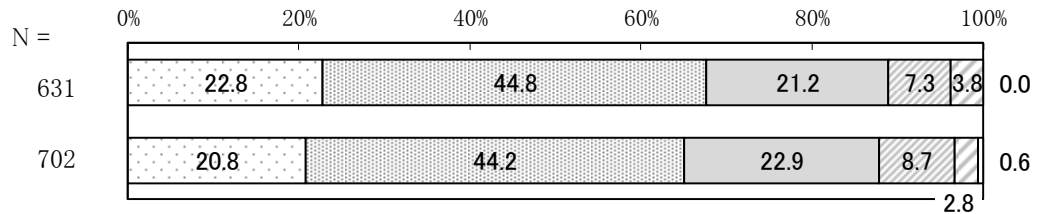
	愛着がある*	愛着がない*	差
①今回調査(令和6年度)	66.3	11.4	54.9
②市民意識調査(令和5年度)	66.1	11.1	55.0
③市民意識調査(令和4年度)	67.2	9.9	57.3
④市民意識調査(令和3年度)	65.3	10.9	54.4
⑤市民意識調査(令和2年度)	65.2	11.3	53.9
①－⑤	1.1	0.1	1.0
まちづくりアンケート(平成27年度)	61.7	10.8	50.9

* 愛着がある:「とても愛着がある」と「やや愛着がある」の合計

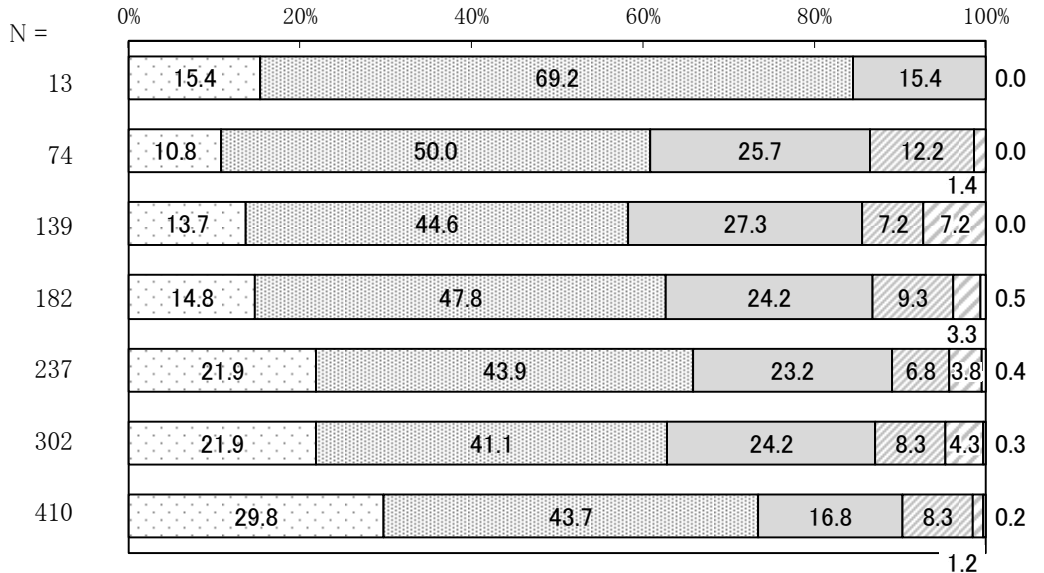
* 愛着がない:「あまり愛着がない」と「愛着がない」の合計

とても愛着がある
 やや愛着がある
 どちらともいえない
 あまり愛着がない
 愛着がない
 無回答

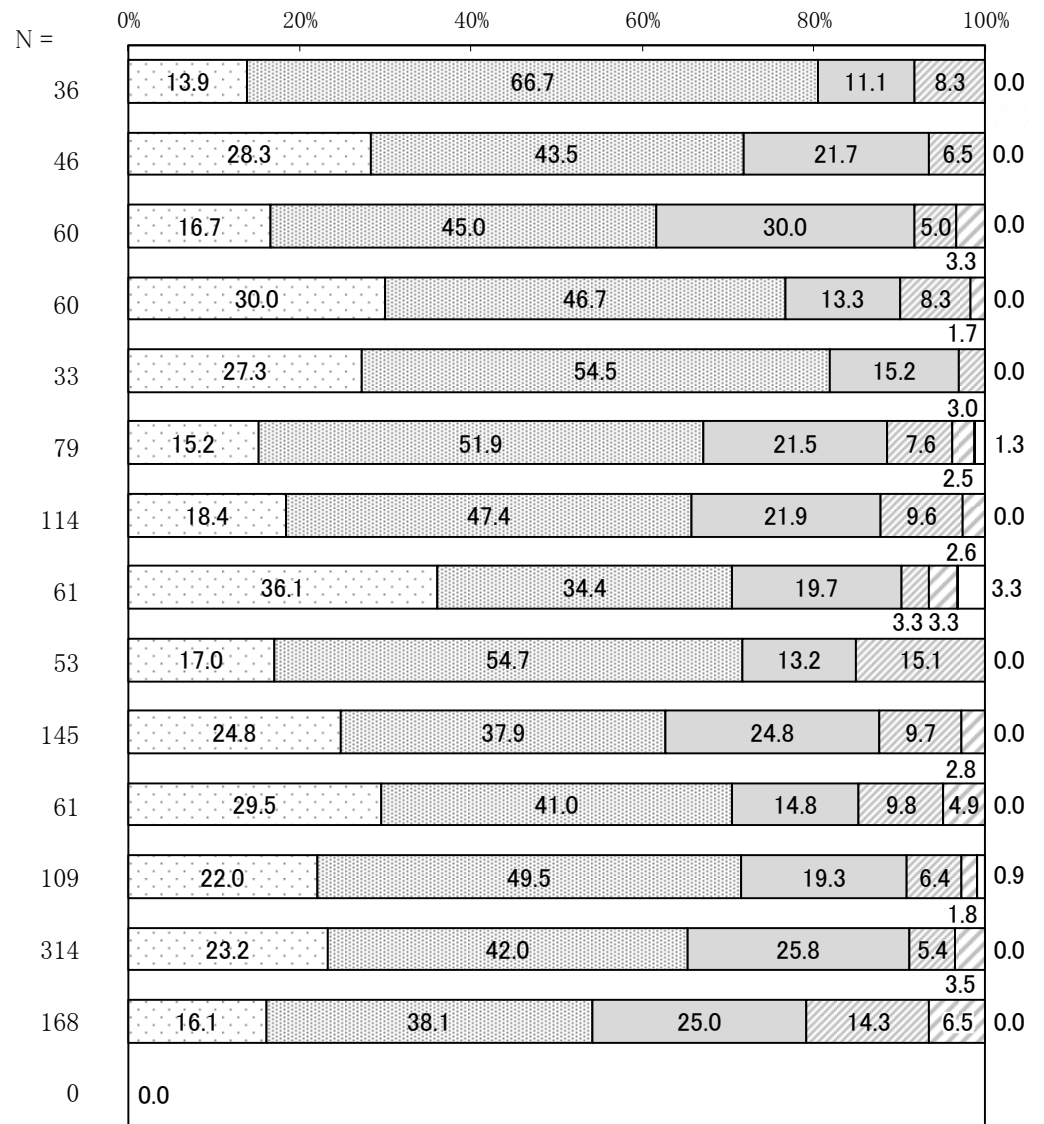
【性 別】



【年代別】



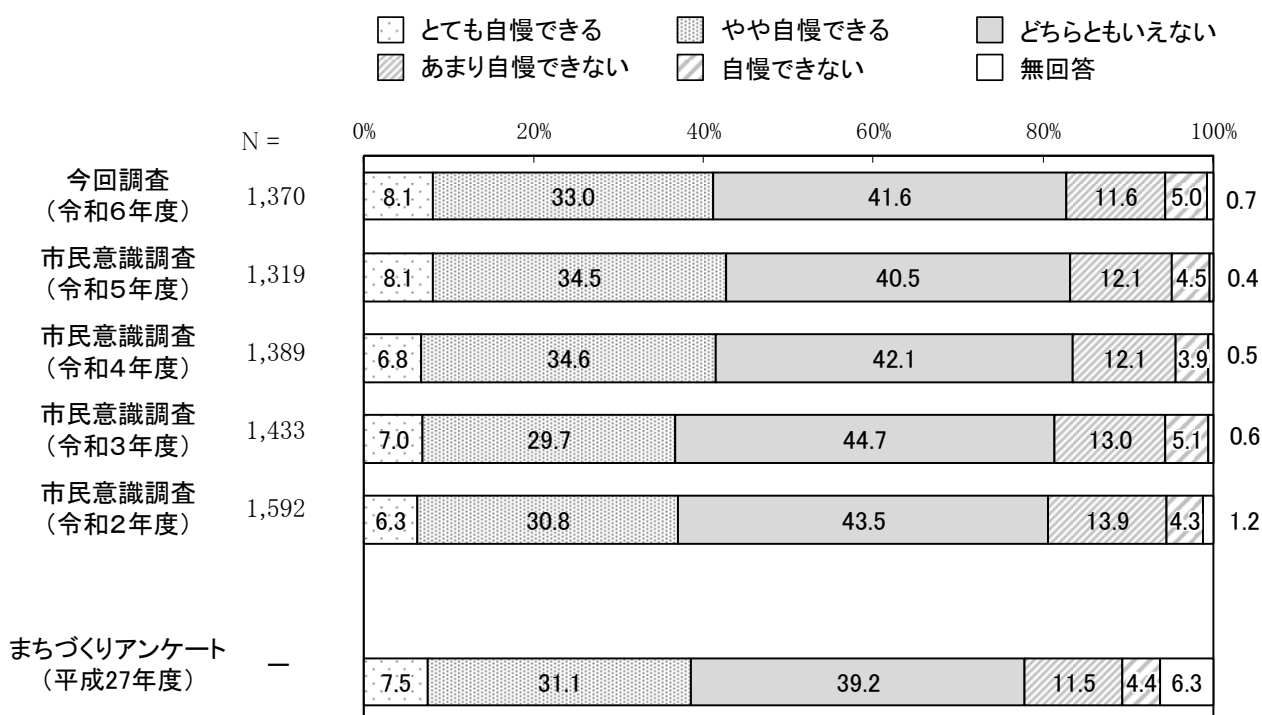
【居住地区別】



問 7 あなたは、東近江市を自慢できますか。《○ 1 つ》

4 割が自慢できる、4 割が「どちらともいえない」

- ・ 東近江市を自慢できるかについては、「どちらともいえない」が 41.6%と最も多くなっています。また、「とても自慢できる」が 8.1%、「やや自慢できる」が 33.0%で、これらを合わせると 41.1%となり、4 割の人が自慢できるとしています。一方、「あまり自慢できない」と「自慢できない」を合わせると 16.6%となっています。
- ・ 年代別では、自慢できる（「とても自慢できる」と「やや自慢できる」の合計）の割合は、70 歳以上で半数近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、自慢できる（前述）の割合が、建部地区で 6 割と高く、玉緒地区、蒲生地区で 3 割と低くなっています。

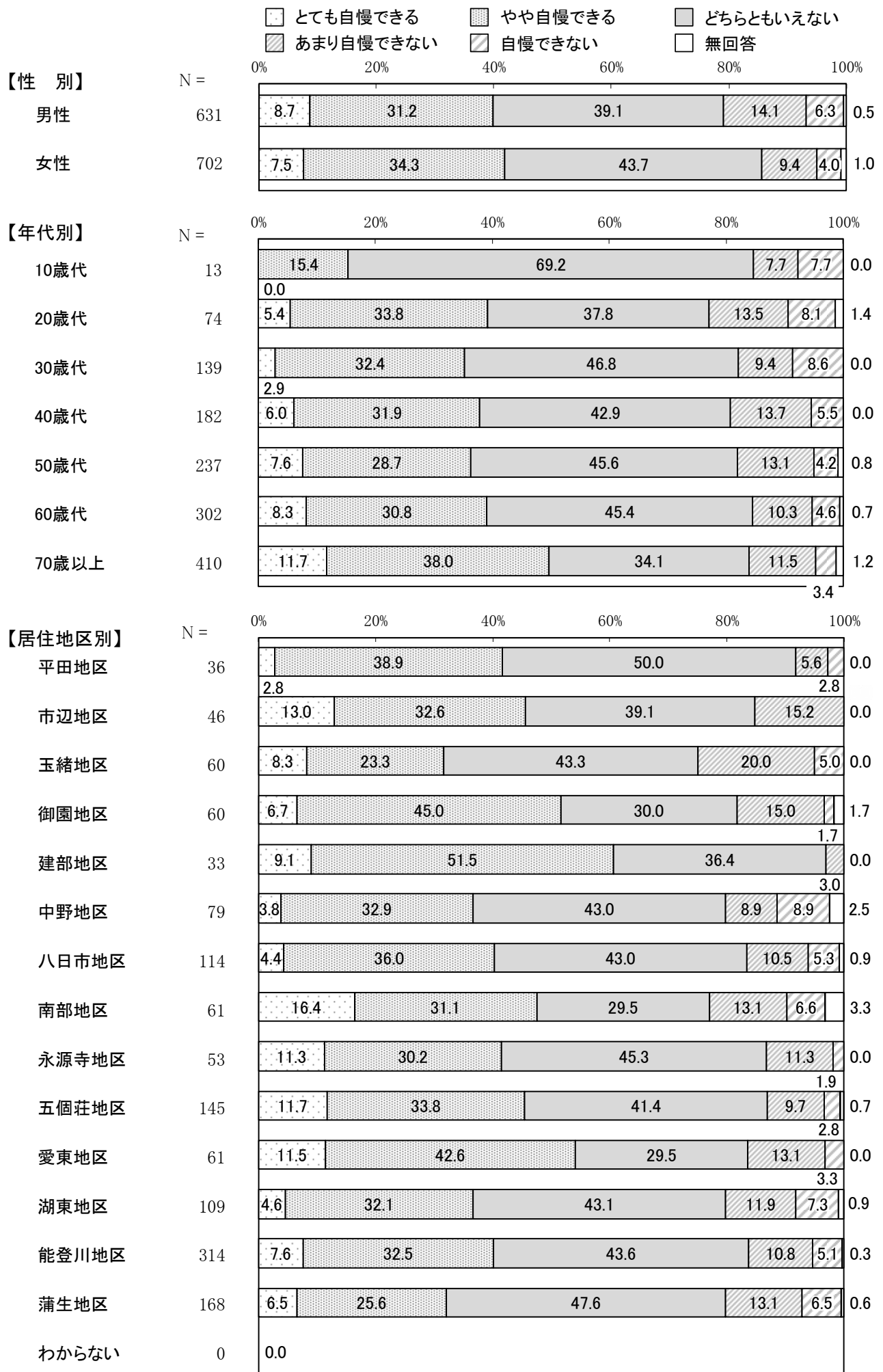


単位：％

	自慢できる*	自慢できない*	差
①今回調査(令和6年度)	41.1	16.6	24.5
②市民意識調査(令和5年度)	42.6	16.6	26.0
③市民意識調査(令和4年度)	41.4	16.0	25.4
④市民意識調査(令和3年度)	36.7	18.1	18.6
⑤市民意識調査(令和2年度)	37.1	18.2	18.9
①－⑤	4.0	-1.6	5.6
まちづくりアンケート(平成 27 年度)	38.6	15.9	22.7

* 自慢できる:「とても自慢できる」と「やや自慢できる」の合計

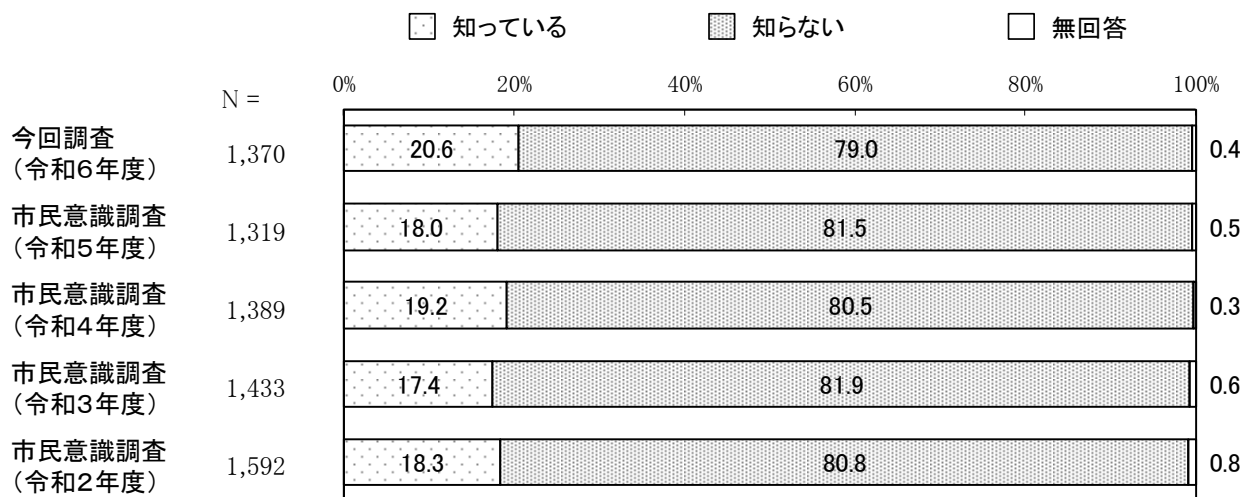
* 自慢できない:「あまり自慢できない」と「自慢できない」の合計



問 8 東近江市では、平成 27 年度に鈴鹿の山々から「鈴鹿 10 座」を選定し、鈴鹿山脈の素晴らしさと存在意義を広く周知するとともに、市の知名度アップに取り組んでいます。
あなたは、「鈴鹿 10 座」を知っていますか。《○ 1 つ》

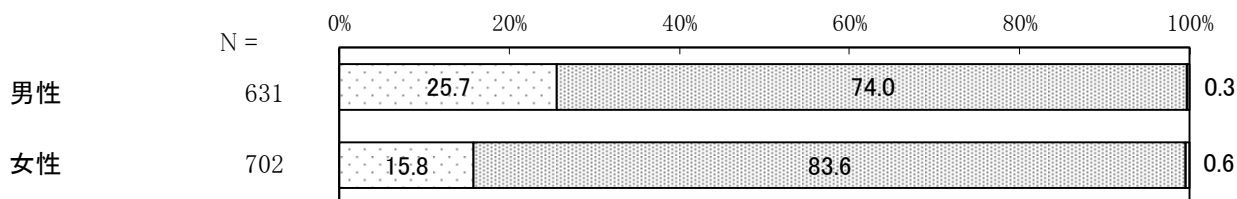
8 割近くが「知らない」、認知度は 2 割

- ・ 「鈴鹿 10 座」については、「知らない」が 79.0%と 8 割近くを占めています。一方、「知っている」は 20.6%で、認知度（「知っている」の割合）は 2 割を超えました。
- ・ 性別では男性で、年代別では年齢が上がるほど、居住地区別では永源寺地区で「鈴鹿 10 座」の認知度（前述）が高くなっています。

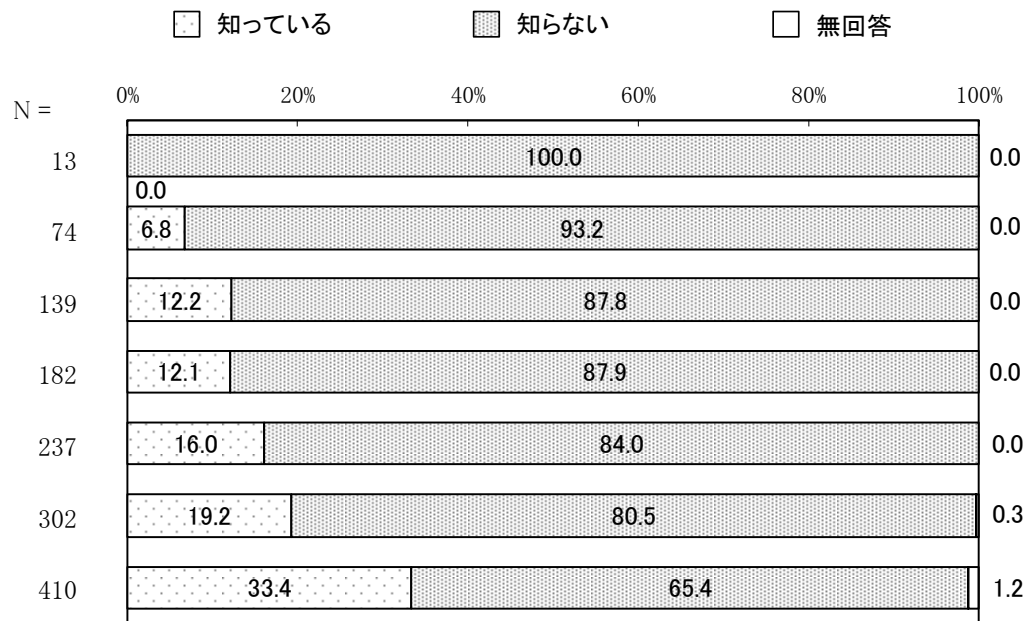


※令和2年度～令和3年度までの設問は、「鈴鹿 10 座が選定されたことを知っていますか。」

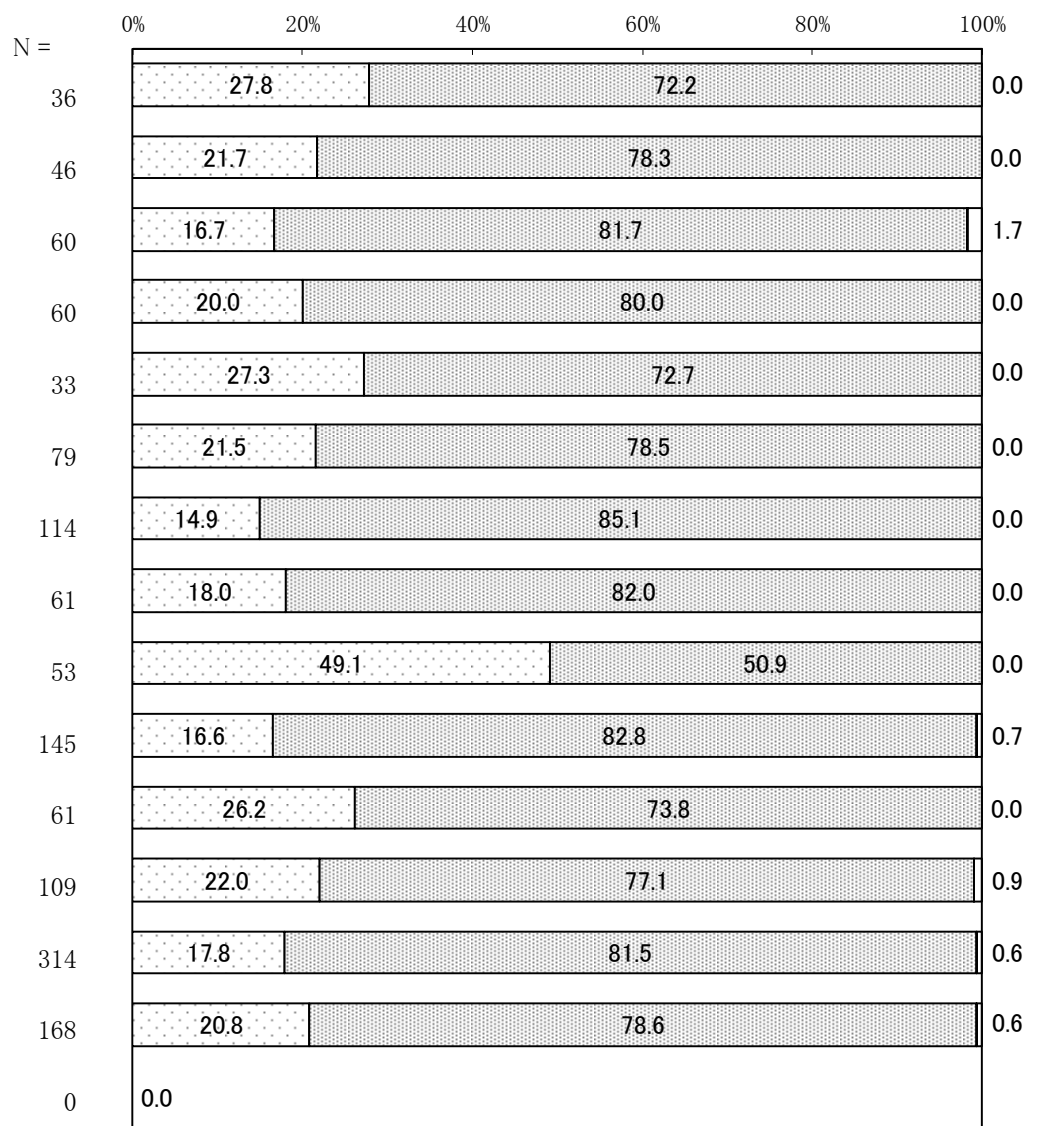
【性 別】



【年代別】



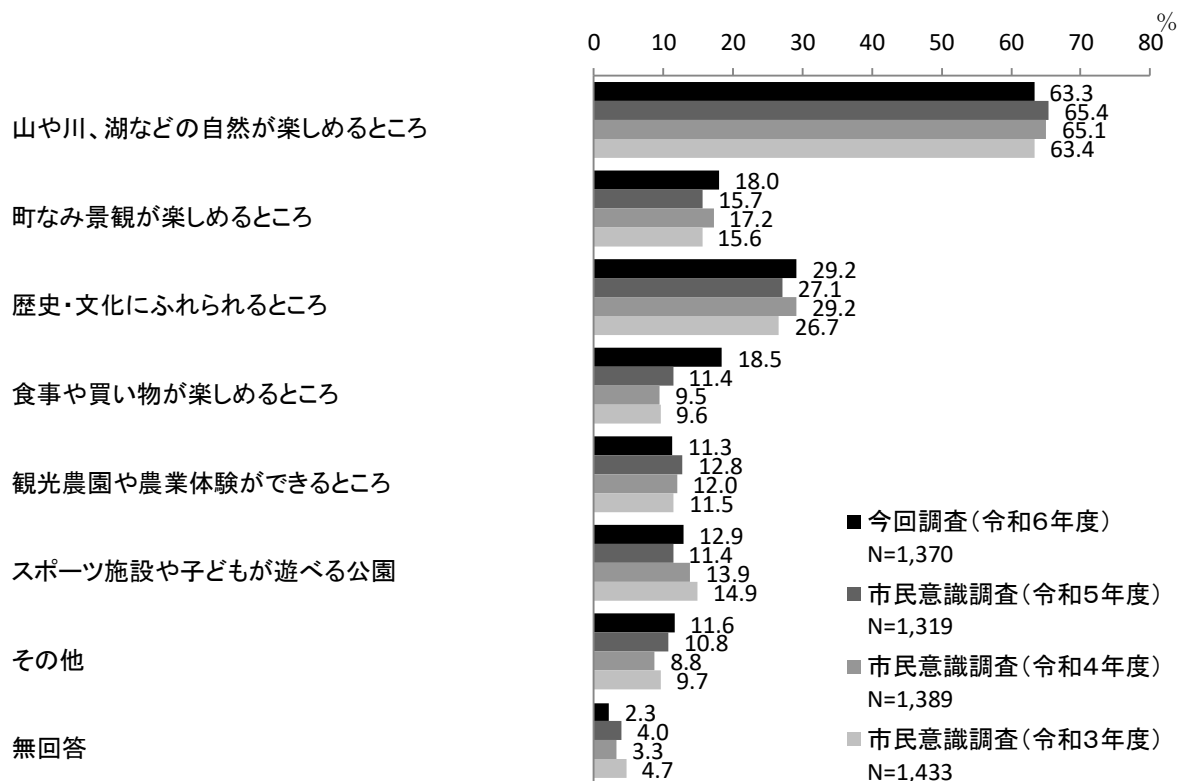
【居住地区別】



問9 あなたは、友人・知人に東近江市を紹介する場合、どのようなところを紹介しますか。
《あてはまるものすべてに○》

6割が「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」を紹介

- ・ 友人・知人に東近江市を紹介するところとしては、「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」が最も多く、63.3%と6割の人があげています。次いで「歴史・文化にふれられるところ」が29.2%、「食事や買い物が楽しめるところ」が18.5%、「町なみ景観が楽しめるところ」が18.0%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると「食事や買い物が楽しめるところ」をあげた人の割合が、他の選択肢と比べて今回大きく増加しています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」が最も多くあげられています。五個荘地区では、「歴史・文化にふれられるところ」も同率で最も多くなっています。
- ・ そのほか、年代別では、10～20歳代で「食事や買い物が楽しめるところ」が、30～40歳代で「スポーツ施設や子どもが遊べる公園」が、60歳以上で「歴史・文化にふれられるところ」がほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、特に永源寺地区で「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」が9割近くとなっているほか、五個荘地区で「歴史・文化にふれられるところ」が半数近く、「町なみ景観が楽しめるところ」が4割、御園地区、建部地区で「食事や買い物が楽しめるところ」が4割近く、愛東地区で「観光農園や農業体験ができるところ」が、また湖東地区、市辺地区で「スポーツ施設や子どもが遊べる公園」がそれぞれ3割近くなど、ほかの地区より多くあげられています。



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	山や川、湖などの自然が楽しめる	町なみ景観が楽しめる	歴史・文化にふれられる	食事や買い物が楽しめる	観光農園や農業体験ができる	スポーツ施設や子どもが遊べる公園	その他	無回答
男性	631	63.5	17.4	32.2	18.5	8.9	11.6	12.0	2.2
女性	702	63.0	18.9	26.5	18.5	13.4	14.4	11.5	2.0

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	山や川、湖などの自然が楽しめる	町なみ景観が楽しめる	歴史・文化にふれられる	食事や買い物が楽しめる	観光農園や農業体験ができる	スポーツ施設や子どもが遊べる公園	その他	無回答
10歳代	13	46.2	7.7	15.4	30.8	0.0	0.0	23.1	0.0
20歳代	74	58.1	13.5	8.1	32.4	10.8	13.5	12.2	0.0
30歳代	139	71.2	14.4	12.9	23.7	10.1	17.3	12.2	1.4
40歳代	182	62.6	13.7	19.8	20.3	12.6	17.0	14.8	1.1
50歳代	237	60.3	16.9	22.8	20.3	11.4	9.3	12.2	1.7
60歳代	302	58.9	20.5	34.4	16.2	12.6	10.9	10.9	3.6
70歳以上	410	66.6	21.5	43.2	13.7	10.7	13.7	10.0	2.9

【居住地区別】

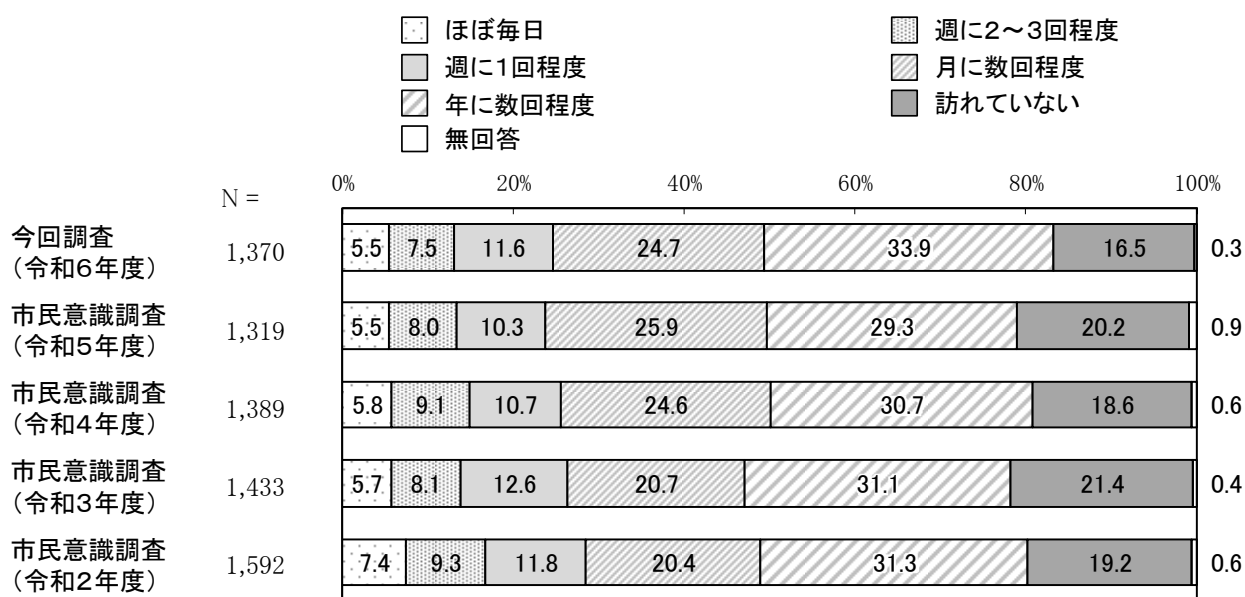
単位: %

区 分	有効回答数（件）	山や川、湖などの自然が楽しめる	町なみ景観が楽しめる	歴史・文化にふれられる	食事や買い物が楽しめる	観光農園や農業体験ができる	スポーツ施設や子どもが遊べる公園	その他	無回答
平田地区	36	80.6	2.8	44.4	22.2	2.8	11.1	2.8	2.8
市辺地区	46	52.2	19.6	28.3	19.6	13.0	28.3	13.0	2.2
玉緒地区	60	60.0	8.3	26.7	30.0	11.7	10.0	11.7	1.7
御園地区	60	58.3	13.3	25.0	36.7	13.3	8.3	13.3	3.3
建部地区	33	66.7	18.2	27.3	36.4	18.2	21.2	9.1	0.0
中野地区	79	60.8	13.9	26.6	24.1	10.1	13.9	19.0	5.1
八日市地区	114	52.6	18.4	20.2	27.2	8.8	7.9	13.2	1.8
南部地区	61	63.9	14.8	32.8	26.2	4.9	14.8	13.1	0.0
永源寺地区	53	88.7	17.0	24.5	9.4	11.3	7.5	9.4	1.9
五箇荘地区	145	49.0	41.4	49.0	12.4	7.6	9.0	7.6	0.7
愛東地区	61	75.4	14.8	34.4	9.8	29.5	6.6	11.5	1.6
湖東地区	109	54.1	11.0	23.9	15.6	15.6	28.4	15.6	2.8
能登川地区	314	74.2	19.1	27.1	10.8	6.1	12.4	10.8	2.5
蒲生地区	168	57.7	14.9	27.4	19.0	18.5	11.3	11.3	3.6
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-

問 10 あなたは、この 1 年間で近江鉄道八日市駅周辺（市役所周辺を含む。）にどの程度訪れましたか。《○ 1 つ》

週 1 回以上訪れる人が 2 割、月に数回又は年に数回が 6 割近く

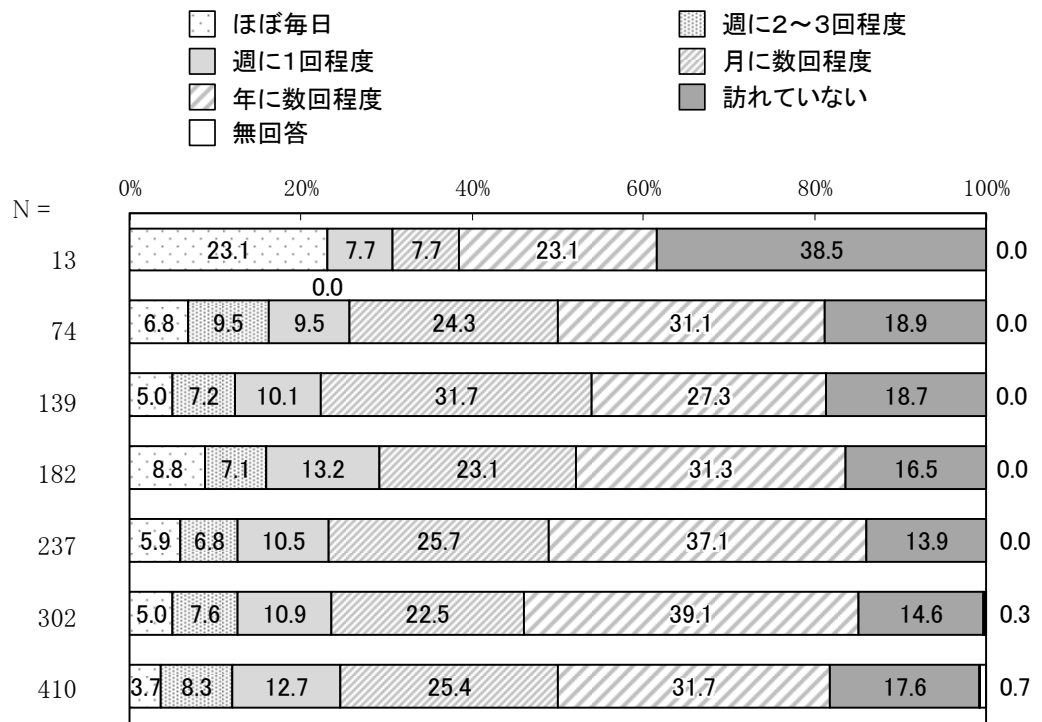
- ・ この 1 年間で近江鉄道八日市駅周辺に訪れた頻度は、週に 1 回以上訪れる人が 24.6%となっています。一方、「月に数回程度」と「年に数回程度」を合わせると 58.6%となり、あまり訪れない人が 6 割近くとなっています。また、「訪れていない」人も 16.5%と 2 割近く見られます。
- ・ 年代別では、10 歳代で「訪れていない」が、30 歳代で「月に数回程度」が、ほかの年代で「年に数回程度」が最も多くなっています。
- ・ 居住地区別では、週 1 回以上訪れる人の割合が、建部地区で半数以上と高く、能登川地区で 1 割未満と低くなっています。



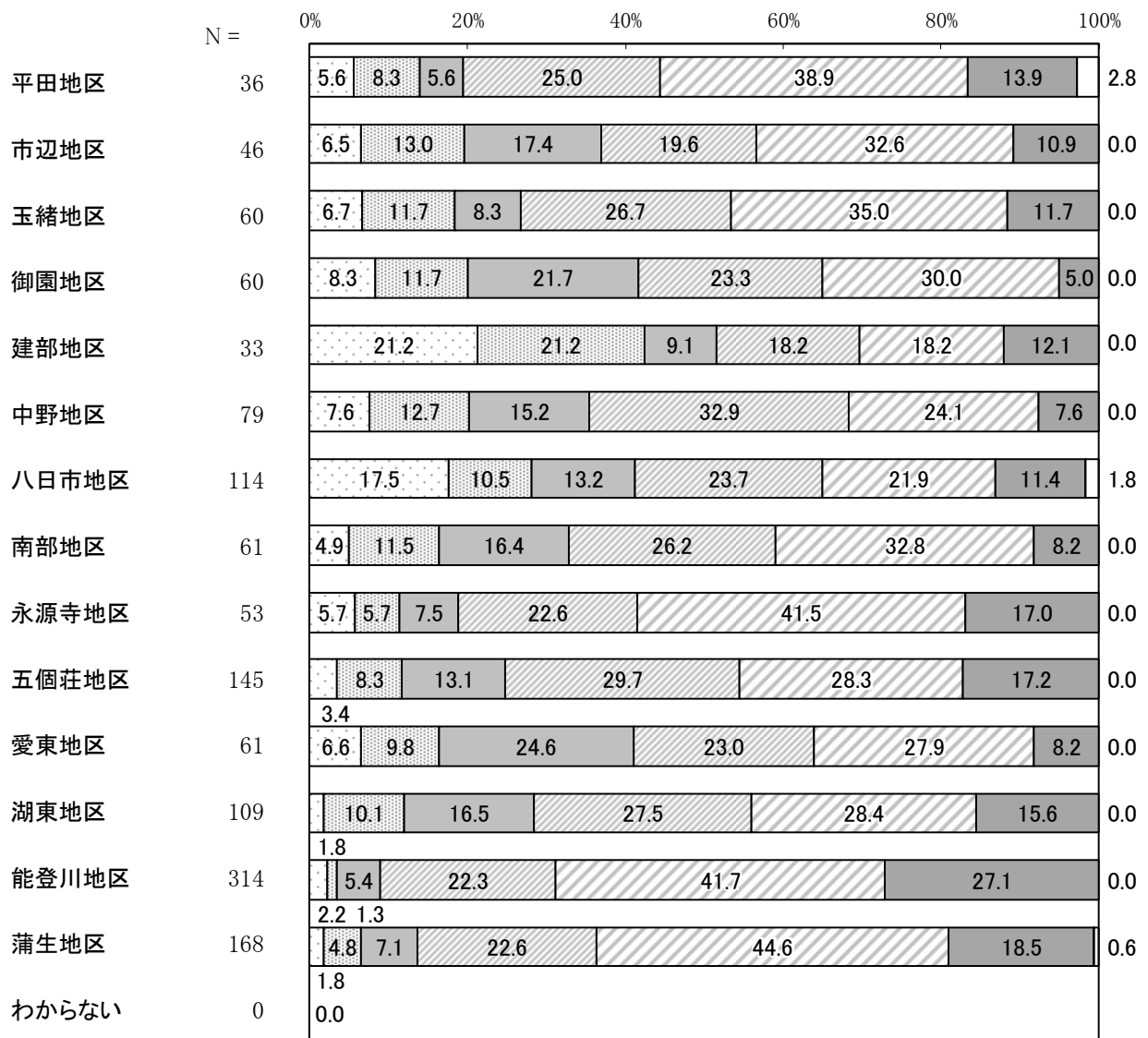
【性 別】



【年代別】



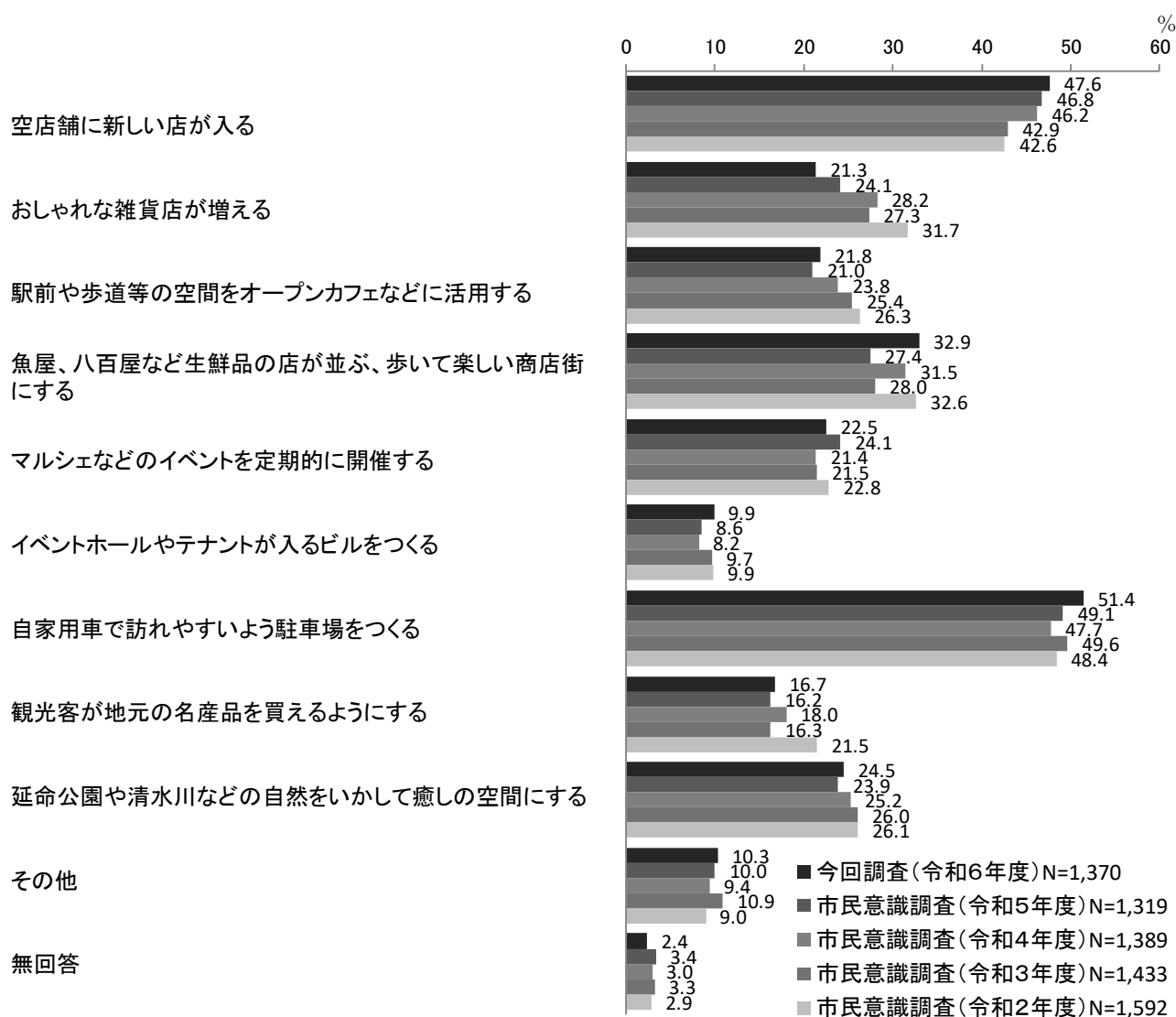
【居住地区別】



問 11 あなたは、八日市駅周辺の中心市街地が活性化するには、どのようなお店や施設、イベントなどの開催が必要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

駐車場の整備、空店舗の解消が上位

- ・ 八日市駅周辺の中心市街地が活性化するために必要なことは、「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が51.4%と最も多く、次いで「空店舗に新しい店が入る」が47.6%、「魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする」が32.9%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに最も多いのは駐車場の整備ですが、特に、女性は「おしゃれな雑貨店が増える」が男性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、10歳代は「駅前や歩道等の空間をオープンカフェなどに活用する」、20～40歳代までは「空店舗に新しい店が入る」、50歳以上は「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が最も多くなっています。そのほか、20～50歳代で「おしゃれな雑貨店が増える」が、30歳代で「マルシェなどのイベントを定期的開催する」が、70歳以上で「魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする」がほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、八日市地区、五個荘地区は「空店舗に新しい店が入る」が、そのほかの地区は「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が最も多くなっています。



【性別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	駅前や歩道等の空間をオーブンカフェなどに活用する	魚屋、八百屋など生鮮品の店が並び、歩いて楽しい商店街にする	マルシェなどのイベントを定期的に開催する	イベントホールやテナントが入るビルをつくる	自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる	観光客が地元の名産品を買い取るようにする	延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする	その他	無回答
男性	631	45.8	15.7	21.1	33.6	20.8	11.7	49.9	19.3	21.6	12.2	2.5
女性	702	49.3	26.9	23.1	31.8	25.1	8.1	52.3	14.7	27.1	8.7	2.3

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	駅前や歩道等の空間を 活用する オープンカフェなどに	魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする	マルシェなどのイベントを定期的に開催する	イベントホールやテナントが入るビルをつくる	自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる	観光客が地元の名産品を 買えるようにする	延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする	その他	無回答
10歳代	13	30.8	23.1	38.5	0.0	15.4	30.8	7.7	15.4	0.0	23.1	7.7
20歳代	74	64.9	32.4	29.7	21.6	25.7	12.2	35.1	10.8	18.9	8.1	1.4
30歳代	139	49.6	27.3	34.5	25.2	32.4	14.4	45.3	10.1	23.0	14.4	1.4
40歳代	182	58.8	31.3	22.5	29.1	25.8	11.5	50.0	21.4	20.3	14.8	1.1
50歳代	237	56.1	25.3	21.9	29.5	28.3	9.7	56.5	16.5	24.5	12.7	0.8
60歳代	302	42.1	18.5	18.2	32.8	24.2	7.9	51.0	14.9	24.8	6.3	2.0
70歳以上	410	38.5	12.4	17.8	41.7	12.7	8.0	55.4	19.0	28.3	8.3	4.6

【居住地区別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	活用する 駅前や歩道等の空間を オーブンカフェなどに	品屋、八百屋など生鮮 の店が並ぶ、歩いて 楽しい商店街にする	マルシェなどのイベン トを定期的に開催する	イベントホールやテナ ントが入るビルをつく る	自家用車で訪れやすい よう駐車場をつくる	観光客が地元の名産品 を買い取るようにする	延命公園や清水川など の自然をいかして癒し の空間にする	その他	無回答
平田地区	36	44.4	16.7	22.2	30.6	19.4	2.8	52.8	22.2	30.6	11.1	2.8
市辺地区	46	50.0	26.1	15.2	37.0	23.9	8.7	52.2	8.7	30.4	15.2	2.2
玉緒地区	60	48.3	13.3	26.7	35.0	18.3	10.0	53.3	15.0	28.3	6.7	1.7
御園地区	60	51.7	18.3	21.7	36.7	18.3	15.0	56.7	6.7	20.0	1.7	3.3
建部地区	33	69.7	12.1	18.2	42.4	39.4	9.1	39.4	18.2	36.4	3.0	0.0
中野地区	79	55.7	27.8	22.8	41.8	31.6	7.6	64.6	16.5	27.8	10.1	2.5
八日市地区	114	60.5	26.3	23.7	40.4	28.9	14.0	37.7	17.5	33.3	8.8	0.9
南部地区	61	63.9	29.5	23.0	34.4	26.2	16.4	67.2	21.3	37.7	6.6	0.0
永源寺地区	53	58.5	22.6	18.9	32.1	18.9	9.4	60.4	22.6	15.1	7.5	1.9
五個荘地区	145	46.9	18.6	21.4	33.1	18.6	5.5	44.8	13.8	25.5	11.0	1.4
愛東地区	61	41.0	13.1	14.8	32.8	19.7	3.3	47.5	11.5	24.6	9.8	0.0
湖東地区	109	41.3	18.3	21.1	31.2	24.8	6.4	50.5	17.4	24.8	11.9	1.8
能登川地区	314	36.9	21.3	21.7	24.5	19.1	10.8	49.4	16.9	18.8	13.4	4.5
蒲生地区	168	44.6	20.2	25.0	34.5	24.4	11.3	55.4	18.5	20.8	9.5	2.4
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

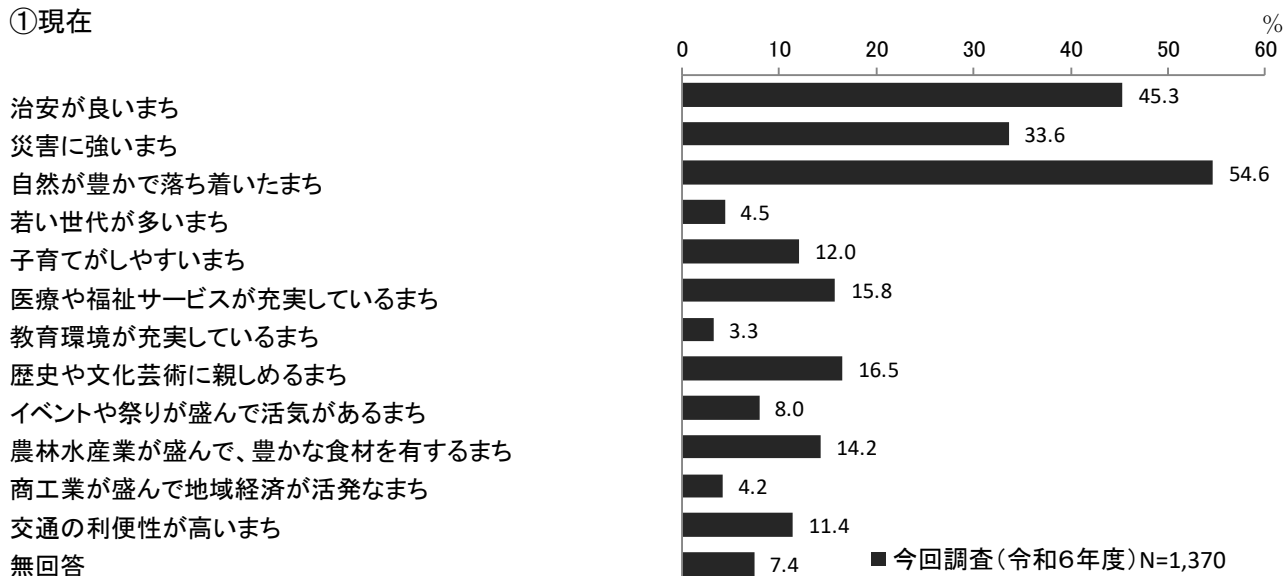
問 12 あなたは、東近江市のイメージについてどう感じていますか。以下の中から、現在のイメージと、将来どのようなイメージになってほしいか、それぞれ3つまでお答えください（現在と将来の回答が同じであってもかまいません）。《①現在・②将来ごとに○3つまで》

現状のイメージは、自然豊かで落ち着いていて、治安が良く、災害に強いまち

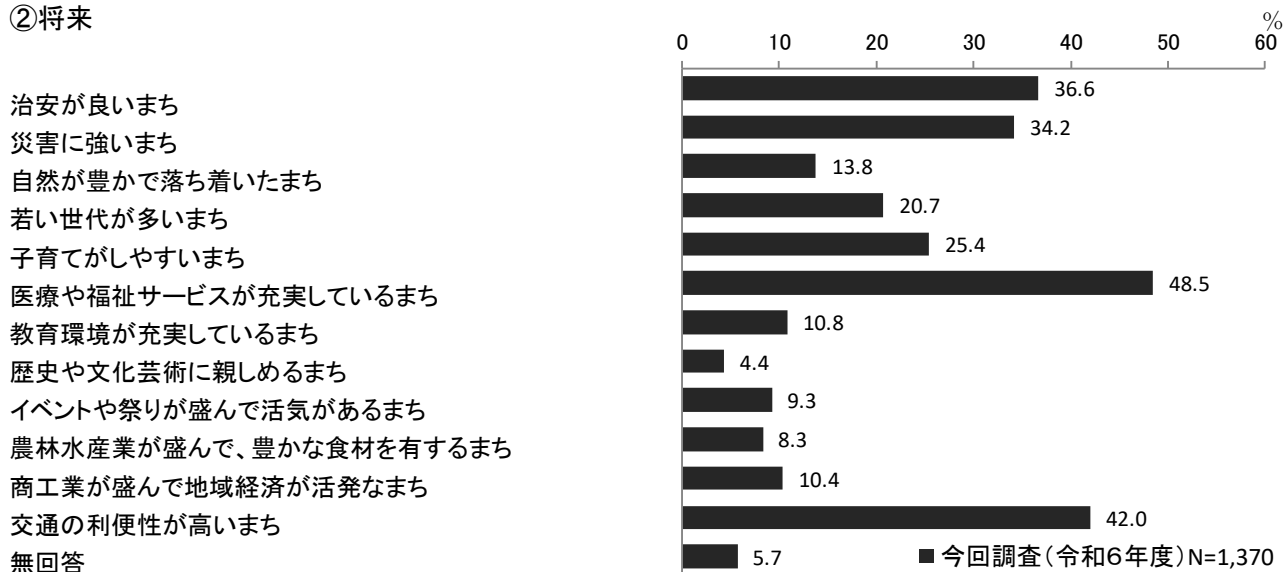
将来は医療・福祉サービスが充実し、交通利便性が高いまちになってほしい

- ・ 東近江市のイメージについては、①現在のイメージは「自然が豊かで落ち着いたまち」が 54.6%と最も多く、次いで「治安が良いまち」が 45.3%、「災害に強いまち」が 33.6%と続きます。
- ・ 一方、②将来、東近江市になってほしいイメージとしては、「医療や福祉サービスが充実しているまち」が 48.5%と最も多く、次いで「交通の利便性が高いまち」が 42.0%、「治安が良いまち」が 36.6%と続きます。

①現在



②将来



① 現在のイメージ

- ・ 性別では男女ともに、年代別では70歳以上を除いて、「自然が豊かで落ち着いたまち」が最も多くなっています。70歳以上は「治安が良いまち」が最も多くなっています。
- ・ そのほか、特に30～40歳代で「子育てがしやすいまち」が、60歳以上で「災害に強いまち」が、70歳以上で「医療や福祉サービスが充実しているまち」が、ほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区、御園地区で「治安が良いまち」、中野地区で「災害に強いまち」、そのほかの地区で「自然が豊かで落ち着いたまち」が最も多くなっています。御園地区では「災害に強いまち」も同率で最も多くあげられています。

② 将来なしてほしいイメージ

- ・ 性別では男女ともに、「医療や福祉サービスが充実しているまち」が最も多くなっていますが、女性でその割合が男性より高くなっています。
- ・ 年代別では、10歳代で「交通の利便性が高いまち」、20～30歳代で「子育てがしやすいまち」、40歳以上で「医療や福祉サービスが充実しているまち」が最も多くなっています。50歳代は「交通の利便性が高いまち」も同率で最も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、御園地区、愛東地区で「災害に強いまち」、平田地区、永源寺地区で「交通の利便性が高いまち」、そのほかの地区で「医療や福祉サービスが充実しているまち」が最も多くなっています。愛東地区は「交通の利便性が高いまち」も同率で最も多くあげられています。

① 現在のイメージ

【性 別】 *この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。 単位:%

無回答	交通の利便性が高いまち	商工業が盛んで地域経済が活発なまち	農林水産業が盛んで、豊かな食材を有するまち	イベントや祭りが盛んで活気があるまち	歴史や文化芸術に親しめるまち	教育環境が充実しているまち	医療や福祉サービスが充実しているまち	子育てがしやすいまち	若い世代が多いまち	自然が豊かで落ち着いてまち	災害に強いまち	治安が良いまち	有効回答数（件）	区 分
8.1	12.0	5.2	15.2	8.6	17.7	3.2	15.4	10.0	4.6	53.7	34.2	44.2	631	男性
6.6	10.5	3.3	13.7	7.7	15.5	3.1	16.2	13.7	4.4	56.1	32.2	46.9	702	女性

【年代別】 単位:%

区 分	有効 回答数 (件)	治安 が良い まち	災害 に強い まち	自然が 豊かで 落ち着 いたま ち	若い 世代が 多いま ち	子育 てがし やすい まち	医療 や福祉 サービ スが 充実し ている まち	教育 環境が 充実し てい るまち	歴史 や文化 芸術に 親し めるま ち	イベ ントや 祭りが 盛ん で活 気があ るまち	農 林水 産業 が盛 んで、 ち豊 かな 食材 を有 するま ち	商工 業が 盛ん で地 域経 済が 活発 なま ち	交 通の 利便 性 が高 いま ち	無 回 答
10歳代	13	53.8	23.1	69.2	0.0	15.4	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7
20歳代	74	32.4	27.0	56.8	5.4	13.5	6.8	8.1	9.5	10.8	17.6	1.4	6.8	12.2
30歳代	139	40.3	23.0	61.2	5.8	23.0	5.0	2.9	14.4	9.4	15.1	9.4	10.8	7.2
40歳代	182	39.0	26.9	56.6	5.5	20.3	9.9	4.9	17.0	12.1	15.9	3.3	12.6	4.9
50歳代	237	49.4	32.9	59.1	4.2	11.0	11.4	3.4	17.3	9.3	16.0	2.5	9.7	4.2
60歳代	302	50.0	40.1	57.9	2.0	7.6	12.6	1.0	16.9	5.3	15.6	4.6	7.6	7.6
70歳以上	410	46.1	36.8	45.4	5.6	8.5	28.5	2.9	18.5	6.6	11.2	3.9	15.6	9.3

【居住地区別】 単位:%

区 分	有効 回答数 (件)	治安 が良い まち	災害 に強い まち	自然が 豊かで 落ち着 いたま ち	若い 世代が 多いま ち	子育 てがし やすい まち	医療 や福祉 サービ スが 充実し ている まち	教育 環境が 充実し てい るま ち	歴史 や文化 芸術に 親し めるま ち	イベ ントや 祭りが 盛ん で活 気があ るま ち	ち豊 かな食 材を有 するま ち	農林水 産業が 盛んで 、	商工業 が盛ん で地域 経済が 活発な まち	ち交通 の利便 性が高 いまち	無回 答
平田地区	36	36.1	27.8	63.9	2.8	19.4	8.3	2.8	19.4	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3
市辺地区	46	50.0	34.8	54.3	2.2	19.6	10.9	6.5	15.2	10.9	19.6	4.3	10.9	6.5	6.5
玉緒地区	60	36.7	36.7	46.7	5.0	10.0	8.3	6.7	18.3	6.7	15.0	8.3	13.3	16.7	16.7
御園地区	60	46.7	46.7	43.3	5.0	15.0	26.7	5.0	10.0	5.0	11.7	6.7	18.3	5.0	5.0
建部地区	33	48.5	45.5	60.6	3.0	18.2	15.2	0.0	18.2	18.2	12.1	9.1	3.0	6.1	6.1
中野地区	79	34.2	41.8	38.0	6.3	13.9	22.8	5.1	13.9	12.7	12.7	8.9	10.1	13.9	13.9
八日市地区	114	47.4	34.2	45.6	2.6	15.8	15.8	1.8	7.0	11.4	10.5	6.1	12.3	10.5	10.5
南部地区	61	39.3	45.9	47.5	8.2	9.8	14.8	1.6	9.8	9.8	6.6	14.8	6.6	9.8	9.8
永源寺地区	53	54.7	37.7	73.6	3.8	7.5	13.2	0.0	5.7	3.8	22.6	3.8	5.7	0.0	0.0
五個荘地区	145	44.8	31.7	55.9	5.5	8.3	15.9	6.2	33.1	9.0	6.2	2.1	9.0	5.5	5.5
愛東地区	61	41.0	32.8	59.0	3.3	11.5	14.8	3.3	13.1	13.1	24.6	3.3	11.5	6.6	6.6
湖東地区	109	45.0	32.1	56.0	3.7	5.5	19.3	0.9	11.0	2.8	19.3	0.9	8.3	9.2	9.2
能登川地区	314	50.0	24.8	59.9	3.5	13.7	15.6	3.2	16.2	5.4	12.7	1.9	16.6	6.4	6.4
蒲生地区	168	44.6	36.3	54.8	6.5	11.9	14.9	2.4	23.2	7.7	17.9	1.2	8.3	3.6	3.6
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

② 将来なっほしいイメージ

【性 別】

*この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。

単位: %

無回答	交通の利便性が高いまち	商工業が盛んで地域経済が活発なまち	農林水産業が盛んで、豊かな食料を有するまち	イベントや祭りが盛んで活気があるまち	歴史や文化芸術に親しめるまち	教育環境が充実しているまち	医療や福祉サービスが充実しているまち	子育てがしやすいまち	若い世代が多いまち	自然が豊かで落ち着いたまち	災害に強いまち	治安が良いまち	有効回答数（件）	区 分
4.8	39.6	12.0	8.6	10.6	5.7	11.3	44.4	25.8	23.1	14.6	34.1	35.8	631	男性
6.4	44.4	9.1	8.1	8.3	3.0	10.3	52.1	25.4	18.8	12.7	34.2	37.5	702	女性

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	治安が良いまち	災害に強いまち	自然が豊かで落ち着いたまち	若い世代が多いまち	子育てがしやすいまち	医療や福祉サービスが充実しているまち	教育環境が充実しているまち	歴史や文化芸術に親しめるまち	イベントや祭りが盛んで活気があるまち	豊かな食料を有するまち	農林水産業が盛んで、豊かな食料を有するまち	商工業が盛んで地域経済が活発なまち	交通の利便性が高いまち	無回答
10歳代	13	38.5	15.4	0.0	7.7	23.1	30.8	15.4	7.7	38.5	0.0	15.4	53.8	7.7	
20歳代	74	23.0	27.0	12.2	25.7	44.6	33.8	10.8	1.4	12.2	8.1	10.8	40.5	5.4	
30歳代	139	38.1	25.9	14.4	19.4	46.0	36.0	24.5	1.4	12.2	6.5	9.4	36.0	5.0	
40歳代	182	44.5	34.1	14.3	13.7	33.5	45.1	13.2	2.7	13.2	6.0	12.1	36.8	4.9	
50歳代	237	36.7	37.1	15.6	20.3	21.9	48.9	8.9	3.8	10.1	7.2	13.1	48.9	3.4	
60歳代	302	34.4	34.8	14.6	23.2	25.5	51.7	8.9	5.6	7.6	9.6	11.6	38.7	4.6	
70歳以上	410	36.6	36.3	12.0	22.4	13.7	55.4	7.6	5.6	6.1	10.2	7.6	44.6	8.0	

【居住地区別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	治安が良いまち	災害に強いまち	自然が豊かで落ち着いたまち	若い世代が多いまち	子育てがしやすいまち	医療や福祉サービスが充実しているまち	教育環境が充実しているまち	歴史や文化芸術に親しめるまち	イベントや祭りが盛んで活気があるまち	豊かな食料を有するまち	農林水産業が盛んで、豊かな食料を有するまち	商工業が盛んで地域経済が活発なまち	交通の利便性が高いまち	無回答
平田地区	36	19.4	19.4	19.4	22.2	13.9	55.6	8.3	2.8	5.6	11.1	11.1	58.3	13.9	
市辺地区	46	23.9	26.1	6.5	23.9	32.6	47.8	19.6	4.3	13.0	13.0	15.2	45.7	4.3	
玉緒地区	60	23.3	31.7	21.7	23.3	20.0	41.7	6.7	5.0	13.3	18.3	15.0	28.3	10.0	
御園地区	60	40.0	48.3	8.3	21.7	20.0	41.7	3.3	8.3	11.7	5.0	8.3	46.7	8.3	
建部地区	33	45.5	36.4	6.1	18.2	18.2	51.5	6.1	3.0	15.2	3.0	15.2	42.4	12.1	
中野地区	79	35.4	39.2	10.1	25.3	20.3	55.7	7.6	3.8	11.4	8.9	11.4	45.6	2.5	
八日市地区	114	43.0	26.3	14.0	19.3	29.8	43.9	12.3	2.6	14.0	7.0	12.3	38.6	7.9	
南部地区	61	47.5	36.1	4.9	18.0	11.5	50.8	13.1	1.6	14.8	4.9	18.0	47.5	3.3	
永源寺地区	53	20.8	37.7	20.8	26.4	35.8	45.3	13.2	5.7	5.7	9.4	11.3	47.2	0.0	
五個荘地区	145	34.5	38.6	11.0	20.7	24.8	55.2	9.0	6.9	10.3	7.6	7.6	35.2	6.9	
愛東地区	61	31.1	41.0	9.8	24.6	24.6	39.3	4.9	6.6	14.8	8.2	8.2	41.0	4.9	
湖東地区	109	38.5	27.5	18.3	19.3	27.5	44.0	13.8	3.7	6.4	10.1	3.7	43.1	6.4	
能登川地区	314	44.6	33.4	14.3	19.7	27.1	46.5	13.4	4.8	6.1	8.0	11.5	37.9	4.1	
蒲生地区	168	31.5	35.7	17.3	19.6	27.4	56.0	8.9	2.4	4.8	6.5	8.9	50.6	4.8	
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問 13 日本の総人口が減少している中、東近江市においても同様に人口が減少していくことが予想されます。人口減少に対応し、持続可能なまちづくりを進めていく上で、どのような取組が必要であると思いますか。以下の①～④の4つの分野ごとにそれぞれお答えください。《①～④それぞれ〇3つまで》

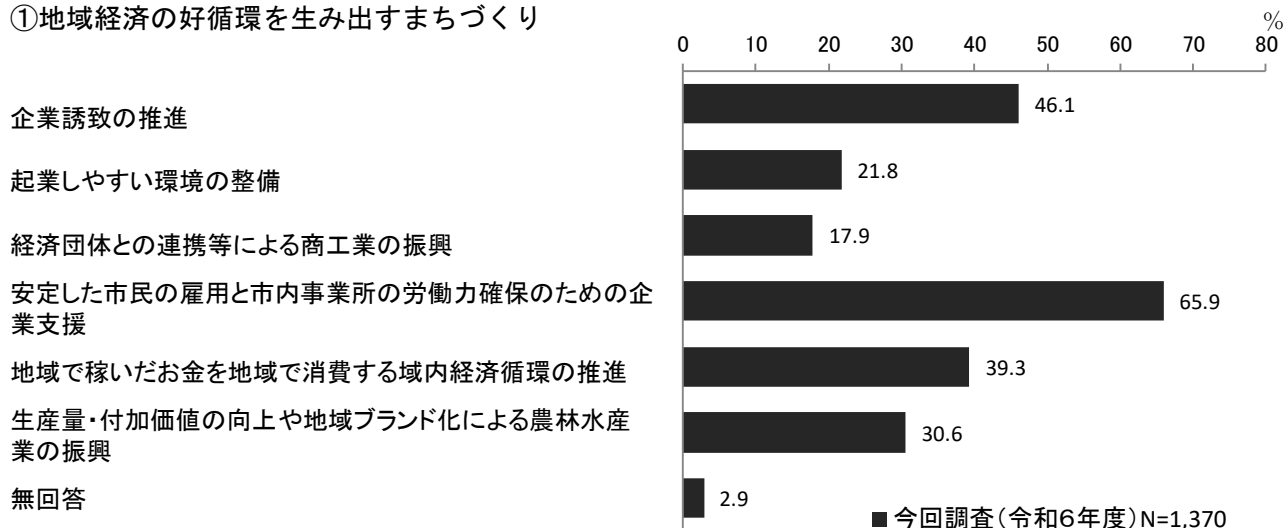
保健・医療・福祉の充実や、企業支援、子育て・教育における経済的負担の軽減、公共交通の利便性向上が特に必要

- 人口減少に対応し、持続可能なまちづくりを進めていく上で必要な取組として、①～④の4つの分野ごとに3つずつ選択してもらったところ、「暮らしを支える保健・医療・福祉の充実」が7割以上、「安定した市民の雇用と市内事業所の労働力確保のための企業支援」、「保育料減免や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」、「地域公共交通の利便性向上」が6割以上となっており、これらの取組の必要性を強く感じている市民が多いことがうかがえます。

① 地域経済の好循環を生み出すまちづくり

- この分野では、「安定した市民の雇用と市内事業所の労働力確保のための企業支援」が65.9%と最も多く、次いで「企業誘致の推進」が46.1%、「地域で稼いだお金を地域で消費する域内経済循環の推進」が39.3%と続きます。
- 性別、年代別のいずれも「安定した市民の雇用と市内事業所の労働力確保のための企業支援」が最も多くなっています。そのほか、特に30～40歳代で「地域で稼いだお金を地域で消費する域内経済循環の推進」がほかの年代より多くあげられています。
- 居住地区別では、平田地区で「企業誘致の推進」、そのほかの地区では「安定した市民の雇用と市内事業所の労働力確保のための企業支援」が最も多くなっています。

①地域経済の好循環を生み出すまちづくり



① 地域経済の好循環を生み出すまちづくり

*この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。

【性別】

単位:%

区 分	有効回答数（件）	企業誘致の推進	備 起 業 し や す い 環 境 の 整	よ 経 る 済 団 体 と の 連 携 等 に	保 市 安 の 内 定 し た 所 の 市 民 の 雇 用 と 確 と	循 域 地 環 で 消 費 稼 進 す い る だ 域 お 内 金 経 を 済 地	よ 上 生 る や 産 量 ・ 付 加 価 値 の 振 興 に 向	無 回 答
男性	631	50.9	22.2	19.8	63.1	40.6	32.3	2.1
女性	702	41.9	20.9	16.8	68.4	38.6	28.5	3.4

【年代別】

単位:%

区 分	有効回答数（件）	企業誘致の推進	備 起 業 し や す い 環 境 の 整	よ 経 る 済 団 体 と の 連 携 等 に	保 市 安 の 内 定 し た 所 の 市 民 の 雇 用 と 確 と	循 域 地 環 で 消 費 稼 進 す い る だ 域 お 内 金 経 を 済 地	よ 上 生 る や 産 量 ・ 付 加 価 値 の 振 興 に 向	無 回 答
10歳代	13	46.2	38.5	7.7	53.8	7.7	38.5	0.0
20歳代	74	33.8	21.6	21.6	60.8	35.1	32.4	2.7
30歳代	139	43.2	21.6	24.5	60.4	48.2	33.8	0.0
40歳代	182	47.8	18.7	19.2	62.6	46.7	35.7	3.3
50歳代	237	47.7	21.9	16.0	65.0	35.9	27.4	2.5
60歳代	302	45.4	20.9	16.9	68.2	38.1	30.1	2.6
70歳以上	410	48.3	22.2	16.6	69.0	37.3	29.0	4.4

【居住地区別】

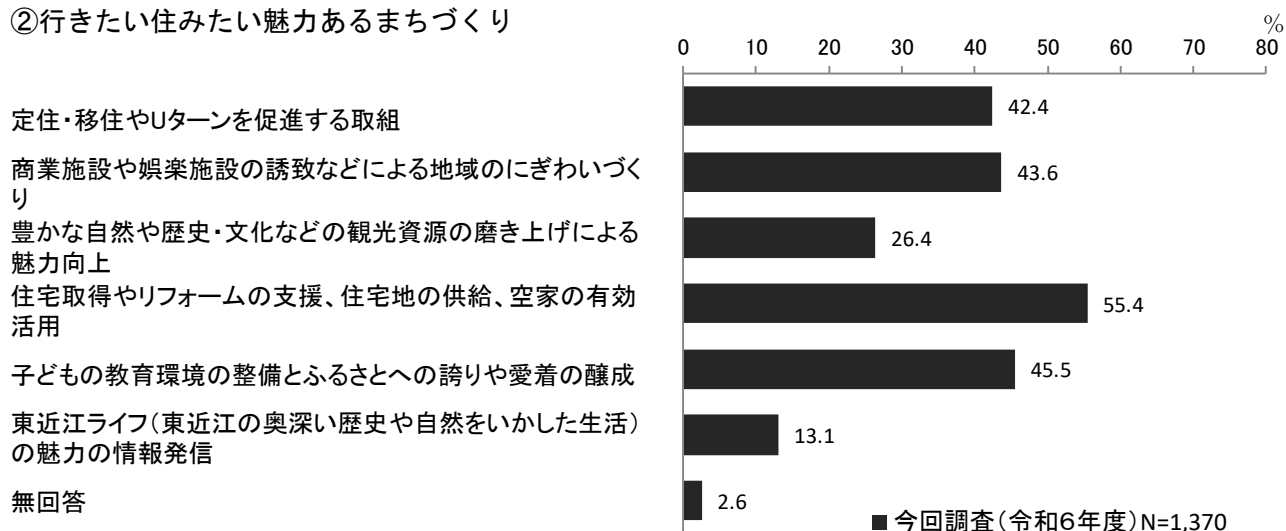
単位:%

区 分	有効回答数（件）	企業誘致の推進	備 起 業 し や す い 環 境 の 整	よ 経 る 済 団 体 と の 連 携 等 に	保 市 安 の 内 定 し た 所 の 市 民 の 雇 用 と 確 と	循 域 地 環 で 消 費 稼 進 す い る だ 域 お 内 金 経 を 済 地	よ 上 生 る や 産 量 ・ 付 加 価 値 の 振 興 に 向	無 回 答
平田地区	36	61.1	25.0	22.2	55.6	33.3	33.3	2.8
市辺地区	46	43.5	26.1	10.9	67.4	34.8	47.8	4.3
玉緒地区	60	43.3	26.7	16.7	68.3	50.0	30.0	0.0
御園地区	60	43.3	25.0	20.0	60.0	33.3	31.7	8.3
建部地区	33	36.4	27.3	9.1	72.7	42.4	33.3	3.0
中野地区	79	46.8	21.5	19.0	69.6	40.5	27.8	3.8
八日市地区	114	42.1	24.6	17.5	64.0	37.7	35.1	0.9
南部地区	61	47.5	18.0	21.3	78.7	32.8	29.5	0.0
永源寺地区	53	43.4	20.8	24.5	62.3	37.7	34.0	3.8
五個荘地区	145	49.7	24.1	19.3	68.3	33.8	20.7	2.8
愛東地区	61	42.6	24.6	18.0	59.0	41.0	31.1	4.9
湖東地区	109	47.7	21.1	16.5	63.3	39.4	24.8	1.8
能登川地区	314	44.9	18.5	16.2	64.3	44.3	31.5	3.2
蒲生地区	168	48.8	18.5	19.0	69.6	37.5	33.9	2.4
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-

② 行きたい住みたい魅力あるまちづくり

- ・ この分野では、「住宅取得やリフォームの支援、住宅地の供給、空家の有効活用」が 55.4%と最も多く、次いで「子どもの教育環境の整備とふるさとへの誇りや愛着の醸成」が 45.5%、「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」が 43.6%、「定住・移住やUターンを促進する取組」が 42.4%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに「住宅取得やリフォームの支援、住宅地の供給、空家の有効活用」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、20 歳代までで「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」、30 歳以上で「住宅取得やリフォームの支援、住宅地の供給、空家の有効活用」が最も多くなっています。そのほか、20～30 歳代で「子どもの教育環境の整備とふるさとへの誇りや愛着の醸成」が、60 歳代で「定住・移住やUターンを促進する取組」が、60 歳以上で「豊かな自然や歴史・文化などの観光資源の磨き上げによる魅力向上」がほかの年代と比べて多くあげられています。

②行きたい住みたい魅力あるまちづくり



② 行きたい住みたい魅力あるまちづくり

【性別】

*この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。

単位: %

単位：％									
区 分	有効回答数（件）	定住・移住やUターンを促進する取組	商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり	豊かな自然や歴史・文化などの観光資源の磨き上げによる魅力向上	住宅取得やリフォームの支援、空家の有効活用	子どもの教育環境の整備とふるさとへの誇りや愛着の醸成	の奥深い歴史や自然をいかした生活への魅力を情報発信	東近江ライフ（東近江）	無回答
男性	631	44.5	44.2	29.2	54.4	47.5	14.3	1.4	
女性	702	40.5	43.6	23.6	56.4	43.9	12.0	3.3	

【年代別】

単位: %

無回答	東近江ライフ（東近江の奥深い歴史や自然をいかした生活）の魅力の情報発信	子どもの教育環境の整や愛着の醸成	住宅取得やリフォームの支援、空家の有効活用	豊かな自然や歴史・文化などの観光資源の磨き上げによる魅力向上	商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり	定住・移住やUターンを促進する取組	有効回答数（件）	区 分
0.0	7.7	53.8	30.8	15.4	76.9	23.1	13	10歳代
1.4	5.4	58.1	48.6	17.6	63.5	31.1	74	20歳代
0.0	8.6	56.1	63.3	12.9	52.5	40.3	139	30歳代
1.6	9.9	54.9	59.9	21.4	52.7	40.7	182	40歳代
1.3	13.5	40.9	54.4	25.3	54.0	40.1	237	50歳代
2.6	12.9	42.4	56.6	30.5	34.4	48.0	302	60歳代
5.1	17.1	40.2	52.4	32.7	33.7	42.9	410	70歳以上

【居住地区別】

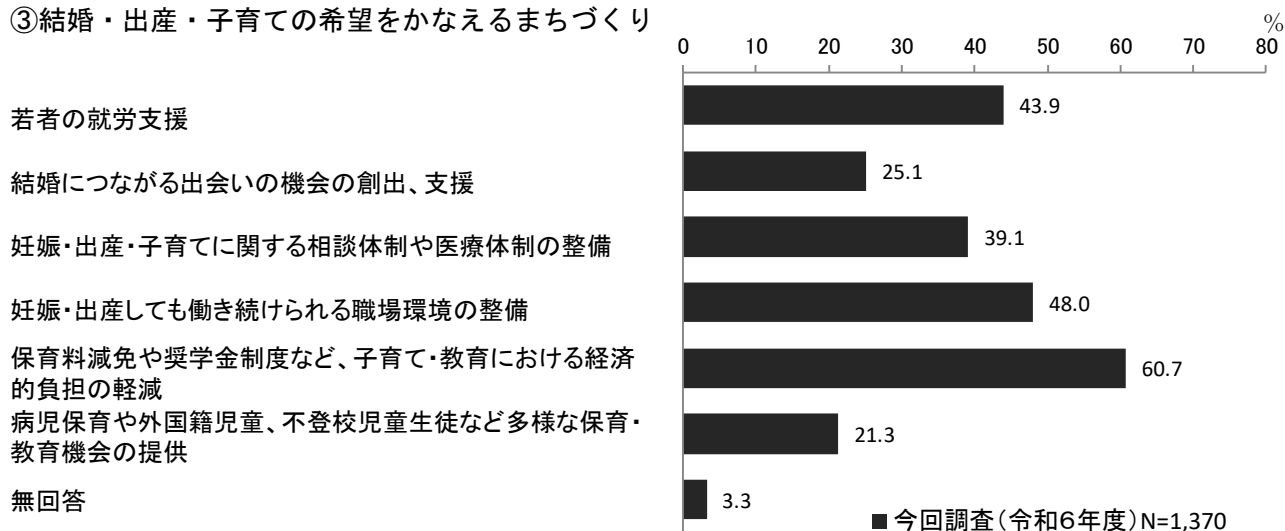
単位: %

単位：%													
区 分	有効回答数（件）	定住・移住やUターンを促進する取組	商業施設や娯楽施設の誘致などにより観光・地域の活性化などの観光資源の向上	豊かな自然や歴史・文化などの観光資源の向上	住宅取得やリフォームの支援、住宅地の供給、空家の有効活用	子どもの教育環境の整備とふるさとへの誇りや愛着の醸成	の情報発信	の奥深い歴史や自然を	東近江ライフ（東近江）	無回答			
平田地区	36	38.9	36.1	19.4	69.4	47.2	11.1		2.8				
市辺地区	46	43.5	54.3	15.2	60.9	58.7	8.7		2.2				
玉緒地区	60	48.3	50.0	33.3	41.7	53.3	15.0		1.7				
御園地区	60	38.3	43.3	23.3	56.7	45.0	16.7		5.0				
建部地区	33	51.5	45.5	15.2	57.6	39.4	12.1		6.1				
中野地区	79	36.7	46.8	34.2	54.4	48.1	13.9		2.5				
八日市地区	114	40.4	45.6	27.2	46.5	44.7	16.7		1.8				
南部地区	61	31.1	55.7	24.6	60.7	50.8	13.1		1.6				
永源寺地区	53	45.3	32.1	26.4	75.5	41.5	11.3		3.8				
五個荘地区	145	43.4	41.4	31.7	55.9	42.8	10.3		2.1				
愛東地区	61	52.5	19.7	21.3	59.0	49.2	19.7		3.3				
湖東地区	109	44.0	40.4	20.2	56.0	45.9	8.3		4.6				
能登川地区	314	39.8	47.1	26.8	51.6	46.2	13.4		1.9				
蒲生地区	168	48.2	42.3	29.8	57.7	36.3	13.1		2.4				
わからない	0	-	-	-	-	-	-		-				

③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

- ・ この分野では、「保育料減免や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」が 60.7%と最も多く、次いで「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」が 48.0%、「若者の就労支援」が 43.9%と続きます。
- ・ 性別、年代別のいずれも、「保育料減免や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」が最も多くなっています。そのほか、性別では、女性で「病児保育や外国籍児童、不登校児童生徒など多様な保育・教育機会の提供」や「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」が男性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、10～30 歳代で「妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備」が、30 歳代で「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」が、40 歳代や 60 歳以上で「結婚につながる出会いの機会の創出、支援」がほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、平田地区、永源寺地区で「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」、そのほかの地区で「保育料減免や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」が最も多くなっています。

③結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり



③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

【性別】

*この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。
単位: %

区 分	有効回答数（件）	若者の就労支援	の結婚の機会につなげる創出、支援	体制する・妊娠の整備	妊娠・出産・子育てに	整妊・妊婦の準備	軽に減おける経済的負担の	度な育料減免や奨学金制	会多様な保育・児童教育機	病不登校や外国籍児童	無回答
男性	631	46.3	28.5	39.0	43.3	64.2	15.8	2.2			
女性	702	42.0	22.4	39.6	51.6	57.7	26.1	4.1			

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	若者の就労支援	の結婚の機会につなげる創出、支援	体制する・妊娠の整備	妊娠・出産・子育てに	整妊・妊婦の準備	軽に減おける経済的負担の	度な育料減免や奨学金制	会多様な保育・児童教育機	病不登校や外国籍児童	無回答
10歳代	13	15.4	7.7	46.2	46.2	61.5	38.5	0.0			
20歳代	74	41.9	20.3	48.6	50.0	73.0	16.2	0.0			
30歳代	139	28.1	17.3	48.2	58.3	77.7	28.8	0.7			
40歳代	182	45.1	26.9	39.0	45.6	71.4	23.1	2.2			
50歳代	237	44.3	20.7	44.7	43.9	59.5	21.5	2.1			
60歳代	302	43.7	29.1	38.4	47.4	57.6	22.5	2.3			
70歳以上	410	49.3	27.8	32.0	48.0	52.2	17.6	6.8			

【居住地区別】

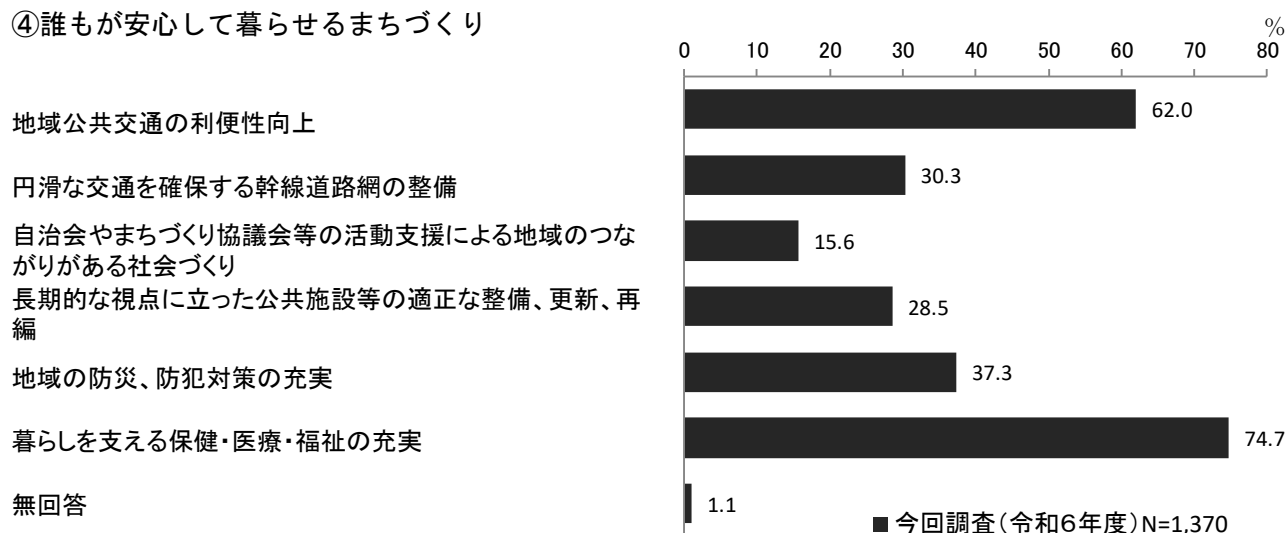
単位: %

区 分	有効回答数（件）	若者の就労支援	の結婚の機会につなげる創出、支援	体制する・妊娠の整備	妊娠・出産・子育てに	整妊・妊婦の準備	軽に減おける経済的負担の	度な育料減免や奨学金制	会多様な保育・児童教育機	病不登校や外国籍児童	無回答
平田地区	36	38.9	27.8	30.6	63.9	50.0	22.2	2.8			
市辺地区	46	43.5	21.7	50.0	47.8	56.5	21.7	8.7			
玉緒地区	60	45.0	31.7	38.3	55.0	60.0	23.3	1.7			
御園地区	60	45.0	20.0	38.3	45.0	63.3	16.7	3.3			
建部地区	33	42.4	21.2	27.3	54.5	63.6	21.2	6.1			
中野地区	79	45.6	29.1	36.7	40.5	65.8	24.1	3.8			
八日市地区	114	42.1	14.9	40.4	49.1	63.2	27.2	1.8			
南部地区	61	50.8	32.8	39.3	31.1	68.9	16.4	1.6			
永源寺地区	53	50.9	22.6	32.1	56.6	54.7	22.6	5.7			
五個荘地区	145	52.4	22.8	41.4	47.6	62.8	16.6	2.8			
愛東地区	61	41.0	34.4	42.6	39.3	52.5	18.0	6.6			
湖東地区	109	42.2	23.9	42.2	44.0	56.0	22.9	2.8			
能登川地区	314	40.8	22.0	41.7	52.5	60.5	20.4	3.5			
蒲生地区	168	44.0	32.7	36.3	45.8	61.9	23.2	1.8			
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-			

④ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- ・ この分野では、「暮らしを支える保健・医療・福祉の充実」が74.7%と最も多く、次いで「地域公共交通の利便性向上」が62.0%、「地域の防災、防犯対策の充実」が37.3%と続きます。
- ・ 性別では男女ともに、年代別では10歳代を除いて、居住地区別ではいずれの地区でも「暮らしを支える保健・医療・福祉の充実」が最も多くなっています。10歳代は「地域公共交通の利便性向上」が最も多くあげられています。
- ・ そのほか、特に男性で「円滑な交通を確保する幹線道路網の整備」や「長期的な視点に立った公共施設等の適正な整備、更新、再編」が女性より多く、年代別では30歳代で「長期的な視点に立った公共施設等の適正な整備、更新、再編」が、40歳代で「地域の防災、防犯対策の充実」が、70歳以上で「自治会やまちづくり協議会等の活動支援による地域のつながりがある社会づくり」がほかの年代より多くあげられています。

④誰もが安心して暮らせるまちづくり



④ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

【性別】

*この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。
単位:%

単位：％

区 分	有効回答数（件）	地域公共交通の利便性向上	円滑な交通を確保する幹線道路網の整備	自治会やまちづくり協議会等の活動支援による地域のつながりがある社会づくり	公共施設等の適正な整備、更新、再編	長期的な視点に立った整備	地域の防災、防犯対策の充実	暮らしを支える保健・医療・福祉の充実	無回答
男性	631	58.0	36.6	17.0	35.2	36.8	67.7	1.0	
女性	702	65.4	24.8	14.1	23.1	37.6	80.5	1.3	

【年代別】

単位:%

区 分	有効回答数（件）	地域公共交通の利便性向上	円滑な交通を確保する幹線道路網の整備	自治会やまちづくり協議会等の活動支援による地域のつながりがある社会づくり	長期的な視点に立った公共施設等の適正な整備、更新、再編	地域の防災、防犯対策の充実	暮らしを支える保健・医療・福祉の充実	無回答
10歳代	24	69.2	38.5	7.7	38.5	23.1	53.8	0.0
20歳代	86	60.8	28.4	8.1	32.4	35.1	67.6	1.4
30歳代	162	56.8	35.3	12.9	40.3	36.7	71.2	0.0
40歳代	180	57.7	33.0	10.4	32.4	46.2	72.5	1.6
50歳代	213	70.0	34.6	10.1	28.3	37.1	75.1	0.4
60歳代	275	60.9	29.5	13.9	28.8	37.4	76.2	1.7
70歳以上	371	62.0	25.1	24.6	21.7	34.4	77.8	1.2

【居住地区別】

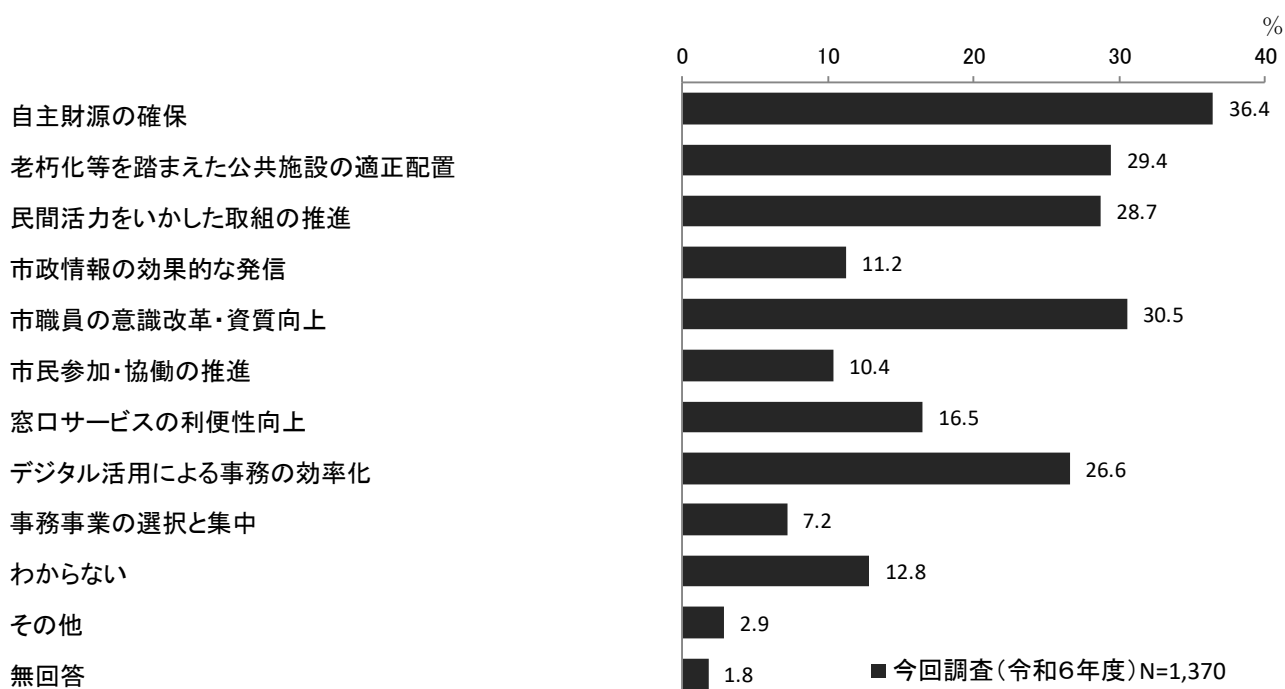
単位:%

区 分	有効回答数（件）	地域公共交通の利便性向上	円滑な交通を確保する幹線道路網の整備	自治会やまちづくりの活動支援による地域のつながりがある社会づくり	公共施設等の適正な整備、更新、再編	長期的な視点に立った公共施設等の適正な整備	地域の防災、防犯対策の充実	暮らしを支える保健・医療・福祉の充実	無回答
平田地区	36	50.0	41.7	27.8	22.2	36.1	66.7	0.0	
市辺地区	46	76.1	26.1	17.4	32.6	19.6	80.4	0.0	
玉緒地区	60	61.7	41.7	18.3	26.7	35.0	75.0	1.7	
御園地区	60	58.3	41.7	10.0	25.0	33.3	70.0	1.7	
建部地区	33	63.6	21.2	12.1	30.3	51.5	72.7	3.0	
中野地区	79	64.6	35.4	13.9	22.8	44.3	82.3	0.0	
八日市地区	114	63.2	26.3	14.0	37.7	36.0	64.9	0.9	
南部地区	61	68.9	31.1	11.5	24.6	29.5	85.2	0.0	
永源寺地区	53	49.1	37.7	22.6	30.2	39.6	73.6	1.9	
五個荘地区	145	62.8	22.1	19.3	20.0	44.8	75.9	0.0	
愛東地区	61	65.6	21.3	19.7	24.6	36.1	75.4	0.0	
湖東地区	109	64.2	29.4	11.9	26.6	28.4	75.2	1.8	
能登川地区	314	60.2	31.2	12.4	32.8	37.9	73.2	1.9	
蒲生地区	168	63.7	29.2	17.3	31.5	40.5	78.6	0.6	
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	

問 14 人口減少により税収減が懸念される中で、持続可能で安定的な行財政運営を行うため、特にどのような取組が必要だと思いますか。《○3つまで》

4割近くが「自主財源の確保」が必要

- ・ 持続可能で安定的な行財政運営を行うため特に必要な取組としては、「自主財源の確保」が36.4%と最も多く、次いで「市職員の意識改革・資質向上」30.5%、「老朽化等を踏まえた公共施設の適正配置」が29.4%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに「自主財源の確保」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、10歳代で「老朽化等を踏まえた公共施設の適正配置」、20～30歳代で「デジタル活用による事務の効率化」で、70歳以上で「市職員の意識改革・資質向上」、そのほかの年代で「自主財源の確保」が最も多くあげられています。10歳代は、「自主財源の確保」や「デジタル活用による事務の効率化」も同率で最も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区で「民間活力をいかした取組の推進」、永源寺地区、中野地区、南部地区、湖東地区で「市職員の意識改革・資質向上」、そのほかの地区で「自主財源の確保」が最も多くなっています。建部地区は、「老朽化等を踏まえた公共施設の適正配置」も同率で最も多くあげられています。



【性別】

*この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。

単位:%

区 分	有効回答数(件)	自主財源の確保	老朽化等を踏まえた公共施設の適正配置	民間活力をいかした取組の推進	市政情報の効果的な発信	市職員の意識改革・資質向上	市民参加・協働の推進	窓口サービスの利便性向上	デジタル活用による事務の効率化	事務事業の選択と集中	わからない	その他	無回答
男性	631	40.7	33.6	31.9	11.6	33.4	10.9	14.1	30.7	9.7	7.8	4.0	1.3
女性	702	33.3	25.8	26.1	11.0	27.5	10.0	18.4	23.5	5.1	16.7	2.0	2.3

【年代別】

単位:%

区 分	有効回答数(件)	自主財源の確保	老朽化等を踏まえた公共施設の適正配置	民間活力をいかした取組の推進	市政情報の効果的な発信	市職員の意識改革・資質向上	市民参加・協働の推進	窓口サービスの利便性向上	デジタル活用による事務の効率化	事務事業の選択と集中	わからない	その他	無回答
10歳代	13	38.5	38.5	30.8	15.4	30.8	15.4	15.4	38.5	0.0	7.7	0.0	0.0
20歳代	74	40.5	27.0	17.6	12.2	13.5	9.5	13.5	43.2	10.8	13.5	2.7	1.4
30歳代	139	46.0	36.7	19.4	5.0	23.0	6.5	13.7	48.9	10.8	12.2	3.6	0.0
40歳代	182	40.1	27.5	30.2	7.7	29.7	8.8	14.3	32.4	7.7	12.1	4.9	1.6
50歳代	237	37.1	30.8	31.2	12.7	32.5	9.3	15.2	31.6	6.8	7.2	3.0	1.3
60歳代	302	35.8	29.5	29.1	10.3	30.5	10.6	19.2	24.5	7.3	12.9	2.6	1.7
70歳以上	410	30.2	27.8	31.5	14.1	34.6	12.9	16.8	12.0	5.4	16.8	2.0	3.2

【居住地区別】

単位:%

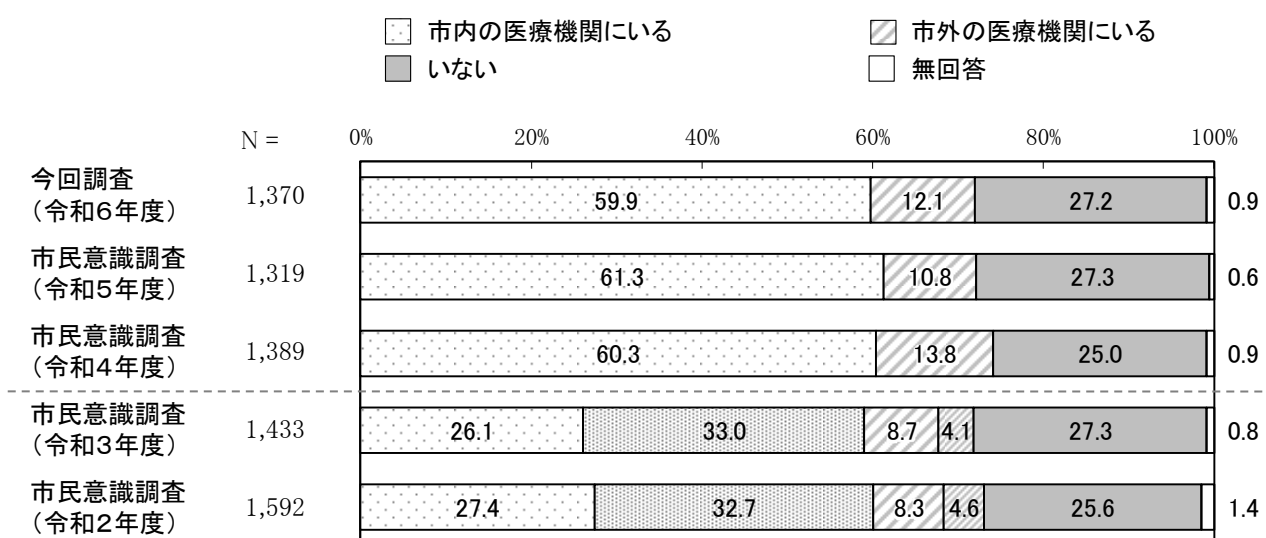
区 分	有効回答数(件)	自主財源の確保	老朽化等を踏まえた公共施設の適正配置	民間活力をいかした取組の推進	市政情報の効果的な発信	市職員の意識改革・資質向上	市民参加・協働の推進	窓口サービスの利便性向上	デジタル活用による事務の効率化	事務事業の選択と集中	わからない	その他	無回答
平田地区	36	36.1	13.9	19.4	8.3	30.6	2.8	16.7	25.0	8.3	19.4	5.6	2.8
市辺地区	46	26.1	34.8	37.0	13.0	28.3	8.7	15.2	28.3	15.2	13.0	6.5	2.2
玉緒地区	60	41.7	33.3	33.3	18.3	31.7	11.7	11.7	26.7	5.0	11.7	3.3	1.7
御園地区	60	40.0	26.7	26.7	8.3	38.3	13.3	15.0	21.7	8.3	13.3	1.7	0.0
建部地区	33	45.5	45.5	27.3	12.1	21.2	18.2	18.2	9.1	6.1	6.1	0.0	3.0
中野地区	79	34.2	25.3	25.3	15.2	36.7	10.1	22.8	21.5	7.6	13.9	5.1	2.5
八日市地区	114	36.8	31.6	28.1	10.5	31.6	13.2	15.8	34.2	6.1	12.3	2.6	0.9
南部地区	61	32.8	29.5	34.4	9.8	36.1	11.5	13.1	23.0	6.6	14.8	0.0	1.6
永源寺地区	53	28.3	32.1	37.7	5.7	39.6	13.2	15.1	24.5	3.8	17.0	5.7	1.9
五箇荘地区	145	30.3	28.3	28.3	8.3	25.5	10.3	17.2	29.7	4.1	16.6	4.1	0.7
愛東地区	61	44.3	24.6	27.9	9.8	21.3	11.5	13.1	18.0	6.6	9.8	1.6	3.3
湖東地区	109	32.1	28.4	21.1	10.1	33.0	7.3	18.3	23.9	5.5	16.5	2.8	2.8
能登川地区	314	40.1	29.9	29.0	9.2	30.9	8.3	15.9	29.9	8.6	10.8	1.6	1.9
蒲生地区	168	36.9	31.0	31.0	17.9	27.4	11.9	16.7	25.6	7.1	11.3	3.6	1.2
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 健康や福祉について

問 15 あなたには、日常的な診療や健康の管理をしてくれるお医者さん（かかりつけ医）はいですか。《○1つ》

6割近くが市内の医療機関にかかりつけ医がいる

- ・ かかりつけ医がいるかどうかについては、「市内の医療機関にいる」が 59.9%と最も多く、6割近くが市内の医療機関にかかりつけ医がいると回答しています。また、「市外の医療機関にいる」が 12.1%、「いない」と回答した人は 27.2%でした。
- ・ 年代別では、市外も含めてかかりつけ医がいる人の割合は、40歳代が半数と最も低く、40歳以上は年齢が上がるほどその割合が高くなる傾向があり、70歳以上は9割近く（市内が7割以上）となっています。40歳代は半数近くがかかりつけ医が「いない」と回答しています。
- ・ 居住地区別では、市内の医療機関にかかりつけ医がいる人の割合は、中野地区、玉緒地区で7割以上と高くなっています。一方、八日市地区、南部地区ではかかりつけ医がいない人が4割近くいます。

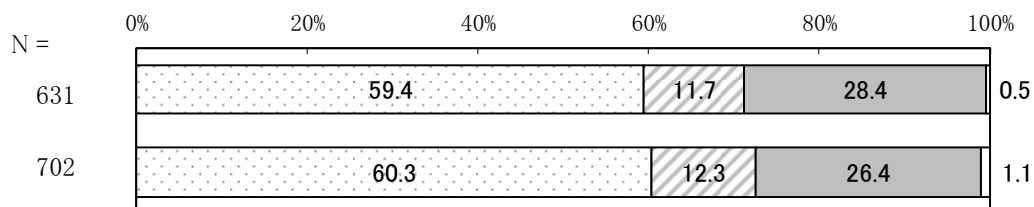


※令和3年度までは、以下の選択肢

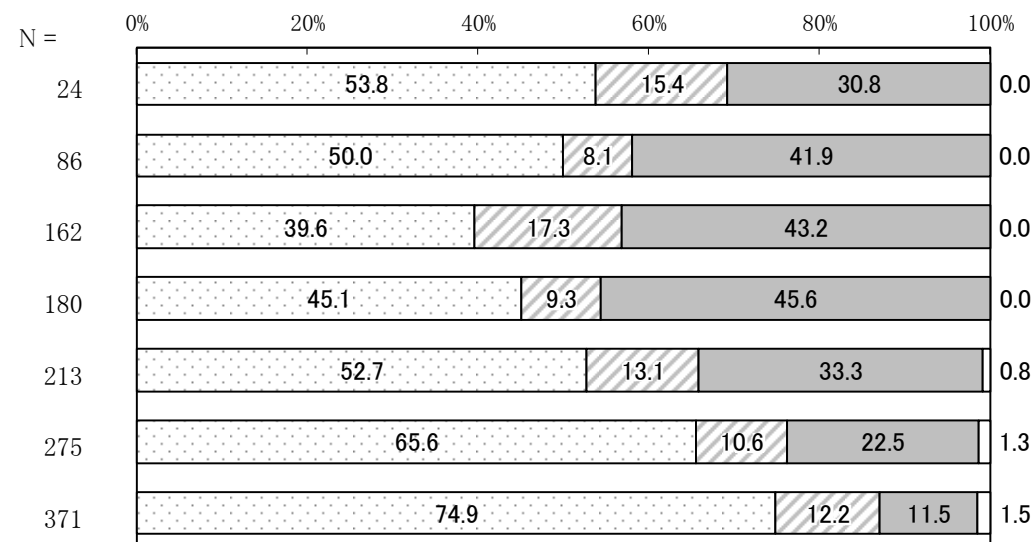


市内の病院にいる
 市内の診療所(開業医)にいる
 市外の病院にいる
 市外の診療所(開業医)にいる
 いない
 無回答

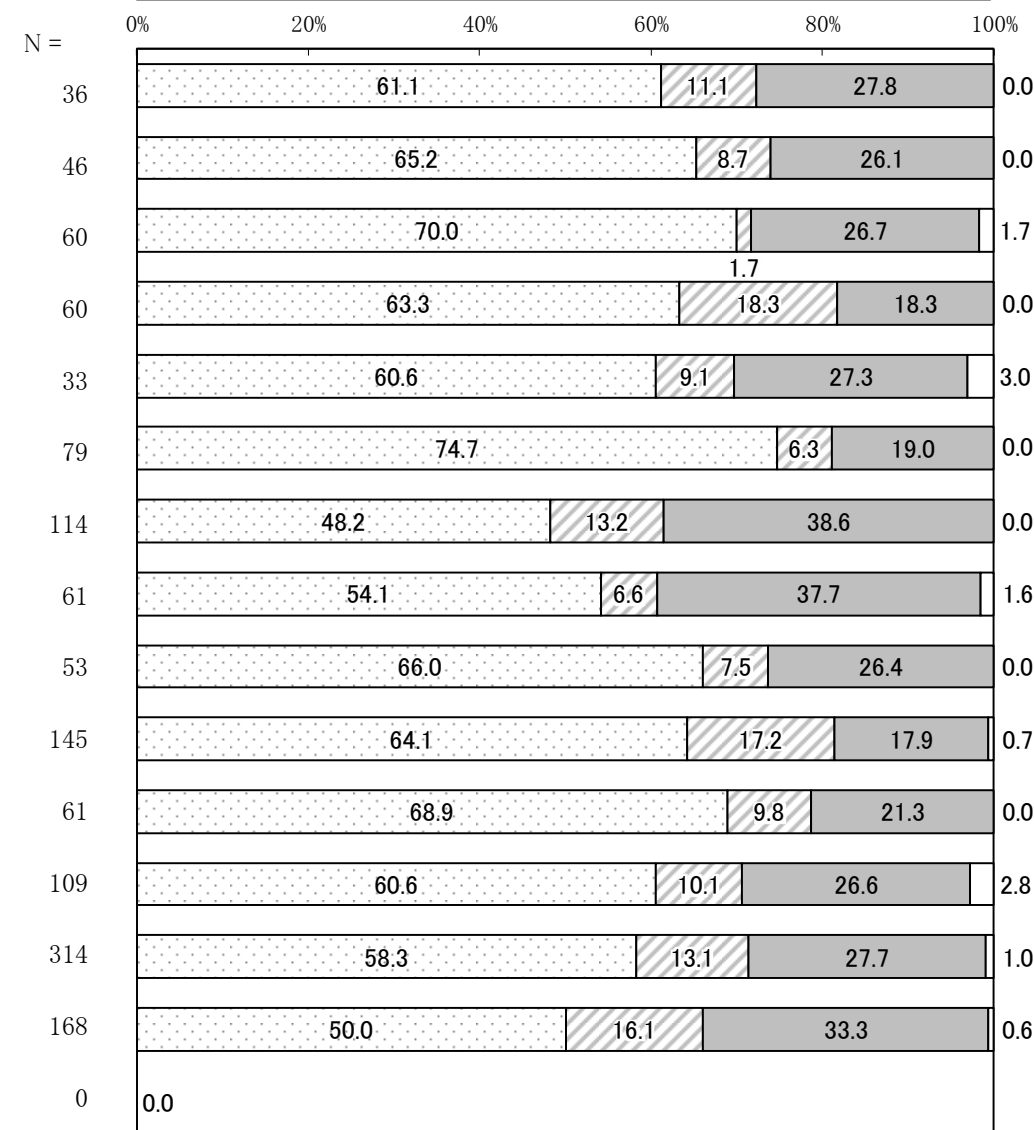
【性別】



【年代別】



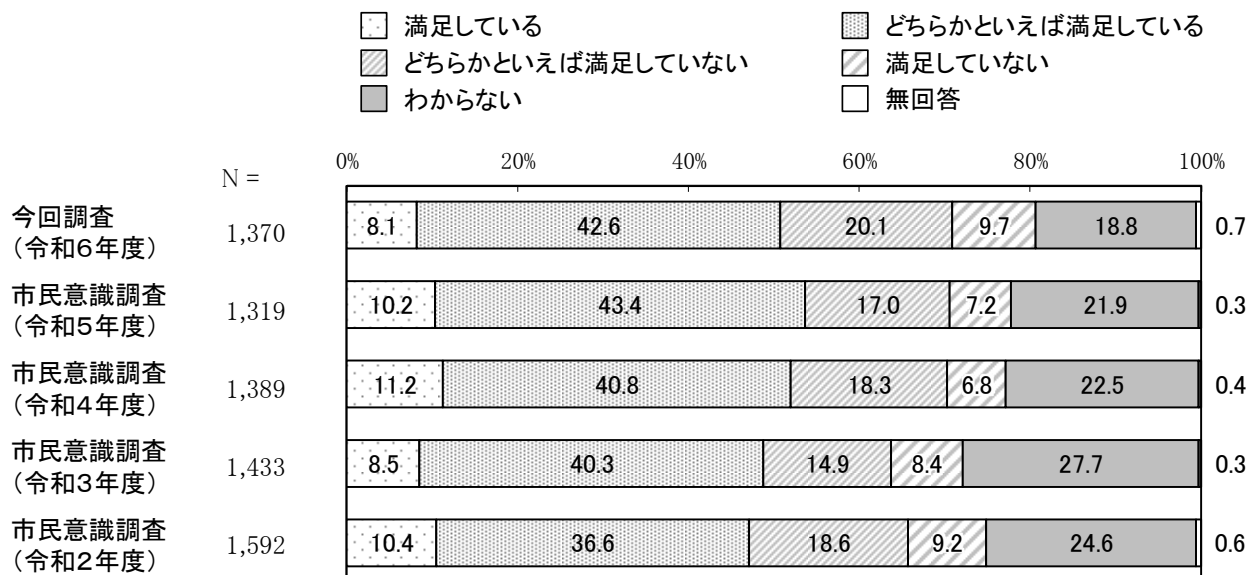
【居住地区別】



問 16 あなたは、病院や救急時の医療体制に満足していますか。《○1つ》

半数が病院や救急時の医療体制に満足

- ・ 病院や救急時の医療体制についての満足度については、「満足している」が8.1%、「どちらかといえば満足している」が42.6%で、これらを合わせると50.7%となり、半数の人が満足していると回答しています。一方、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると29.8%で、「わからない」と回答した人は18.8%でした。
- ・ 過去の調査と比較すると、「わからない」と回答した人の割合が令和3年以降減少傾向にあります。
- ・ 年代別では、すべての年代で満足（前述）の割合が不満（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）より高く、特に10歳代、70歳以上で満足（前述）の割合が高く、6割を超えています。一方、40～50歳代で、不満（前述）の割合が4割近くとほかの年代と比べて高くなっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区で7割近くと満足（前述）の割合が高く、永源寺地区で不満（前述）の割合が4割近くとほかの地区より高くなっています。

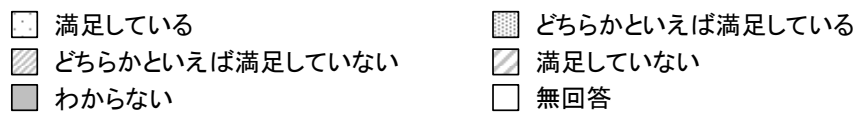


単位：％

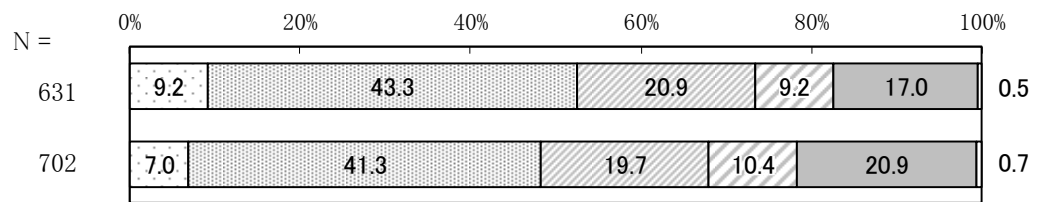
	満足*	不満*	差
①今回調査(令和6年度)	50.7	29.8	20.9
②市民意識調査(令和5年度)	53.6	24.2	29.4
③市民意識調査(令和4年度)	52.0	25.1	26.9
④市民意識調査(令和3年度)	48.8	23.3	25.5
⑤市民意識調査(令和2年度)	47.0	27.8	19.2
①－⑤	3.7	2.0	1.7

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

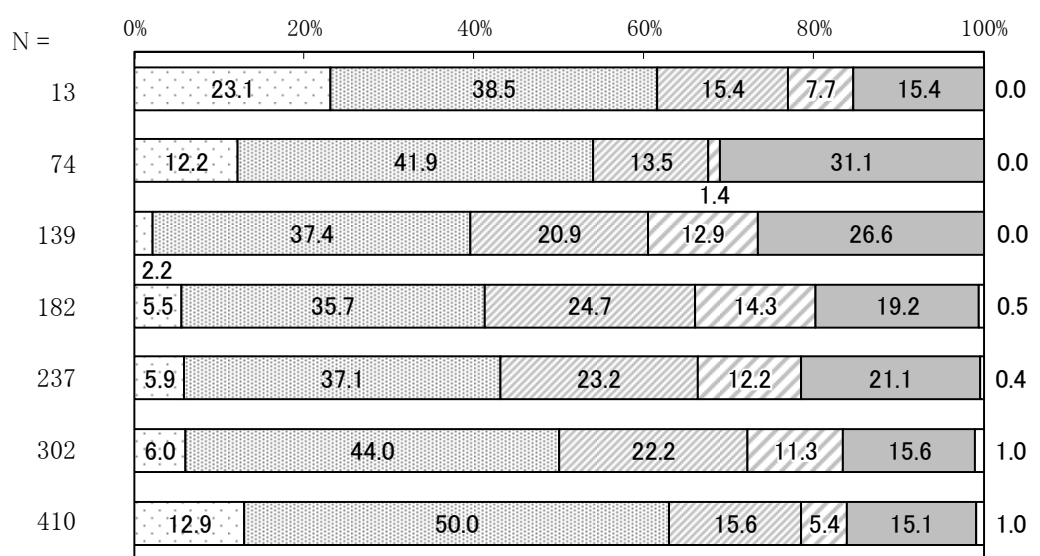
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



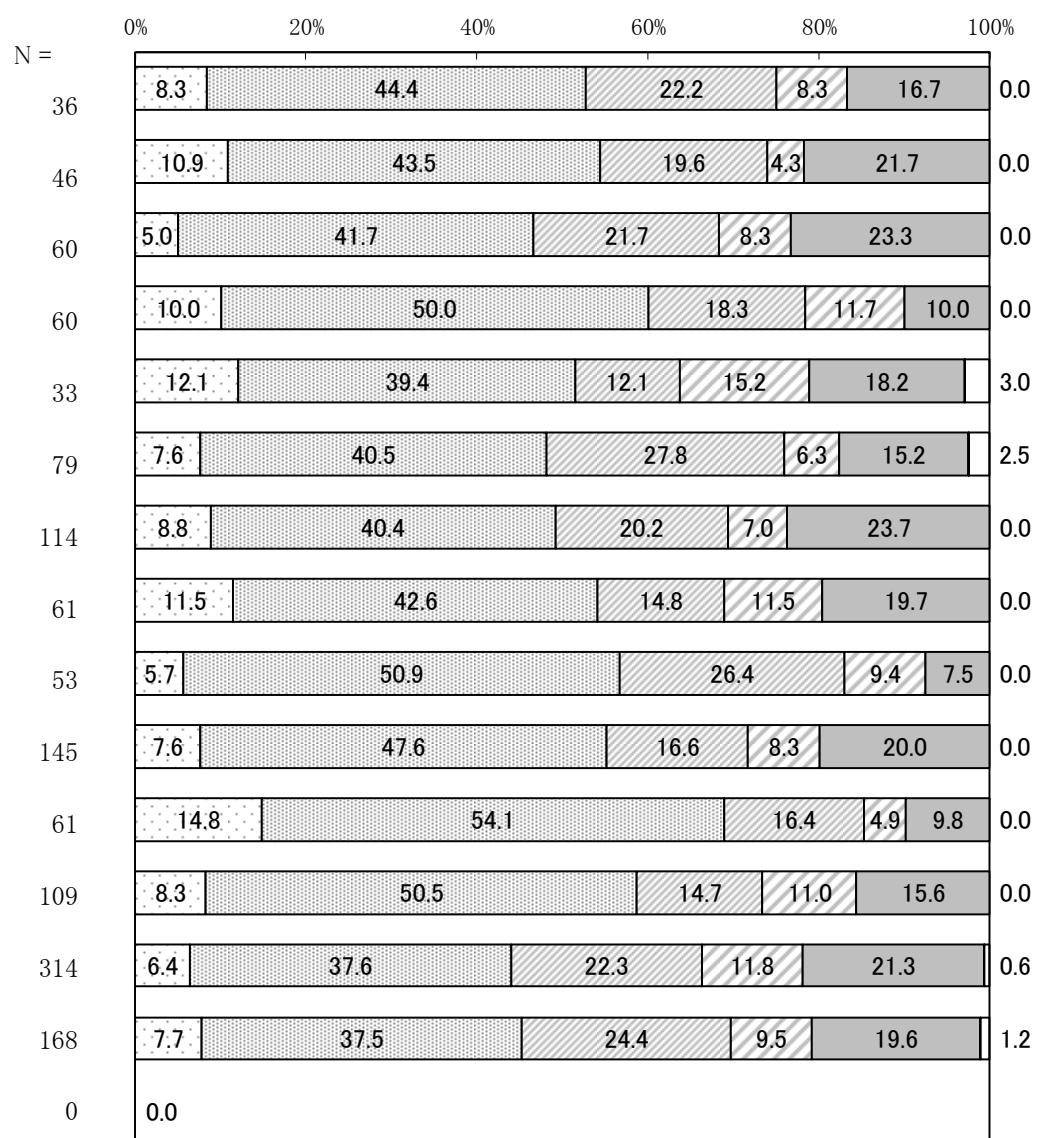
【性 別】



【年代別】



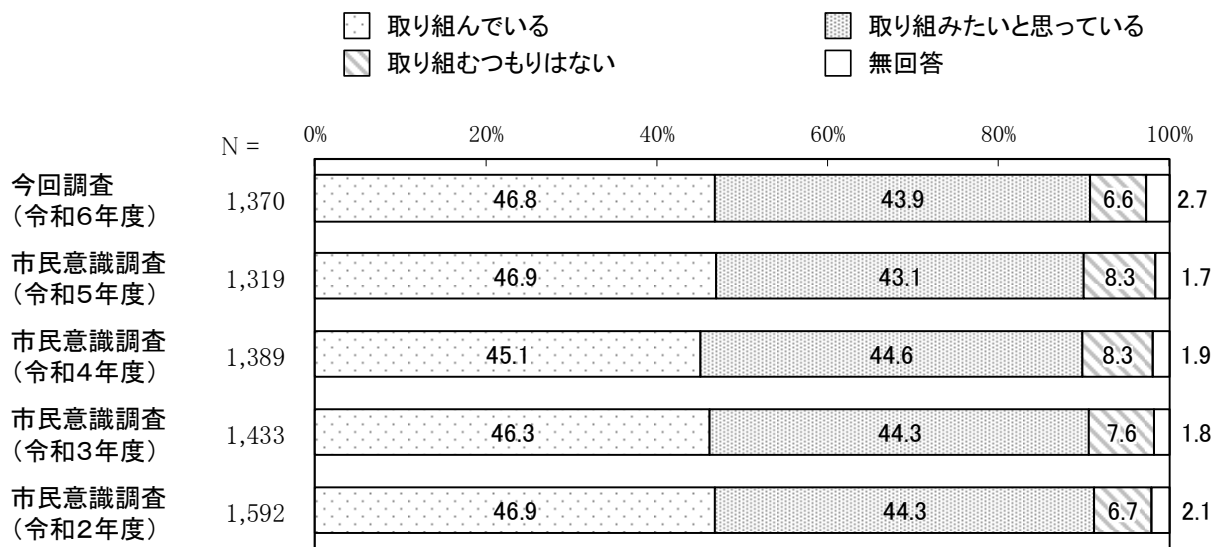
【居住地区別】



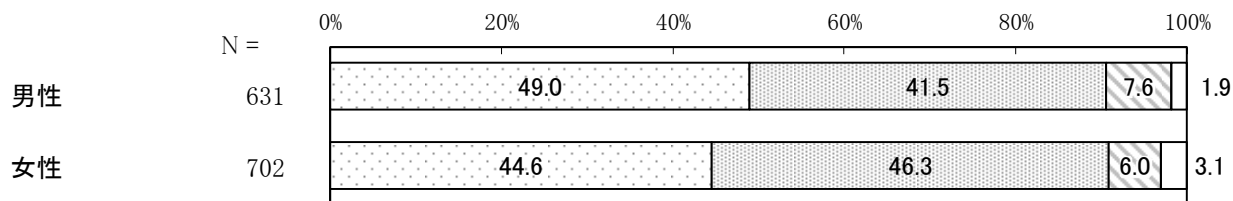
問 17 あなたは、自分の健康づくりのために何か取り組んでいますか。《○ 1 つ》

半数近くが健康づくりを実践、取り組みたいを合わせると 9 割に

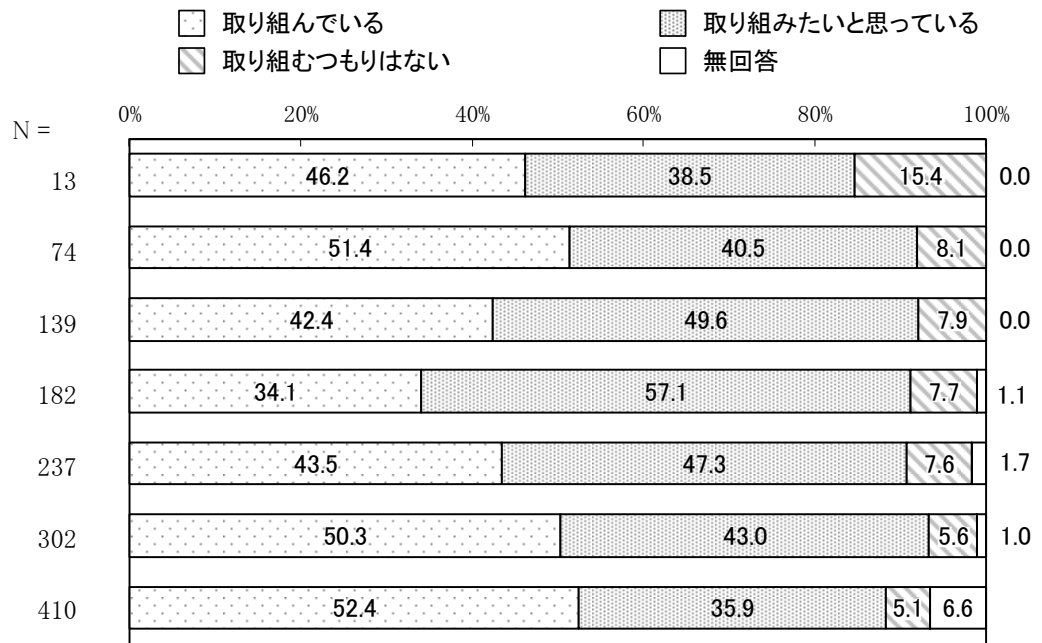
- ・ 自分の健康づくりのために何か取り組んでいるかについては、「取り組んでいる」が 46.8%と最も多く、次の「取り組みたいと思っている」の 43.9%を合わせると 90.7%となり、9 割の人が関心を持っていることが分かります。
- ・ 年代別では 20 歳代や 60 歳以上で、居住地区別では中野地区、玉緒地区で半数以上と、自分の健康づくりのために何か「取り組んでいる」人が多く見られます。



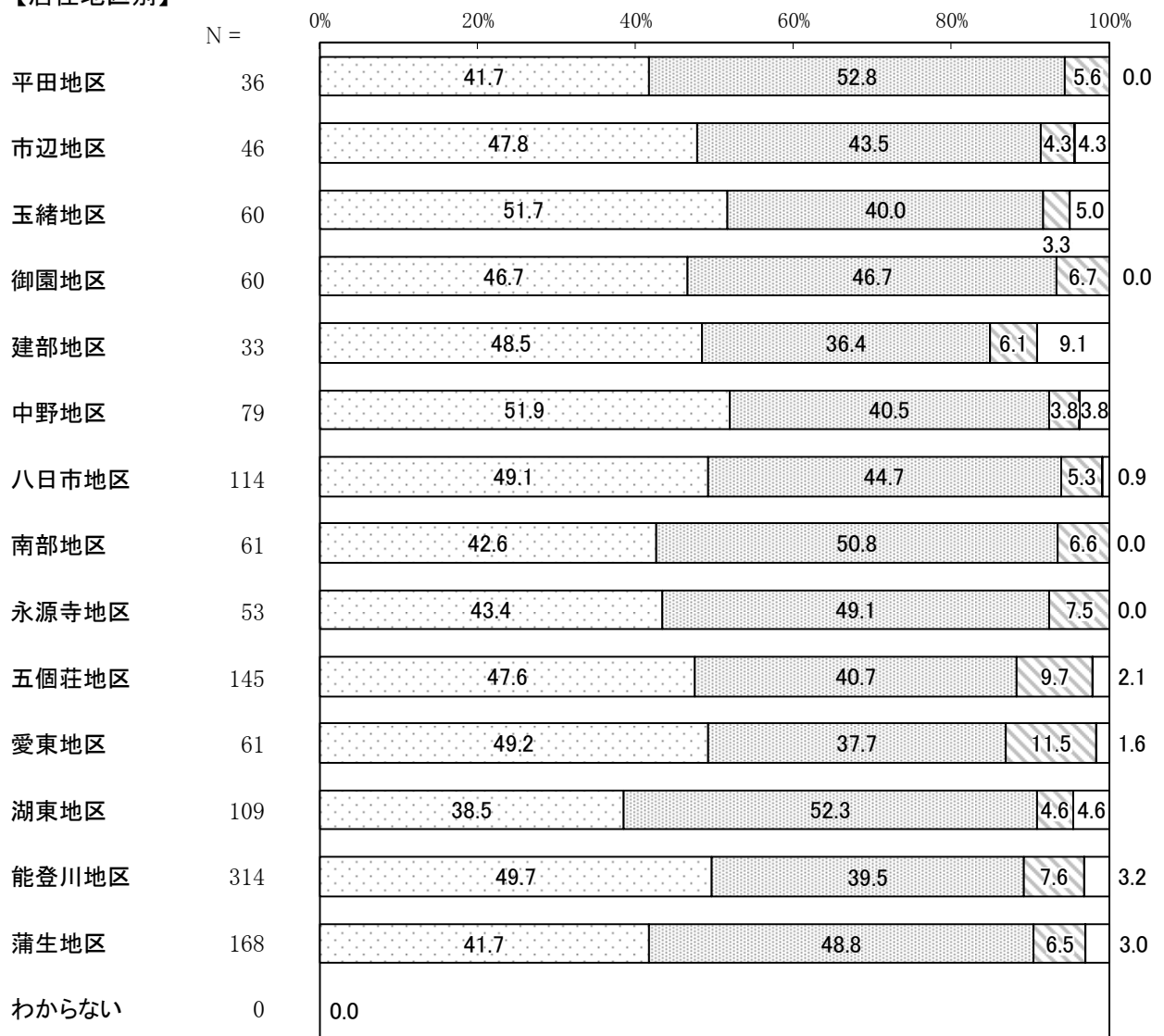
【性 別】



【年代別】



【居住地区別】

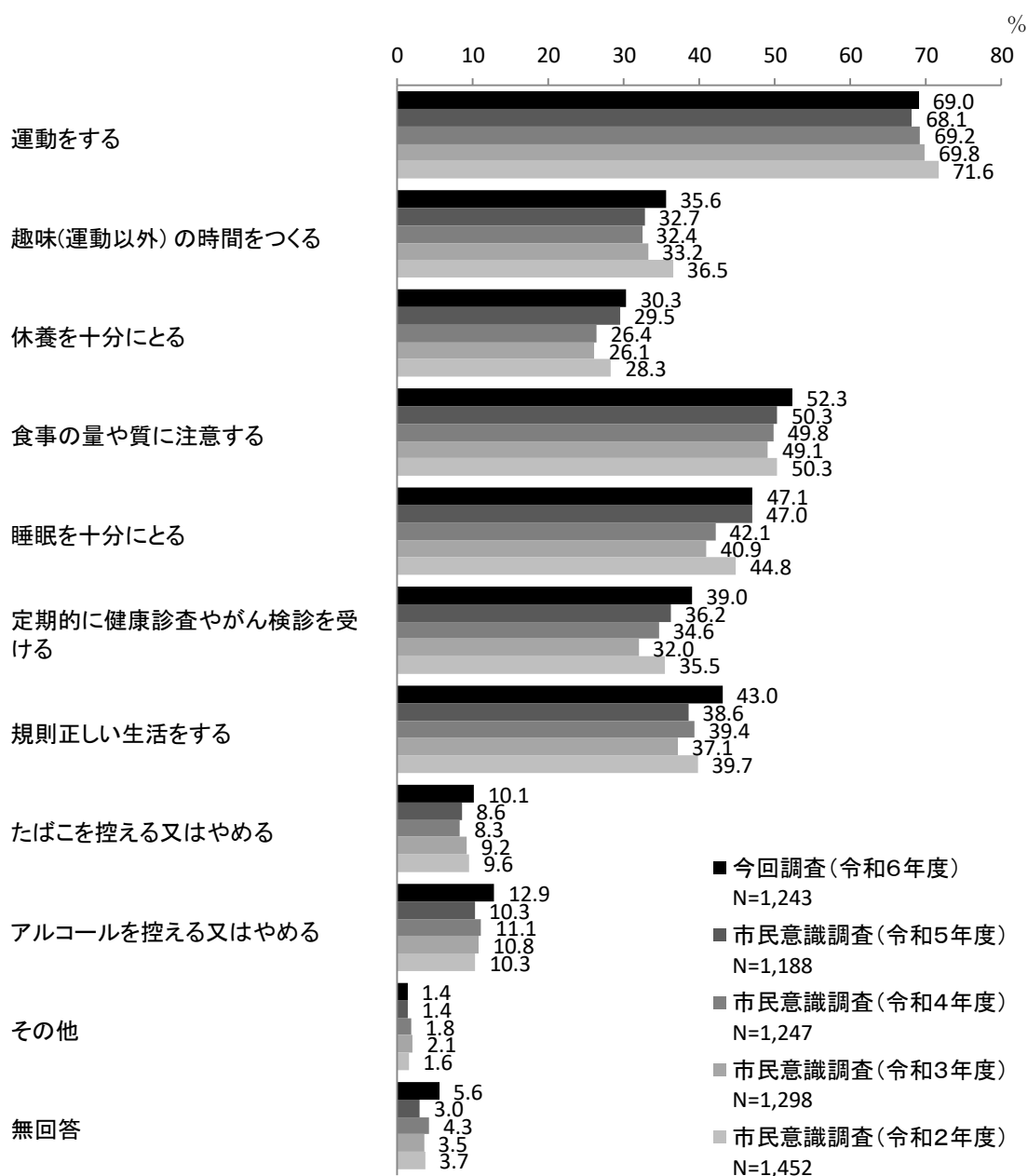


問 17-1 問 17 で「1. 取り組んでいる」「2. 取り組みたいと思っている」とお答えの方におたずねします。

具体的にどのような取組をしていますか、又は取り組みたいと思っていますか。《あてはまるものすべてに○》

「運動をする」、「食事の量や質に注意する」、「睡眠を十分にとる」が上位

- ・ 実際に取り組んでいる（取り組みたい）こととしては、「運動をする」が 69.0%と最も多く、次いで「食事の量や質に注意する」が 52.3%、「睡眠を十分にとる」が 47.1%と続きます。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、「運動をする」が最も多くなっています。
- ・ そのほか、特に男性は女性より「たばこを控える又はやめる」が、女性は男性より「規則正しい生活をする」が多くあげられています。
- ・ 年代別では、30 歳代までで「睡眠を十分にとる」、30～40 歳代で「休養を十分にとる」など、十分な睡眠や休養をあげる人がほかの年代と比べ多い一方で、「定期的に健康診査やがん検診を受ける」は特に 10～20 歳代で低くなっています。



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	運動をする	趣味（運動以外）の時間をつくる	休養を十分にとる	食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	定期的に健康診査やがん検診を受ける	規則正しい生活をする	たばこを控える又はやめる	アルコールを控える又はやめる	その他	無回答
男性	571	68.3	34.7	29.9	49.2	45.0	35.2	36.4	16.3	17.9	1.2	6.1
女性	638	69.9	36.7	31.2	55.6	49.2	42.9	49.2	4.9	8.2	1.4	4.9

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	運動をする	趣味（運動以外）の時間をつくる	休養を十分にとる	食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	定期的に健康診査やがん検診を受ける	規則正しい生活をする	たばこを控える又はやめる	アルコールを控える又はやめる	その他	無回答
10歳代	11	81.8	45.5	36.4	54.5	63.6	18.2	54.5	18.2	9.1	9.1	0.0
20歳代	68	67.6	42.6	32.4	45.6	55.9	10.3	35.3	7.4	7.4	0.0	4.4
30歳代	128	82.8	37.5	40.6	54.7	61.7	28.1	42.2	13.3	18.0	0.0	3.1
40歳代	166	74.1	38.0	39.8	50.6	53.0	42.2	44.0	9.0	15.7	0.0	3.6
50歳代	215	64.7	32.1	28.8	56.3	50.7	37.7	36.3	9.3	8.4	1.4	6.5
60歳代	282	63.8	32.6	29.8	52.8	40.1	41.1	44.0	7.8	12.4	0.7	8.9
70歳以上	362	68.2	35.9	23.5	50.3	40.6	46.4	47.2	12.4	13.8	2.8	4.7

【居住地区別】

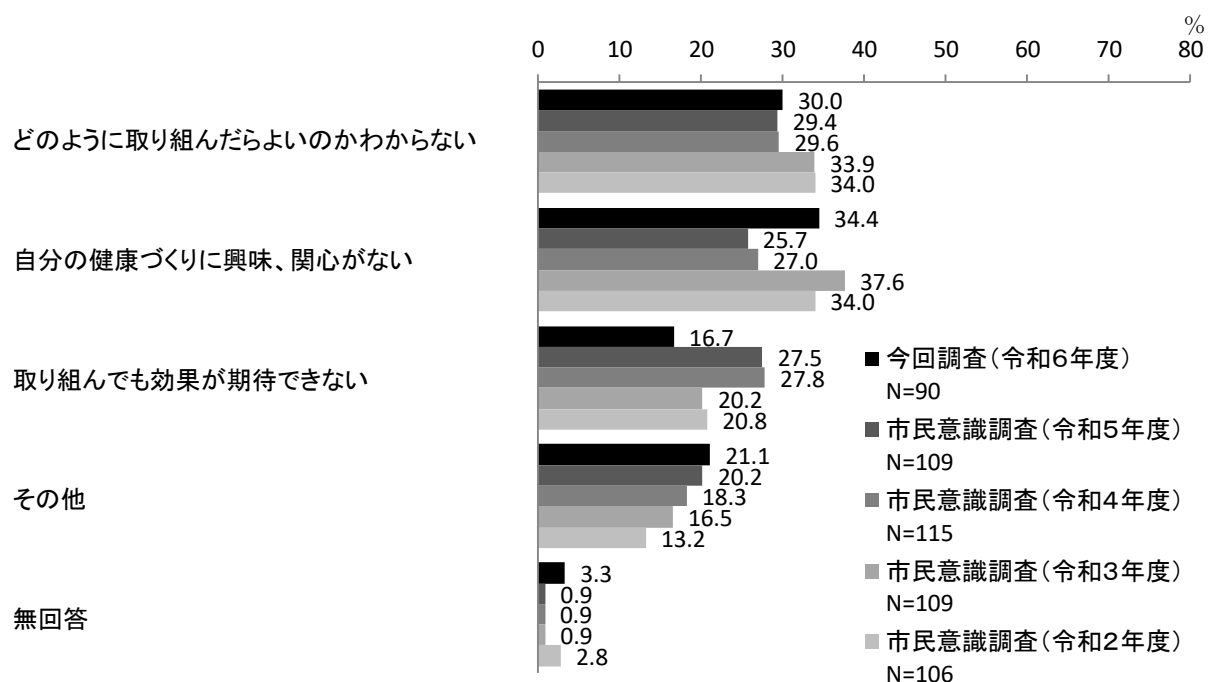
単位: %

区 分	有効回答数（件）	運動をする	趣味（運動以外）の時間をつくる	休養を十分にとる	食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	定期的に健康診査やがん検診を受ける	規則正しい生活をする	たばこを控える又はやめる	アルコールを控える又はやめる	その他	無回答
平田地区	34	64.7	32.4	14.7	58.8	38.2	44.1	41.2	5.9	5.9	2.9	8.8
市辺地区	42	71.4	33.3	26.2	54.8	69.0	47.6	50.0	14.3	16.7	7.1	2.4
玉緒地区	55	65.5	32.7	25.5	43.6	36.4	43.6	29.1	14.5	18.2	1.8	5.5
御園地区	56	64.3	35.7	32.1	44.6	57.1	35.7	37.5	10.7	12.5	1.8	3.6
建部地区	28	75.0	25.0	14.3	35.7	35.7	46.4	53.6	10.7	14.3	0.0	3.6
中野地区	73	80.8	42.5	21.9	54.8	39.7	45.2	38.4	5.5	11.0	0.0	2.7
八日市地区	107	68.2	29.9	34.6	55.1	50.5	29.0	37.4	8.4	11.2	0.0	7.5
南部地区	57	75.4	38.6	40.4	47.4	56.1	35.1	54.4	15.8	12.3	0.0	3.5
永源寺地区	49	59.2	26.5	30.6	55.1	44.9	46.9	40.8	10.2	18.4	2.0	4.1
五個荘地区	128	69.5	42.2	26.6	51.6	43.0	38.3	48.4	10.2	14.1	0.8	4.7
愛東地区	53	64.2	37.7	34.0	47.2	50.9	43.4	54.7	9.4	13.2	0.0	1.9
湖東地区	99	71.7	32.3	31.3	41.4	46.5	31.3	42.4	8.1	12.1	3.0	10.1
能登川地区	280	68.6	38.9	35.0	56.8	48.2	36.8	42.5	10.4	13.9	0.7	4.3
蒲生地区	152	68.4	32.9	30.3	56.6	42.8	45.4	43.4	10.5	9.2	2.0	7.9
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 17-2 問 17 で「3. 取り組むつもりはない」とお答えの方におたずねします。
その理由はどのようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

取り組むつもりがない理由は、「どのように取り組んだらよいかわからない」、「取り組んでも効果が期待できない」が上位

- ・ 自分の健康づくりに取り組むつもりはない人の理由としては、「自分の健康づくりに興味、関心がない」が 34.4%と最も多く、次いで「どのように取り組んだらよいかわからない」が 30.0%、「その他」が 21.1%、「取り組んでも効果が期待できない」が 16.7%となっています。
- ・ 性別では、男性は「自分の健康づくりに興味、関心がない」が、女性は「どのように取り組んだらよいかわからない」と「その他」が同率で最も多くなっています。



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数(件)	どのように取り組んだらよいかわからない	自分の健康づくりに興味、関心がない	取り組んでも効果が期待できない	その他	無回答
男性	48	31.3	45.8	16.7	14.6	0.0
女性	42	28.6	21.4	16.7	28.6	7.1

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	ら ど の よ う の か に わ か り 組 ん だ	味、 自 分 の 健 康 づ く り に 興 関 心 が な い	待 取 り で き 組 ん だ も 効 果 が 期	そ の 他	無 回 答
10歳代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	6	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7
30歳代	11	27.3	45.5	9.1	18.2	9.1
40歳代	14	42.9	42.9	28.6	0.0	0.0
50歳代	18	33.3	38.9	5.6	27.8	0.0
60歳代	17	29.4	17.6	35.3	17.6	0.0
70歳以上	21	14.3	33.3	9.5	42.9	4.8

【居住地区別】

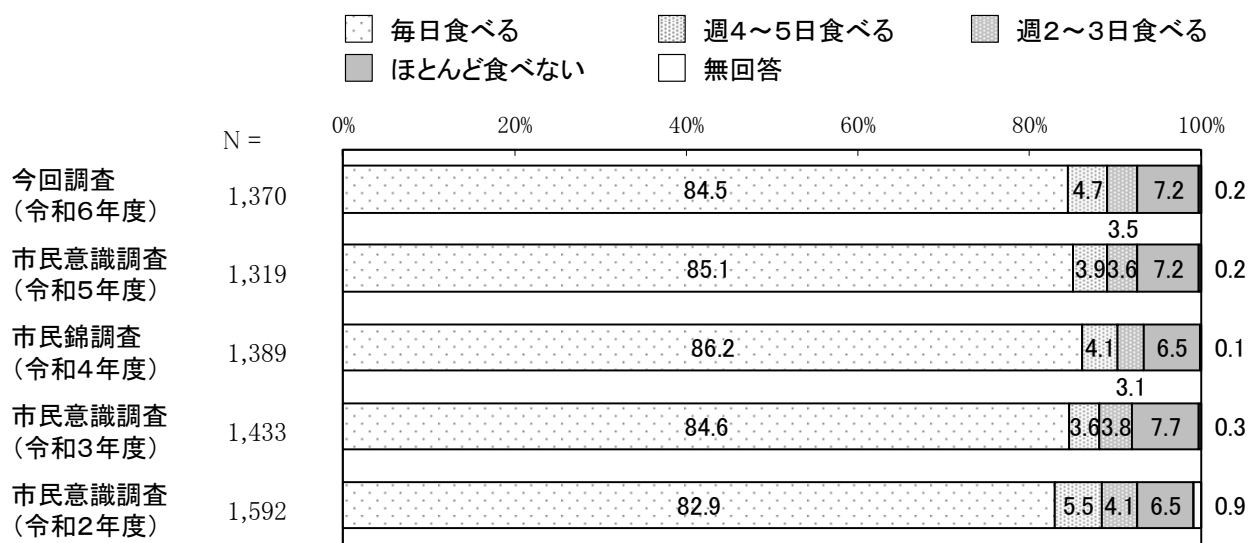
単位: %

区 分	有効回答数（件）	ら ど の よ う の か に わ か り 組 ん だ	味、 自 分 の 健 康 づ く り に 興 関 心 が な い	待 取 り で き 組 ん だ も 効 果 が 期	そ の 他	無 回 答
平田地区	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
市辺地区	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
玉緒地区	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
御園地区	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
建部地区	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
中野地区	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
八日市地区	6	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
南部地区	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
永源寺地区	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
五個荘地区	14	7.1	35.7	35.7	28.6	0.0
愛東地区	7	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0
湖東地区	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
能登川地区	24	37.5	37.5	20.8	16.7	4.2
蒲生地区	11	18.2	27.3	9.1	45.5	0.0
わからない	0	-	-	-	-	-

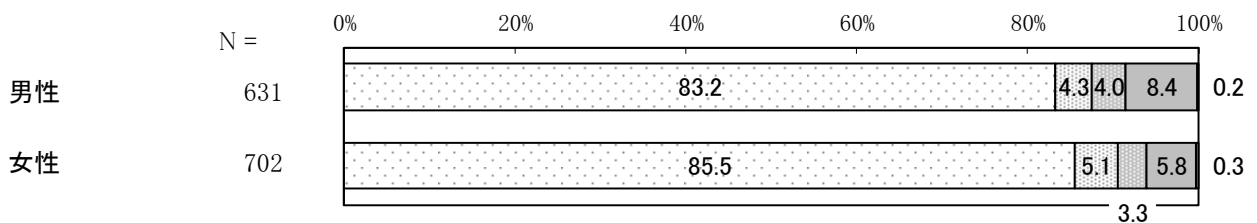
問 18 あなたは、朝食を食べていますか。《○1つ》

8割が朝食は「毎日食べる」

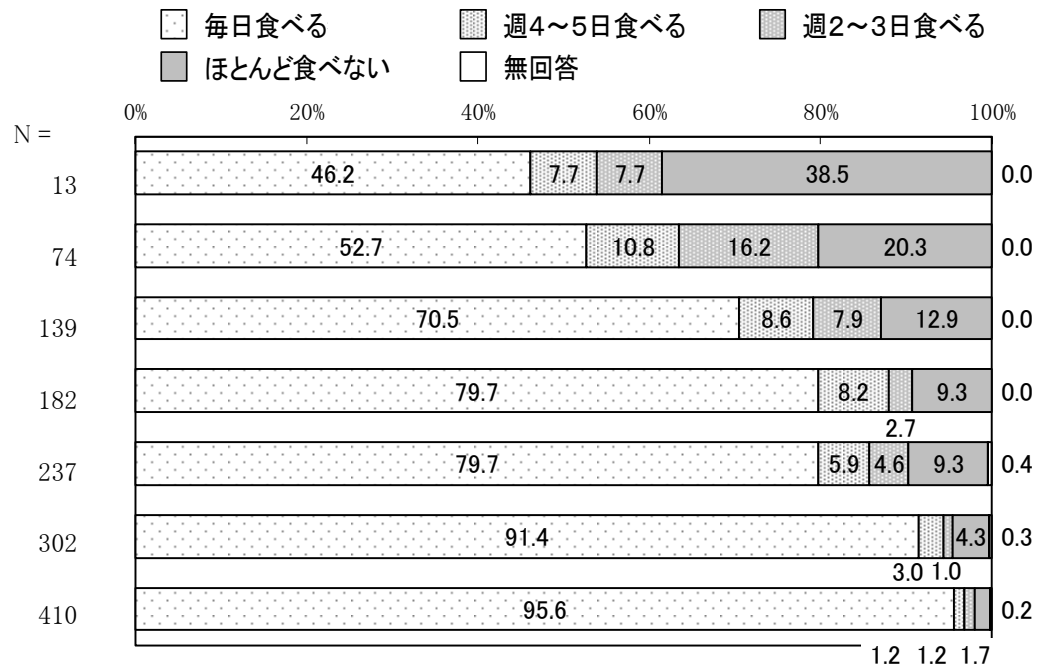
- ・ 朝食を食べているかについては、「毎日食べる」と回答した人が 84.5%と、8割となっています。次いで、「ほとんど食べない」が 7.2%、「週4～5日食べる」が 4.7%、「週2～3日食べる」が 3.5%と続きます。
- ・ 性別では女性が9割近く、年代別では60歳以上で、居住地区別では市辺地区で、9割以上の人朝食を毎日食べています。
- ・ そのほか年代別では、年齢が上がるほど「毎日食べる」人の割合が増加する傾向が見られ、「ほとんど食べない」人の割合は、10歳代で4割近く、20歳代で2割と、年齢が若いほど多く見られます。



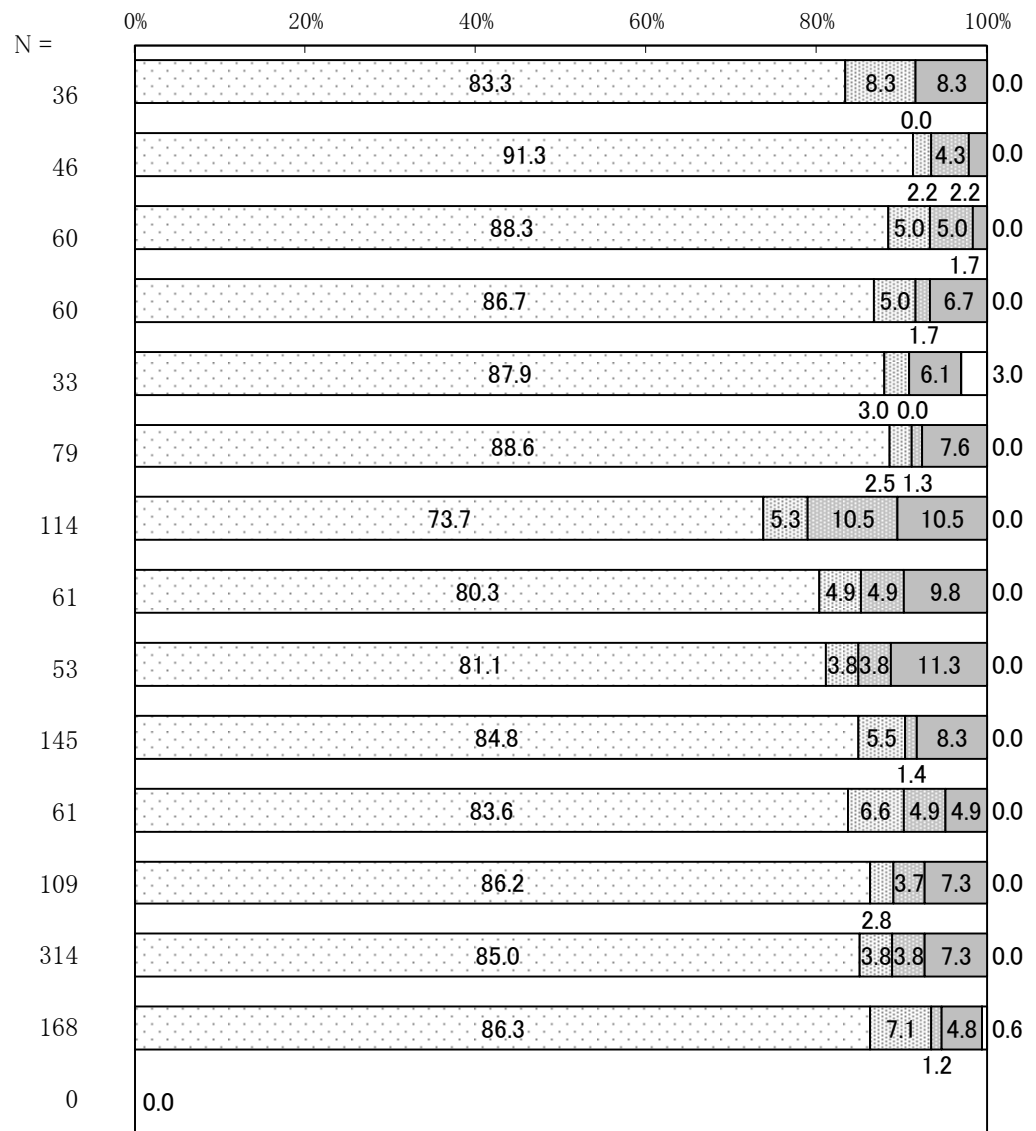
【性 別】



【年代別】



【居住地区別】

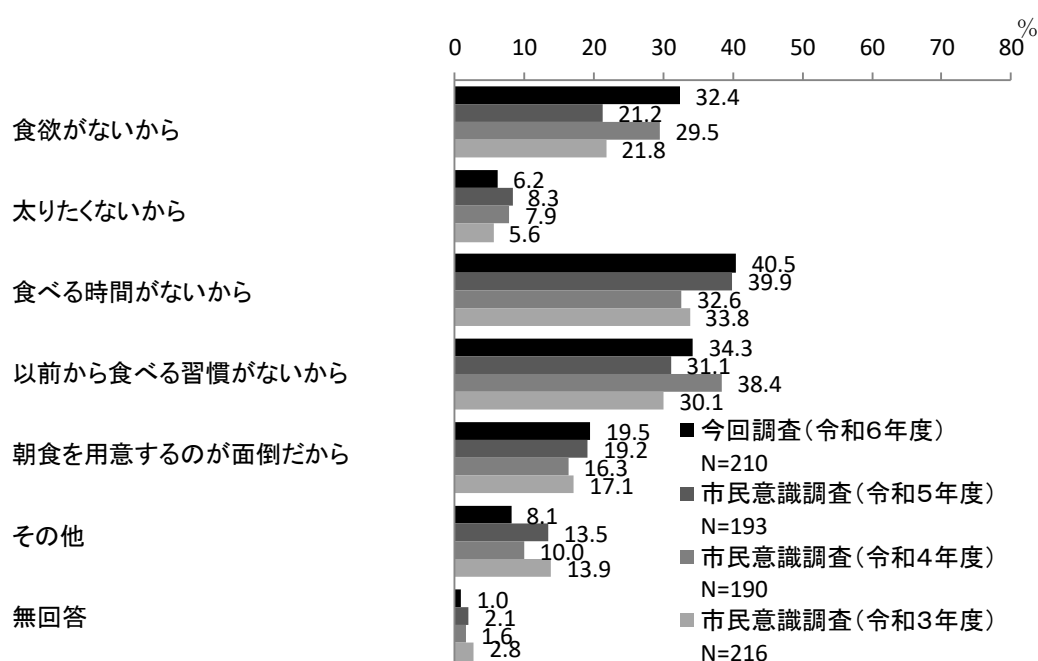


問 18-1 問 18 で「2. 週 4～5 日食べる」「3. 週 2～3 日食べる」「4. ほとんど食べない」とお答えの方におたずねします。

食べない日がある理由はどのようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

朝食を食べない理由は、食べる時間がない、習慣がないなど

- ・ 朝食を食べない日がある方にその理由を聞いたところ、「食べる時間がないから」が 40.5%と最も多く、次いで「以前から食べる習慣がないから」が 34.3%、「食欲がないから」が 32.4%と続きます。
- ・ 性別では、男性は「以前から食べる習慣がないから」、女性は「食べる時間がないから」が最も多くあげられています。
- ・ 年代別では、有効回答数が少ないため単純比較はできませんが、40 歳代までは「食べる時間がないから」、50～60 歳代は「以前から食べる習慣がないから」、70 歳以上は「食欲がないから」が最も多くなっています。



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	食欲がないから	太りたくないから	食べる時間がないから	以前から食べる習慣がないから	朝食を用意するのが面倒だから	その他	無回答
男性	105	32.4	4.8	36.2	41.0	23.8	4.8	1.0
女性	100	32.0	7.0	46.0	28.0	16.0	12.0	1.0

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	食欲がないから	太りたくないから	食べる時間がないから	以前から食べる習慣がないから	朝食を用意するのが面倒だから	その他	無回答
10歳代	7	28.6	0.0	71.4	14.3	28.6	14.3	14.3
20歳代	35	31.4	5.7	71.4	22.9	28.6	8.6	0.0
30歳代	41	31.7	2.4	48.8	29.3	31.7	9.8	0.0
40歳代	37	35.1	8.1	43.2	32.4	16.2	8.1	0.0
50歳代	47	34.0	4.3	23.4	44.7	8.5	8.5	2.1
60歳代	25	28.0	12.0	28.0	48.0	12.0	4.0	0.0
70歳以上	17	35.3	11.8	5.9	29.4	17.6	5.9	0.0

【居住地区別】

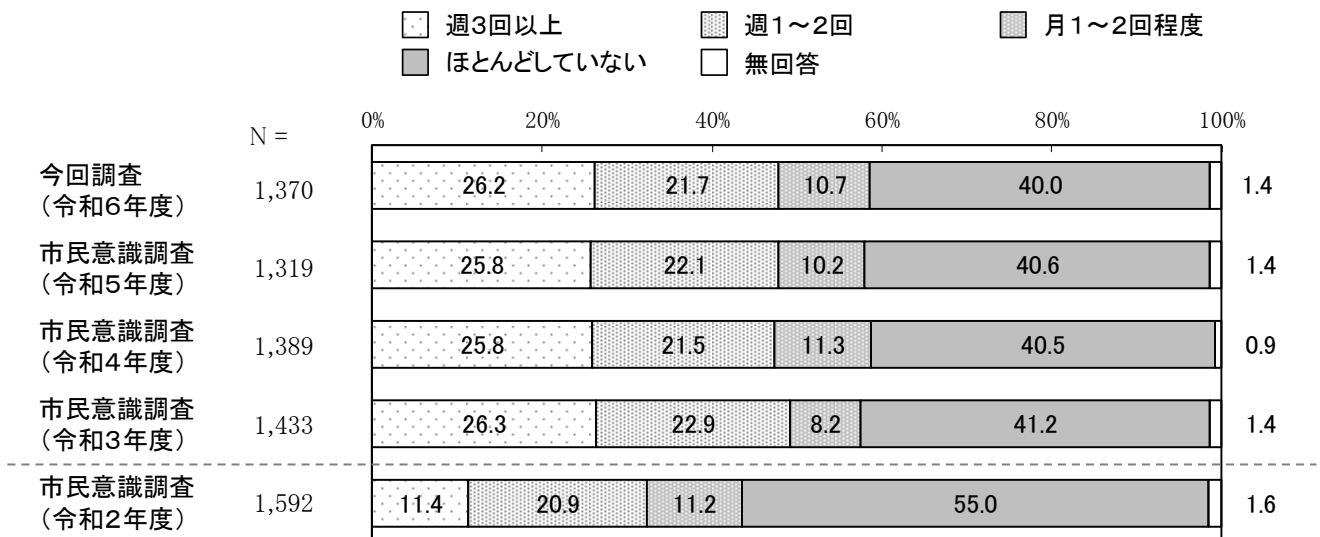
単位: %

区 分	有効回答数 (件)	食欲がないから	太りたくないから	食べる時間がないから	以前から食べる習慣がないから	朝食を用意するのが面倒だから	その他	無回答
平田地区	6	33.3	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0
市辺地区	4	75.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
玉緒地区	7	28.6	14.3	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
御園地区	8	37.5	0.0	75.0	25.0	12.5	0.0	0.0
建部地区	3	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
中野地区	9	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	11.1
八日市地区	30	16.7	6.7	43.3	36.7	30.0	6.7	0.0
南部地区	12	66.7	8.3	25.0	41.7	8.3	0.0	0.0
永源寺地区	10	10.0	0.0	20.0	50.0	20.0	10.0	0.0
五個荘地区	22	22.7	9.1	40.9	36.4	27.3	4.5	0.0
愛東地区	10	30.0	0.0	40.0	30.0	0.0	10.0	0.0
湖東地区	15	26.7	20.0	40.0	33.3	26.7	0.0	0.0
能登川地区	47	36.2	0.0	29.8	38.3	21.3	21.3	2.1
蒲生地区	22	40.9	13.6	54.5	31.8	13.6	4.5	0.0
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-

問 19 あなたは、スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っていますか（運動には、散歩やラジオ体操といった簡単に体を動かすものも含まれます。）。《○1つ》

週1回以上運動している人は半数近く

- ・ スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っているかについては、「ほとんどしていない」が40.0%と最も多く、4割を占めています。次いで、「週3回以上」が26.2%、「週1～2回」が21.7%と続き、週1回以上運動をしている人は47.9%と半数近くとなっています。
- ・ 週1回以上運動をしている人の割合は、年代別では10歳代で7割近く、70歳以上で6割近く、居住地区別では能登川地区、中野地区、玉緒地区、五個荘地区、南部地区、湖東地区で半数以上と高くなっています。
- ・ 一方、スポーツやレクリエーション等の運動をほとんどしていない人は、年代別では40歳代で、居住地区別では愛東地区、平田地区で、半数以上となっています。



※令和2年度までは、設問の括弧書き(運動の定義)なし。

単位：％

	週1回以上 運動をしている*	ほとんど していない
①今回調査(令和6年度)	47.9	40.0
②市民意識調査(令和5年度)	47.9	40.6
③市民意識調査(令和4年度)	47.3	40.5
④市民意識調査(令和3年度)	49.2	41.2
⑤市民意識調査(令和2年度)	32.3	55.0
①－⑤	15.6	-14.4

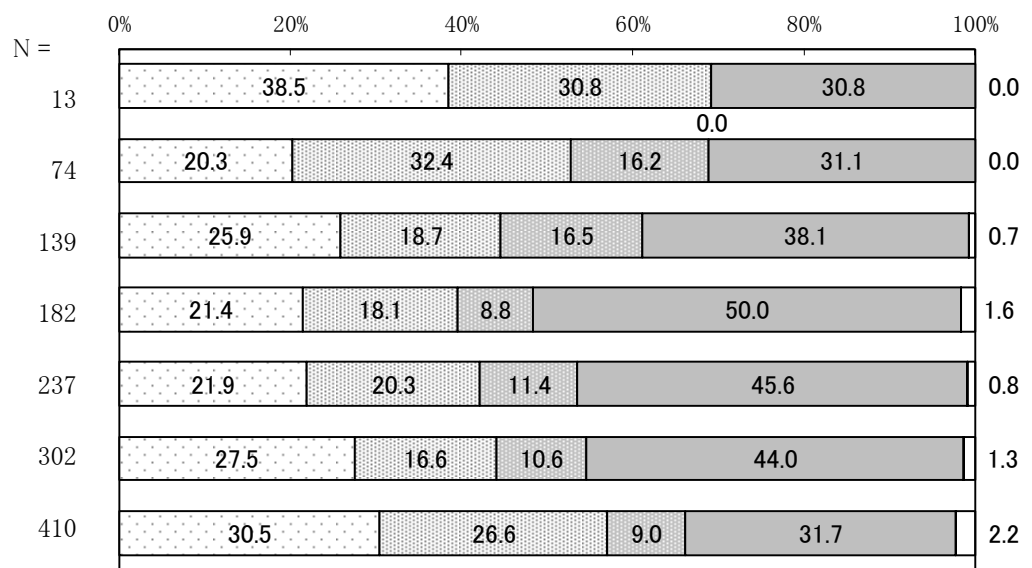
* 週1回以上運動をしている:「週3回以上」と「週1～2回」の合計

週3回以上
 週1～2回
 月1～2回程度
 ほとんどしていない
 無回答

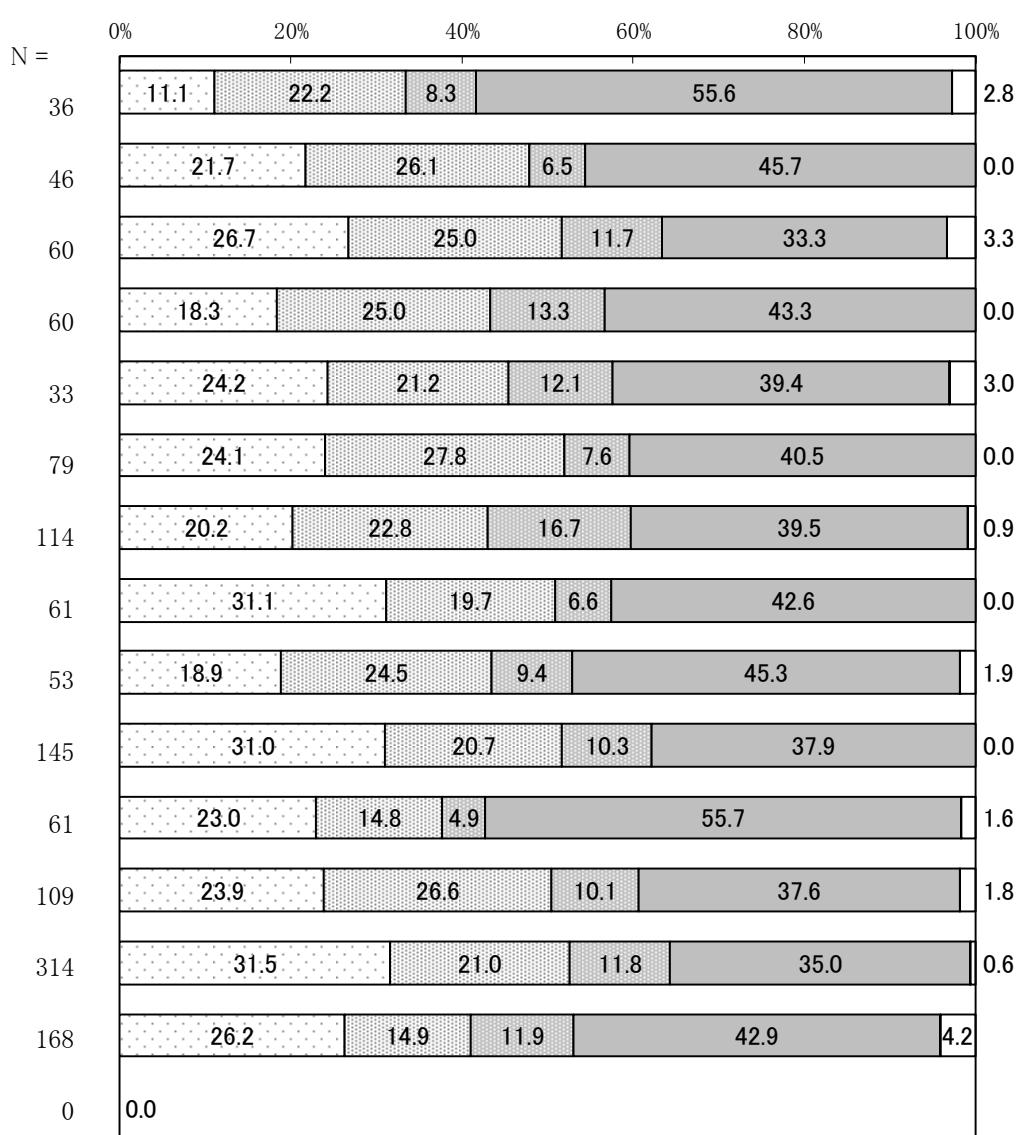
【性 別】



【年代別】



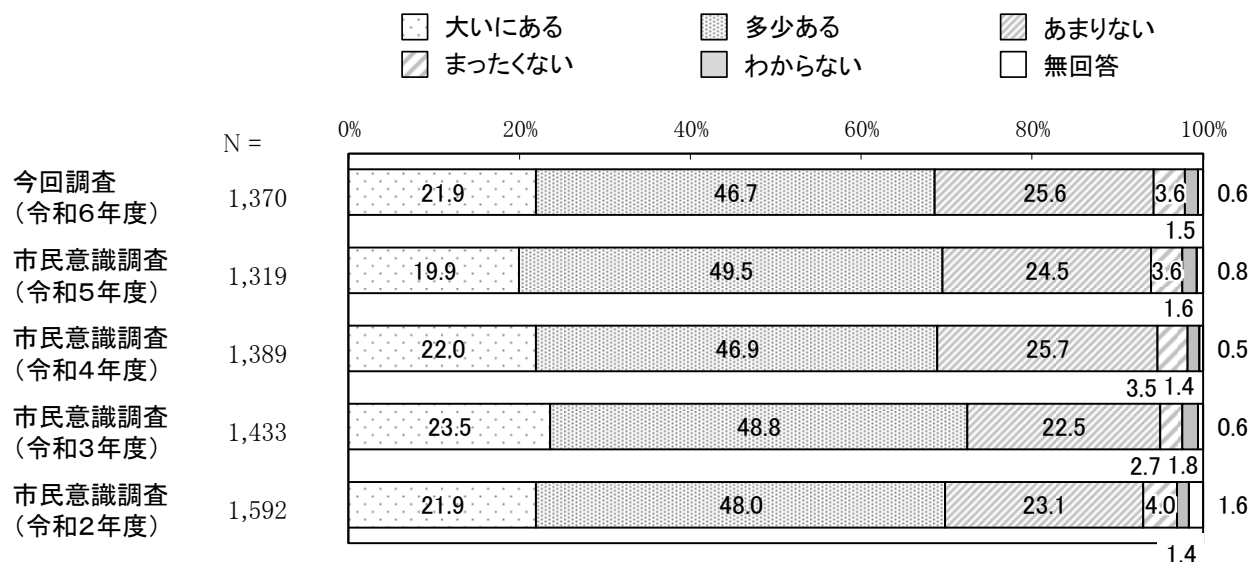
【居住地区別】



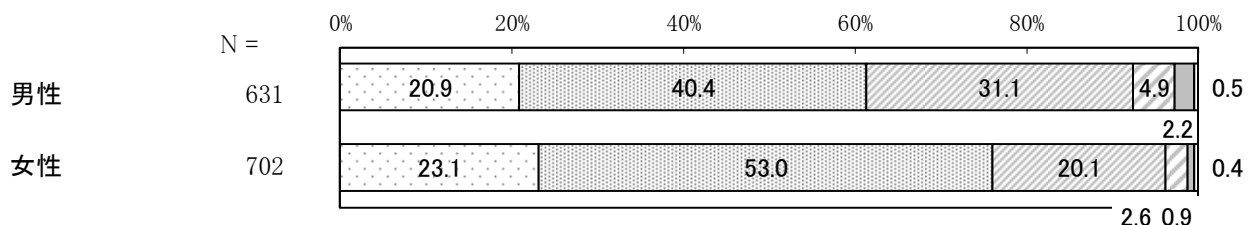
問 20 あなたはこの1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じましたか。《○1つ》

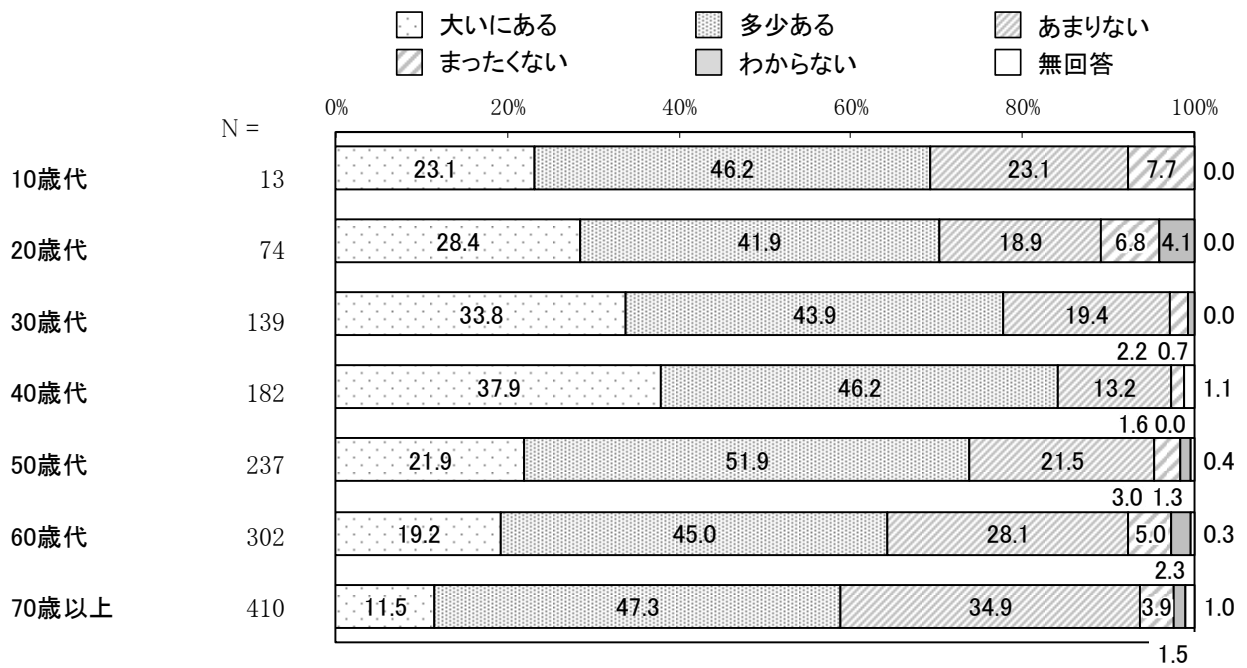
7割近くが不安、悩み、ストレスを感じている

- ・ この1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じたかどうかについては、「大いにある」が21.9%、「多少ある」が46.7%で、合わせて68.6%と7割近くの人が不安、悩み、ストレスを感じたと回答しています。一方、「あまりない」と「まったくない」を合わせると29.2%で、3割近くの人が感じていないと回答しています。
- ・ 性別では、女性は8割近くが不安、悩み、ストレスを感じている（「大いにある」と「多少ある」の合計）と回答しており、男性よりも割合が高くなっています。
- ・ 年代別では、30～40歳代で不安、悩み、ストレスを感じている人（前述）が8割前後いるのに対し、70歳以上で4割近くが感じていない（「あまりない」と「まったくない」の合計）と回答しています。
- ・ 居住地区別では、多くの地区で7割から8割前後が不安、悩み、ストレスを感じている（前述）のに対し、南部地区で半数が感じていない（前述）と回答しています。

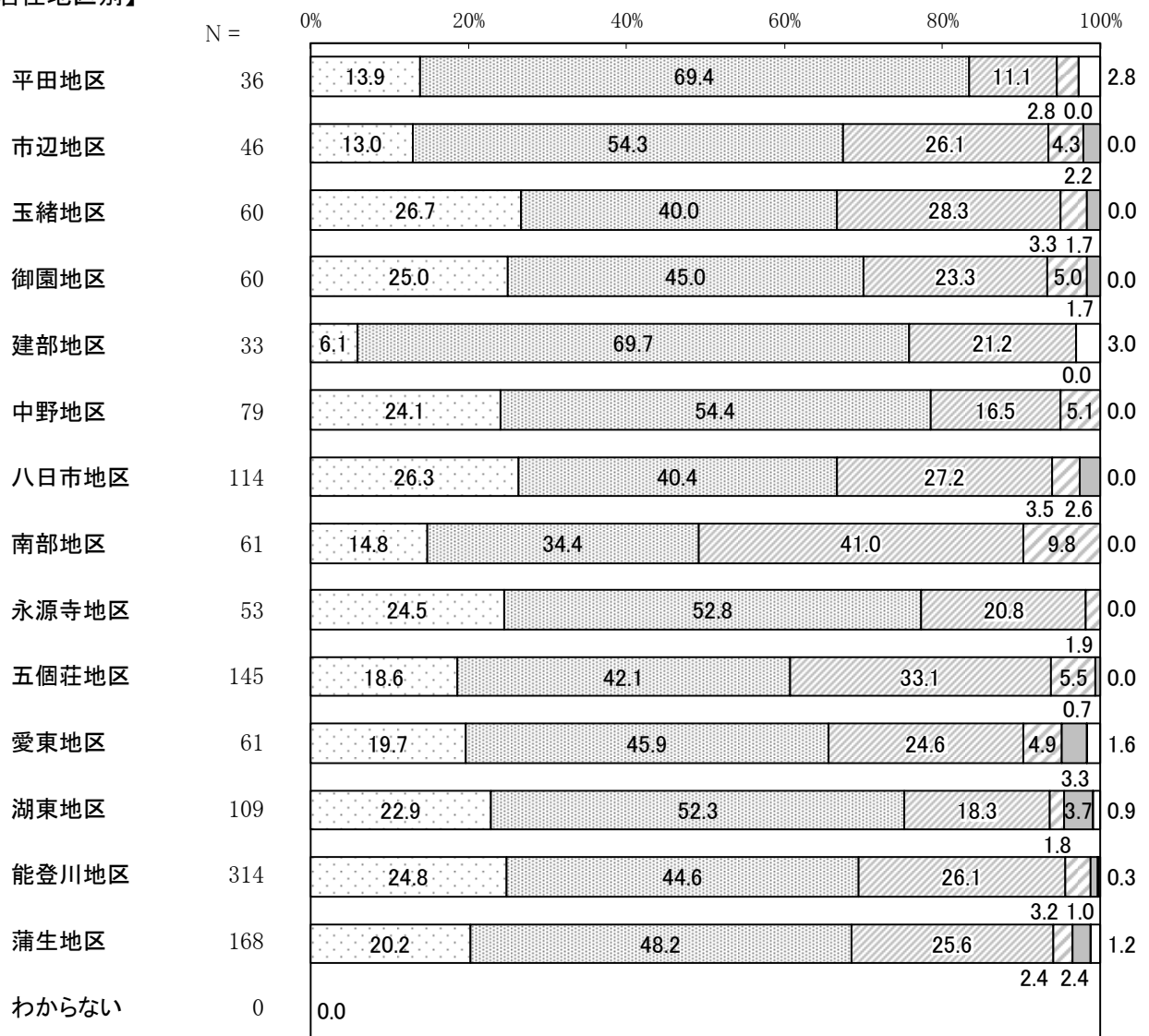


【性別】





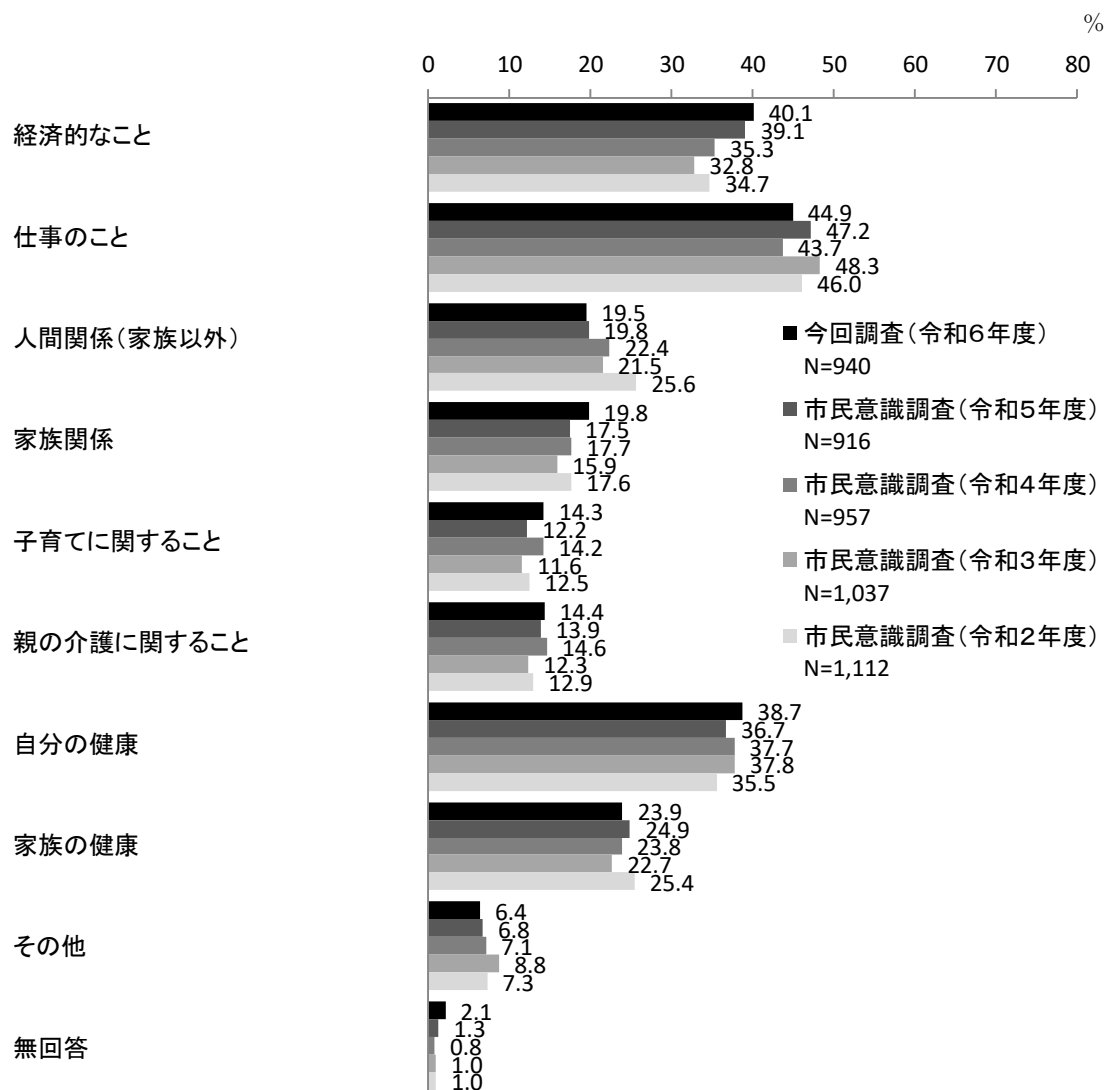
【居住地区別】



問 20-1 問 20 で「1. 大いにある」「2. 多少ある」とお答えの方におたずねします。
あなたの不安、悩み、ストレスの原因は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

4 割が「仕事のこと」や「経済的なこと」

- 不安、悩み、ストレスの原因としては、「仕事のこと」が 44.9%と最も多く、次いで「経済的なこと」が 40.1%、「自分の健康」が 38.7%と続きます。
- 過去の調査と比較すると、令和 4 年度以降「経済的なこと」と回答した人の割合は年々増加しています。
- 性別では、男性は「仕事のこと」、女性は「経済的なこと」が最も多くなっています。また、女性は、「子育てに関すること」や「家族の健康」についても原因としてあげる人が男性よりも多く見られます。
- 年代別では、10 歳代は「その他」、20～50 歳代までは「仕事のこと」、60 歳以上は「自分の健康」が最も多くあげられています。そのほか、特に 20～50 歳代で「経済的なこと」が、20～40 歳代で「子育てに関すること」が、50～60 歳代で「親の介護に関すること」、70 歳以上で「家族の健康」がほかの年代より多くあげられており、それぞれのライフステージに応じた要因があることがうかがえます。
- 居住地区別では、建部地区は「経済的なこと」が、平田地区、御園地区、湖東地区は「自分の健康」が、そのほかの地区は「仕事のこと」が最も多くあげられています。



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	経済的なこと	仕事のこと	人間関係（家族以外）	家族関係	子育てに関すること	親の介護に関すること	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
男性	387	40.6	53.5	17.6	19.1	9.3	15.2	38.5	19.9	6.5	2.6
女性	534	40.3	39.1	20.4	20.4	18.4	14.0	38.4	26.6	6.0	1.9

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	経済的なこと	仕事のこと	人間関係（家族以外）	家族関係	子育てに関すること	親の介護に関すること	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
10歳代	9	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	55.6	0.0
20歳代	52	46.2	65.4	21.2	17.3	28.8	3.8	15.4	13.5	9.6	0.0
30歳代	108	44.4	67.6	25.9	19.4	39.8	5.6	26.9	16.7	7.4	0.0
40歳代	153	48.4	75.2	21.6	23.5	30.7	12.4	24.8	18.3	3.3	0.7
50歳代	175	41.7	53.7	17.7	17.7	10.3	26.3	30.3	22.3	5.7	2.3
60歳代	194	35.6	36.1	18.6	22.7	3.6	26.3	40.7	22.7	4.6	3.1
70歳以上	241	34.0	13.7	16.6	17.4	1.2	3.3	61.8	35.3	7.1	3.7

【居住地区別】

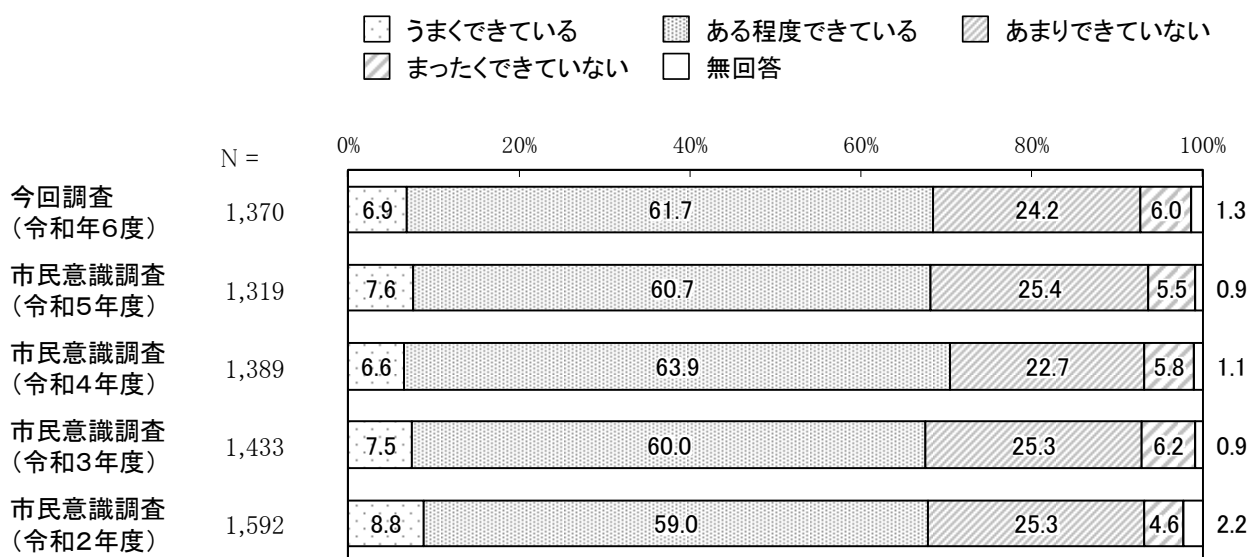
単位: %

区 分	有効回答数（件）	経済的なこと	仕事のこと	人間関係（家族以外）	家族関係	子育てに関すること	親の介護に関すること	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
平田地区	30	36.7	33.3	23.3	16.7	13.3	23.3	56.7	30.0	0.0	0.0
市辺地区	31	32.3	45.2	16.1	16.1	12.9	25.8	35.5	32.3	0.0	3.2
玉緒地区	40	37.5	47.5	17.5	12.5	10.0	5.0	35.0	37.5	5.0	5.0
御園地区	42	35.7	33.3	16.7	16.7	9.5	14.3	47.6	26.2	9.5	2.4
建部地区	25	44.0	40.0	16.0	20.0	24.0	16.0	40.0	24.0	4.0	8.0
中野地区	62	38.7	45.2	25.8	25.8	14.5	21.0	35.5	29.0	9.7	1.6
八日市地区	76	48.7	57.9	21.1	14.5	11.8	9.2	32.9	17.1	6.6	5.3
南部地区	30	46.7	50.0	10.0	13.3	16.7	13.3	43.3	33.3	0.0	3.3
永源寺地区	41	39.0	48.8	17.1	17.1	7.3	19.5	39.0	22.0	2.4	0.0
五個荘地区	88	38.6	44.3	13.6	22.7	12.5	9.1	34.1	17.0	8.0	3.4
愛東地区	40	32.5	55.0	15.0	25.0	15.0	7.5	25.0	12.5	7.5	0.0
湖東地区	82	34.1	32.9	14.6	15.9	13.4	17.1	45.1	23.2	2.4	4.9
能登川地区	218	40.8	44.0	22.9	23.4	17.9	13.3	39.4	25.7	9.6	0.0
蒲生地区	115	42.6	47.8	21.7	20.0	13.9	17.4	39.1	21.7	5.2	0.9
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

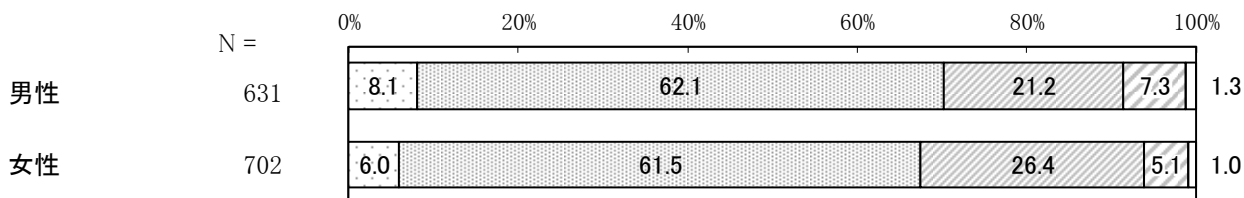
問 21 あなたの不安や悩み、ストレスは解消できていますか。《○ 1 つ》

7 割近くが、不安や悩み、ストレスの解消はできている

- ・ 不安や悩み、ストレスが解消できているかどうかについては、「うまくできている」が 6.9%、「ある程度できている」が 61.7%で、これらを合わせると 68.6%となり、7 割近くの人が解消できていると回答しています。一方、「あまりできていない」と「まったくできていない」を合わせると 30.2%で、3 割の人が解消できていないと回答しています。
- ・ 年代別では、10 歳代で 8 割近く、20 歳代や 70 歳以上で 7 割以上が不安や悩み、ストレスの解消ができている（「うまくできている」と「ある程度できている」の合計）と回答しているのに対し、30～60 歳代は 3 割以上ができていない（「あまりできていない」と「まったくできていない」の合計）と回答しています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、南部地区で 8 割前後の人が不安や悩み、ストレスの解消ができている（前述）と回答しているのに対し、平田地区、中野地区で 4 割前後の人ができていない（前述）と回答しています。

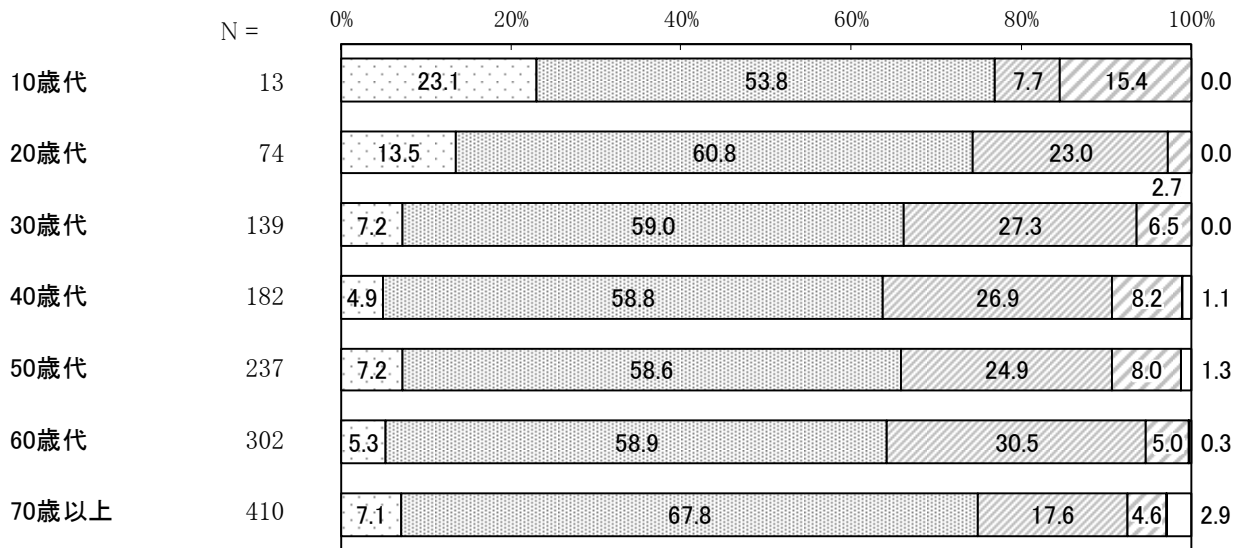


【性 別】

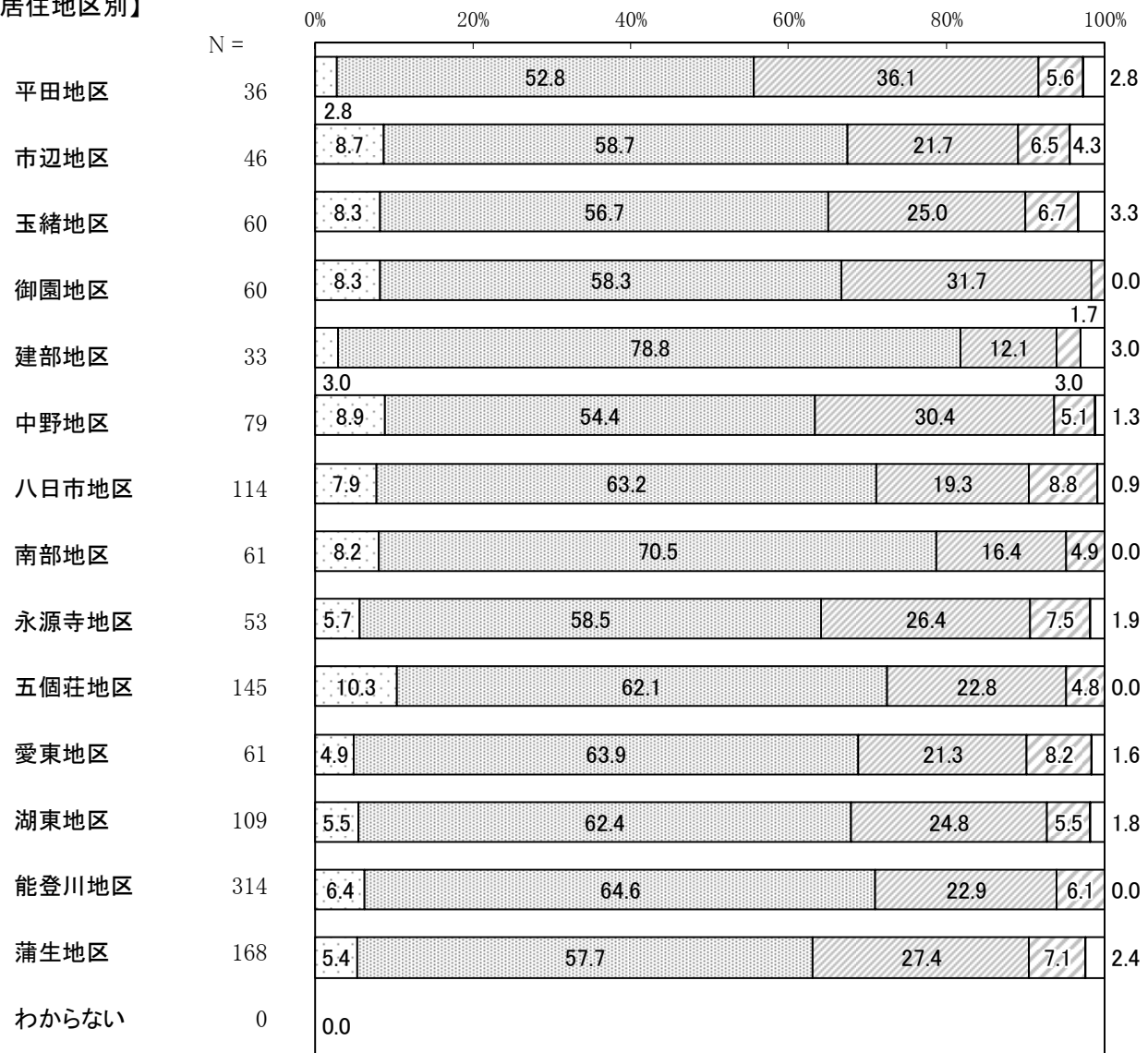


【年代別】

☐ うまくできている ☐ ある程度できている ☐ あまりできていない
☐ まったくできていない ☐ 無回答



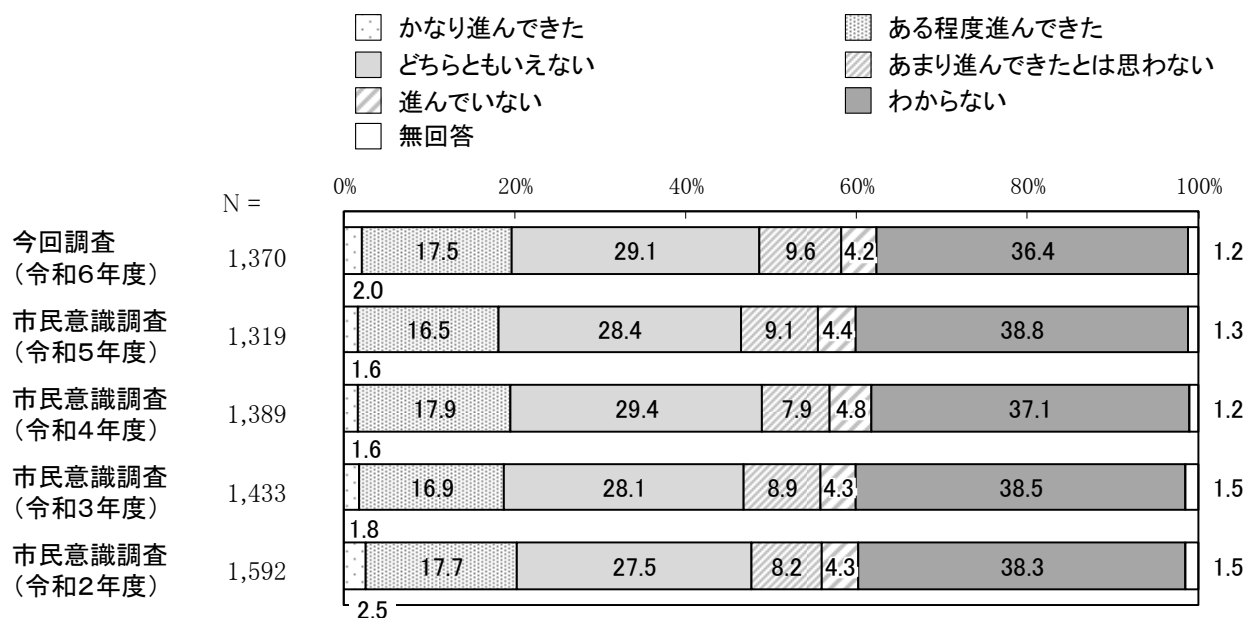
【居住地区別】



問 22 あなたは、東近江市民の障害者に対する理解は進んできたと思いますか。《○1つ》

「わからない」が4割近く

- ・ 東近江市民の障害者に対する理解が進んできたと思うかについては、「かなり進んできた」が2.0%、「ある程度進んできた」が17.5%で、これらを合わせると19.5%となり、2割近くの人が進んできたと回答しています。一方、「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」を合わせると13.8%となっています。なお、「わからない」と回答した人が36.4%となっています。
- ・ 年代別では70歳以上で、居住地区別では愛東地区、永源寺地区、中野地区で、障害者に対する理解が進んできたと思う人（「かなり進んできた」と「ある程度進んできた」の合計）が3割近く見られます。
- ・ 一方、年代別では10歳代、30～50歳代で、居住地区別では平田地区、八日市地区、南部地区で、障害者に対する理解が進んできたと思う人（前述）より進んでいないと思う人（「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」の合計）が多く見られます。

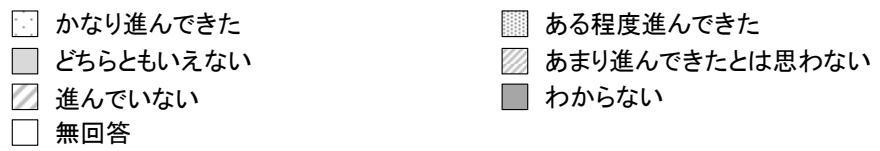


単位：％

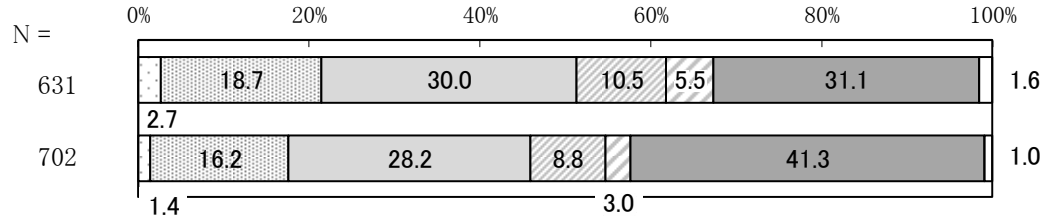
	進んできた*	進んでいない*	差
①今回調査(令和6年度)	19.5	13.8	5.7
②市民意識調査(令和5年度)	18.1	13.5	4.6
③市民意識調査(令和4年度)	19.5	12.7	6.8
④市民意識調査(令和3年度)	18.7	13.2	5.5
⑤市民意識調査(令和2年度)	20.2	12.5	7.7
①－⑤	-0.7	1.3	-2.0

* 進んできた:「かなり進んできた」と「ある程度進んできた」の合計

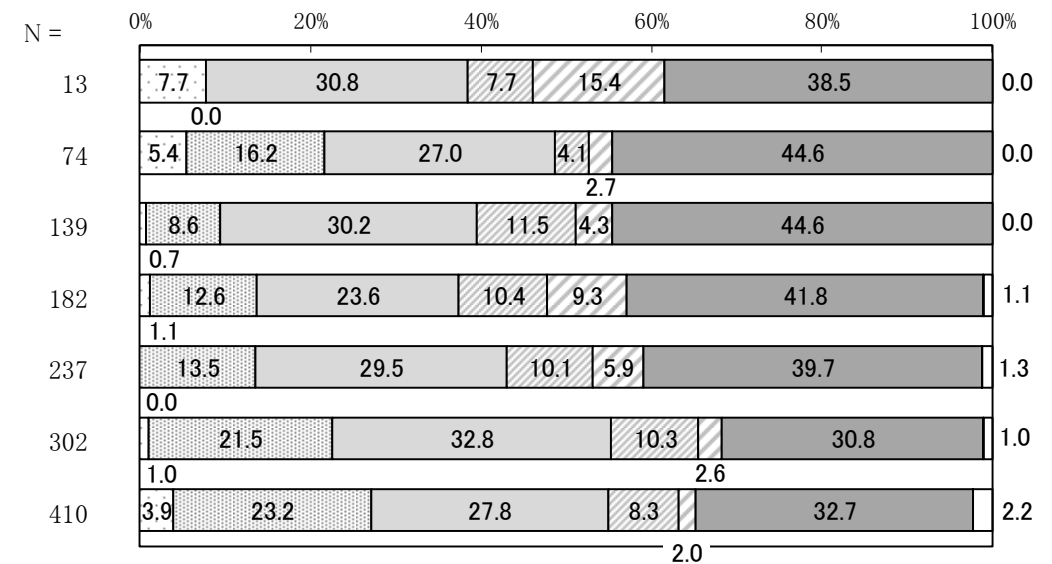
* 進んでいない:「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」の合計



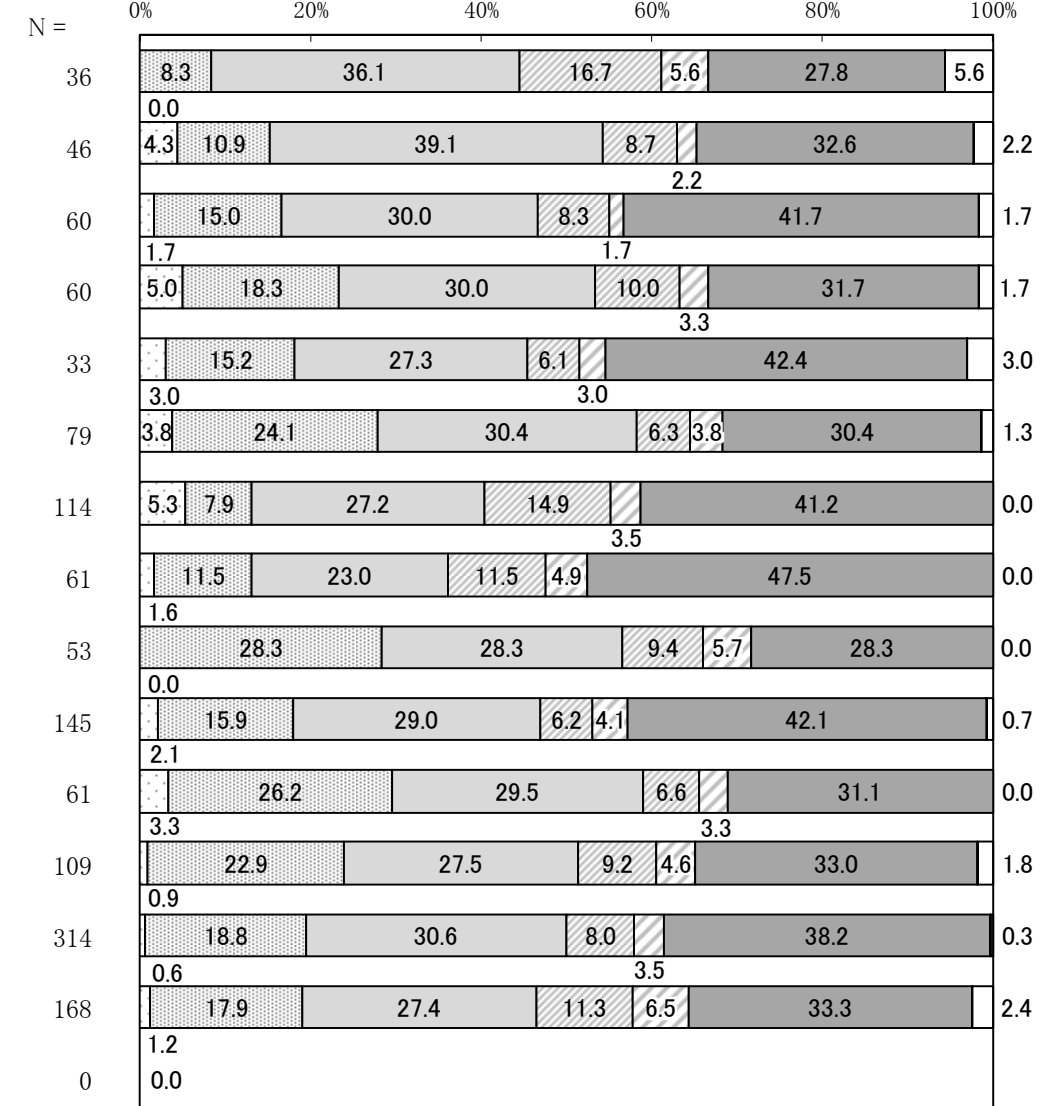
【性 別】



【年代別】



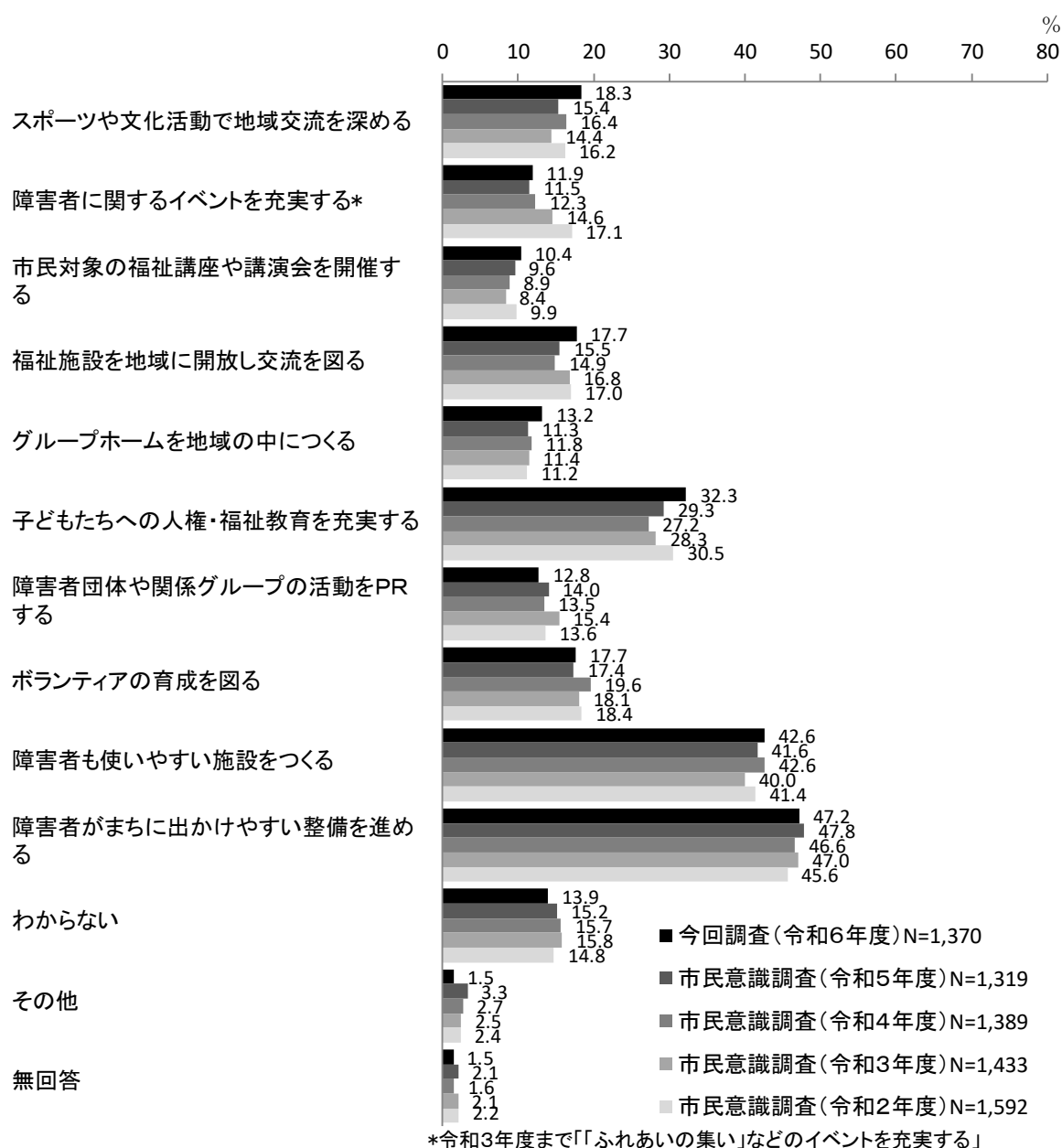
【居住地区別】



問 23 あなたは、障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

特に力を入れるべき取組は、バリアフリーのまちづくりや施設整備

- ・ 障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきかについては、「障害者がまちに出かけやすい整備を進める」が47.2%と最も多く、次いで「障害者も使いやすい施設をつくる」が42.6%と、バリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくりや施設整備をあげる人が多くなっています。また、「子どもたちへの人権・福祉教育を充実する」が32.3%と3割の人があげています。
- ・ 年代別では、10～20 歳代や 40 歳代で「障害者も使いやすい施設をつくる」が、そのほかの年代で「障害者がまちに出かけやすい整備を進める」が最も多くなっています。また、20～40 歳代で「子どもたちへの人権・福祉教育を充実する」がほかの年代より多くあげられています。



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	スポーツや文化活動で地域交流を深める	障害者に関するイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちに出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
男性	631	19.0	13.6	10.3	18.2	10.5	29.2	15.1	17.7	41.5	45.3	15.1	1.7	1.4
女性	702	17.8	10.4	10.1	17.2	15.1	34.9	10.3	17.5	43.4	48.3	13.2	1.4	1.4

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	スポーツや文化活動で地域交流を深める	障害者に関するイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちに出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
10歳代	13	15.4	15.4	23.1	23.1	0.0	15.4	0.0	7.7	53.8	30.8	23.1	0.0	0.0
20歳代	74	17.6	5.4	5.4	12.2	13.5	39.2	9.5	8.1	44.6	39.2	13.5	2.7	0.0
30歳代	139	13.7	10.1	5.8	15.1	16.5	44.6	10.1	12.2	51.8	52.5	11.5	2.2	0.0
40歳代	182	13.7	13.2	8.8	17.6	15.9	40.7	12.1	18.7	41.8	41.2	16.5	1.1	1.6
50歳代	237	15.6	10.1	9.7	14.8	11.8	30.8	10.1	20.7	47.3	48.1	12.2	1.7	0.8
60歳代	302	19.5	12.3	10.9	14.6	12.9	27.8	15.9	16.6	42.7	53.6	12.3	1.0	0.7
70歳以上	410	22.4	13.7	12.7	22.7	11.2	27.3	13.9	19.8	36.1	44.4	15.9	1.7	2.9

【居住地区別】

単位: %

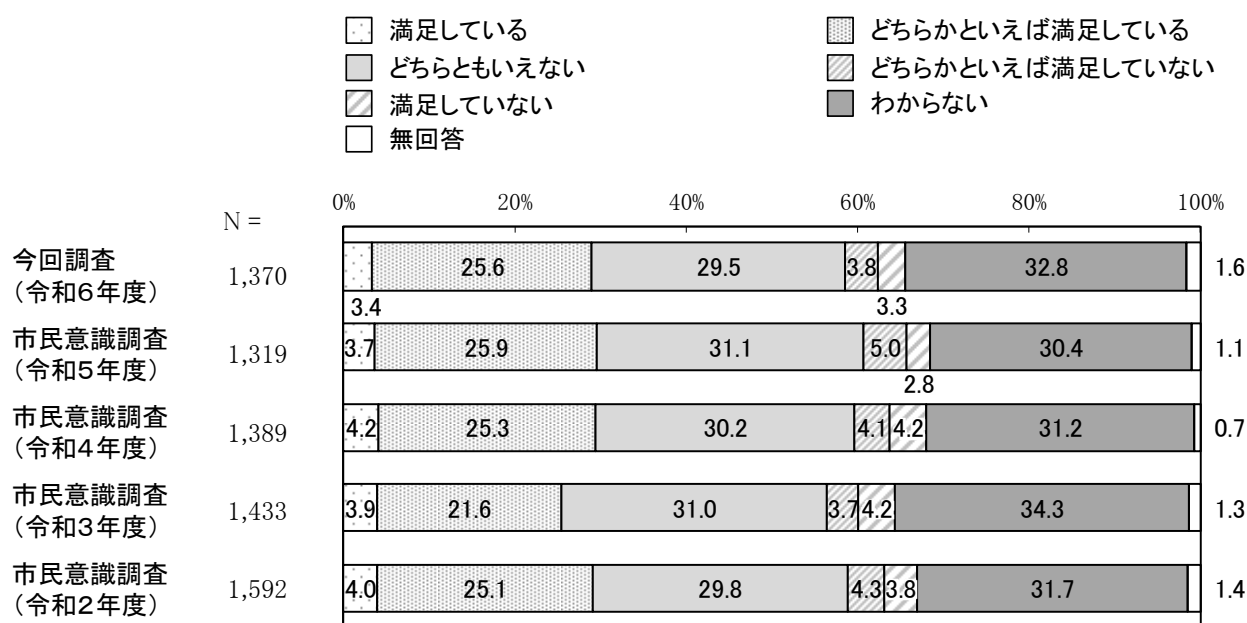
区 分	有効回答数（件）	スポーツや文化活動で地域交流を深める	障害者に関するイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちに出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
平田地区	36	25.0	8.3	16.7	19.4	16.7	33.3	16.7	16.7	38.9	52.8	16.7	0.0	2.8
市辺地区	46	15.2	19.6	2.2	21.7	17.4	43.5	13.0	23.9	45.7	54.3	6.5	0.0	2.2
玉緒地区	60	23.3	15.0	10.0	20.0	5.0	26.7	8.3	23.3	31.7	38.3	16.7	5.0	0.0
御園地区	60	25.0	6.7	21.7	10.0	15.0	38.3	15.0	11.7	38.3	41.7	10.0	1.7	0.0
建部地区	33	24.2	9.1	6.1	9.1	9.1	30.3	12.1	6.1	36.4	45.5	15.2	3.0	3.0
中野地区	79	19.0	15.2	15.2	20.3	13.9	36.7	12.7	20.3	40.5	48.1	15.2	2.5	0.0
八日市地区	114	21.1	11.4	10.5	18.4	12.3	33.3	12.3	19.3	42.1	49.1	14.0	0.0	1.8
南部地区	61	18.0	19.7	11.5	26.2	13.1	31.1	18.0	21.3	44.3	52.5	13.1	1.6	1.6
永源寺地区	53	17.0	13.2	7.5	9.4	13.2	32.1	13.2	17.0	56.6	47.2	7.5	0.0	7.5
五個荘地区	145	15.2	9.7	9.7	16.6	9.0	35.2	10.3	13.8	42.1	44.8	15.9	2.1	0.7
愛東地区	61	11.5	14.8	4.9	19.7	18.0	27.9	8.2	23.0	36.1	42.6	13.1	1.6	1.6
湖東地区	109	18.3	12.8	11.0	11.9	10.1	24.8	13.8	14.7	37.6	51.4	19.3	0.9	0.9
能登川地区	314	15.9	9.2	9.6	16.9	13.4	31.8	13.4	16.6	43.3	44.9	15.0	1.6	0.6
蒲生地区	168	20.8	11.9	9.5	22.6	16.1	32.7	13.1	20.2	47.0	47.0	11.3	1.8	1.8
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 環境や暮らしについて

問 24 あなたは、東近江市の自然環境保全の取組について満足していますか。《○1つ》

3割近くが満足、6割が「どちらともいえない」又は「わからない」

- ・ 東近江市の自然環境保全の取組についての満足度は、「わからない」が32.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.5%、これらを合わせると62.3%となっています。
- ・ 「満足している」が3.4%、「どちらかといえば満足している」が25.6%、これらを合わせると29.0%となり、3割近くの人が満足しています。一方、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると7.1%で、1割未満となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動はあるものの、満足（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合は、おおむね3割程度で推移しています。
- ・ 年代別では、満足（前述）の割合はいずれの年代も3割前後ですが、20～40歳代で「わからない」の割合が4割以上と高くなっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、建部地区で満足（前述）の割合が4割前後と高く、建部地区、永源寺地区、湖東地区で不満（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が1割以上とほかの地区と比べやや高くなっています。

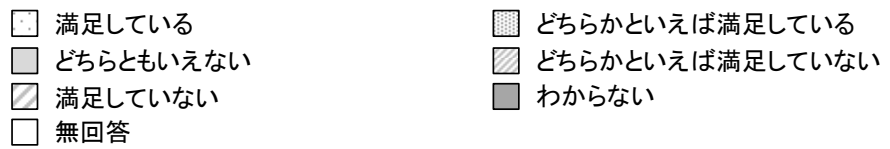


単位：％

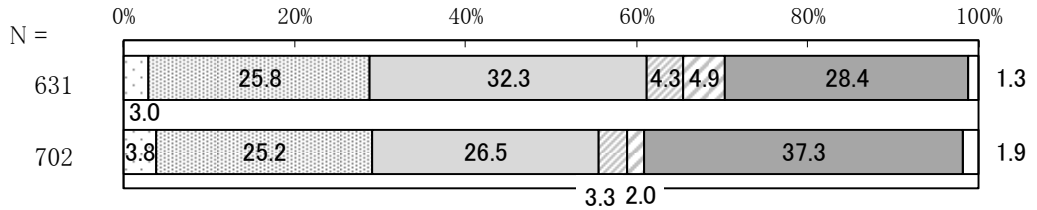
	満足*	不満*	差
①今回調査(令和6年度)	29.0	7.1	21.9
②市民意識調査(令和5年度)	29.6	7.8	21.8
③市民意識調査(令和4年度)	29.5	8.3	21.2
④市民意識調査(令和3年度)	25.5	7.9	17.6
⑤市民意識調査(令和2年度)	29.1	8.1	21.0
①－⑤	-0.1	-1.0	0.9

* 満足：「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

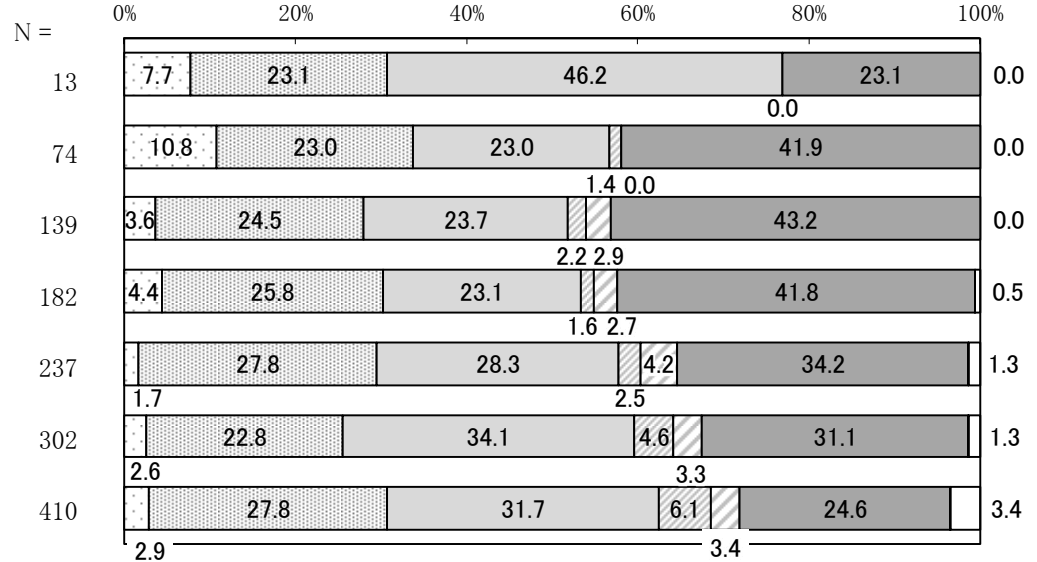
* 不満：「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



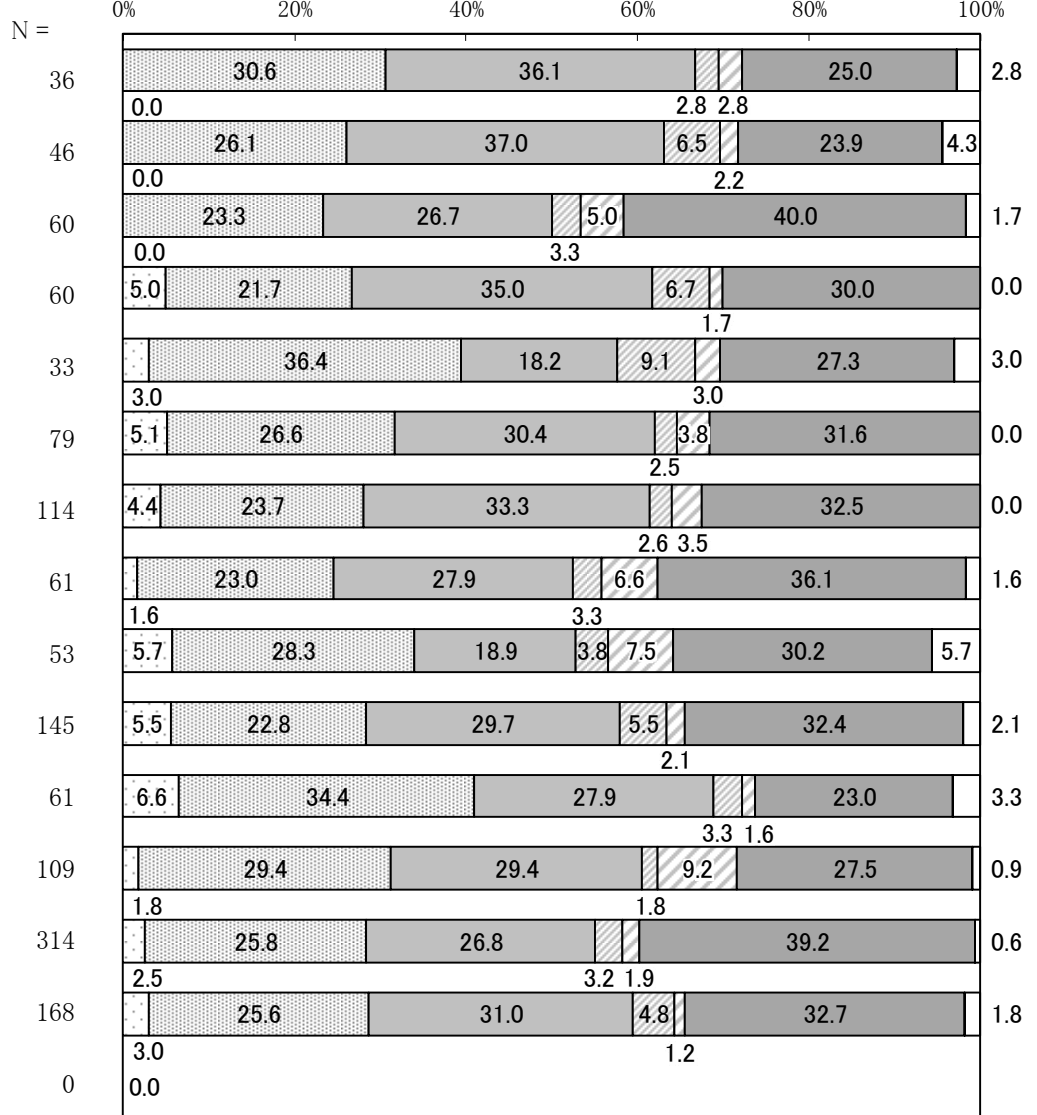
【性別】



【年代別】



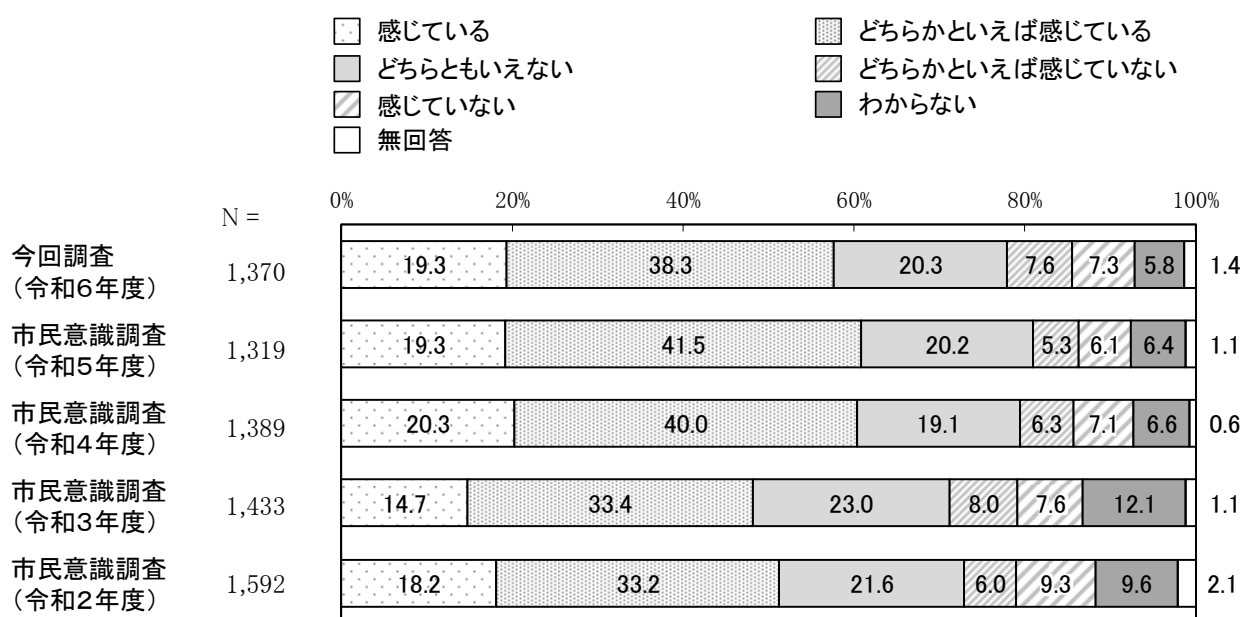
【居住地区別】



問 25 あなたは、暮らしや仕事等日々の営みの中で自然との関わりを感じていますか。《○ 1 つ》

6割近くが自然との関わりを感じている

- ・ 日々の営みの中で自然との関わりを感じているかについては、「感じている」が19.3%、「どちらかといえば感じている」が38.3%で、これらを合わせると57.6%となり、6割近くの人が自然との関わりを感じています。一方、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせると14.9%となっています。また、「どちらともいえない」が20.3%、「わからない」が5.8%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動はあるものの、自然との関わりを感じている人（「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）の割合が、5年間で1割程度増加しています。
- ・ 年代別では10歳代や70歳以上で6割以上、居住地区別では永源寺地区、平田地区で7割以上と、自然との関わりを感じている人（前述）がほかの年代や地区よりやや多く見られます。



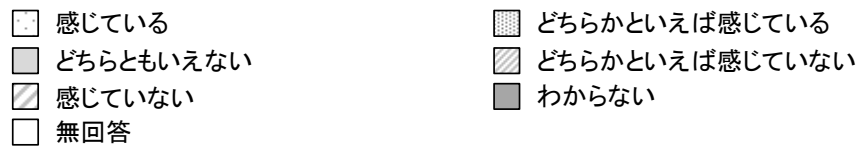
※令和3年度までは「自然環境との関わりを感じていますか。」

単位：％

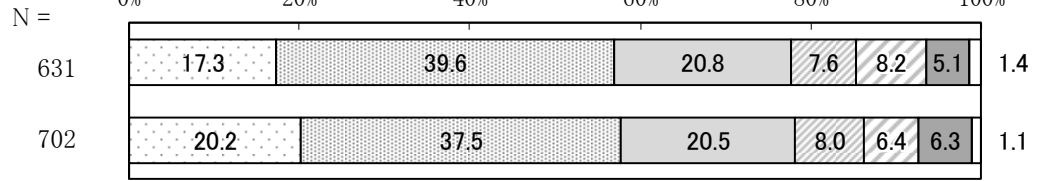
	感じている*	感じていない*	差
①今回調査(令和6年度)	57.6	14.9	42.7
②市民意識調査(令和5年度)	60.8	11.4	49.4
③市民意識調査(令和4年度)	60.3	13.4	46.9
④市民意識調査(令和3年度)	48.1	15.6	32.5
⑤市民意識調査(令和2年度)	51.4	15.3	36.1
①－⑤	6.2	-0.4	6.6

* 感じている:「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計

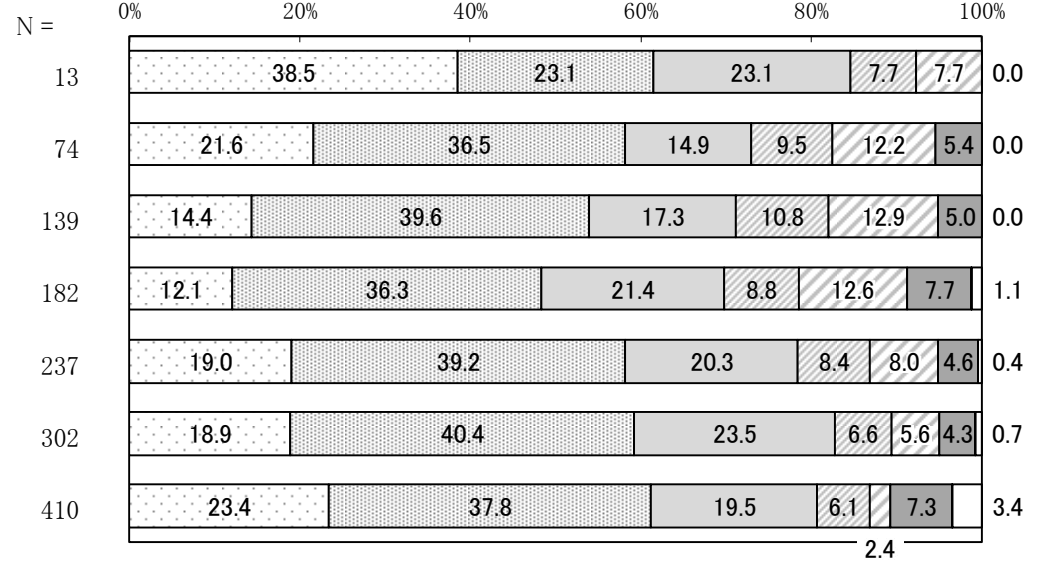
* 感じていない:「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計



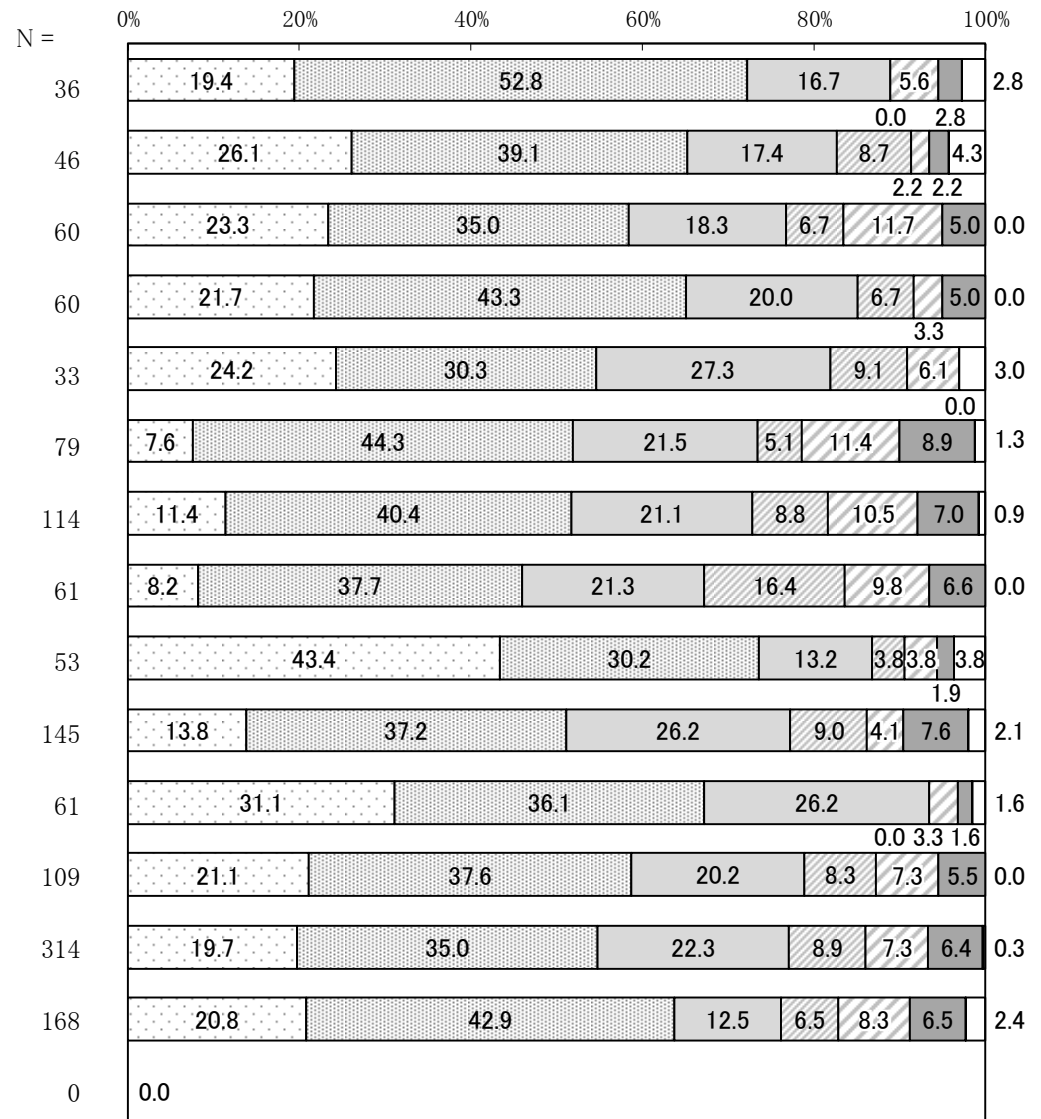
【性別】



【年代別】



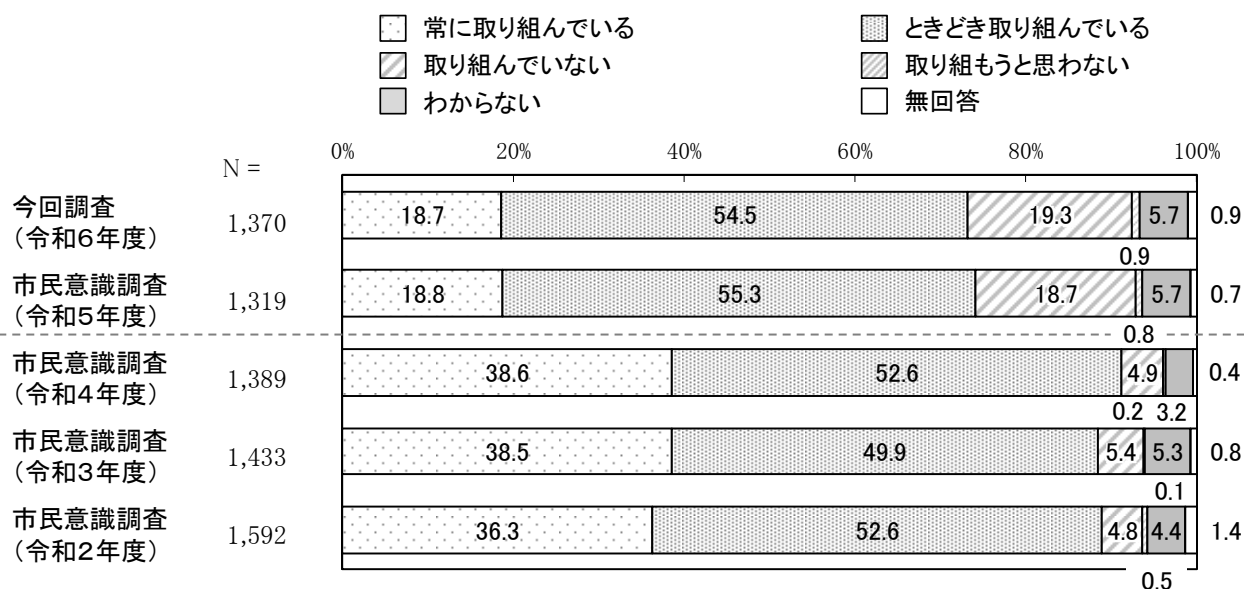
【居住地区別】



問 26 あなたは、環境にやさしい取組を行っていますか（節電や節水、太陽光発電等の設置、省エネ機器への買替え、自転車や公共交通機関の利用等）。《○ 1 つ》

7割以上が環境にやさしい取組を行っている

- ・ 環境にやさしい取組の実施状況については、「常に取り組んでいる」が18.7%、「ときどき取り組んでいる」が54.5%で、これらを合わせると73.2%となり、7割以上の人が取り組んでいると回答しています。一方、「取り組んでいない」は19.3%と2割近くで、「取り組もうと思わない」は0.9%とわずかでした。
- ・ 過去の調査と比較すると、令和5年度から環境にやさしい取組の例示内容を変更したため、「常に取り組んでいる」と回答した人の割合が大きく減少し、「取り組んでいない」と回答した人の割合が増加しています。
- ・ 「常に取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計でみると、性別では女性で、年代別では10歳代、60歳以上で8割近く、居住地区別では永源寺地区、平田地区、御園地区で8割以上と、環境にやさしい取組を行っている人が多く見られます。



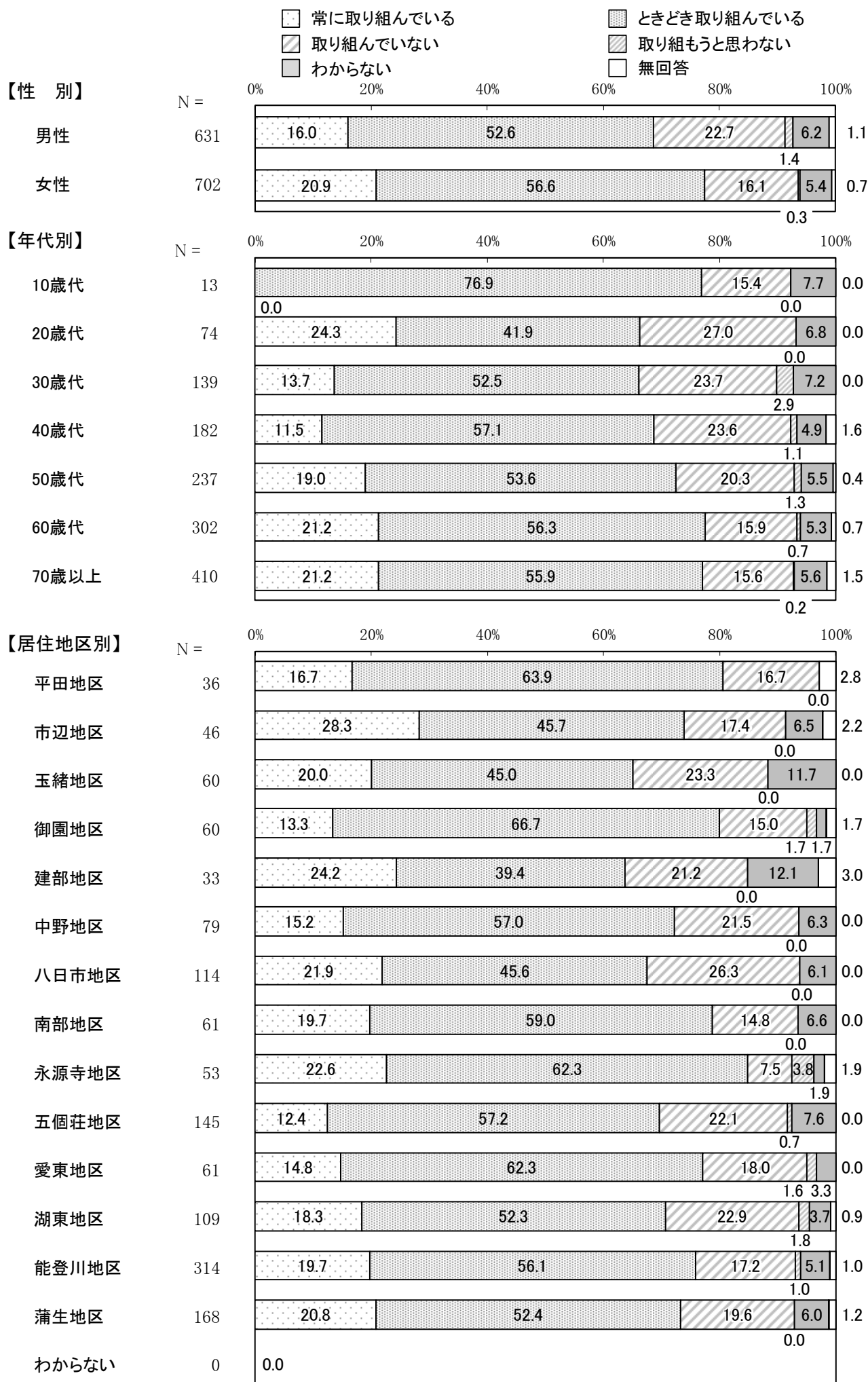
※令和4年度までは、環境にやさしい取組の例が、「使用していない電気の消灯、マイバツクの持参、省エネ機器の選択、自転車や公共交通機関の利用等」

単位：%

	取り組んで いる*	取り組んで いない*	差
①今回調査(令和6年度)	73.2	20.2	53.0
②市民意識調査(令和5年度)	74.1	19.5	54.6
③市民意識調査(令和4年度)	91.2	5.1	86.1
④市民意識調査(令和3年度)	88.4	5.5	82.9
⑤市民意識調査(令和2年度)	88.9	5.3	83.6
①－⑤	-15.7	14.9	-30.6

* 取り組んでいる:「常に取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計

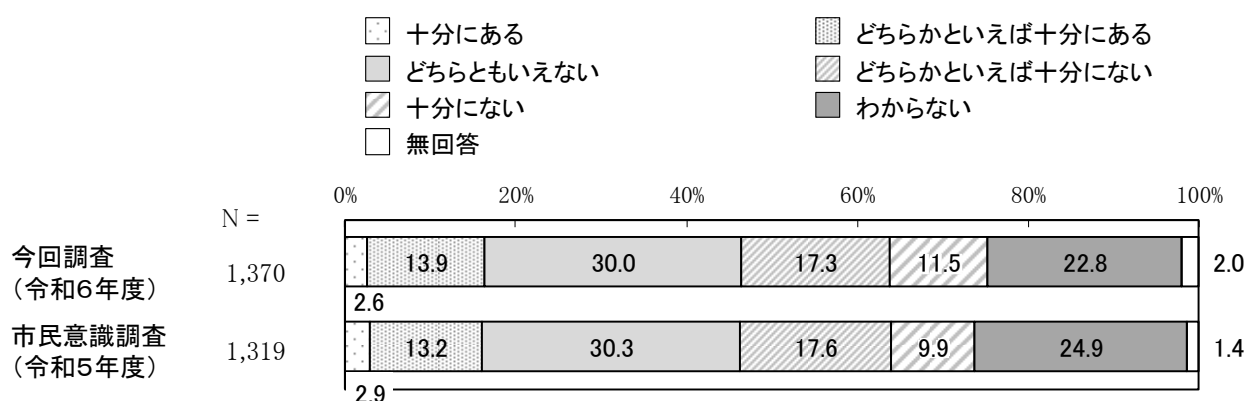
* 取り組んでいない:「取り組んでいない」と「取り組もうと思わない」の合計



問 27 あなたは、東近江市の働く場所（希望する業種・職種）について、どのように考えていますか。《○1つ》

3割近くが十分ないと考え、半数以上が「どちらともいえない」又は「わからない」

- ・ 東近江市の働く場所（希望する業種・職種）については、「どちらともいえない」が 30.0%と最も多く、「わからない」が 22.8%と続きます。
- ・ 「十分にある」が 2.6%、「どちらかといえば十分にある」が 13.9%で、これらを合わせると 16.5%となり、2割近くの人が十分にあると回答しています。一方、「十分はない」は 11.5%、「どちらかといえば十分はない」が 17.3%で、これらを合わせると 28.8%と3割近くとなり、十分ないと考えている人（「どちらかといえば十分はない」と「十分はない」の合計）が、十分にあると考えている人（「十分にある」と「どちらかといえば十分にある」の合計）を上回っています。
- ・ 性別、20歳代を除く年代別、南部地区を除く居住地区別のいずれも十分ないと考えている人（前述）が十分にあると考えている人（前述）を上回っており、特に60歳代、永源寺地区でその差が大きくなっています。



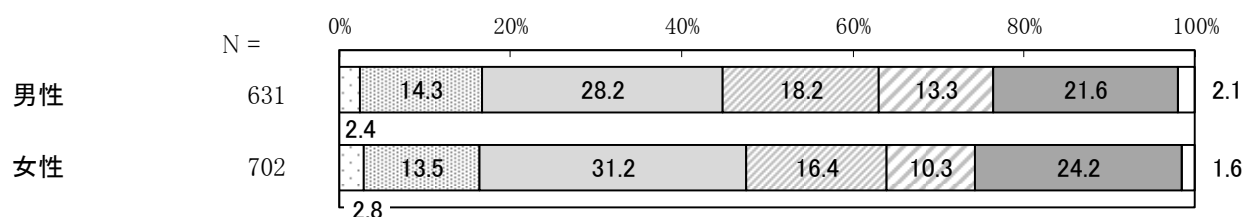
単位：％

	十分にある*	十分はない*	差
①今回調査(令和6年度)	16.5	28.8	-12.3
②市民意識調査(令和5年度)	16.1	27.5	-11.4
①－②	0.4	1.3	-0.9

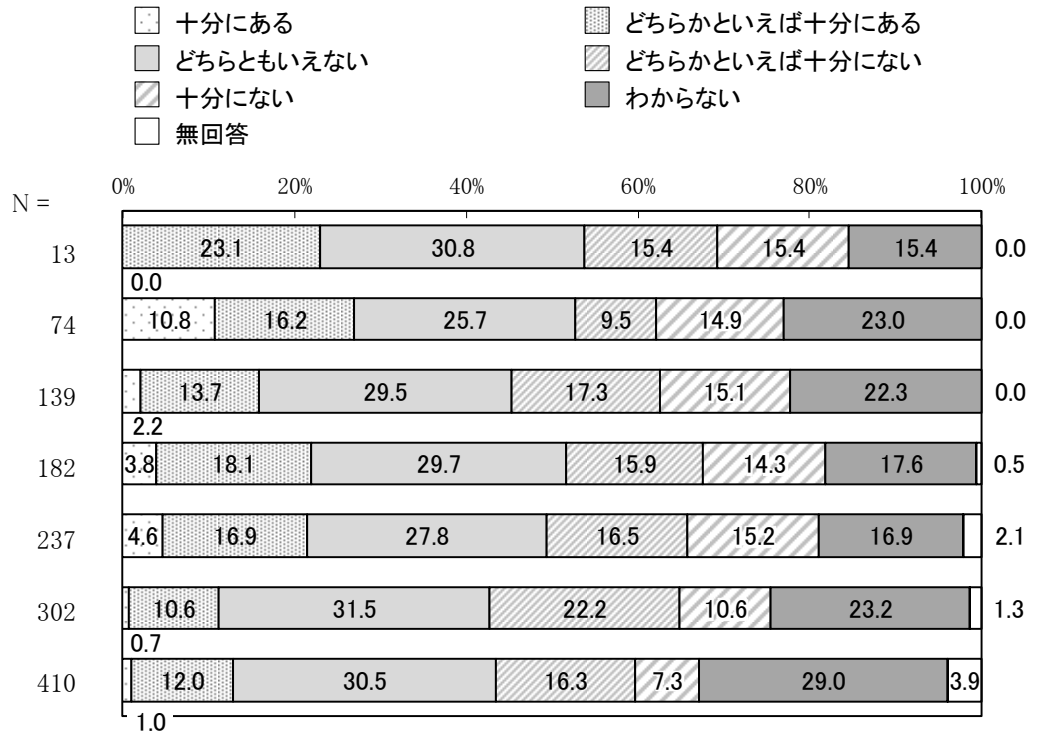
* 十分にある:「十分にある」と「どちらかといえば十分にある」の合計

* 十分はない:「どちらかといえば十分はない」と「十分はない」の合計

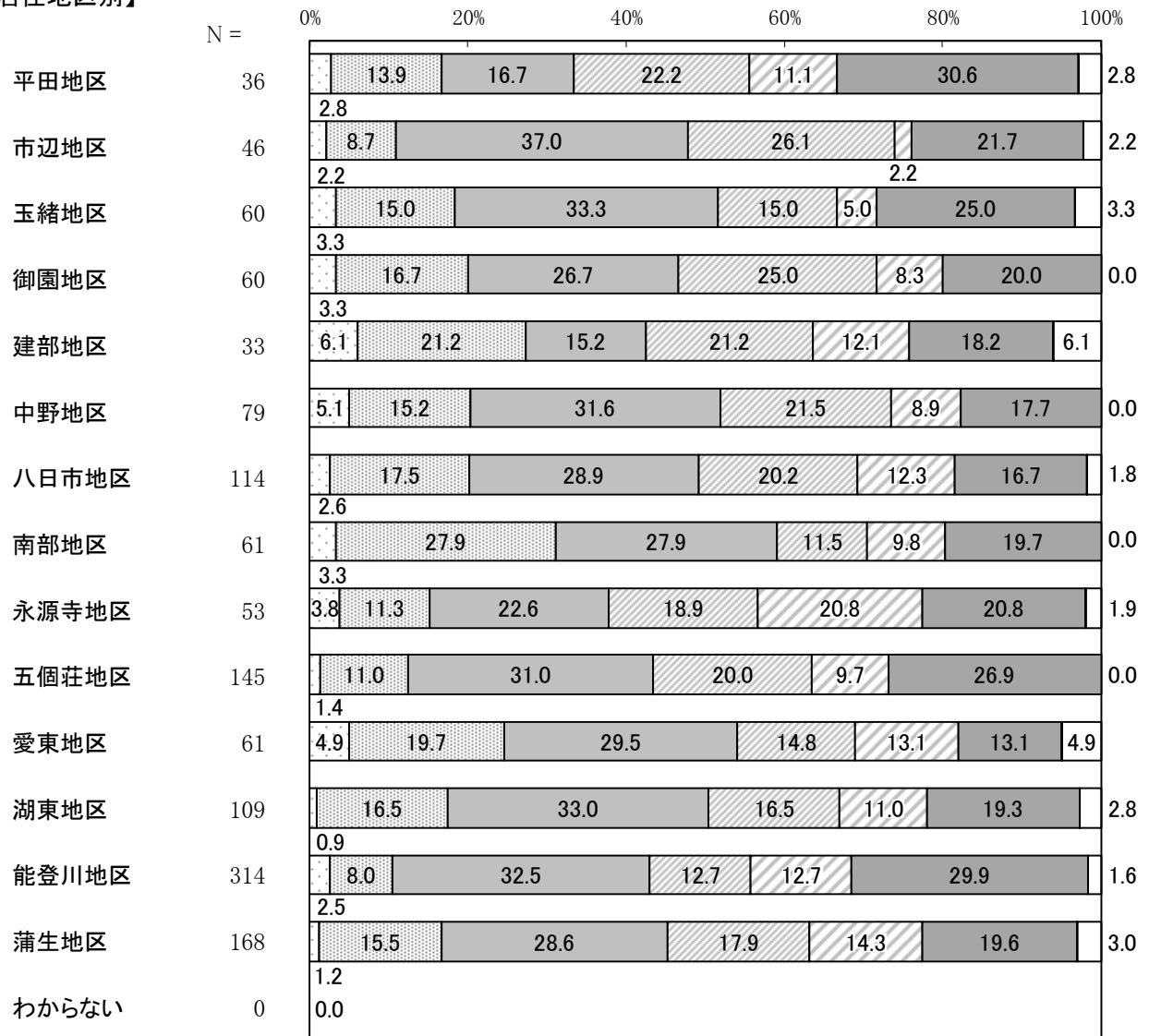
【性 別】



【年代別】



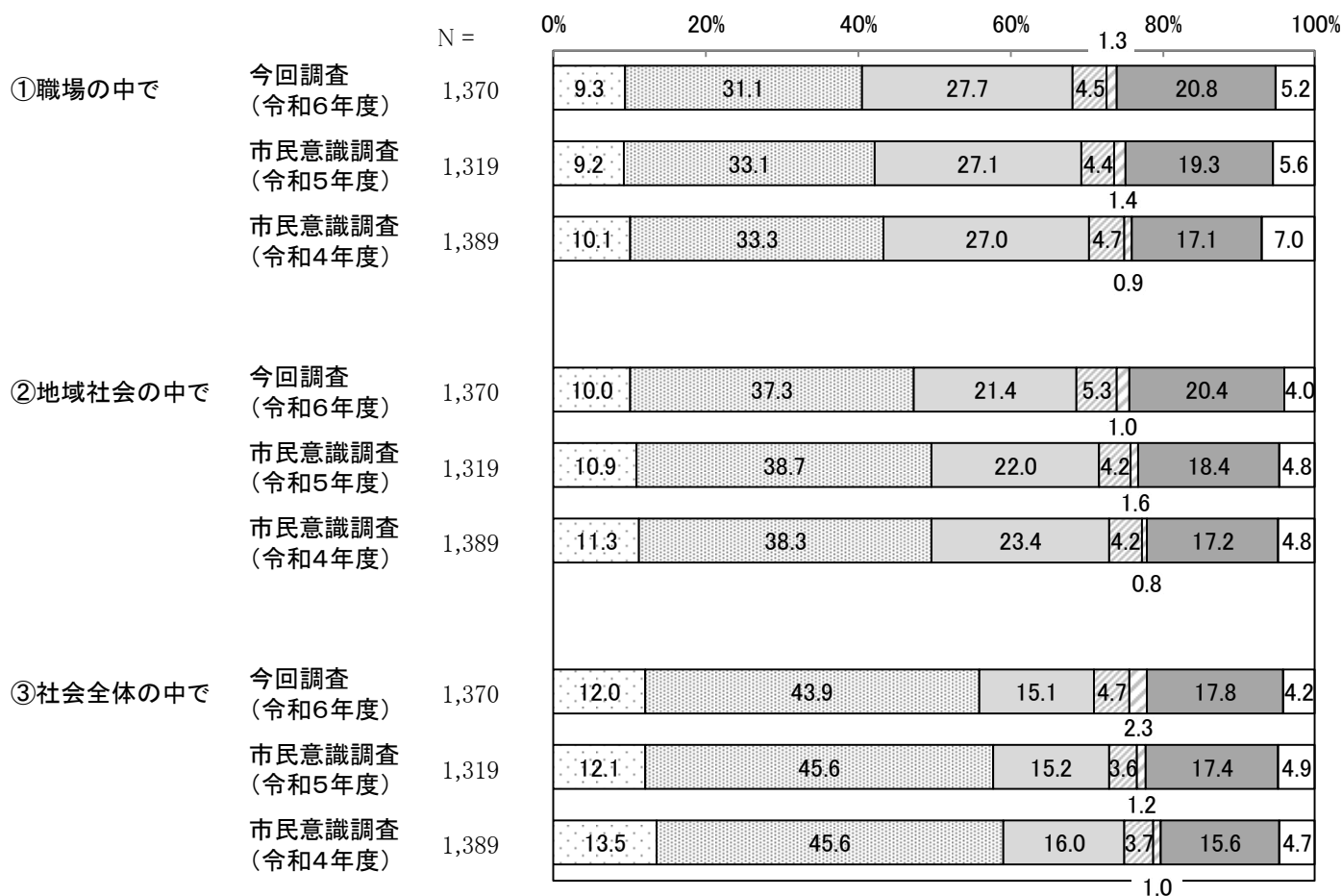
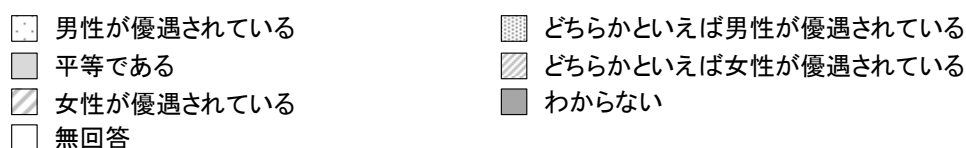
【居住地区別】



問 28 あなたは次のような分野で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

職場では4割、地域社会では半数近く、社会全体では6割近くが男性が優遇されていると評価

- ・ 男性が優遇されている（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）と回答した人の割合は、①職場の中では4割（40.4%）、②地域社会の中では半数近く（47.3%）、③社会全体の中では6割近く（55.9%）といずれも高くなっています。
- ・ 「平等である」と回答した人の割合は、①職場の中では3割近く（27.7%）、②地域社会の中では2割（21.4%）、③社会全体の中では2割近く（15.1%）と一定数見られる一方、女性が優遇されている（「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計）の割合は、いずれも1割未満と非常に低くなっています。



① 職場の中で

- ・ 年代別では、10 歳代や 70 歳以上で「わからない」の割合が、20～40 歳代で「平等である」が、50～60 歳代で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。10 歳代は「平等である」の割合も同率で最も高くなっています。また、男性が優遇されている（前述）の割合は 60 歳代で最も高く、半数近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区、平田地区、南部地区、八日市地区で「平等である」の割合が、そのほかの地区で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。能登川地区では、「わからない」の割合も同率で最も高くなっています。また、男性が優遇されている（前述）の割合は建部地区で最も高く、6 割となっています。

② 地域社会の中で

- ・ 性別では、女性は、男性が優遇されている（前述）の割合が男性より高く、半数近くとなっています。
- ・ 年代別では、20 歳代で「平等である」の割合が、そのほかの年代で、「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。男性が優遇されている（前述）の割合は、20～50 歳代では年齢が上がるほど高くなる傾向があり、50～60 歳代では半数以上となっています。
- ・ 居住地区別では、玉緒地区で「わからない」の割合が、そのほかの地区で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。男性が優遇されている（前述）の割合は、特に平田地区で 7 割近くと高くなっています。

③ 社会全体の中で

- ・ 性別では、女性は、男性が優遇されている（前述）の割合が男性より高く 6 割となっています。一方、男性は、「平等である」の割合が 2 割近くと女性より高くなっています。
- ・ 年代別では、20 歳代で、男性が優遇されている（前述）の割合が 4 割とほかの年代と比べ低く、「平等である」が 3 割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、男性が優遇されている（前述）の割合が 6 割を超える地区も多く見られます。また、愛東地区では「平等である」の割合が 2 割と、ほかの地区に比べ高くなっています。

① 職場の中で

【性 別】

男性

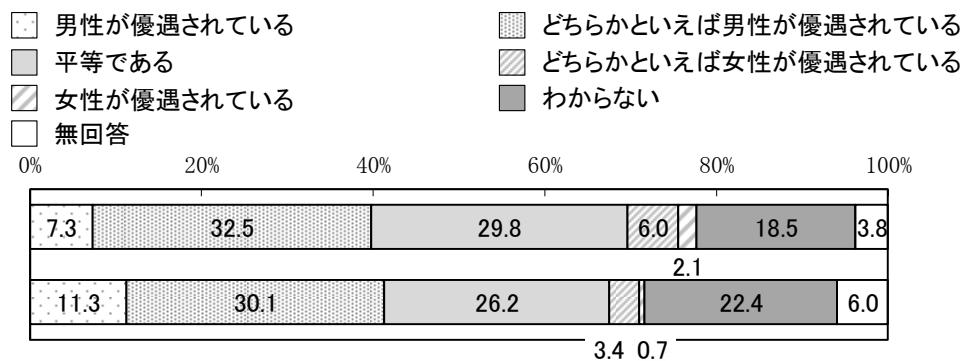
N =

631

女性

N =

702



【年代別】

10歳代

N =

13

20歳代

N =

74

30歳代

N =

139

40歳代

N =

182

50歳代

N =

237

60歳代

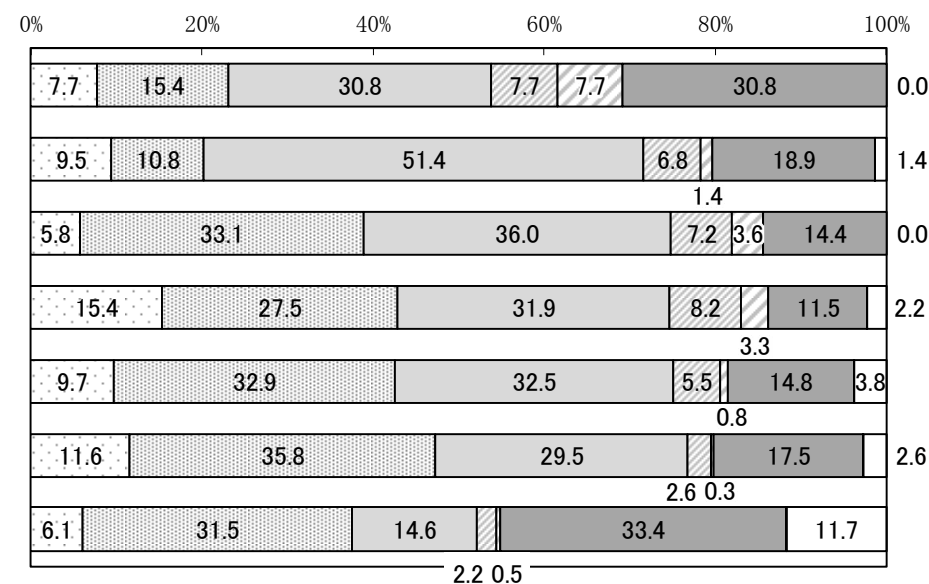
N =

302

70歳以上

N =

410



【居住地区別】

平田地区

N =

36

市辺地区

N =

46

玉緒地区

N =

60

御園地区

N =

60

建部地区

N =

33

中野地区

N =

79

八日市地区

N =

114

南部地区

N =

61

永源寺地区

N =

53

五個荘地区

N =

145

愛東地区

N =

61

湖東地区

N =

109

能登川地区

N =

314

蒲生地区

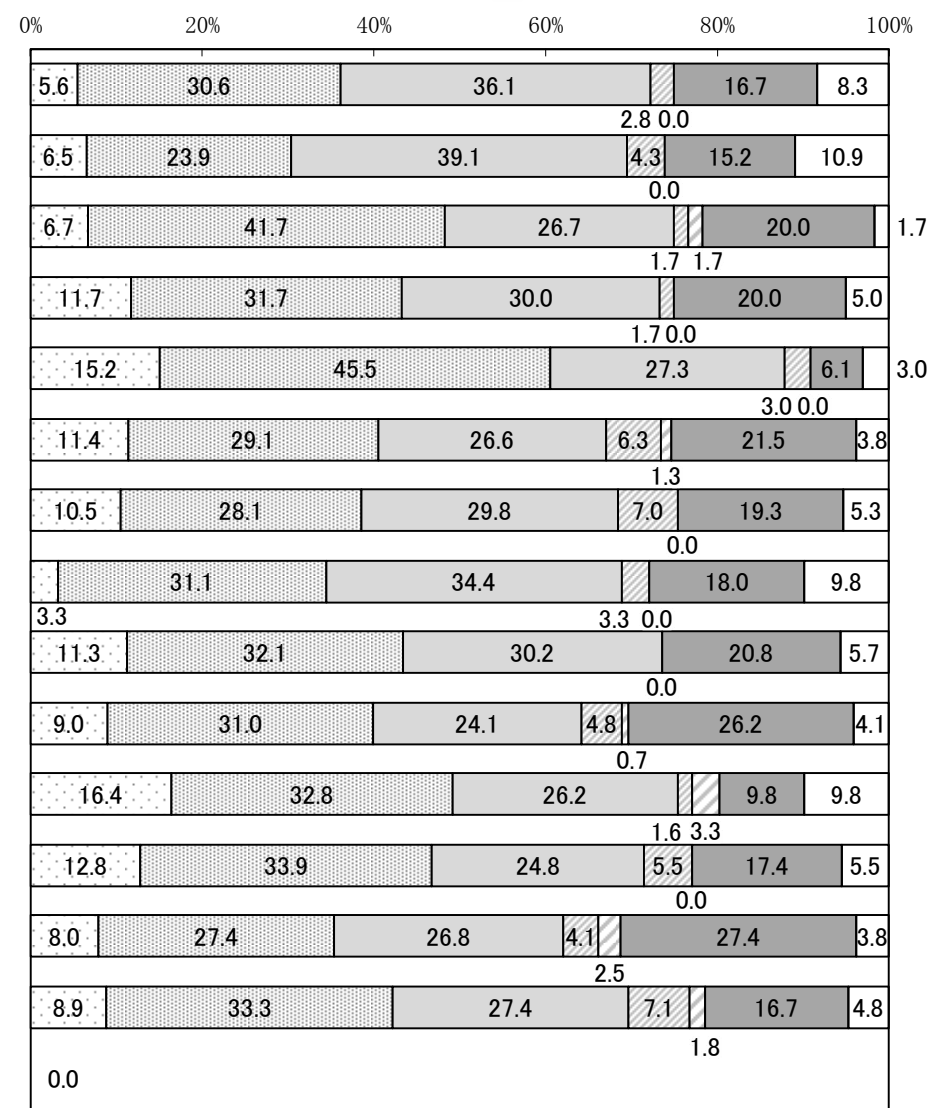
N =

168

わからない

N =

0



② 地域社会の中で

【性別】

男性

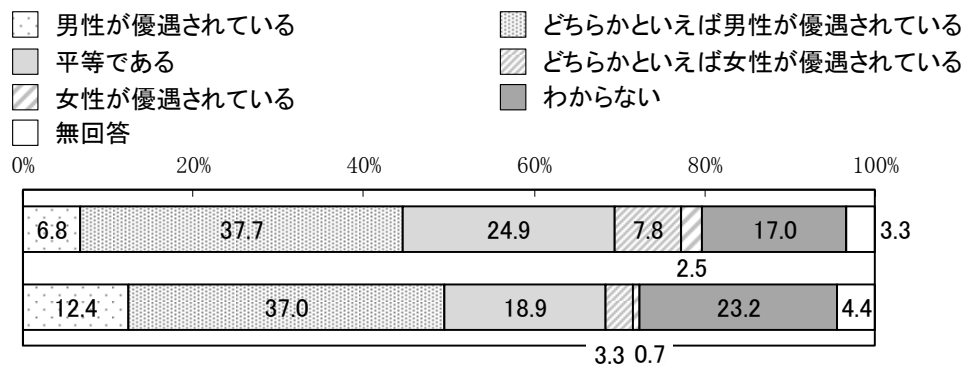
N =

631

女性

N =

702



【年代別】

10歳代

N =

13

20歳代

N =

74

30歳代

N =

139

40歳代

N =

182

50歳代

N =

237

60歳代

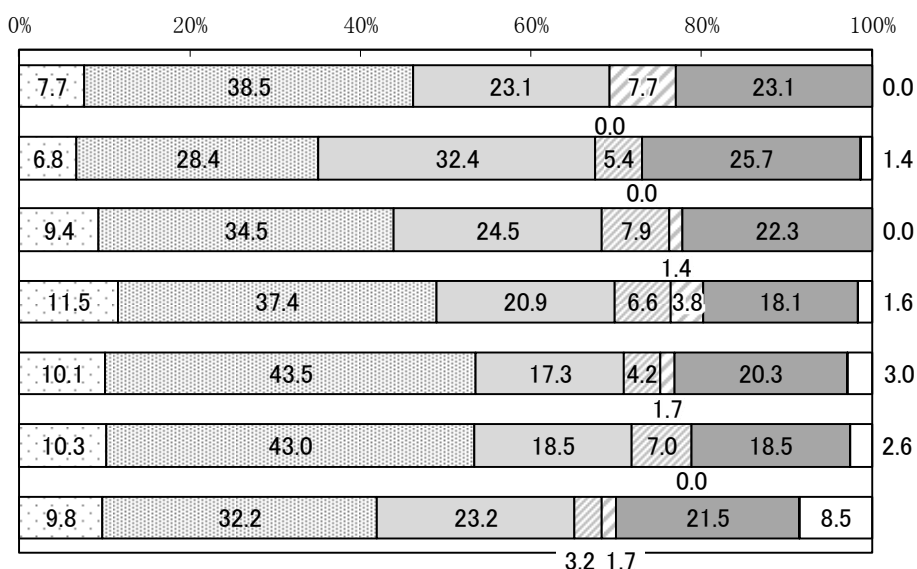
N =

302

70歳以上

N =

410



【居住地区別】

平田地区

N =

36

市辺地区

N =

46

玉緒地区

N =

60

御園地区

N =

60

建部地区

N =

33

中野地区

N =

79

八日市地区

N =

114

南部地区

N =

61

永源寺地区

N =

53

五個荘地区

N =

145

愛東地区

N =

61

湖東地区

N =

109

能登川地区

N =

314

蒲生地区

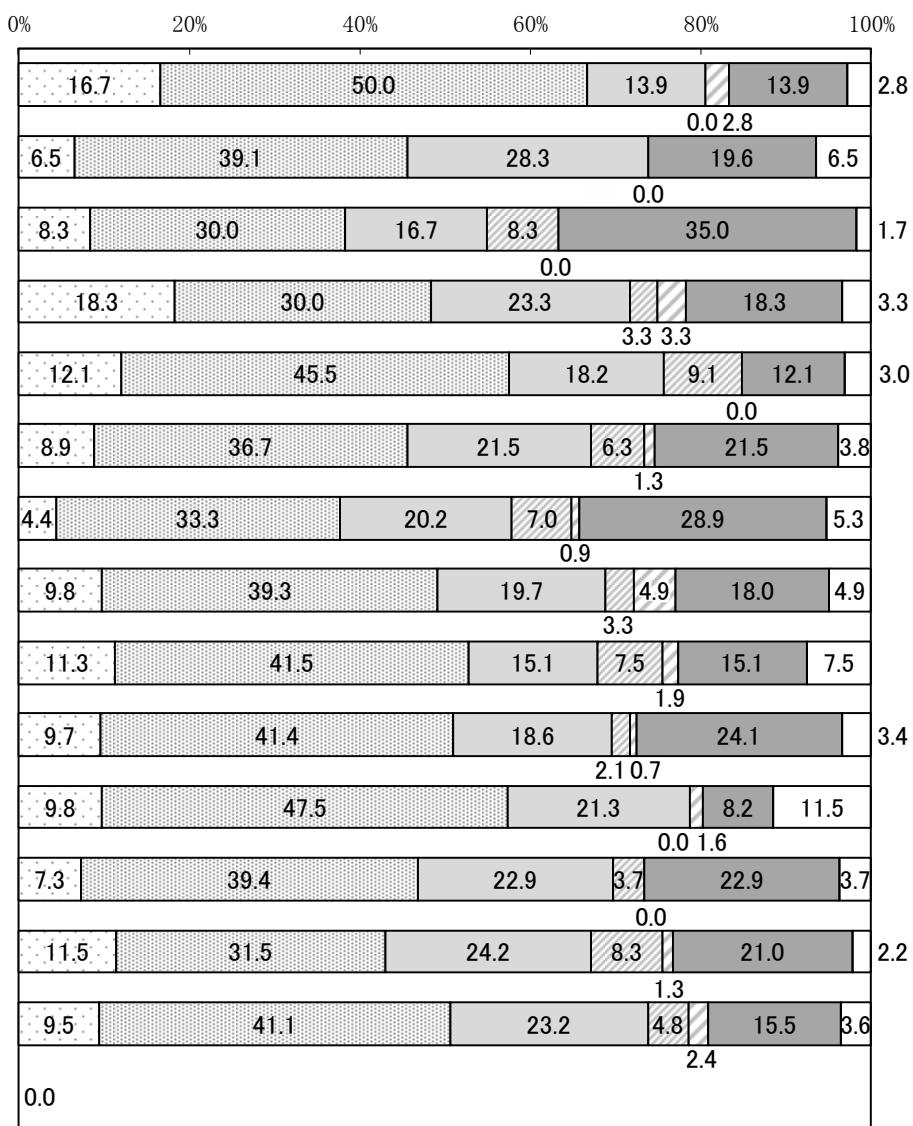
N =

168

わからない

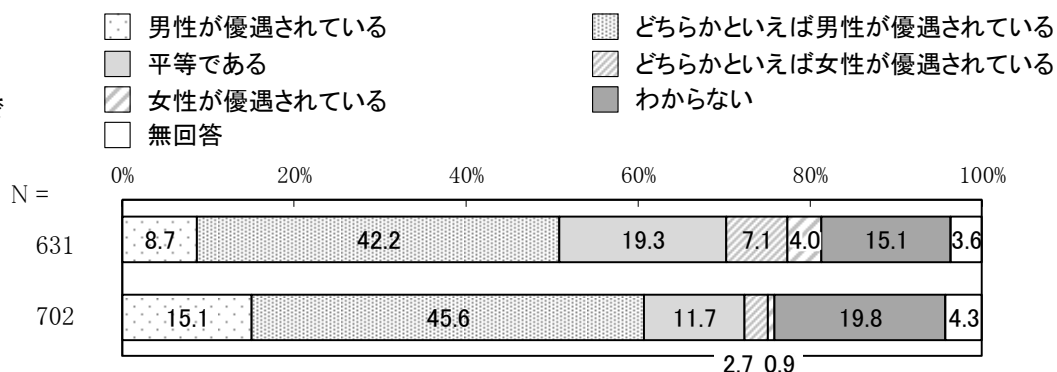
N =

0

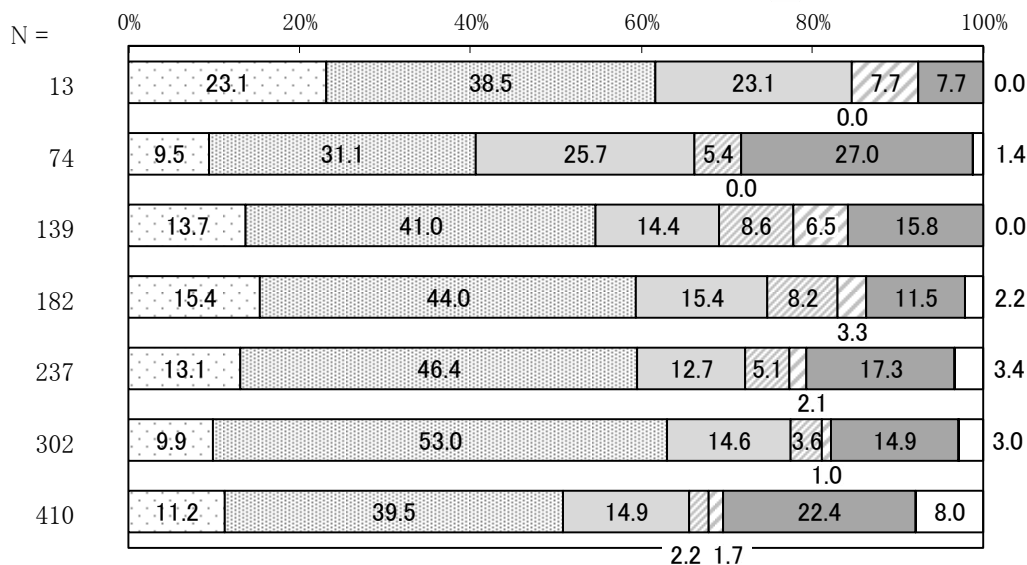


③ 社会全体の中で

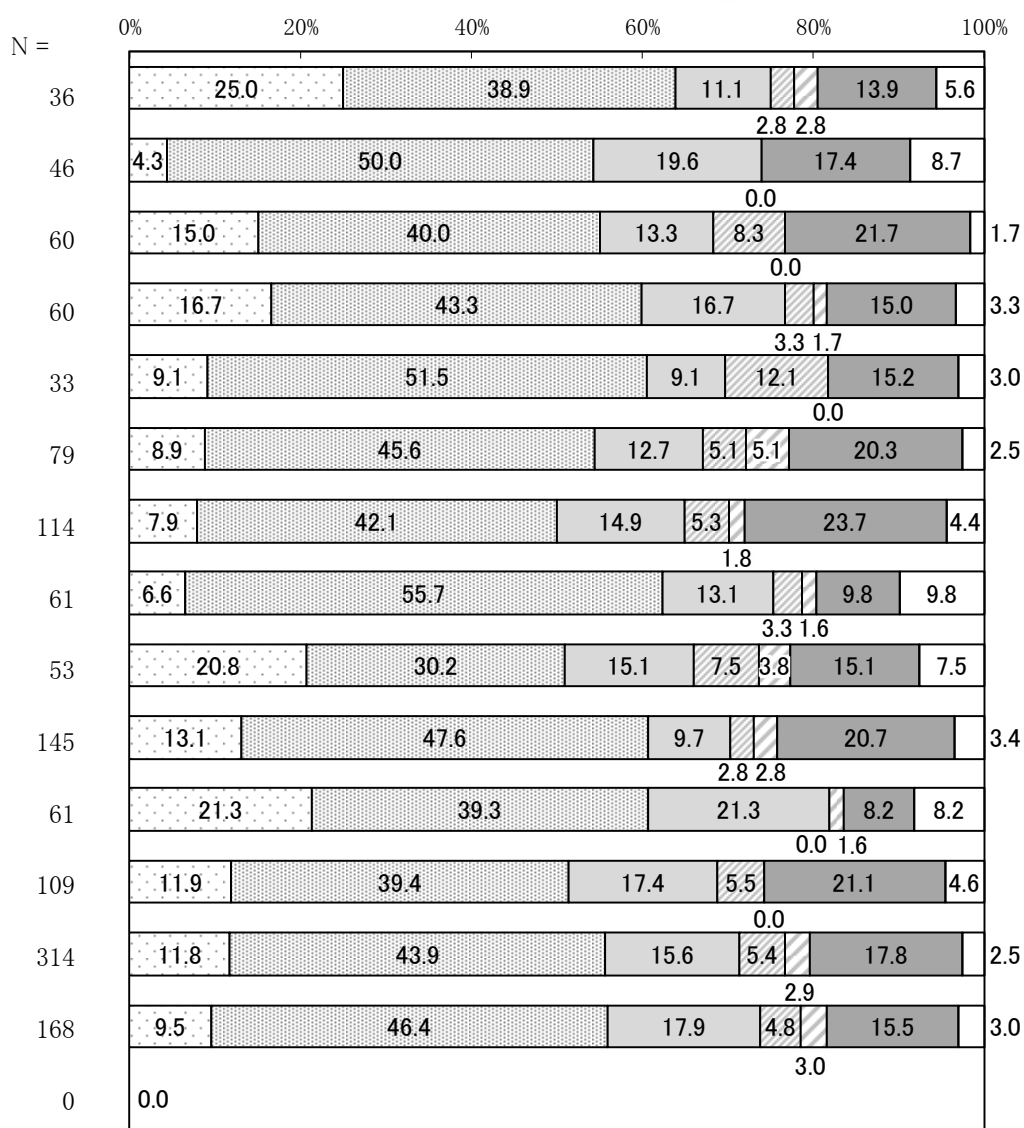
【性別】



【年代別】



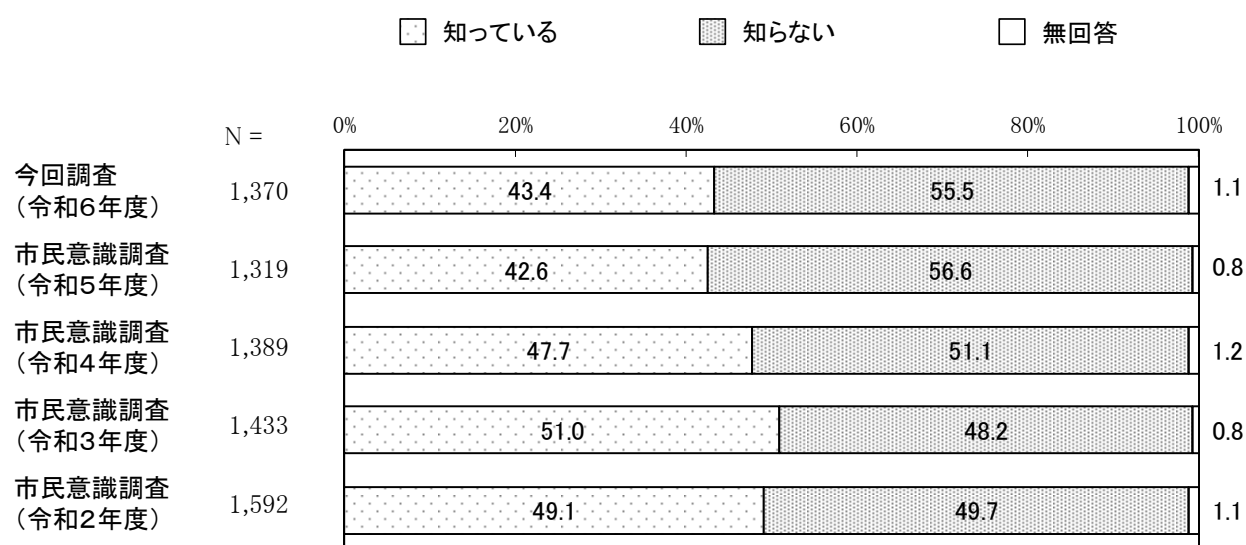
【居住地区別】



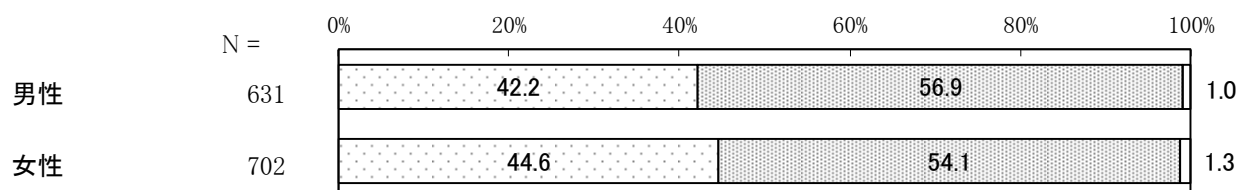
問 29 あなたは、消費者トラブルに巻きこまれたときや、多重債務に陥ったときの相談窓口として、市役所内に消費生活センターがあることを知っていますか。《○1つ》

6割近くが「知らない」、認知度は43.4%

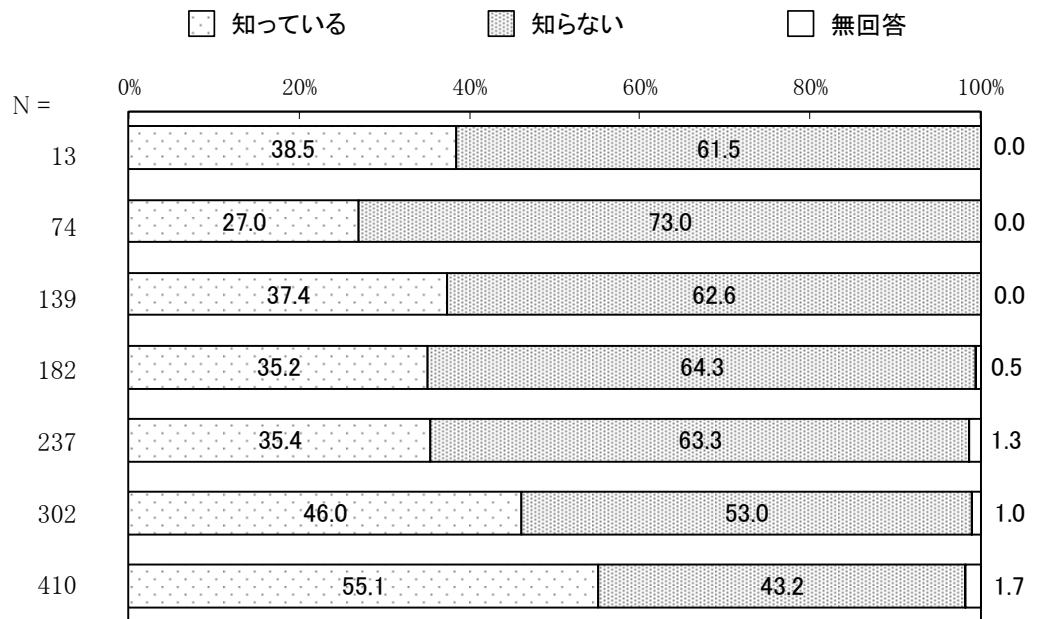
- ・ 市役所内に消費生活センターがあることを知っているかについては、「知っている」が43.4%、「知らない」が55.5%と、知らない人が多くなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、認知度（「知っている」の割合）は、令和4年度以降低下していましたが、わずかに向上しました。
- ・ 年代別では、20歳代の認知度（前述）が27.0%と、最も低くなっています。40歳以上で年齢が上がるほど認知度（前述）が高くなる傾向があり、70歳以上では6割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区で認知度（前述）が6割と高くなっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は、八日市地区で7割と高くなっています。



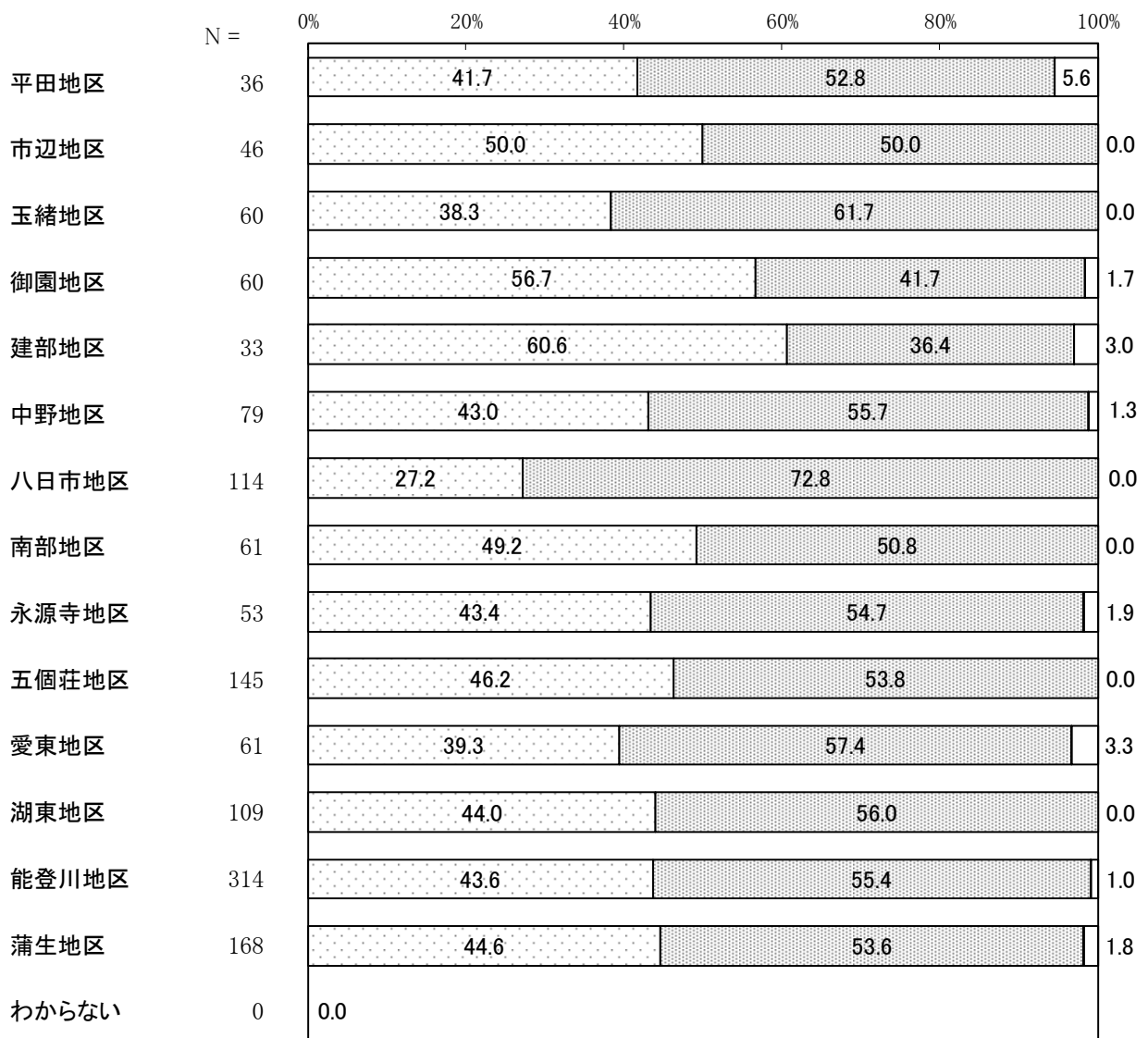
【性別】



【年代別】



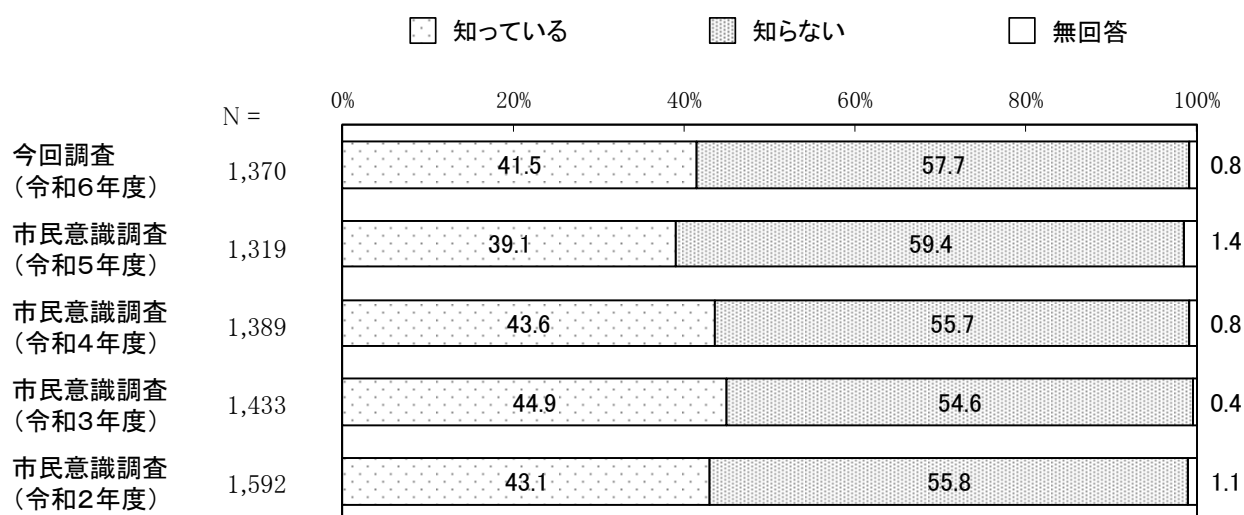
【居住地区別】



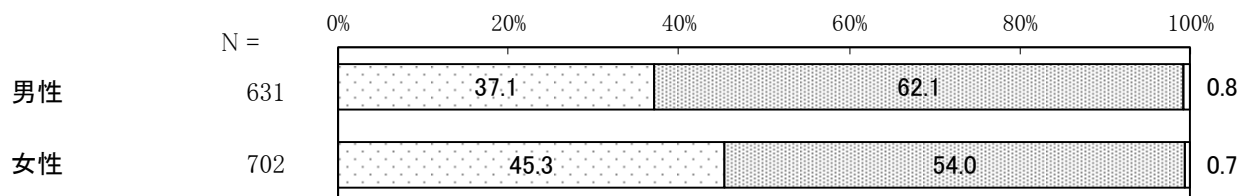
問 30 あなたは、市役所内の市民生活相談課で、暮らしの困りごとに関して法律相談や登記相談等を受けられることを知っていますか。《○1つ》

6割近くが「知らない」、認知度は41.5%

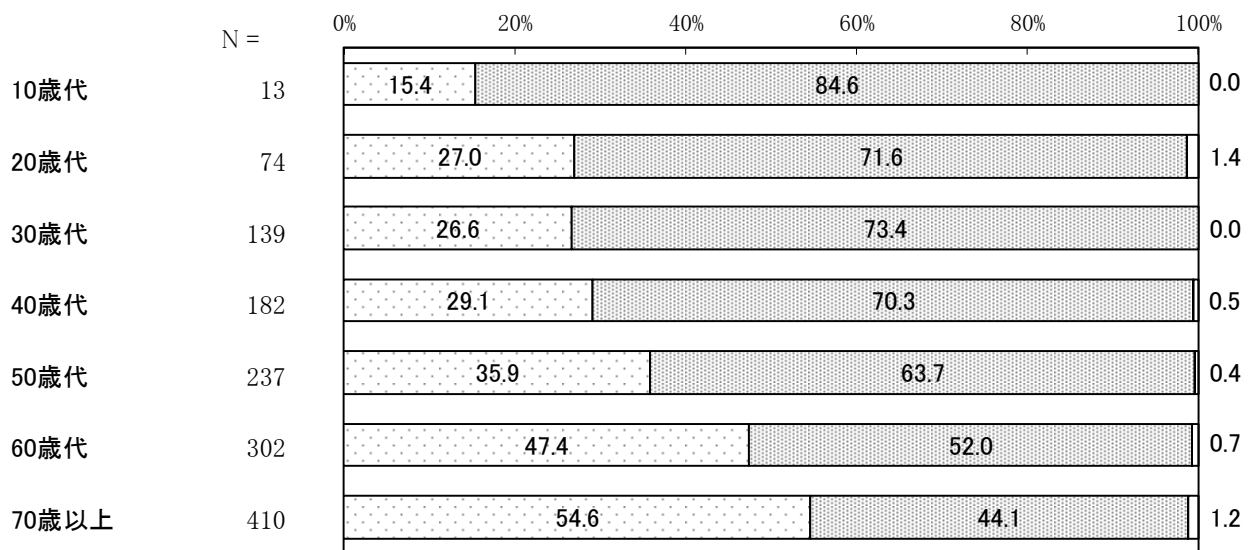
- ・ 市役所内の市民生活相談課で法律相談や登記相談等を受けられることについては、「知っている」が41.5%、「知らない」が57.7%と、知らない人が多くなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動はあるものの、認知度（「知っている」の割合）は4割前後で推移しています。
- ・ 性別では、女性で認知度（前述）が半数近くと男性より高くなっています。
- ・ 年代別では、認知度（前述）は10歳代が15.4%と最も低く、30歳以上で年齢が上がるほど高くなる傾向があり、70歳以上では半数以上が認知しています。
- ・ 居住地区別では、御園地区、南部地区、市辺地区、永源寺地区で認知度（前述）が半数以上と高く、平田地区、湖東地区などで3割と低くなっています。



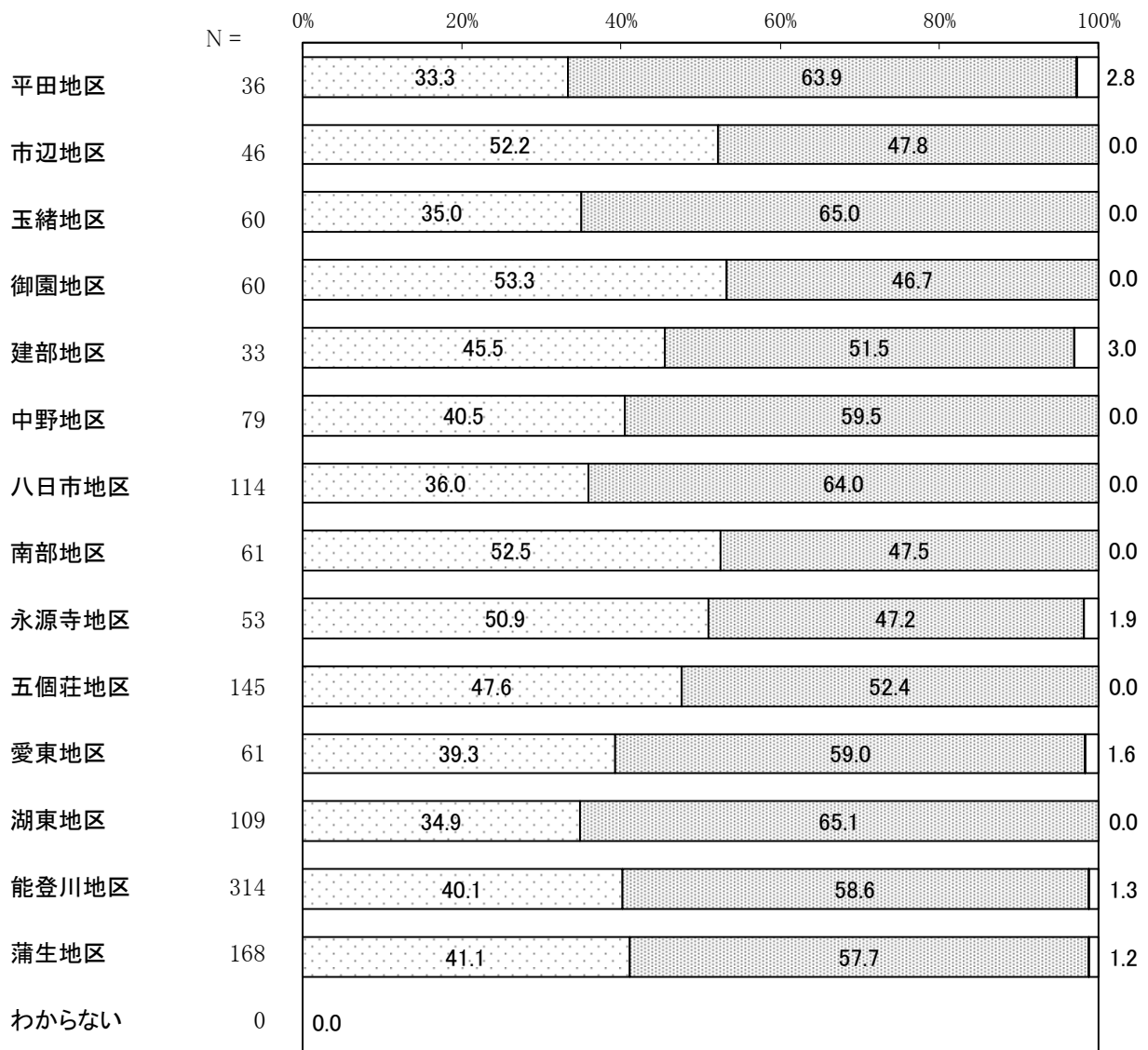
【性別】



【年代別】



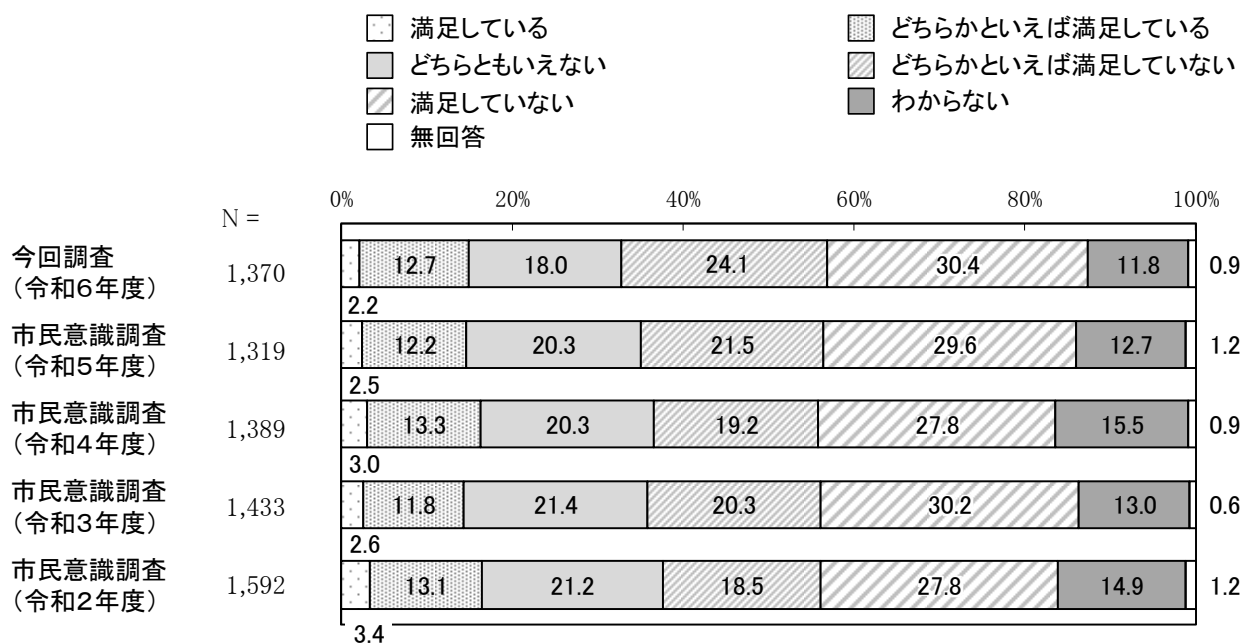
【居住地区別】



問 31 あなたは、市内の鉄道やバス等の公共交通に対して満足していますか。《○ 1 つ》

半数以上が満足していない

- ・ 公共交通に対する満足度については、「満足していない」が 30.4%、「どちらかといえば満足していない」が 24.1%で、これらを合わせると 54.5%となり、半数以上の人満足していないと回答しています。一方、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると 14.9%となり、1割は満足しています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、満足している人（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合よりも満足していない人（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が高くなっています。
- ・ 年代別では 10 歳代や 30 歳代で、居住地区別では特に湖東地区で満足していない人（前述）の割合が高くなっています。

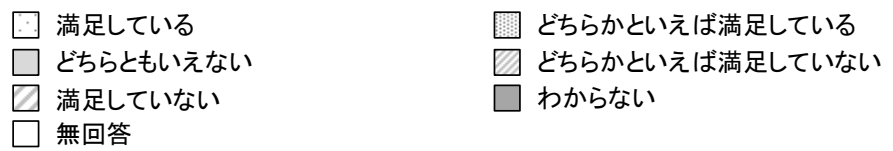


単位：％

	満足*	不満*	差
①今回調査(令和6年度)	14.9	54.5	-39.6
②市民意識調査(令和5年度)	14.7	51.1	-36.4
③市民意識調査(令和4年度)	16.3	47.0	-30.7
④市民意識調査(令和3年度)	14.4	50.5	-36.1
⑤市民意識調査(令和2年度)	16.5	46.3	-29.8
①－⑤	-1.6	8.2	-9.8

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計

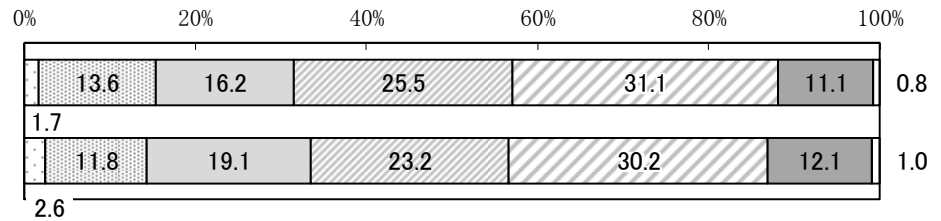


【性別】

男性

N =

631

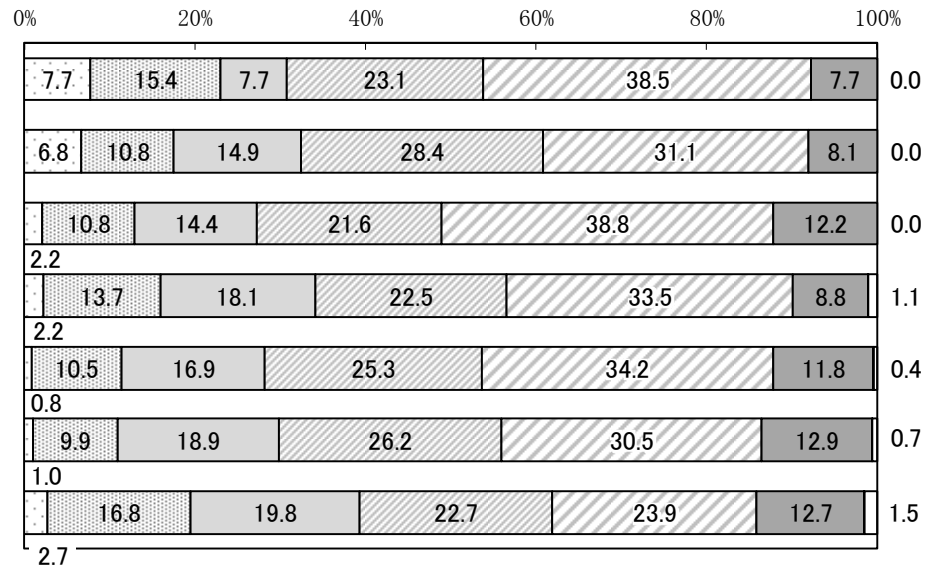


【年代別】

10歳代

N =

13

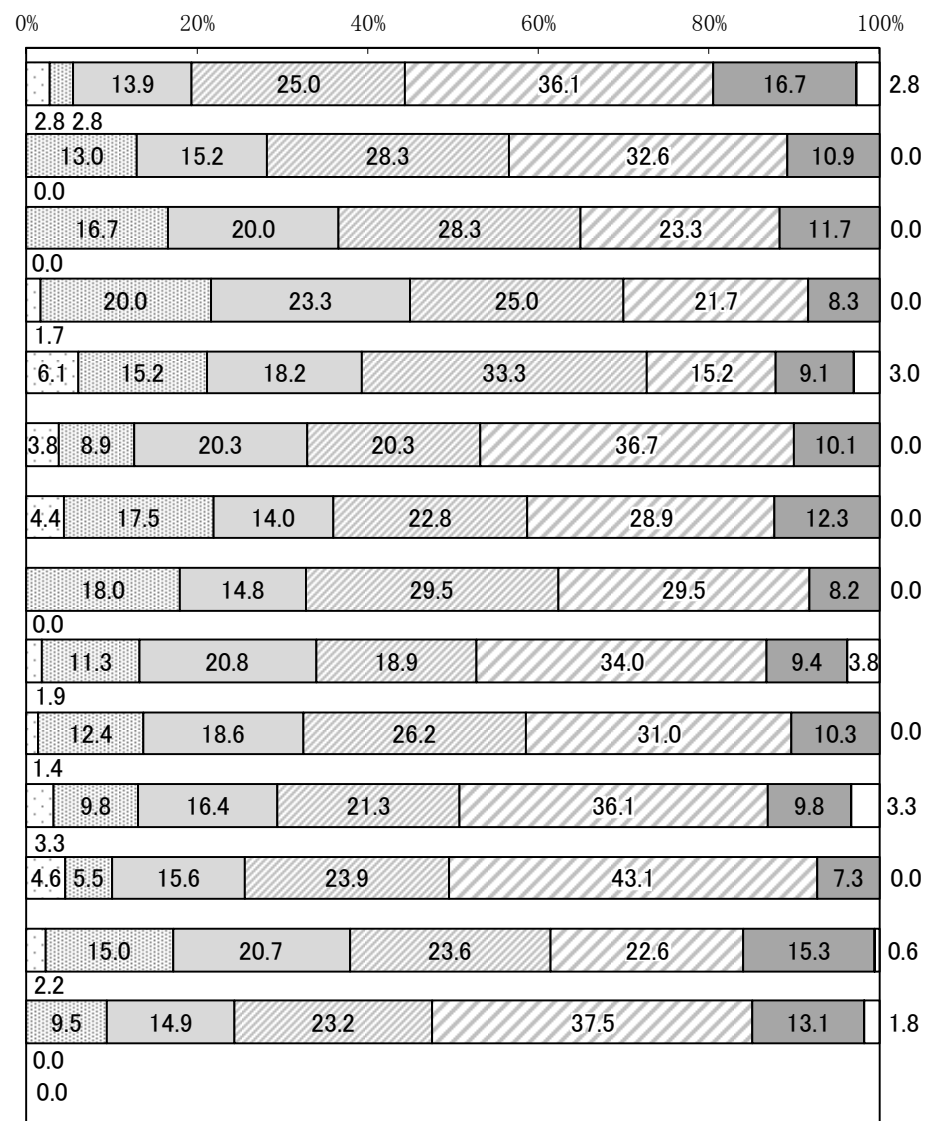


【居住地区別】

平田地区

N =

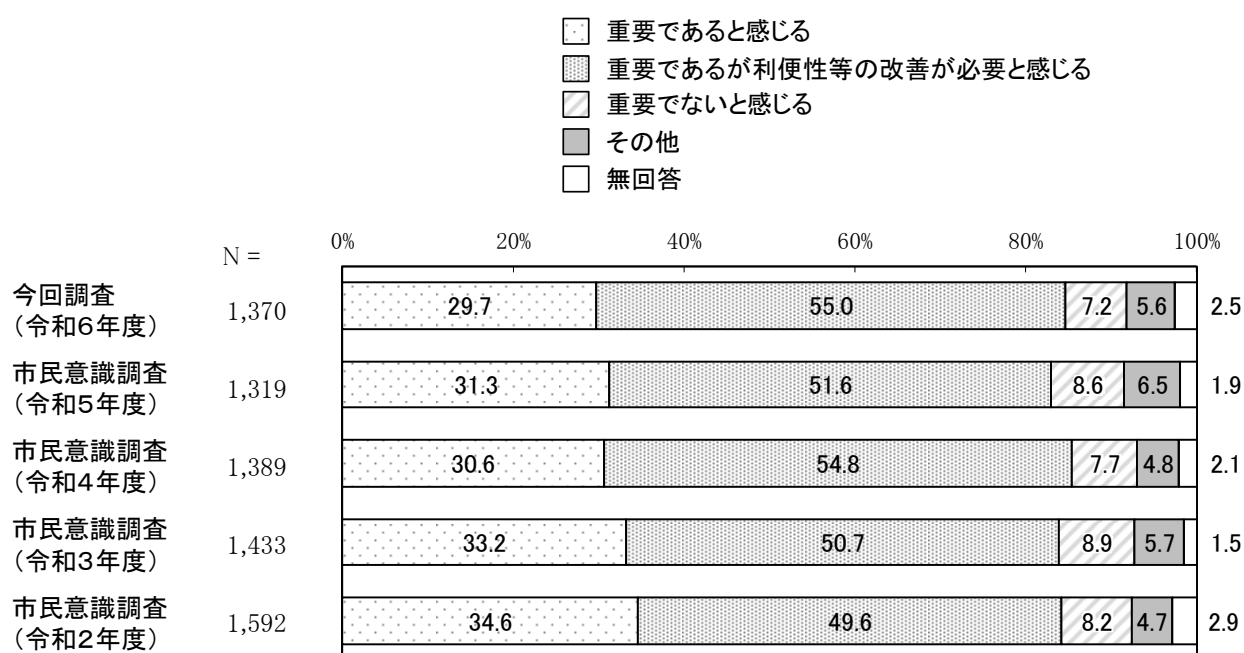
36



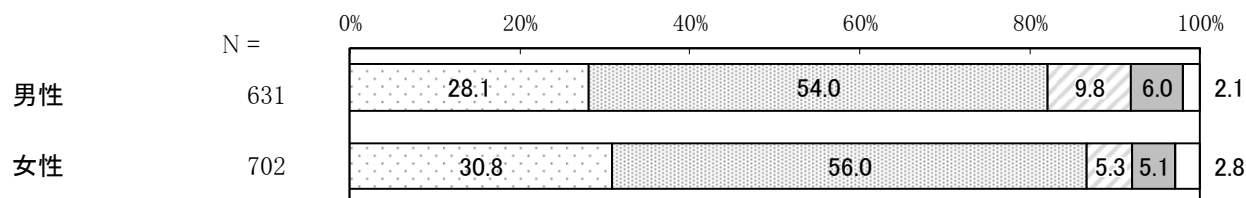
問 32 市内には近江鉄道の駅が 13 箇所あり、全線を将来にわたって存続させていくために、令和 6 年 4 月 1 日から公有民営方式による上下分離の新たな運行形態に移行しました。あなたは、近江鉄道線についてどう感じていますか。《○ 1 つ》

8 割以上が重要と感じており、半数以上が改善を望む

- ・ 近江鉄道線については、「重要であるが利便性等の改善が必要と感じる」が 55.0%と最も多く、次いで「重要であると感じる」が 29.7%と続きます。これらを合わせると 84.7%となり、8 割以上の人が近江鉄道線は重要であると考えています。
- ・ 重要であると感じている人（「重要であると感じる」と「重要であるが利便性等の改善が必要と感じる」の合計）の割合は、性別では女性で、年代別では 20 歳代や 50～60 歳代で 9 割近く、居住地区別では南部地区で 100%、市辺地区、建部地区、中野地区で 9 割以上と多く見られます。

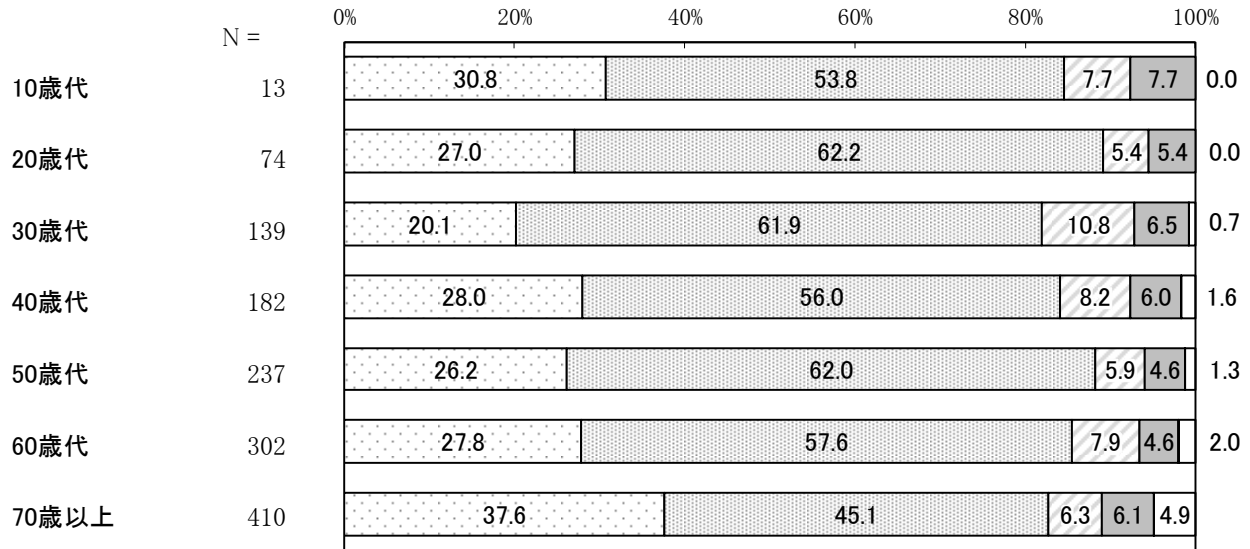


【性 別】

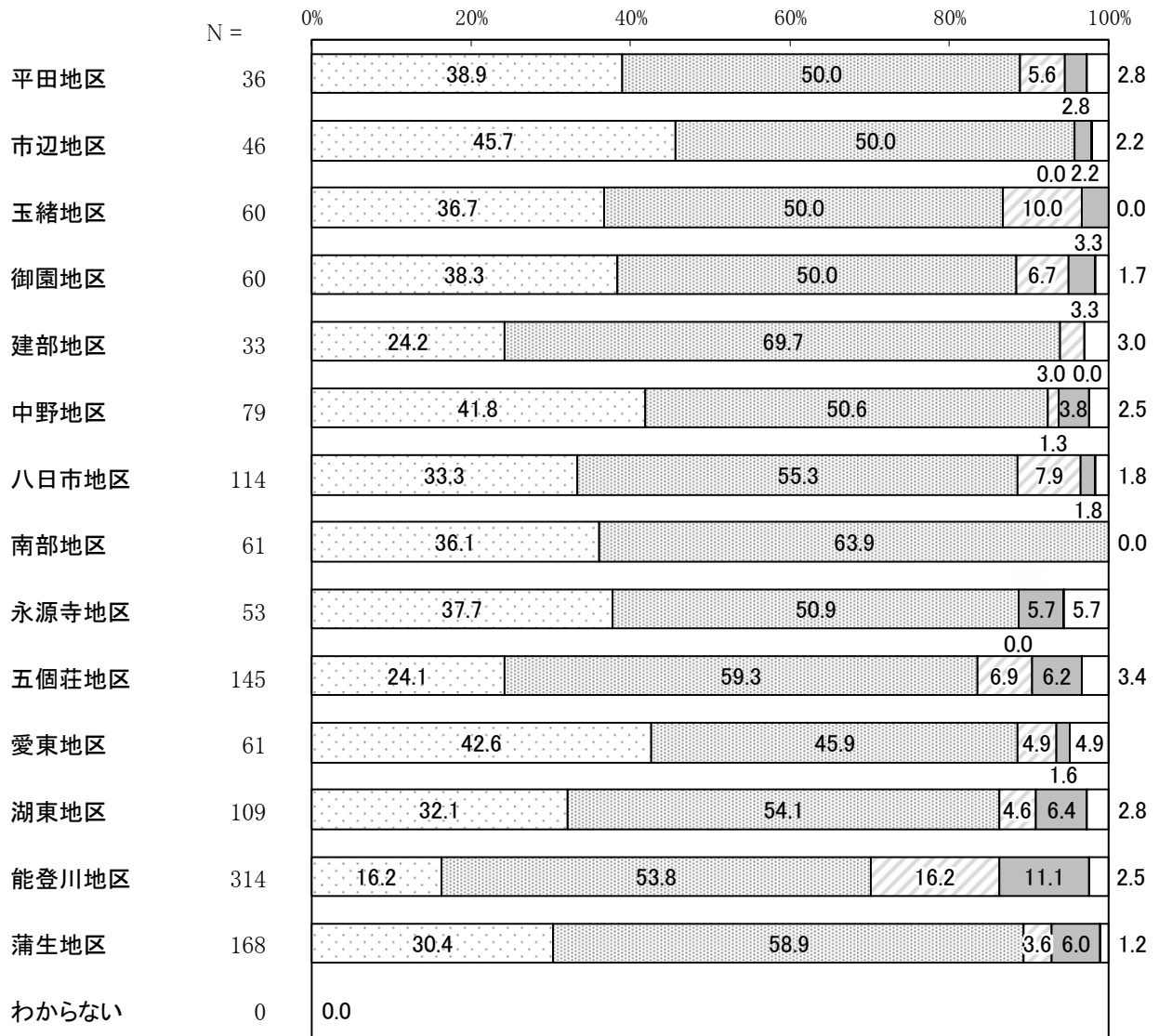


- 重要であると感じる
- 重要であるが利便性等の改善が必要と感じる
- 重要でないと感じる
- その他
- 無回答

【年代別】



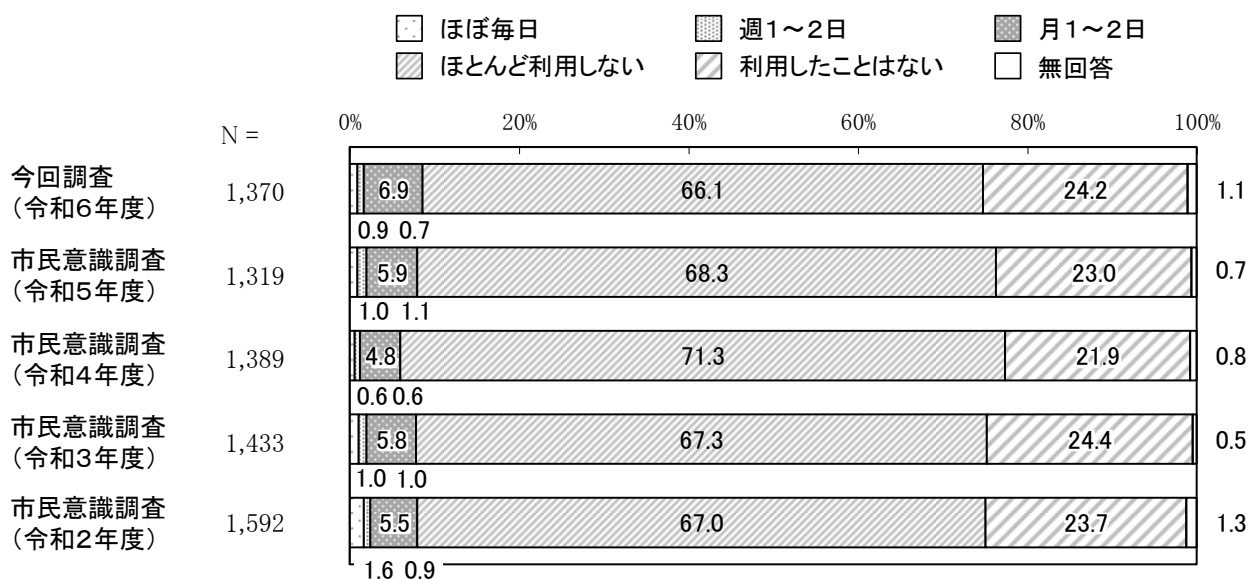
【居住地区別】



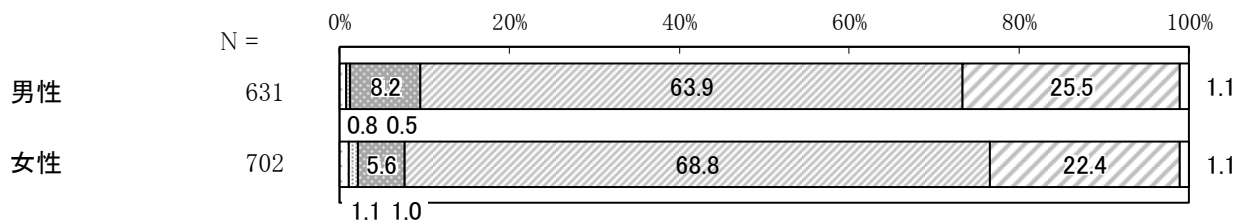
問 33 あなたは、近江鉄道をどの程度利用しますか。《○1つ》

9割が利用していない

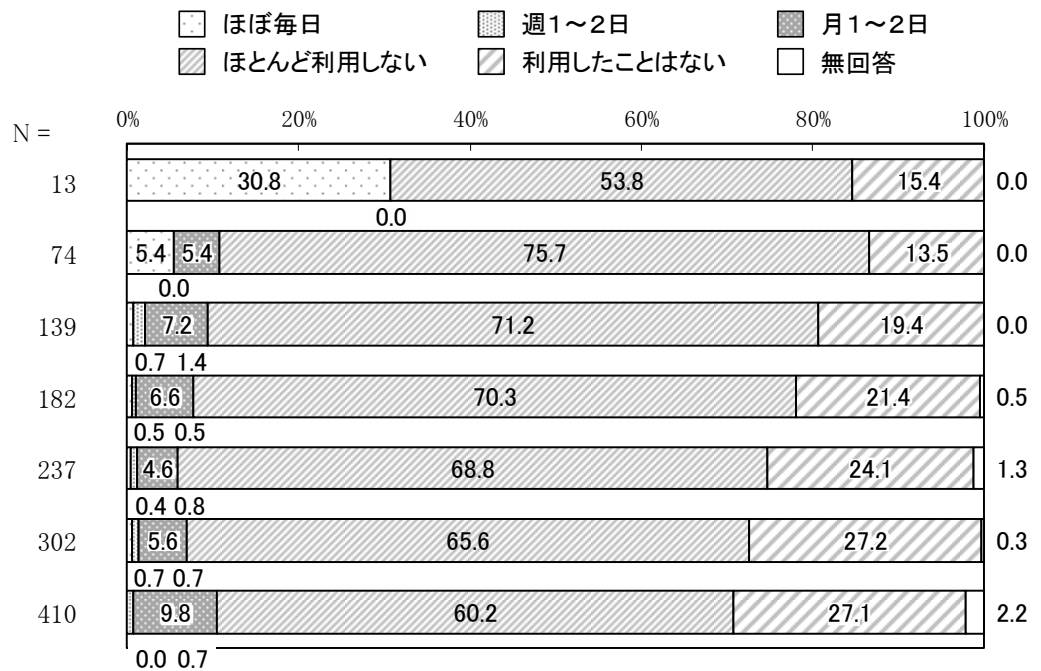
- ・ 近江鉄道の利用頻度については、「ほとんど利用しない」が66.1%と最も多く、次の「利用したことはない」の24.2%を合わせると90.3%となり、9割の人が利用していないと回答しています。一方、利用している人は8.5%で、その内訳は「月1～2日」が6.9%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が0.9%、「週1～2日」が0.7%となっています。
- ・ 利用している人の割合は、年代別では10歳代のみが3割で「ほぼ毎日」利用していますが、ほかの年代は1割又は1割未満となっています。また、居住地区別では、八日市地区、中野地区で2割以上と比較的多くの人に利用されています。
- ・ 一方、利用していない人の割合は、特に能登川地区、湖東地区、愛東地区で高くなっています。



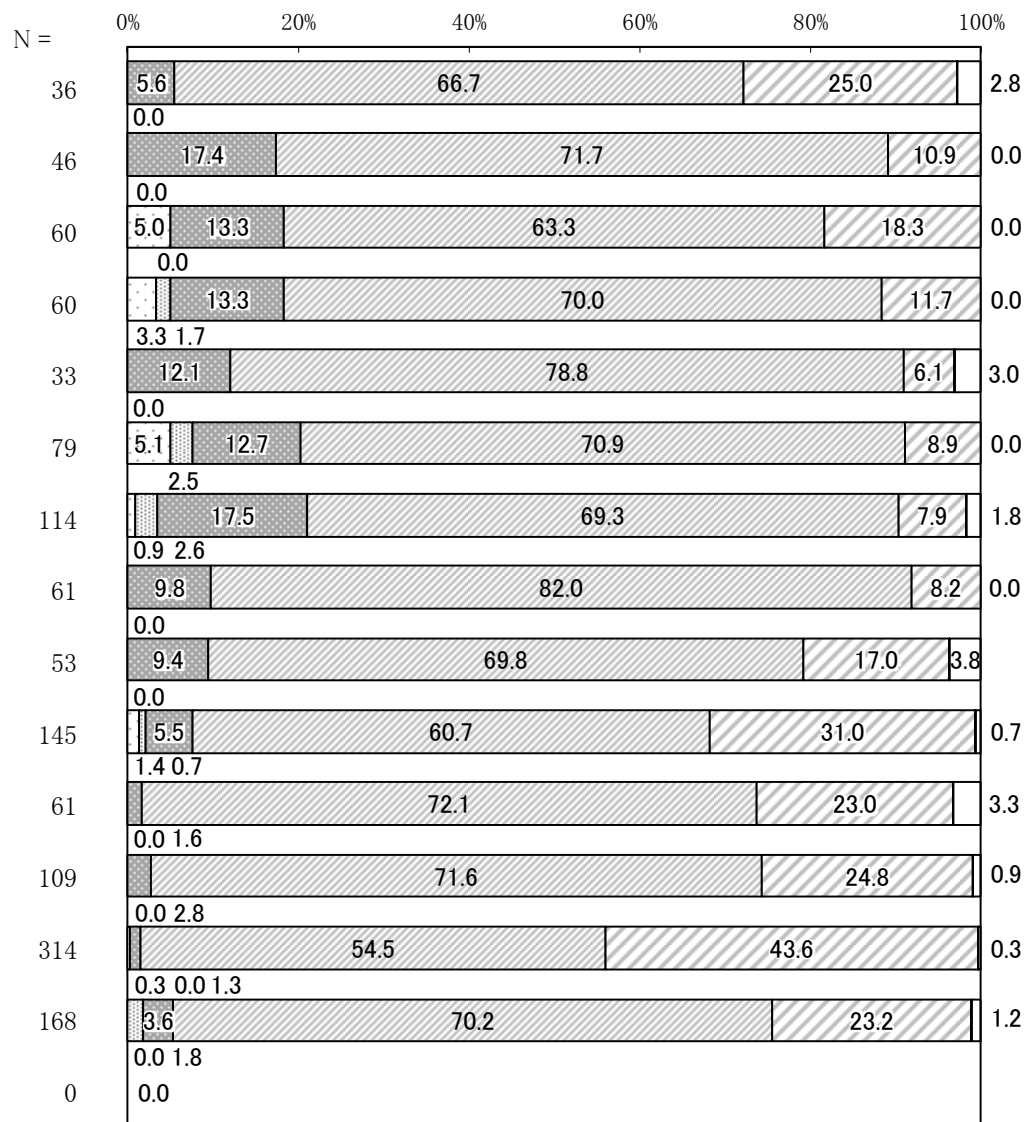
【性 別】



【年代別】



【居住地区別】

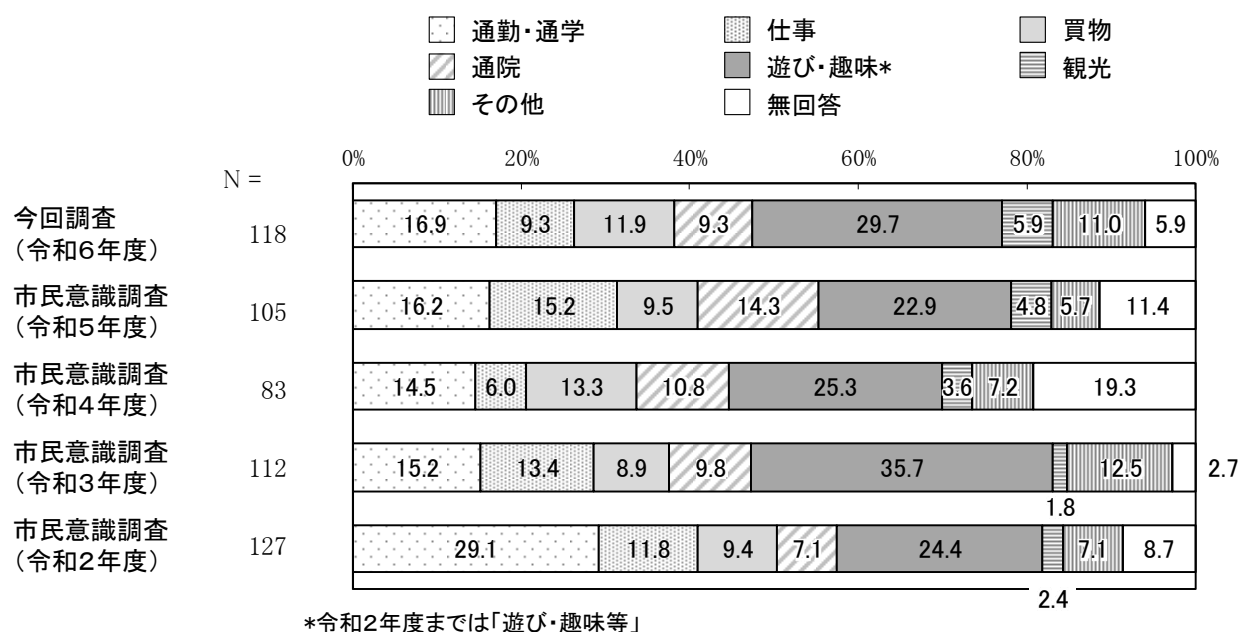


問 33-1 問 33 で「1. ほぼ毎日」「2. 週1～2日」「3. 月1～2日」とお答えの方におたずねします。

近江鉄道を利用する目的は何ですか。《○1つ》

近江鉄道の利用目的は「遊び・趣味」が3割近く

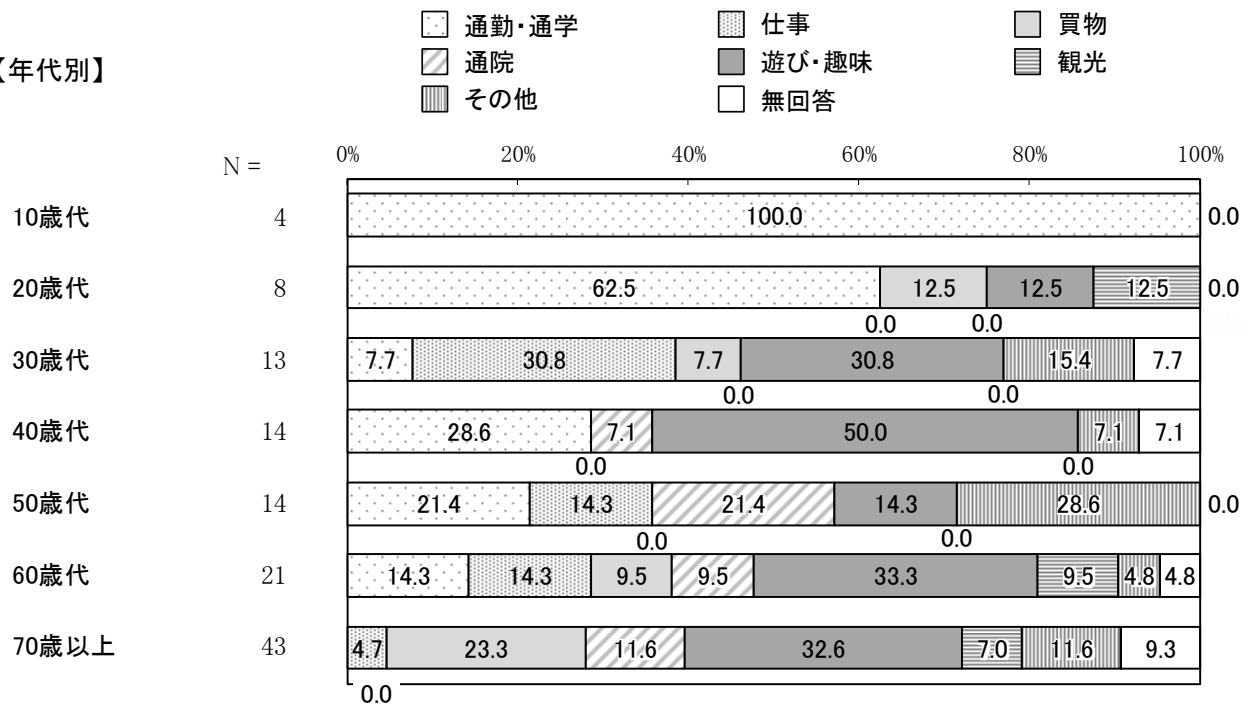
- ・ 近江鉄道の利用目的は、「遊び・趣味」が29.7%と最も多く、次いで「通勤・通学」が16.9%、「買物」が11.9%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに、「遊び・趣味」での利用が最も多くなっていますが、女性は「買物」や「通院」などでの利用が男性より多くあげられています。



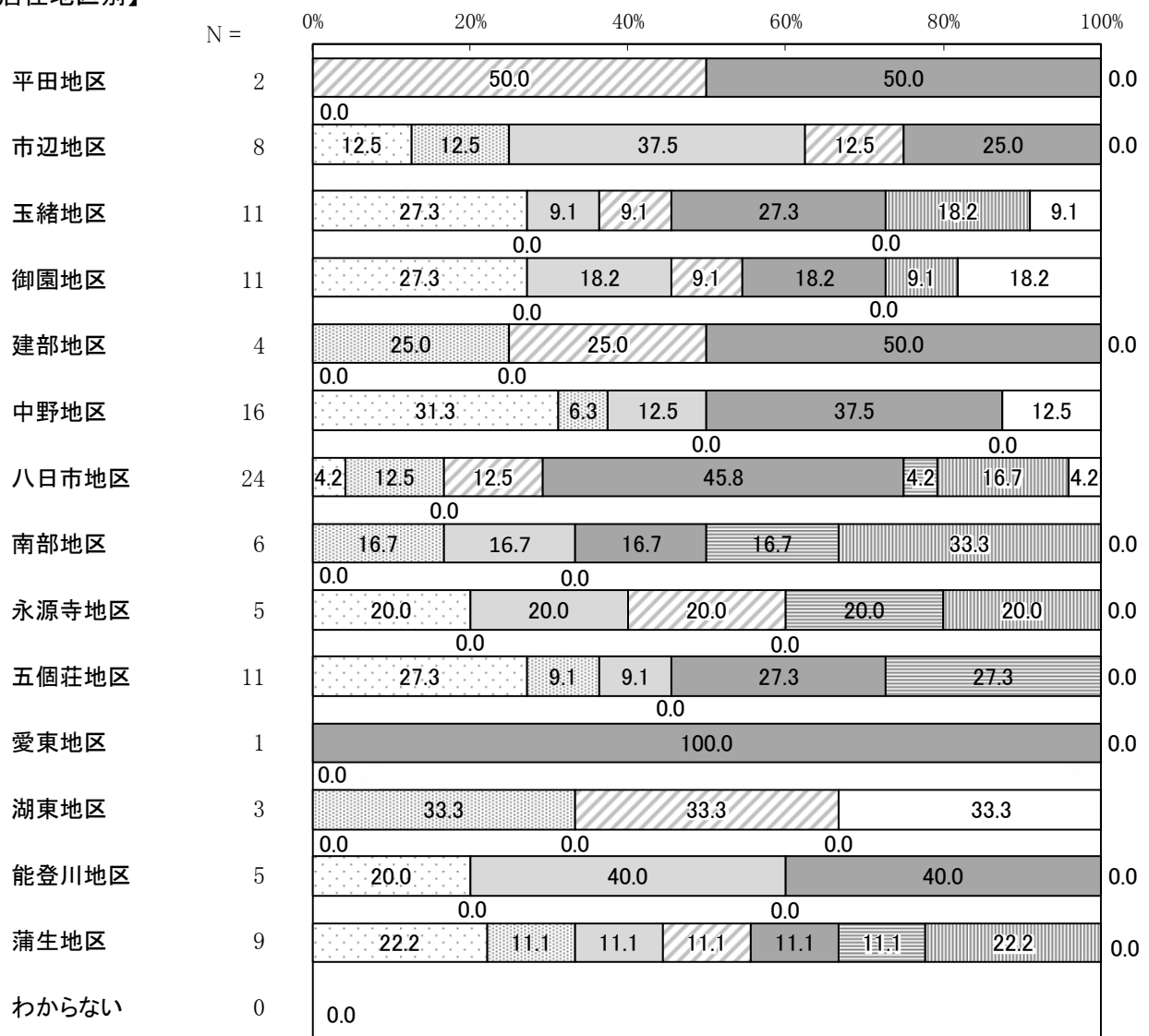
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

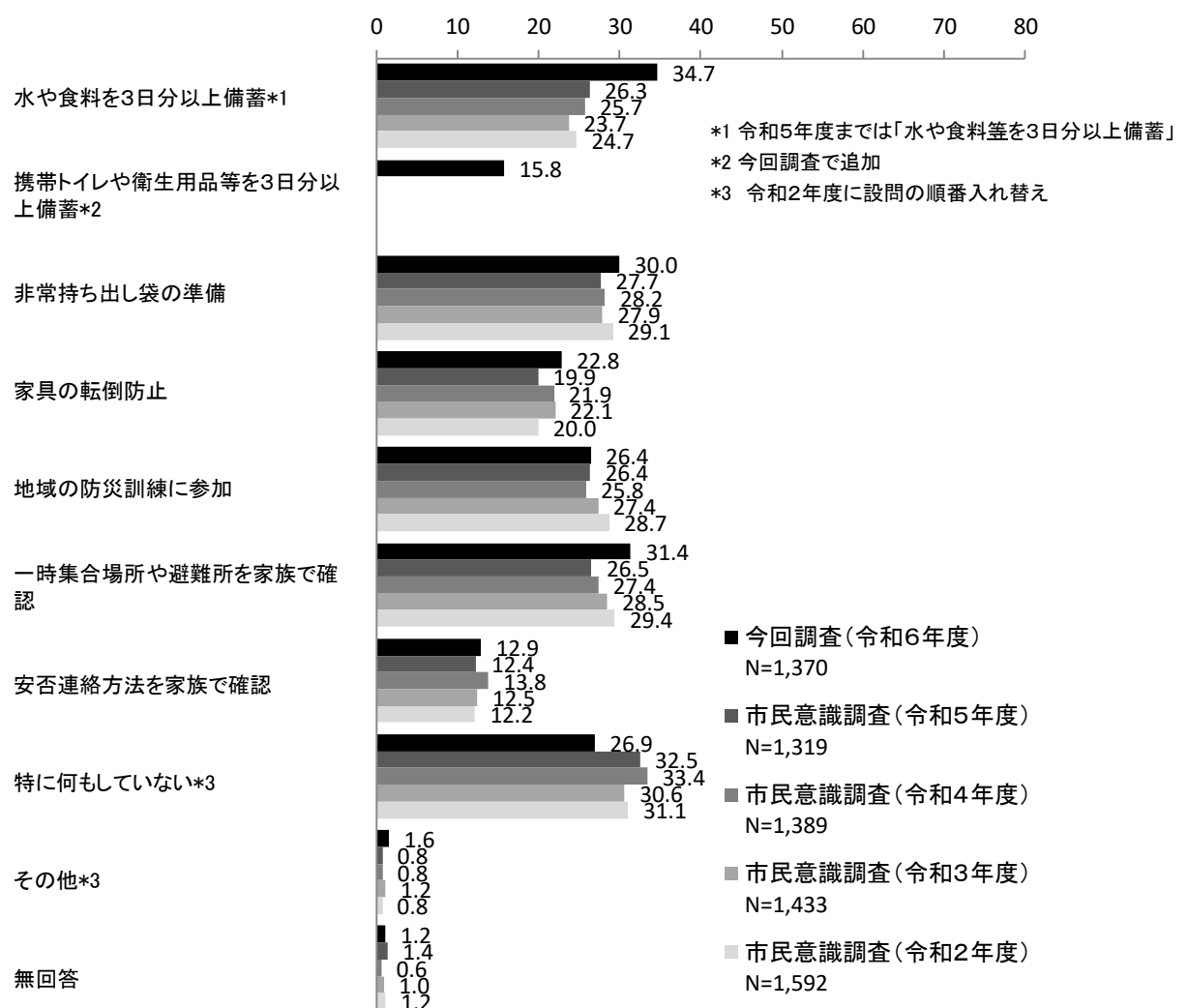


問 34 あなたは、地震等の災害に備えてどのような準備をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

7割以上が何らかの災害への備えをしている

- ・ 災害への備えについては、何らかの備えをしている人は71.9%*で、7割を超えています。その内容は、「水や食料を3日分以上備蓄」が34.7%と最も多く、次いで「一時集合場所や避難所を家族で確認」が31.4%、「非常持ち出し袋の準備」が30.0%と続きます。一方で、「特に何もしていない」は26.9%となっています。
- ・ 性別では、男性は「一時集合場所や避難所を家族で確認」が、女性は「水や食料を3日分以上備蓄」が最も多くなっています。そのほか、男性は「地域の防災訓練に参加」が女性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、10～20歳代は「特に何もしていない」が、30～60歳代は「水や食料を3日分以上備蓄」が、70歳以上は「一時集合場所や避難所を家族で確認」が最も多くあげられています。そのほか、「地域の防災訓練に参加」は年齢が上がるほどその割合が高くなる傾向が見られるほか、「携帯トイレや衛生用品等を3日分以上備蓄」が30歳代ではかの年代より多く見られます。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、永源寺地区で「非常持ち出し袋の準備」が、湖東地区で「地域の防災訓練に参加」が、市辺地区、能登川地区、南部地区で「一時集合場所や避難所を家族で確認」が、玉緒地区で「特に何もしていない」が、そのほかの地区で「水や食料を3日分以上備蓄」が最も多くあげられています。

*有効回答数（1,370件）に対する「特に何もしていない」と「無回答」を除いた985件の割合 %



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	備蓄 水や食料を3日以上	携帯トイレや衛生用品 等を3日以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所 を家族で確認	確認 安否連絡方法を家族で	特に何もしていない	その他	無回答
男性	631	31.7	12.4	28.4	24.6	29.3	32.3	13.5	27.6	1.4	1.1
女性	702	37.6	19.2	31.5	21.2	23.4	30.3	12.4	26.5	1.6	1.0

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	備蓄 水や食料を3日以上	携帯トイレや衛生用品 等を3日以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所 を家族で確認	確認 安否連絡方法を家族で	特に何もしていない	その他	無回答
10歳代	13	30.8	15.4	15.4	15.4	0.0	15.4	7.7	53.8	0.0	0.0
20歳代	74	35.1	13.5	21.6	18.9	4.1	18.9	14.9	39.2	0.0	0.0
30歳代	139	37.4	26.6	34.5	20.1	13.7	22.3	5.0	28.1	2.9	0.7
40歳代	182	32.4	18.1	31.9	21.4	14.3	25.3	11.5	31.3	1.1	0.5
50歳代	237	36.3	17.3	31.2	24.9	25.7	35.4	12.2	26.2	2.5	1.3
60歳代	302	36.1	15.6	26.2	18.5	34.1	32.5	11.3	27.8	0.3	1.0
70歳以上	410	33.4	11.0	31.2	26.8	35.6	35.9	17.8	21.7	1.7	1.7

【居住地区別】

単位: %

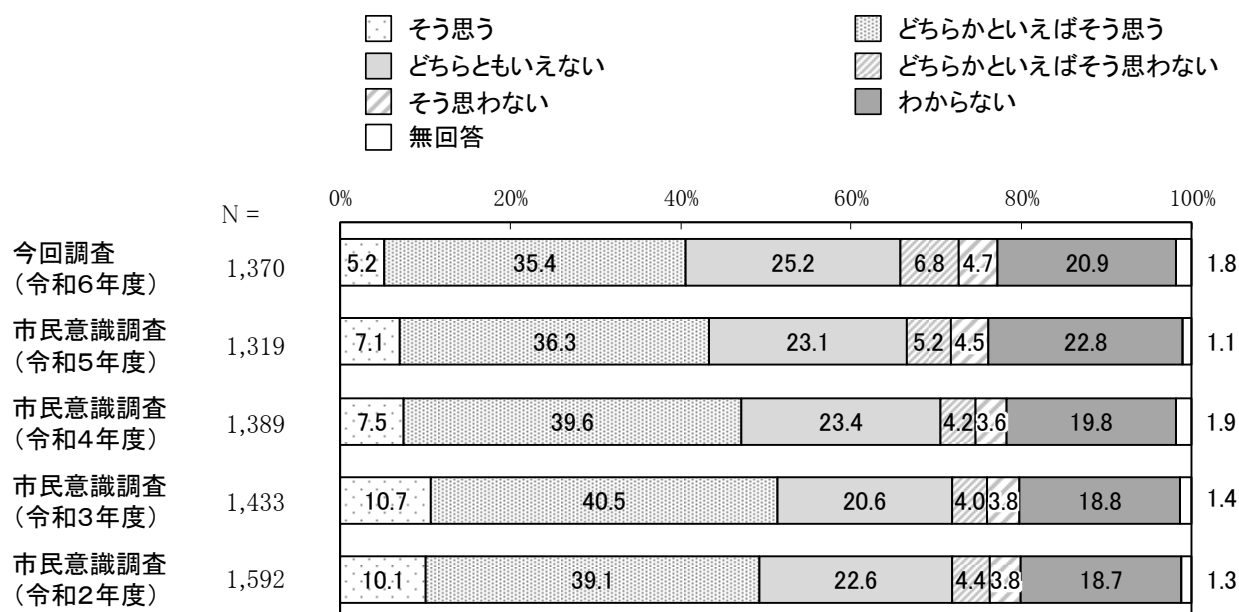
区 分	有効回答数（件）	備蓄 水や食料を3日以上	携帯トイレや衛生用品 等を3日以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所 を家族で確認	確認 安否連絡方法を家族で	特に何もしていない	その他	無回答
平田地区	36	36.1	16.7	25.0	25.0	22.2	22.2	8.3	27.8	2.8	2.8
市辺地区	46	32.6	17.4	32.6	28.3	30.4	39.1	10.9	13.0	2.2	0.0
玉緒地区	60	21.7	10.0	30.0	18.3	20.0	30.0	5.0	36.7	1.7	0.0
御園地区	60	41.7	11.7	23.3	18.3	20.0	30.0	10.0	23.3	0.0	1.7
建部地区	33	42.4	12.1	36.4	9.1	21.2	27.3	6.1	30.3	0.0	3.0
中野地区	79	36.7	17.7	30.4	24.1	7.6	26.6	17.7	32.9	1.3	0.0
八日市地区	114	37.7	19.3	22.8	21.9	17.5	27.2	13.2	33.3	2.6	1.8
南部地区	61	34.4	8.2	32.8	19.7	19.7	36.1	19.7	29.5	1.6	0.0
永源寺地区	53	32.1	9.4	43.4	26.4	34.0	30.2	17.0	26.4	3.8	0.0
五個荘地区	145	37.9	20.0	32.4	24.8	28.3	33.1	17.9	25.5	0.0	1.4
愛東地区	61	27.9	18.0	49.2	16.4	34.4	23.0	3.3	23.0	3.3	3.3
湖東地区	109	34.9	13.8	20.2	18.3	36.7	31.2	14.7	26.6	1.8	0.9
能登川地区	314	32.8	17.8	28.7	23.9	32.5	36.3	13.1	24.2	0.6	0.6
蒲生地区	168	38.1	16.1	31.0	26.2	23.2	29.2	11.3	28.0	2.4	1.2
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 子育てや教育関連の取組について

問 35 あなたは、東近江市は子育てをするのに良い環境であると思いますか。《○1つ》

4割が子育てをするのに良い環境だと思っている

- ・ 東近江市が子育てをするのに良い環境かどうかについては、「そう思う」が5.2%、「どちらかといえばそう思う」が35.4%で、これらを合わせると40.6%となり、4割の人が子育てをするのに良い環境だと思うと回答しています。
- ・ 子育てをするのに良い環境だと思わないと回答した人（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）は1割ですが、半数近くは「わからない」又は「どちらともいえない」と回答しています。
- ・ 過去の調査と比較すると、令和4年度以降、子育てをするのに良い環境だと思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の割合が減少傾向にあります。
- ・ 性別では、女性で子育てをするのに良い環境だと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）人が男性より多くなっています。
- ・ 年代別では、10歳代で6割、20歳代や40歳代で半数近くと高く、比較的若い世代で子育てをするのに良い環境だと思う（前述）と回答している人が多く見られます。
- ・ 居住地区別では、子育てをするのに良い環境だと思う（前述）人の割合が、市辺地区で6割近く、御園地区、建部地区、能登川地区で半数近くと高い一方、平田地区では3割未満と低くなっています。

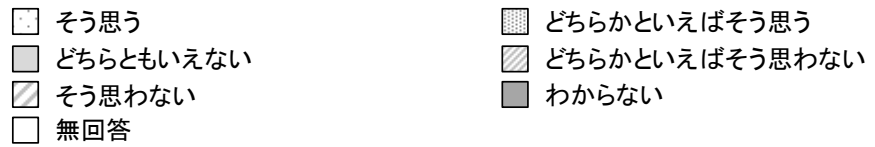


単位：％

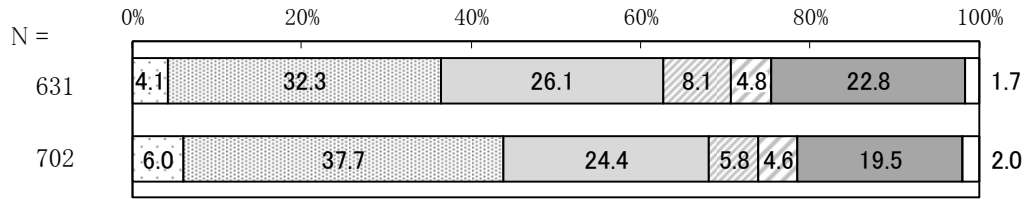
	そう思う*	そう思わない*	差
①今回調査(令和6年度)	40.6	11.5	29.1
②市民意識調査(令和5年度)	43.4	9.7	33.7
③市民意識調査(令和4年度)	47.1	7.8	39.3
④市民意識調査(令和3年度)	51.2	7.8	43.4
⑤市民意識調査(令和2年度)	49.2	8.2	41.0
①－⑤	-8.6	3.3	-11.9

* そう思う:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

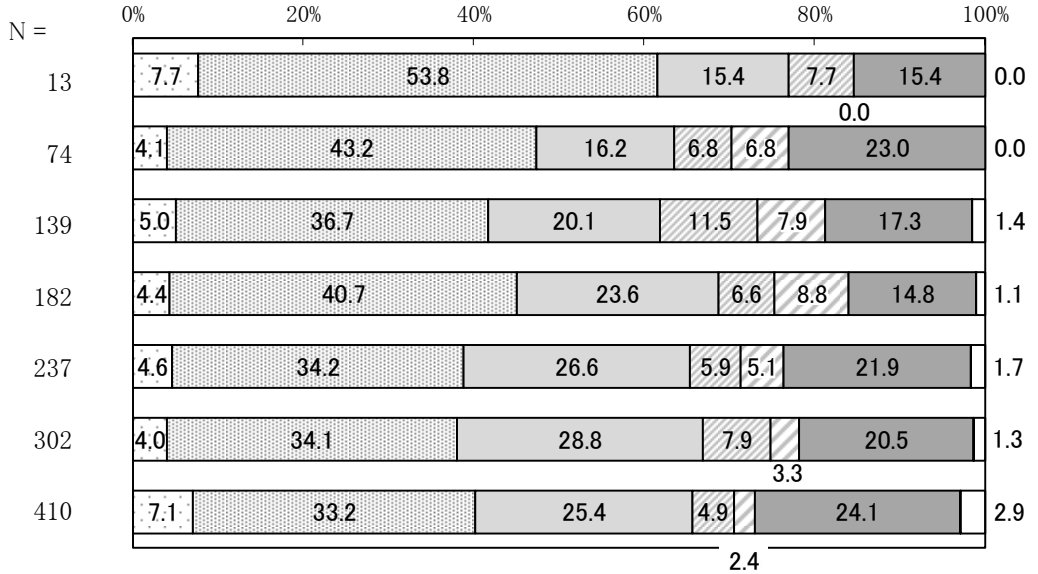
* そう思わない:「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計



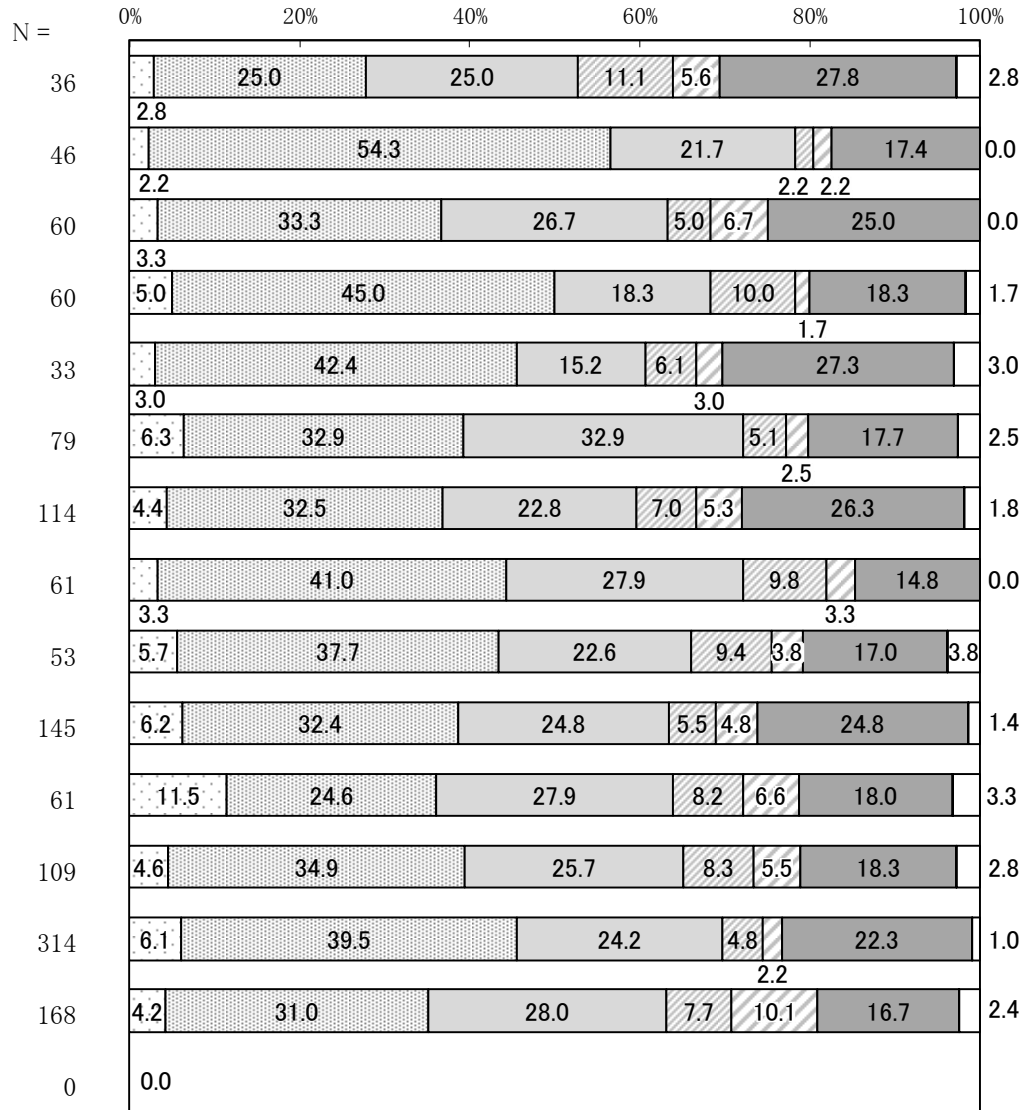
【性別】



【年代別】



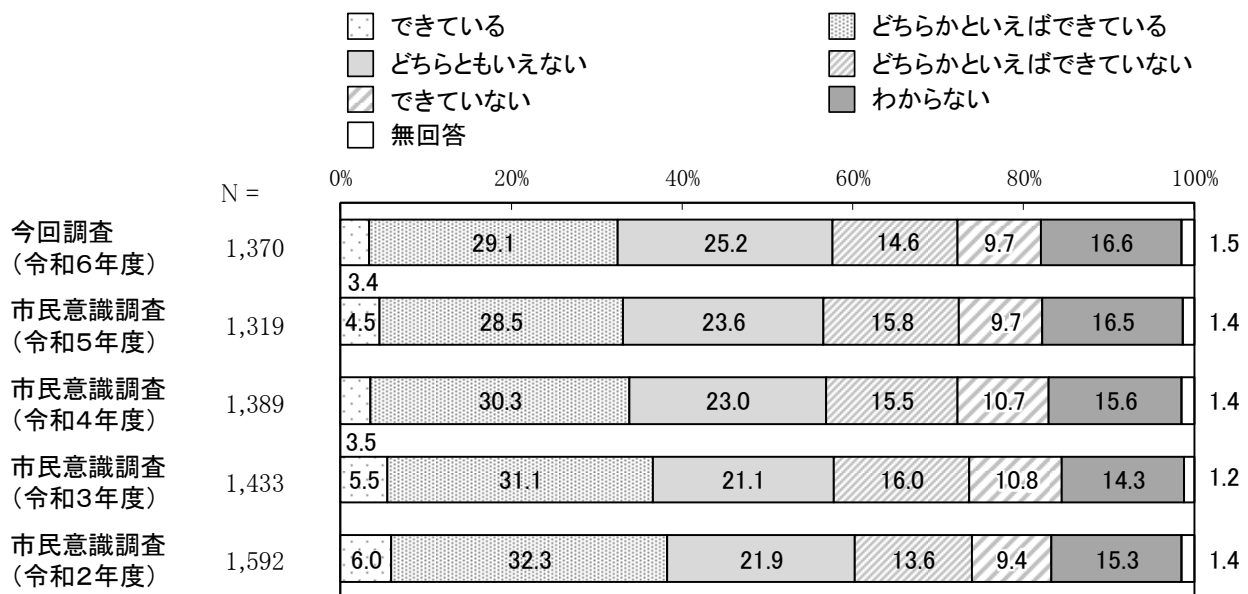
【居住地区別】



問 36 あなたは、市内において児童・生徒の通学路の安全は確保できていると思いますか。《○1つ》

3割が通学路の安全は確保できている

- ・ 通学路の安全確保については、「できている」と「どちらかといえばできている」を合わせると32.5%となり、3割の人ができていると考えています。「どちらかといえばできていない」と「できていない」を合わせると24.3%であり、通学路の安全確保はできていると考えている人のほうが多くなっています。
- ・ 性別では、男性で通学路の安全確保ができていない（「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計）と考えている人が女性より多く見られます。
- ・ 年代別では、30歳代で通学路の安全確保ができていない（前述）と考えている人が、できている（「できている」と「どちらかといえばできている」の合計）と考えている人より多くなっています。一方、10歳代で半数以上、20歳代や70歳以上で4割近くと、通学路の安全確保ができている（前述）と考えている人が多くなっています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区で半数近く、南部地区で4割と、できている（前述）と考えている人が多い一方で、玉緒地区、建部地区、湖東地区、八日市地区では、できていない（前述）と考えている人ができている（前述）と考える人より多くなっています。

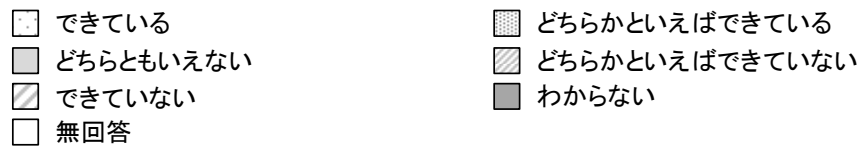


単位：％

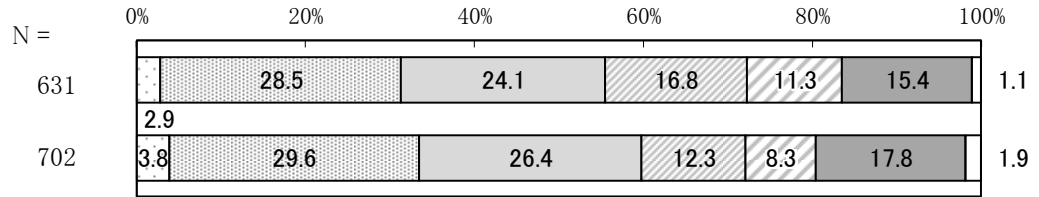
	できている*	できていない*	差
①今回調査(令和6年度)	32.5	24.3	8.2
②市民意識調査(令和5年度)	33.0	25.5	7.5
③市民意識調査(令和4年度)	33.8	26.2	7.6
④市民意識調査(令和3年度)	36.6	26.8	9.8
⑤市民意識調査(令和2年度)	38.3	23.0	15.3
①－⑤	-5.8	1.3	-7.1

* できている:「できている」と「どちらかといえばできている」の合計

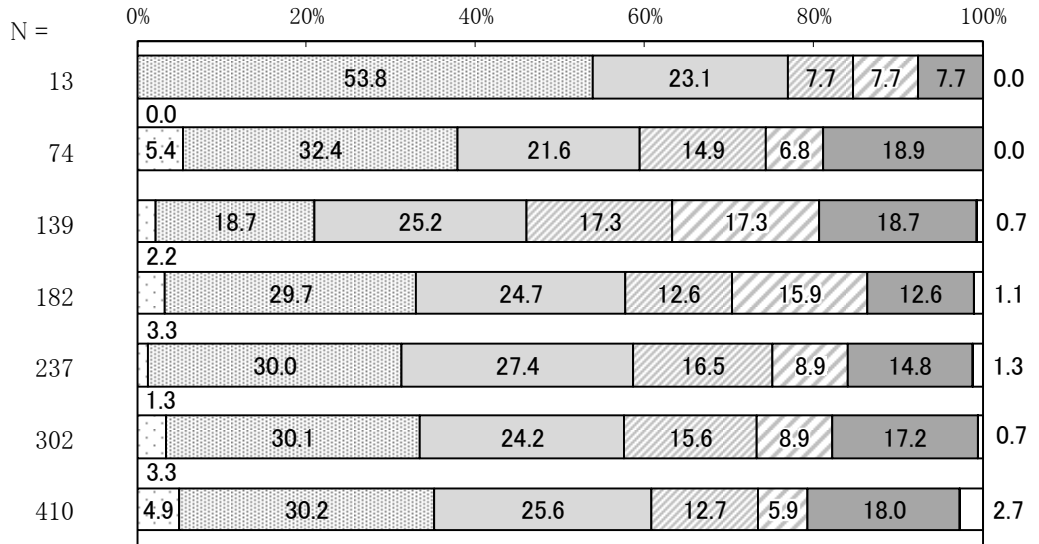
* できていない:「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計



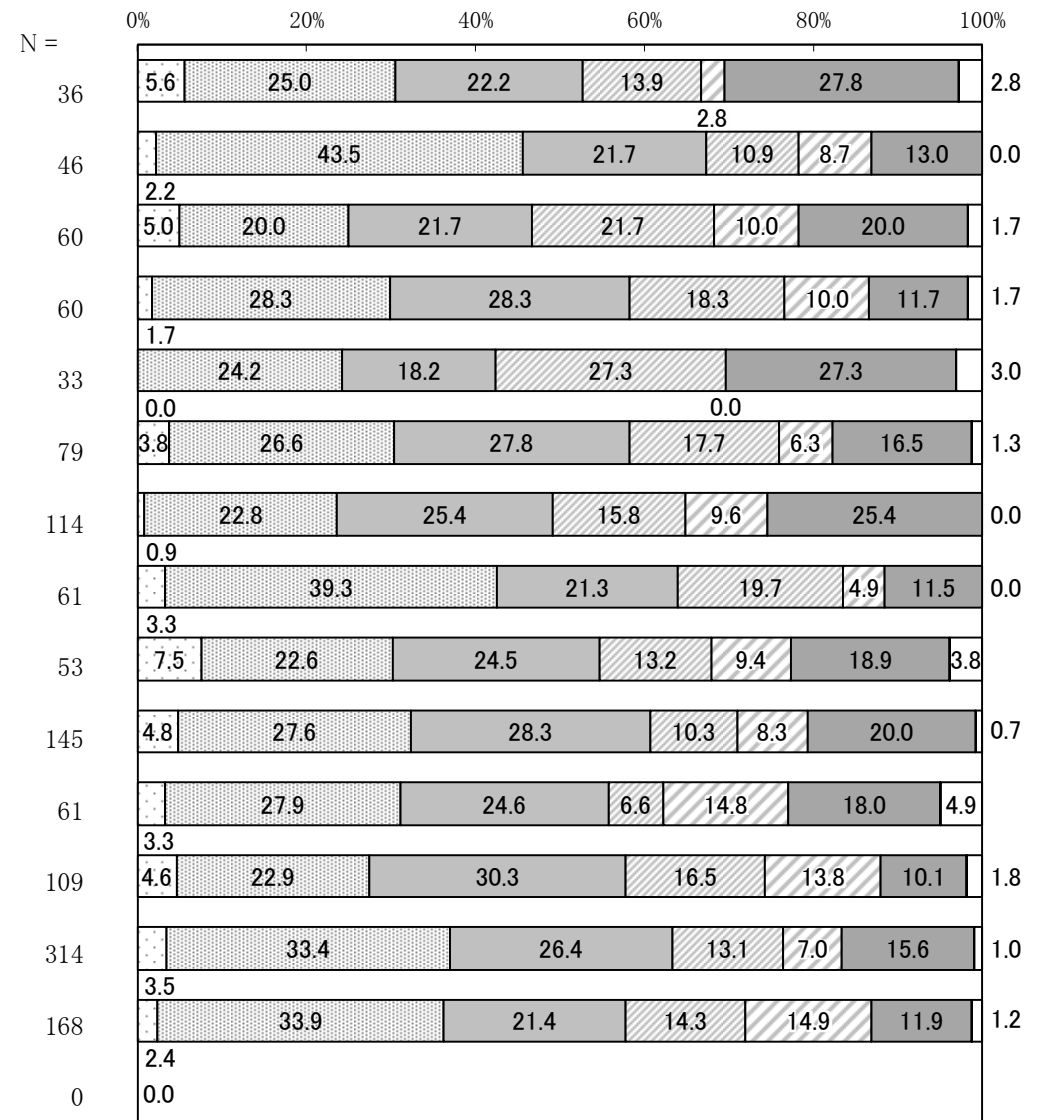
【性別】



【年代別】



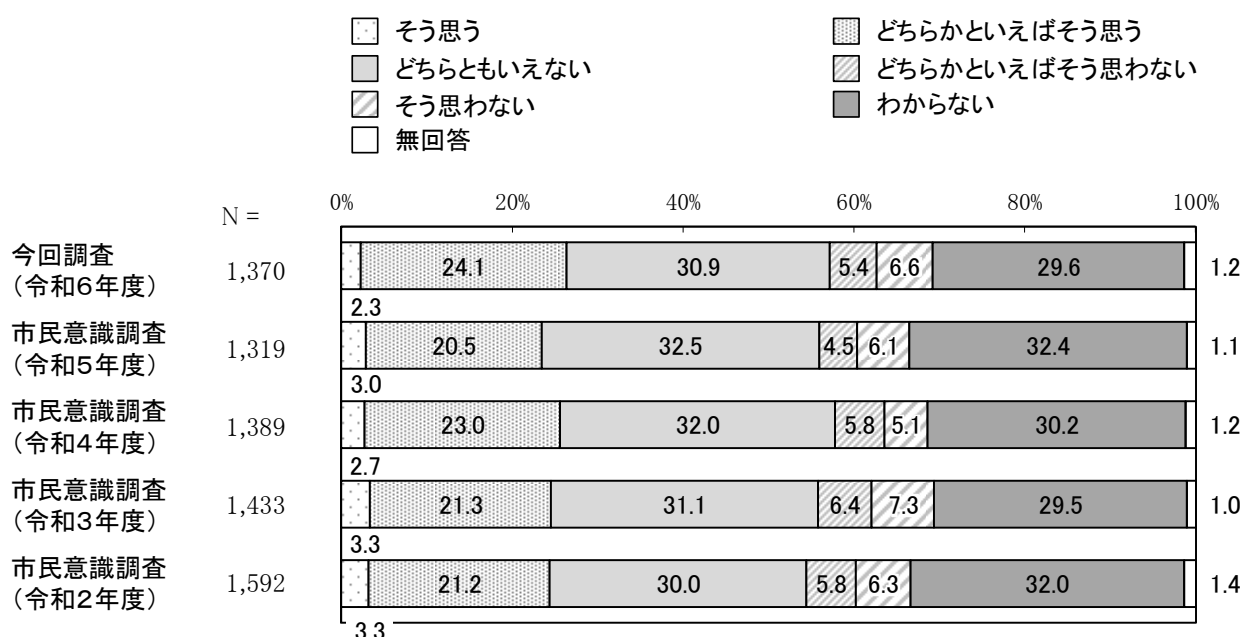
【居住地区別】



問 37 あなたは、「東近江市は人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。《○1つ》

3割近くが「人権が尊重されるまちになっている」、6割が「どちらともいえない」又は「わからない」

- ・ 東近江市は人権が尊重されるまちになっていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）人の割合は26.4%で、そう思わない（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）人の割合の12.0%より高くなっています。一方、人権が尊重されるまちになっているかについて、「どちらともいえない」と回答した人は30.9%と最も多く、「わからない」と回答した人も29.6%見られ、これらを合計すると60.5%になります。
- ・ 性別では男性で3割近く、年代別では10歳代や70歳以上で、居住地区別では永源寺地区でいずれも4割近くが、人権が尊重されるまちになっていると思う（前述）と回答しています。一方、蒲生地区、建部地区、御園地区では、そう思わない（前述）人の割合が2割近くと、ほかの地区よりやや高くなっています。

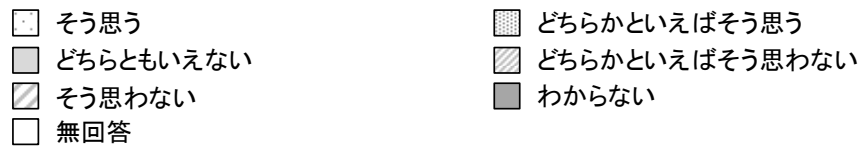


単位：％

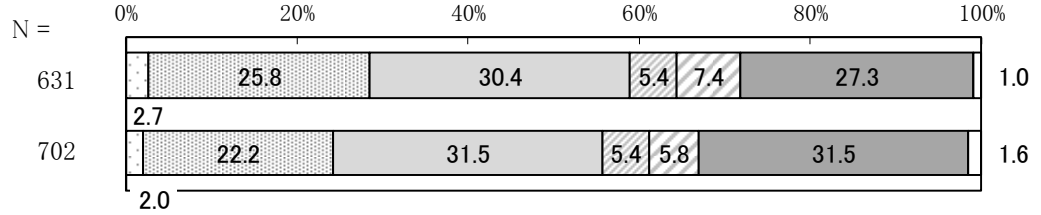
	そう思う*	そう思わない*	差
①今回調査(令和6年度)	26.4	12.0	14.4
②市民意識調査(令和5年度)	23.5	10.6	12.9
③市民意識調査(令和4年度)	25.7	10.9	14.8
④市民意識調査(令和3年度)	24.6	13.7	10.9
⑤市民意識調査(令和2年度)	24.5	12.1	12.4
①－⑤	1.9	-0.1	2.0

* そう思う:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

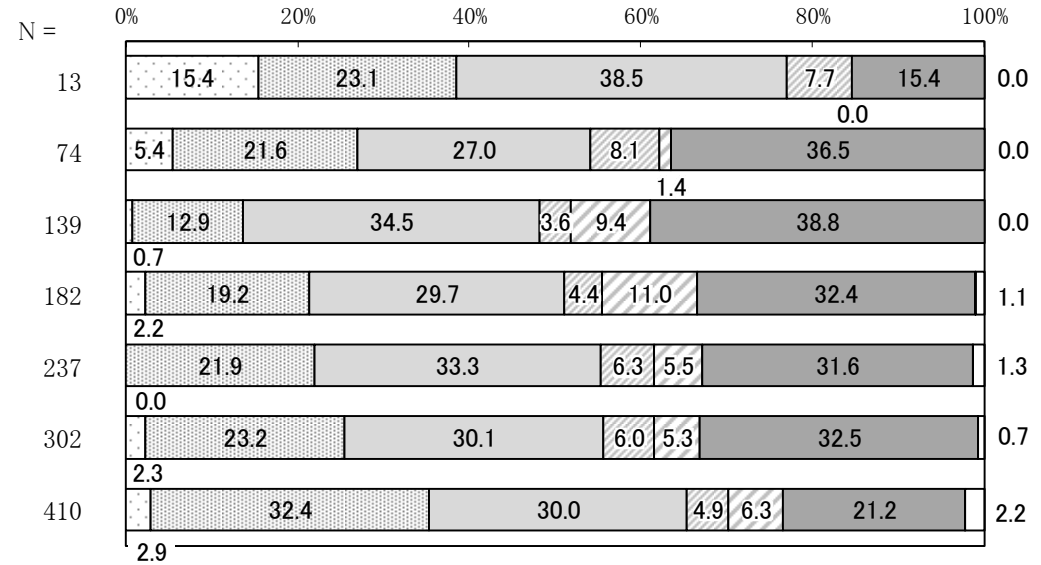
* そう思わない:「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計



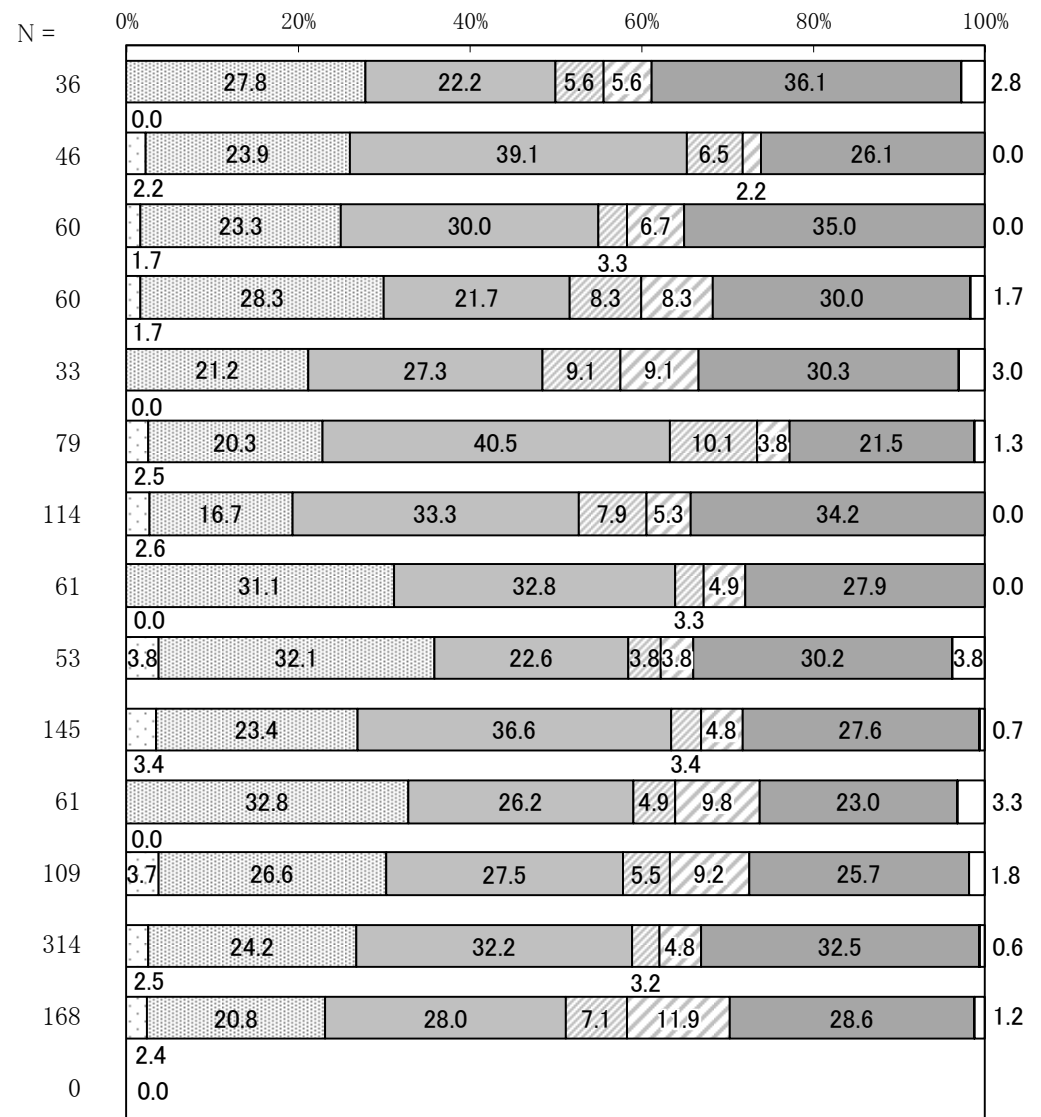
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

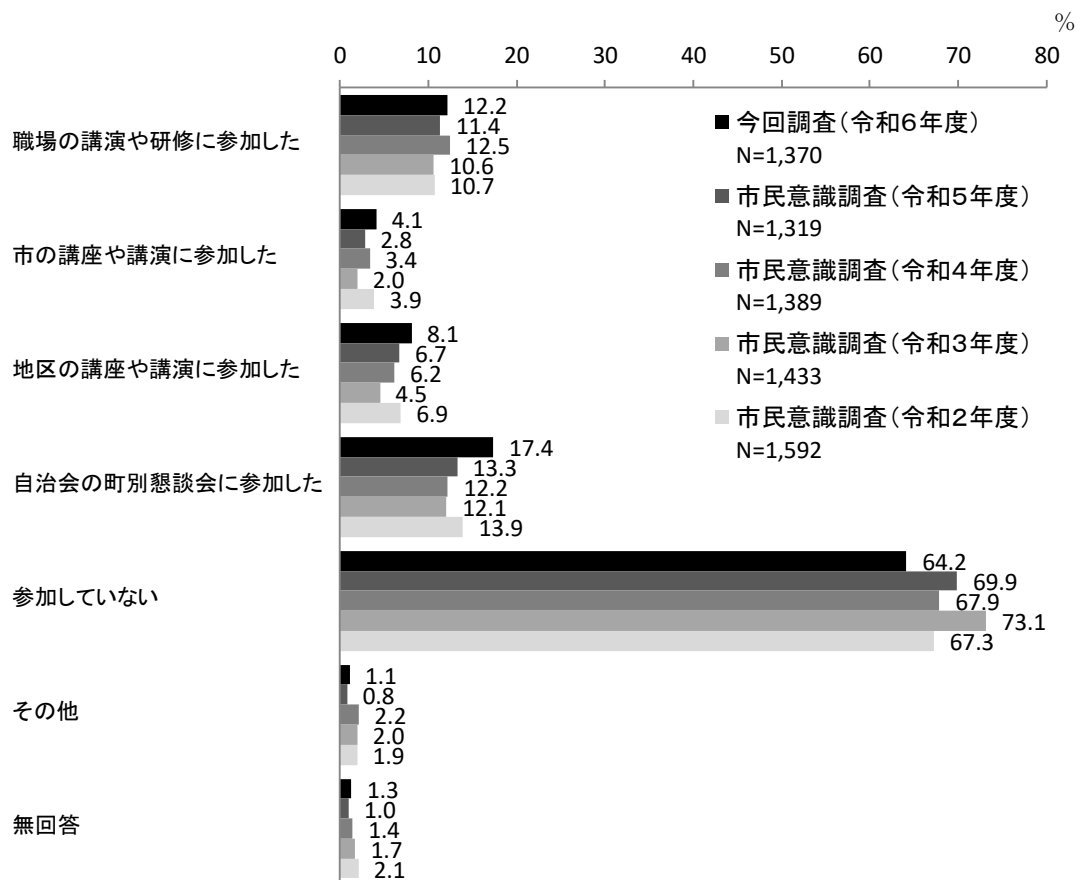


問 38 あなたは、この 1 年間に職場、市又は地区等が開催する人権に関する講座や講演、研修等に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

講座や講演、研修等に参加した人は 3 割以上

- ・ この 1 年間に人権に関する講座や講演、研修等に参加したかどうかについては、参加した人の割合*は 34.5%、「参加していない」が 64.2%、無回答が 1.3%となっています。参加した講座等の内容は、「自治会の町別懇談会」が 17.4%と最も多く、次いで「職場の講演や研修」が 12.2%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、令和 2 年度及び令和 3 年度は新型コロナウイルス感染防止のため講座等の開催が見送られたことなどもあり、「参加していない」と回答した人の割合は令和 3 年度をピークに 7 割前後でしたが、今年度は 6 割に減少しました。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、「参加していない」が最も多くなっています。
- ・ 性別では、男性で人権に関する講座等に参加した人の割合が高く、「自治会の町別懇談会」などへの参加が女性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、40 歳以上で年齢が上がるほど、人権に関する講座等に参加した人の割合が高くなる傾向があり、その中でも「自治会の町別懇談会」への参加割合が高くなる傾向があります。また、20 歳代や 40 歳代で「職場の講演や研修」への参加がほかの年代と比べ多くあげられています。

*有効回答数（1,370 件）に対する「参加していない」と「無回答」を除いた 473 件の割合



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	職場の 講演や 研修に 参加した	市の 講座や 講演に 参加した	地区の 講座や 講演に 参加した	自治会 の町別 懇談会 に参加した	参加して いない	その他	無 回答
男性	631	12.5	4.1	9.8	25.4	57.7	1.1	1.1
女性	702	12.4	4.1	6.1	9.5	70.5	1.0	1.4

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	職場の 講演や 研修に 参加した	市の 講座や 講演に 参加した	地区の 講座や 講演に 参加した	自治会 の町別 懇談会 に参加した	参加して いない	その他	無 回答
10歳代	13	15.4	0.0	0.0	0.0	84.6	0.0	0.0
20歳代	74	24.3	1.4	0.0	1.4	73.0	0.0	0.0
30歳代	139	14.4	2.9	1.4	2.9	79.1	0.7	0.7
40歳代	182	24.2	2.7	6.6	7.1	65.4	1.1	0.5
50歳代	237	14.3	3.8	5.9	16.9	65.4	0.8	1.7
60歳代	302	12.6	4.0	10.3	21.2	61.6	0.0	0.7
70歳以上	410	2.7	5.9	12.2	27.3	58.0	2.2	2.2

【居住地区別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	職場の 講演や 研修に 参加した	市の 講座や 講演に 参加した	地区の 講座や 講演に 参加した	自治会 の町別 懇談会 に参加した	参加して いない	その他	無 回答
平田地区	36	8.3	0.0	13.9	36.1	55.6	0.0	2.8
市辺地区	46	13.0	6.5	6.5	19.6	65.2	0.0	0.0
玉緒地区	60	11.7	5.0	1.7	23.3	58.3	3.3	0.0
御園地区	60	6.7	3.3	6.7	20.0	63.3	1.7	1.7
建部地区	33	3.0	0.0	15.2	15.2	69.7	3.0	3.0
中野地区	79	16.5	6.3	5.1	21.5	57.0	0.0	1.3
八日市地区	114	11.4	4.4	7.0	5.3	78.9	0.9	0.9
南部地区	61	11.5	3.3	13.1	14.8	68.9	1.6	0.0
永源寺地区	53	11.3	1.9	11.3	24.5	60.4	0.0	1.9
五個荘地区	145	9.7	4.8	5.5	14.5	71.7	0.7	0.7
愛東地区	61	18.0	4.9	9.8	18.0	55.7	0.0	3.3
湖東地区	109	6.4	6.4	7.3	26.6	62.4	0.9	1.8
能登川地区	314	16.9	3.5	7.0	15.3	63.1	1.3	0.6
蒲生地区	168	8.9	3.6	12.5	14.9	62.5	1.2	1.8
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-

(6) 都市整備について

問 39 市内の都市基盤の整備に対する満足度をお答えください。《①～⑤それぞれの項目に○1つ》

総合評価は、主要幹線道路、河川、雨水排水、地域の生活道路、公園の順

- ・ 都市基盤の整備に対する満足度については、満足（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）の割合と、不満（「どちらかといえば不満」と「不満」の合計）の割合を比較すると、⑤公園の整備を除き、満足の割合が高くなっています。
- ・ 満足（前述）とする人が多い順に並べると、①主要幹線道路の整備、②地域の生活道路の整備、④雨水排水の整備、⑤公園の整備、③河川の整備となっています。一方、不満（前述）とする人が多い項目は、②地域の生活道路の整備、①主要幹線道路の整備、⑤公園の整備となっています。
- ・ 満足と不満の両方から見た総合的な評価（加重平均）は、②地域の生活道路の整備、⑤公園の整備を除いてプラス評価となっています。その中でも評価が高い順に並べると、①主要幹線道路の整備、③河川の整備、④雨水排水の整備の順となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、総合評価では、⑤公園の整備を除いて評価が上がり、中でも①主要幹線道路の整備、③河川の整備、④雨水排水の整備は、マイナス評価からプラス評価に向上しています。

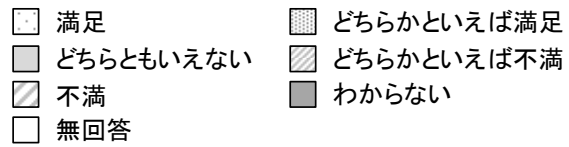
	満足*	不満*	加重平均*
①主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)	37.3% (+3.6)	28.4% (-0.8)	0.036 (+0.044)
②地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)	34.8% (+4.2)	30.7% (-2.5)	-0.039 (+0.078)
③河川の整備(一級河川等)	26.1% (+3.0)	18.8% (-1.1)	0.036 (+0.053)
④雨水排水の整備(身近な水路等)	30.2% (+4.2)	22.9% (+0.7)	0.031 (+0.042)
⑤公園の整備(広場、遊び場等)	27.0% (+2.5)	28.1% (+2.4)	-0.069 (-0.008)

* 満足:「満足」と「どちらかといえば満足」の合計

* 不満:「どちらかといえば不満」と「不満」の合計

* 加重平均:「満足」は+2点、「どちらかといえば満足」は+1点、「どちらかといえば不満」は-1点、「不満」は-2点、「どちらともいえない」と「わからない」は0点として加算し、その平均値を出したもの。値が大きいほど満足度が高く、値が小さいほど満足度が低いといえる。

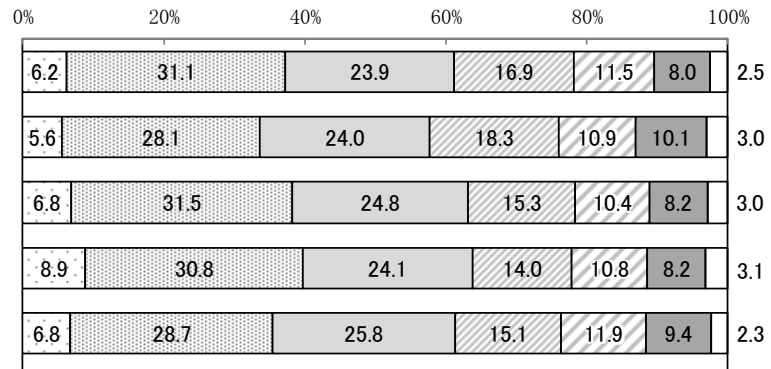
※()内の数値は令和5年度との差を示している。



①主要幹線道路の整備
(主に市外へ移動するための道路)

今回調査
(令和6年度)
 市民意識調査
(令和5年度)
 市民意識調査
(令和4年度)
 市民意識調査
(令和3年度)
 市民意識調査
(令和2年度)

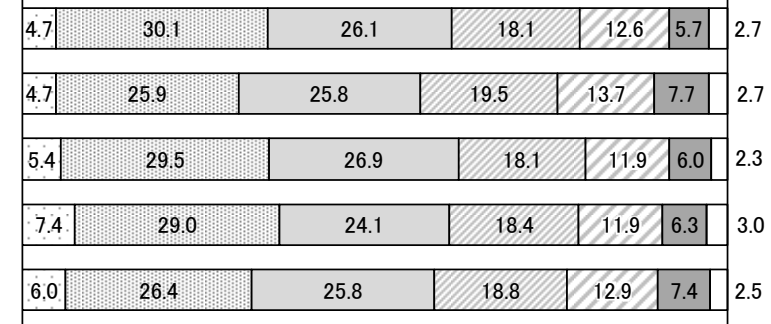
N =
 1,370
 1,319
 1,389
 1,433
 1,592



②地域の生活道路の整備
(主に市内を移動するための道路)

今回調査
(令和6年度)
 市民意識調査
(令和5年度)
 市民意識調査
(令和4年度)
 市民意識調査
(令和3年度)
 市民意識調査
(令和2年度)

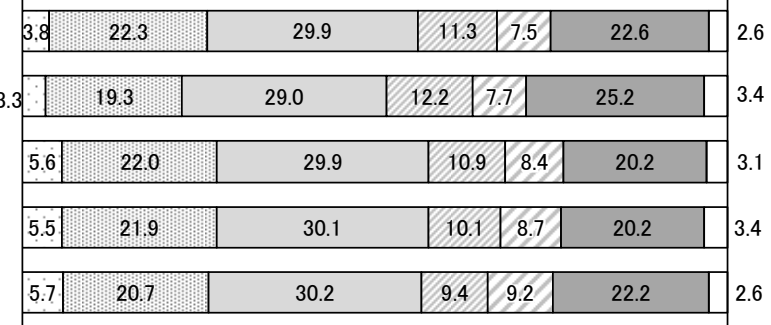
N =
 1,370
 1,319
 1,389
 1,433
 1,592



③河川の整備
(一級河川等)

今回調査
(令和6年度)
 市民意識調査
(令和5年度)
 市民意識調査
(令和4年度)
 市民意識調査
(令和3年度)
 市民意識調査
(令和2年度)

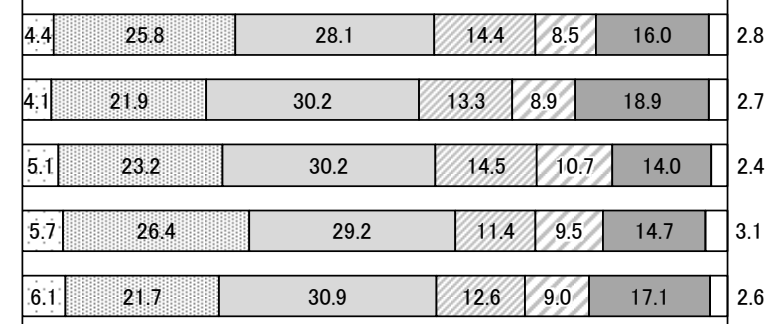
N =
 1,370
 1,319
 1,389
 1,433
 1,592



④雨水排水の整備
(身近な水路等)

今回調査
(令和6年度)
 市民意識調査
(令和5年度)
 市民意識調査
(令和4年度)
 市民意識調査
(令和3年度)
 市民意識調査
(令和2年度)

N =
 1,370
 1,319
 1,389
 1,433
 1,592



⑤公園の整備
(広場、遊び場等)

今回調査
(令和6年度)
 市民意識調査
(令和5年度)
 市民意識調査
(令和4年度)
 市民意識調査
(令和3年度)
 市民意識調査
(令和2年度)

N =
 1,370
 1,319
 1,389
 1,433
 1,592



① 主要幹線道路の整備

- ・ 性別では、女性の満足度（加重平均による総合評価、以下同様）が男性より高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、20 歳代で満足度が最も高く、30～40 歳代や 70 歳以上もプラス評価である一方、10 歳代や 50～60 歳代でマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、満足度が最も高い愛東地区をはじめ五個荘地区、永源寺地区などでプラス評価である一方、市辺地区、南部地区、平田地区、御園地区などではマイナス評価となっています。

② 地域の生活道路の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性より高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、20～40 歳代や 70 歳以上はプラス評価である一方、10 歳代や 50～60 歳代はマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、愛東地区、八日市地区などで満足度が高く、マイナス評価の地区の中でも特に平田地区、玉緒地区、中野地区などで満足度が低くなっています。

③ 河川の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性より高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、10 歳代で土ゼロの評価、最も満足度が高い 20 歳代をはじめ 50 歳代まではプラス評価ですが、60 歳以上はマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区、南部地区などで満足度が高く、マイナス評価の地区の中でも特に御園地区、玉緒地区などで満足度が低くなっています。

④ 雨水排水の整備

- ・ 性別では、男女ともにプラス評価ですが、女性の満足度が男性よりやや高くなっています。
- ・ 年代別では、最も満足度が高い 20 歳代をはじめ 40 歳代までがプラス評価である一方、50 歳以上ではマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、湖東地区などで満足度が高く、中野地区、御園地区などで満足度が低くなっています。

⑤ 公園の整備

- ・ 性別では、男女ともにマイナス評価ですが、男性より女性の評価が高くなっています。
- ・ 年代別では、最も満足度が高い 10 歳代をはじめ 30 歳代まではプラス評価である一方、40 歳以上でマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、湖東地区で満足度が最も高く、マイナス評価の地区の中でも特に南部地区、御園地区、建部地区などで満足度が低くなっています。

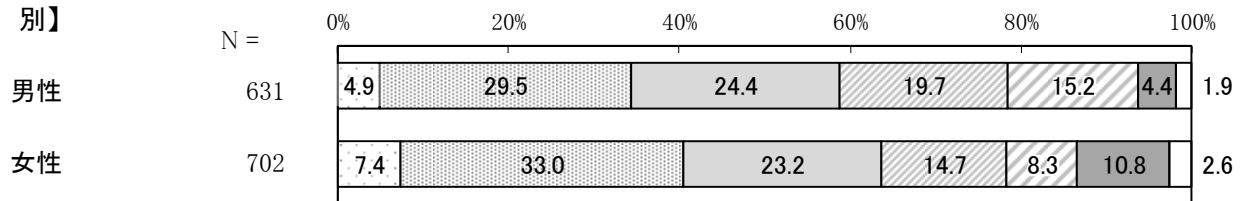
■性別・年代別・居住地区別の比較(加重平均)

	①主要幹線道路	②地域の生活道路	③河川	④雨水排水	⑤公園
全体	0.036	-0.039	0.036	0.031	-0.069
男性	-0.108	-0.184	-0.035	0.003	-0.079
女性	0.167	0.100	0.113	0.063	-0.061
10歳代	-0.077	-0.231	0.000	0.154	0.154
20歳代	0.405	0.230	0.405	0.392	0.068
30歳代	0.072	0.036	0.266	0.266	0.036
40歳代	0.137	0.011	0.110	0.033	-0.088
50歳代	-0.114	-0.160	0.068	-0.046	-0.177
60歳代	-0.033	-0.116	-0.013	-0.017	-0.139
70歳以上	0.063	0.002	-0.100	-0.027	-0.010
平田地区	-0.167	-0.417	0.056	0.194	0.083
市辺地区	-0.261	-0.130	-0.043	0.174	0.087
玉緒地区	-0.033	-0.300	-0.233	-0.133	-0.167
御園地区	-0.133	0.000	-0.317	-0.217	-0.350
建部地区	0.030	0.303	0.121	0.273	-0.212
中野地区	-0.076	-0.203	0.063	-0.241	-0.114
八日市地区	0.105	0.149	0.193	0.184	-0.044
南部地区	-0.180	-0.049	0.180	-0.164	-0.492
永源寺地区	0.151	-0.038	-0.132	0.000	-0.170
五個荘地区	0.200	0.055	0.076	0.062	0.069
愛東地区	0.393	0.164	0.131	0.180	0.016
湖東地区	0.110	0.018	0.083	0.202	0.128
能登川地区	0.061	-0.003	0.083	0.035	0.003
蒲生地区	0.000	-0.179	-0.042	-0.024	-0.185

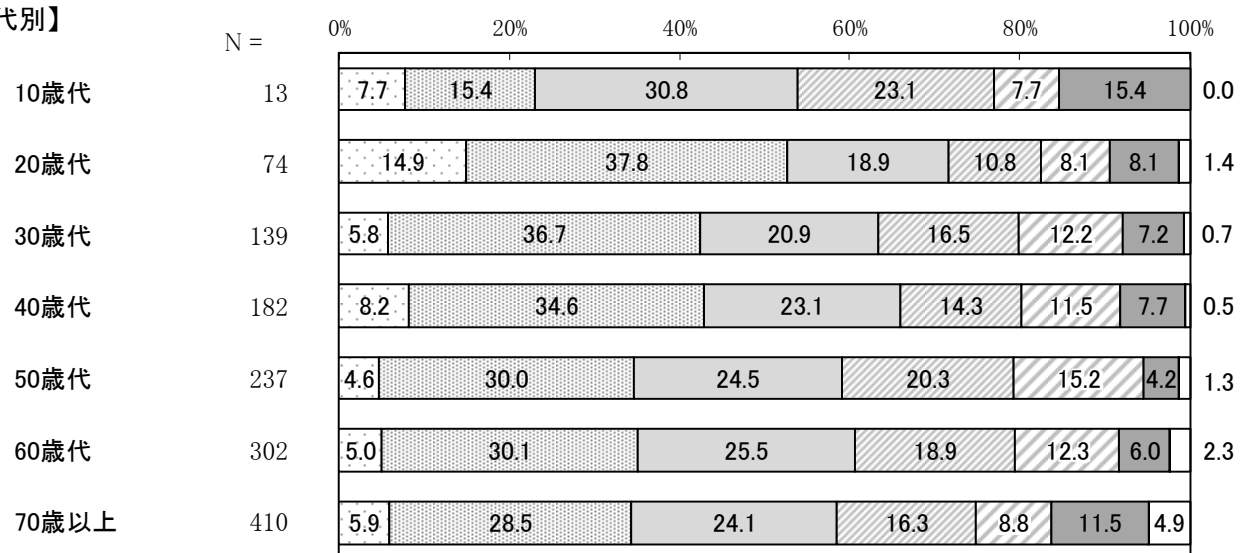


① 主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)

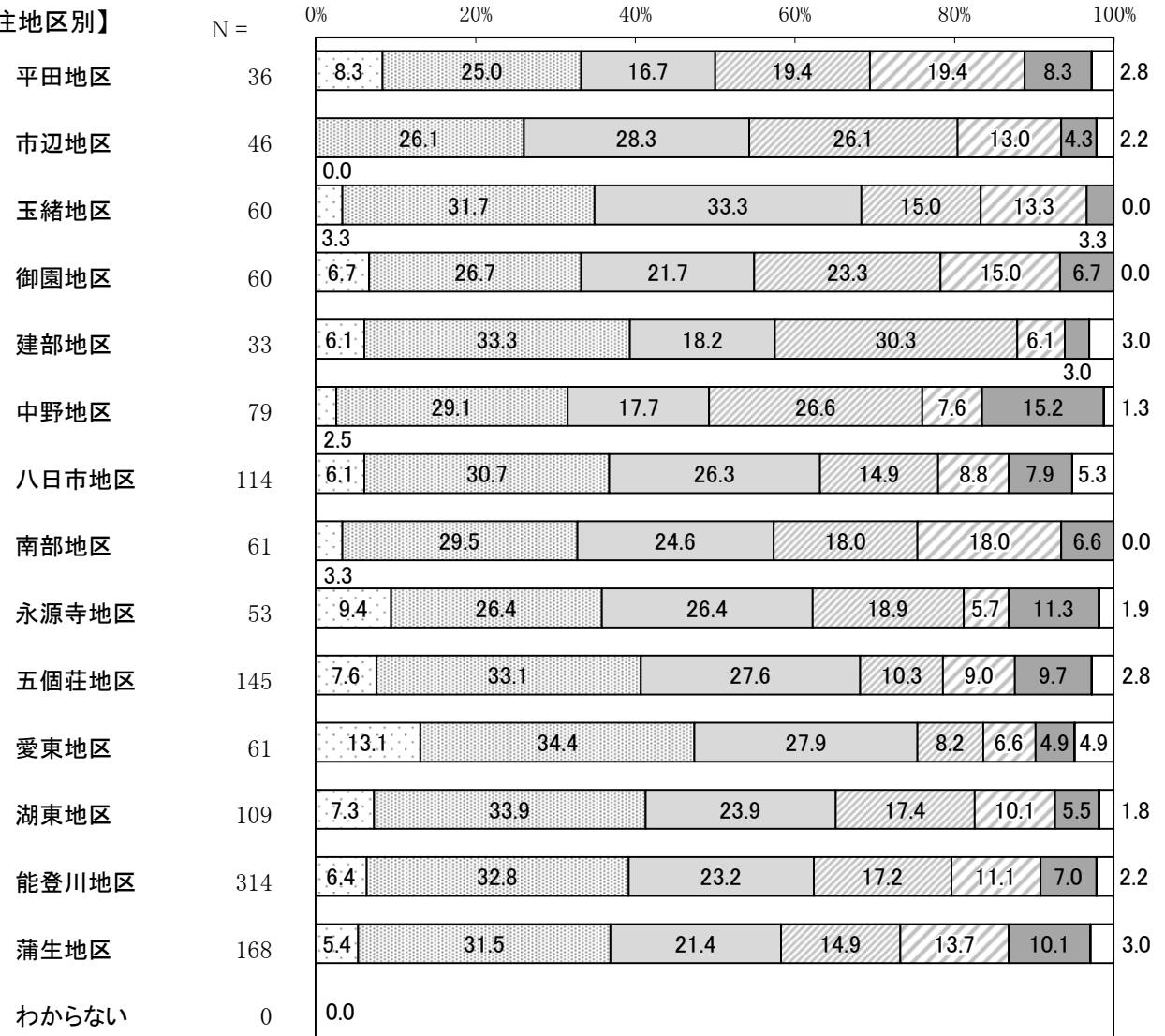
【性別】



【年代別】



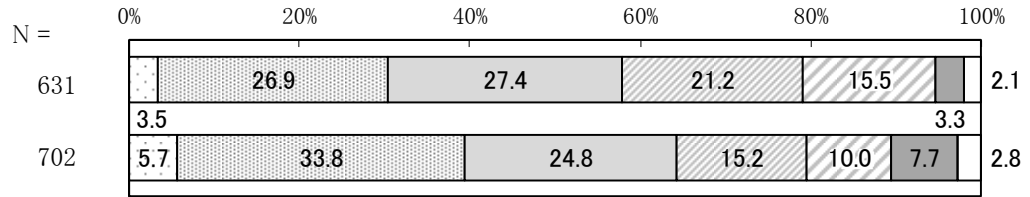
【居住地区別】



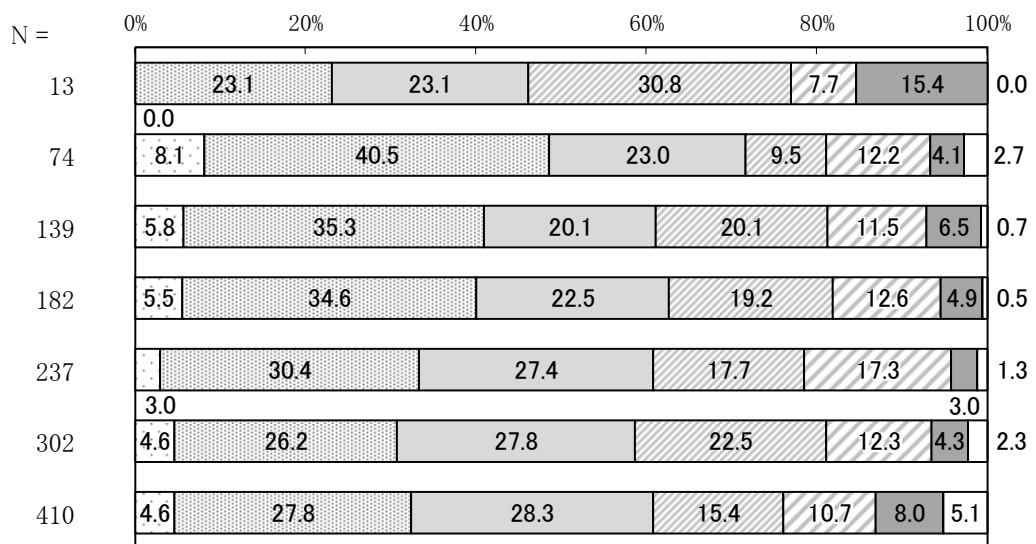
■ 満足 ■ どちらかといえば満足
 ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば不満
 ■ 不満 ■ わからない
 ■ 無回答

② 地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)

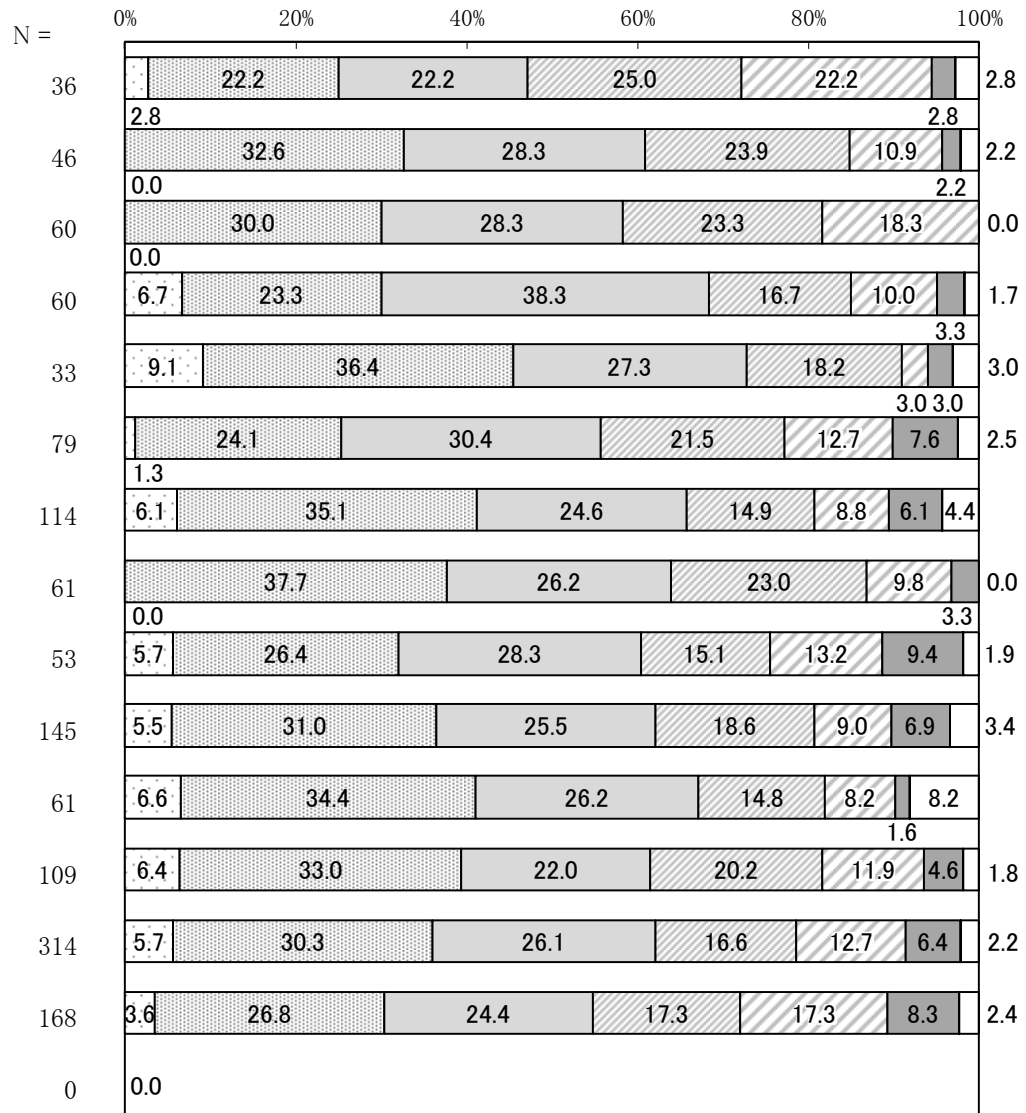
【性 別】



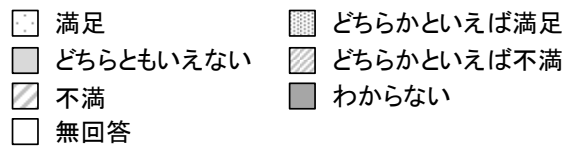
【年代別】



【居住地区別】



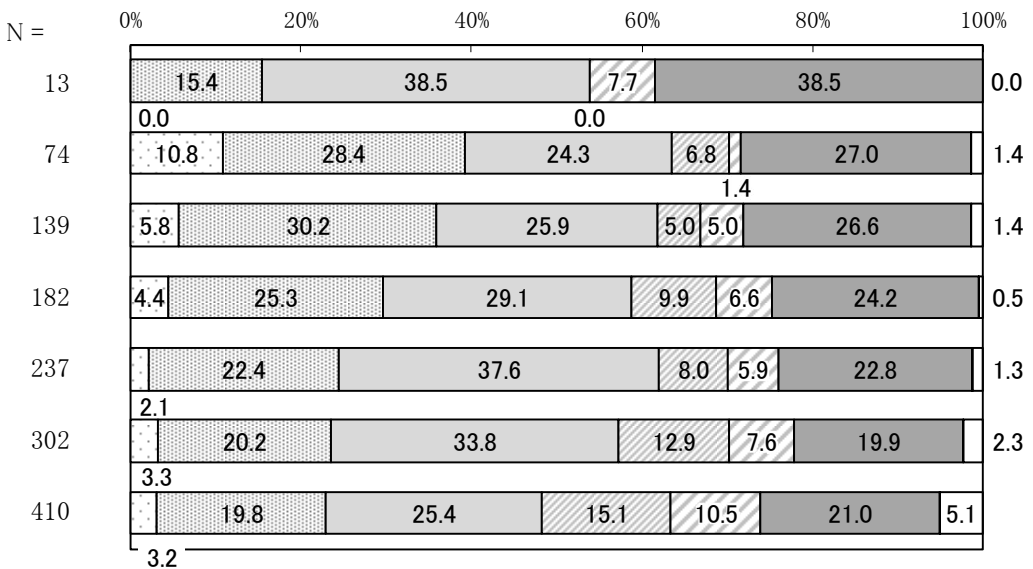
③ 河川の整備(一級河川等)



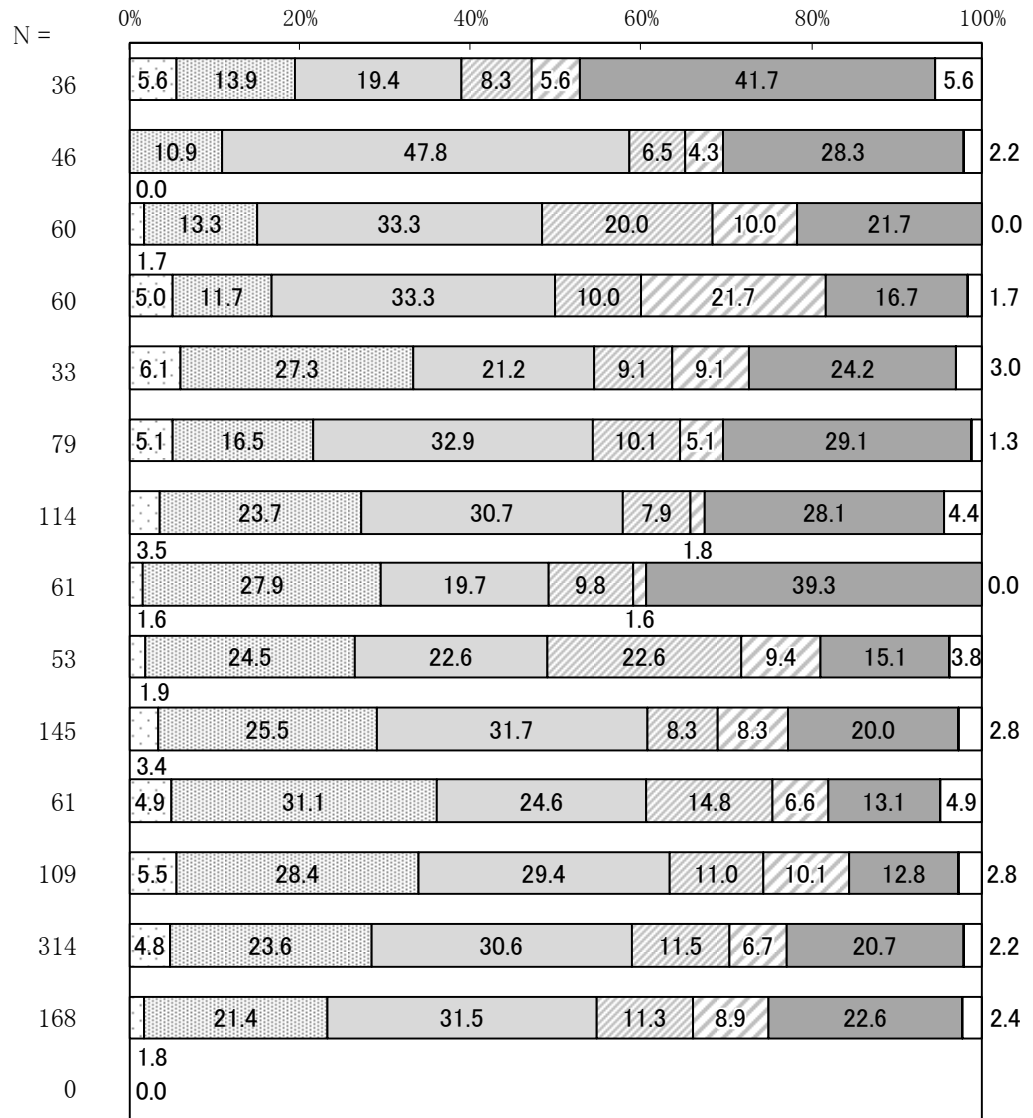
【性別】

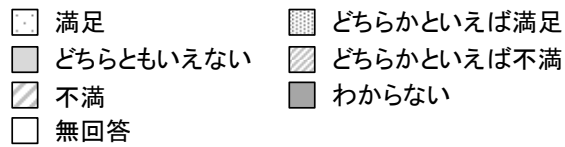


【年代別】



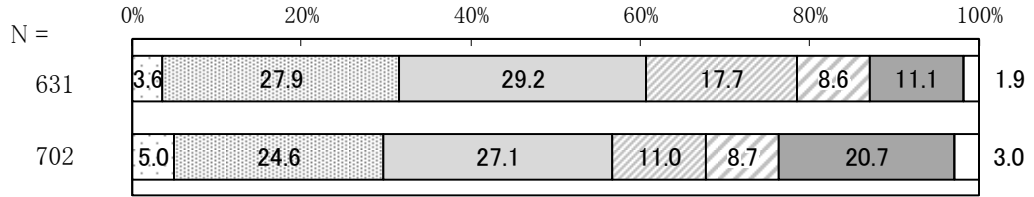
【居住地区別】



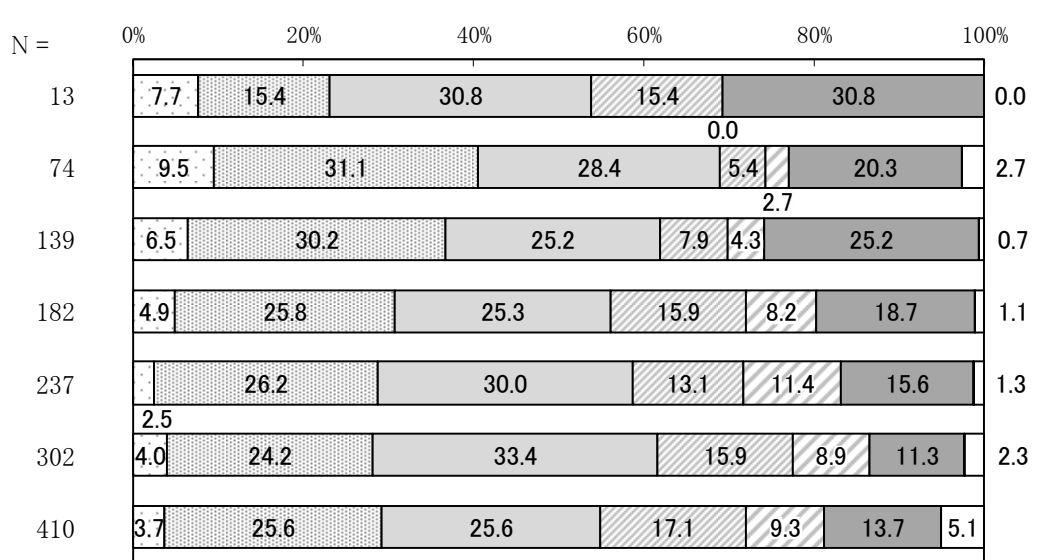


④ 雨水排水の整備(身近な水路等)

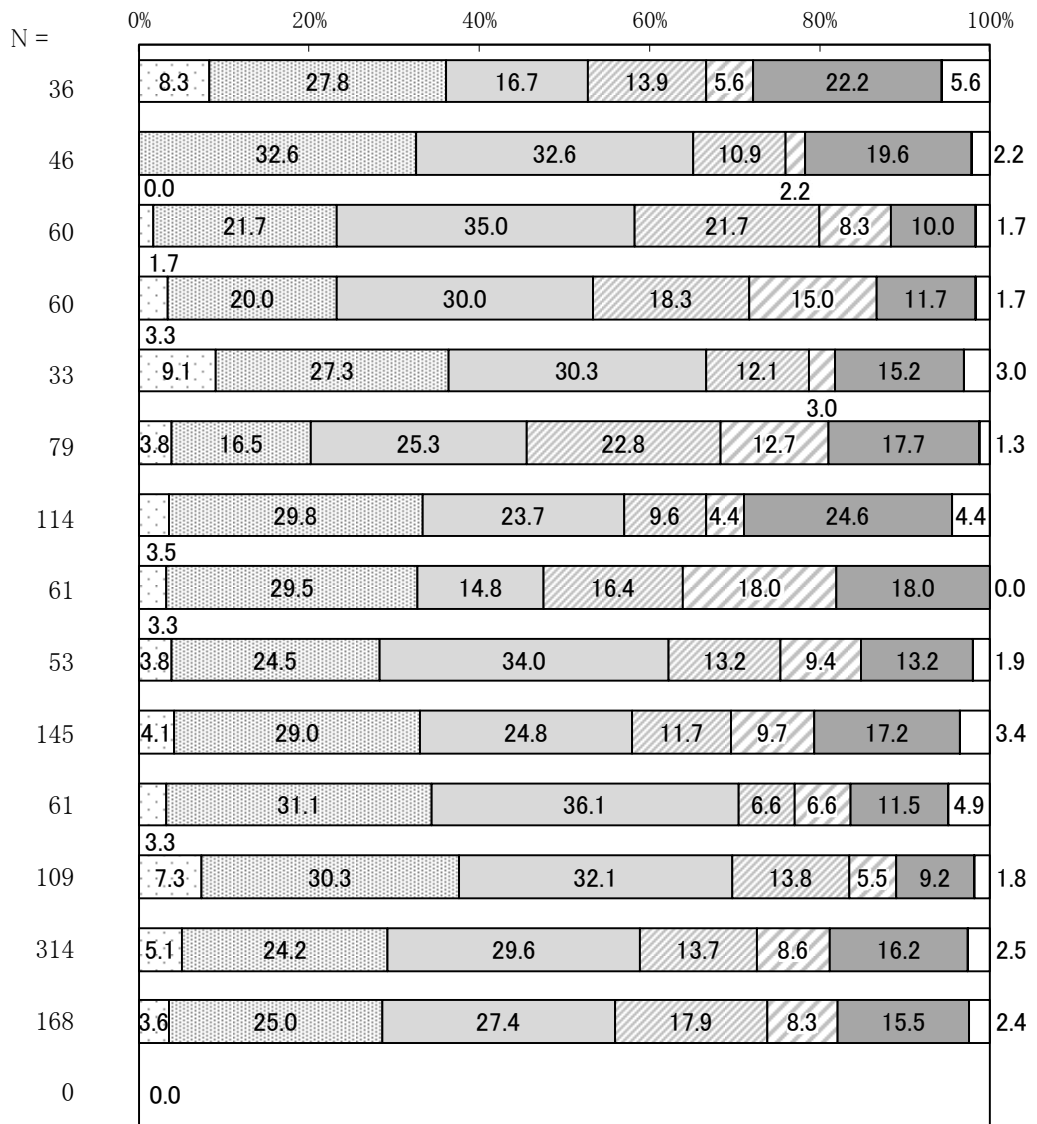
【性 別】



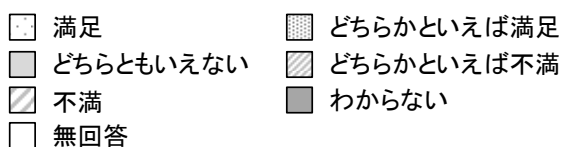
【年代別】



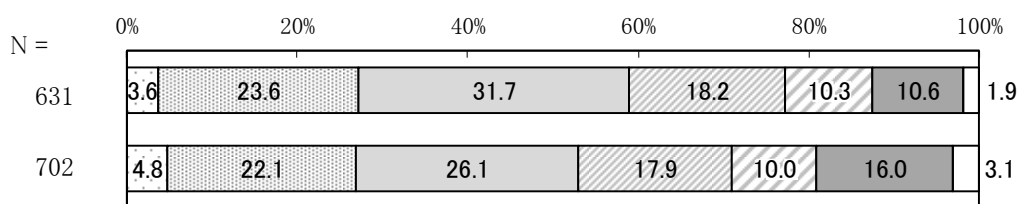
【居住地区別】



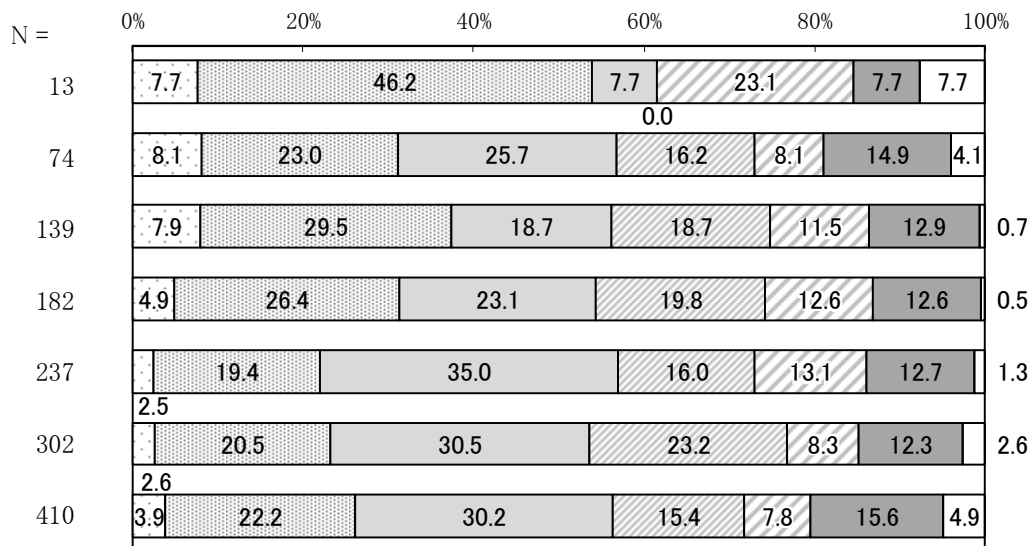
⑤ 公園の整備(広場、遊び場等)



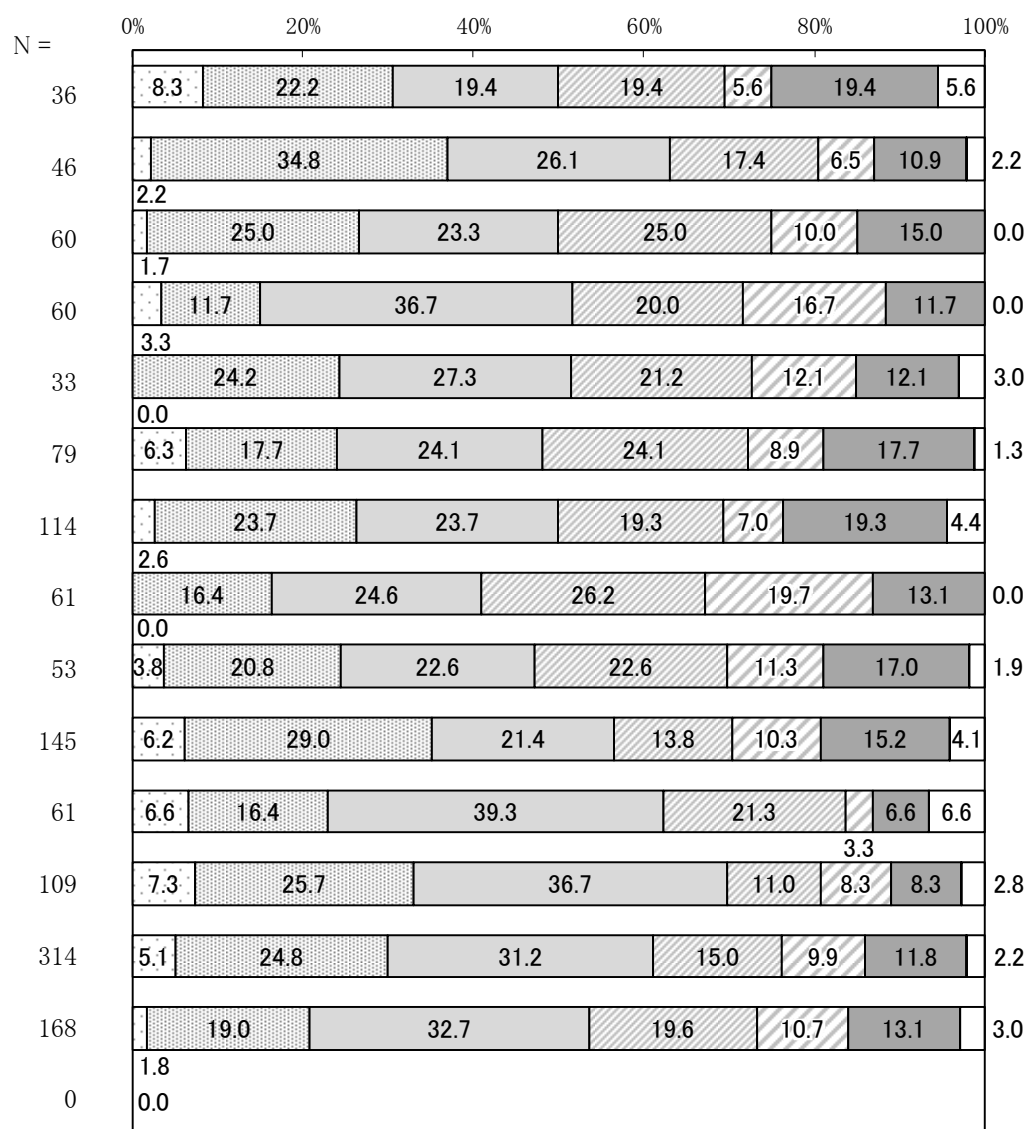
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



(7) 購買状況等について

問 40 あなたは、日頃、食品や日用雑貨品、衣料品を主にどこで購入しますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

食品は8割近く、日用雑貨品は7割近くが市内で購入、衣料品は4割が市外で購入

- 食品、日用雑貨品、衣料品の購入先は、主に「東近江市内」で購入している人が①食品は79.1%で8割近く、②日用雑貨品は69.7%で7割近くとなっています。一方、③衣料品については、4割が市外（カタログ通販やネットショッピング、その他を除く）で購入しており、その内訳としては「近江八幡市」が10.7%、「彦根市」が7.9%、「県外」が5.3%などとなっています。
- 過去の調査と比較すると、変動はあるものの過去5年間、①食品の購入先は「市内」が8割前後となっています。③衣料品の購入先として、「ネットショッピング」の割合が増加傾向にあります。

単位: %

		全 体	市内	近江八幡市	彦根市	甲賀市	その他 県内市町	県外	カタログ通販	ネット ショッピング	その他	無回答
①食品	今回調査 (令和6年度)	1,370	79.1	4.5	2.6	2.6	5.0	0.2	0.7	0.3	1.7	3.5
	市民意識調査 (令和5年度)	1,319	80.1	5.2	2.2	2.3	5.0	0.3	0.6	0.3	1.4	2.6
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	81.7	4.0	2.5	2.4	4.8	0.2	0.4	0.4	0.9	2.6
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	81.5	4.2	2.4	2.5	5.2	0.0	0.3	0.4	1.1	2.4
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	82.7	3.2	2.1	2.2	5.4	0.3	0.4	0.2	0.8	2.8

②日用雑貨品	今回調査 (令和6年度)	1,370	69.7	5.4	5.1	2.7	7.0	0.8	0.1	4.5	0.9	3.7
	市民意識調査 (令和5年度)	1,319	72.1	7.3	2.2	2.5	6.7	0.5	0.5	4.4	0.9	3.0
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	71.6	7.3	2.9	2.8	6.0	0.8	0.6	4.2	0.6	3.1
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	73.6	6.3	3.3	2.7	6.6	0.3	0.2	3.7	0.8	2.6
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	74.3	5.5	2.9	2.4	6.5	0.6	0.5	2.9	0.6	3.8

③衣料品	今回調査 (令和6年度)	1,370	33.6	10.7	7.9	2.4	17.5	5.3	2.2	14.2	2.1	4.0
	市民意識調査 (令和5年度)	1,319	37.8	13.9	5.7	2.1	15.5	5.5	2.1	11.8	1.0	4.4
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	37.1	15.5	5.8	1.9	14.5	4.1	2.9	11.7	1.5	5.0
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	38.0	16.6	5.2	2.8	14.8	4.4	2.7	9.4	1.4	4.7
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	35.5	19.0	5.3	1.5	15.9	5.7	2.6	8.5	1.1	4.9

① 食品

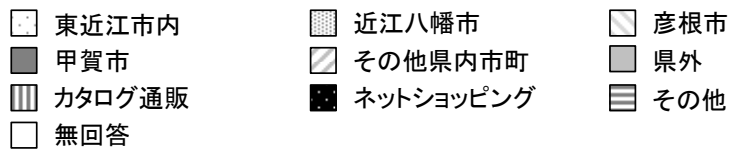
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも「市内」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、市内で購入している人の割合が、10～20 歳代や 70 歳以上で 8 割以上となっています。
- ・ 居住地区別では、市内で購入している人の割合が、建部地区、市辺地区、玉緒地区、八日市地区、南部地区で 9 割以上となっています。そのほか、平田地区で「近江八幡市」が、蒲生地区で「甲賀市」が、湖東地区で「その他県内市町」が、ほかの地区より多くあげられています。

② 日用雑貨品

- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも「市内」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、市内で購入している人の割合が、70 歳以上は 8 割近くと高くなっています。そのほか、20 歳代で「その他県内市町」が、30 歳代で「彦根市」や「ネットショッピング」の割合がほかの年代より高い傾向が見られます。
- ・ 居住地区別では、市内で購入している人の割合が、建部地区、玉緒地区で 9 割近くと高くなっています。そのほか、平田地区で「近江八幡市」が、能登川地区で「彦根市」が、蒲生地区で「甲賀市」が、蒲生地区や湖東地区で「その他県内市町」が、ほかの地区より多くあげられています。

③ 衣料品

- ・ 年代別では、40 歳代までで「ネットショッピング」が、50 歳以上で「市内」が最も多くなっています。年齢が上がるほど市内の割合が高くなる傾向があり、70 歳以上は半数以上となっています。
- ・ 居住地区別では、おおむね「市内」が最も多くなっていますが、平田地区で「近江八幡市」が、能登川地区で「彦根市」が、蒲生地区で「甲賀市」や「その他県内市町」が、市辺地区で「ネットショッピング」がほかの地区より多くあげられています。



① 食品

【性 別】

男性

N = 631

女性

N = 702

【年代別】

10歳代

N = 13

20歳代

N = 74

30歳代

N = 139

40歳代

N = 182

50歳代

N = 237

60歳代

N = 302

70歳以上

N = 410

【居住地区別】

平田地区

N = 36

市辺地区

N = 46

玉緒地区

N = 60

御園地区

N = 60

建部地区

N = 33

中野地区

N = 79

八日市地区

N = 114

南部地区

N = 61

永源寺地区

N = 53

五個荘地区

N = 145

愛東地区

N = 61

湖東地区

N = 109

能登川地区

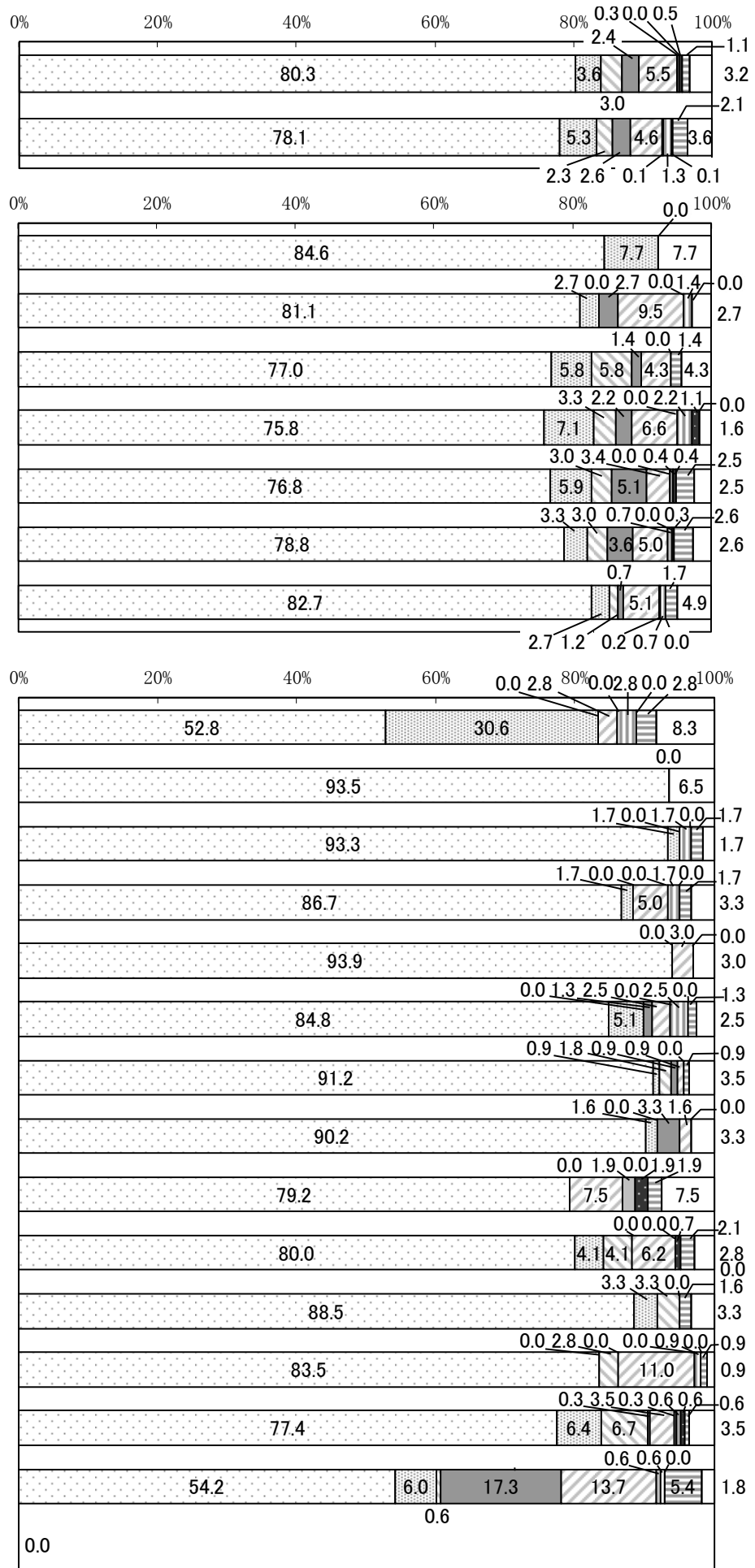
N = 314

蒲生地区

N = 168

わからない

N = 0



② 日用雑貨品

【性別】

男性

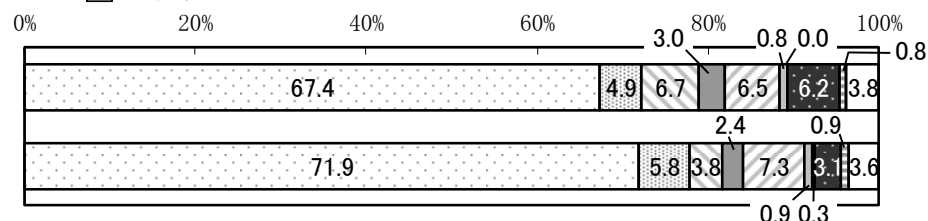
N =

631

女性

N =

702



【年代別】

10歳代

N =

13

20歳代

N =

74

30歳代

N =

139

40歳代

N =

182

50歳代

N =

237

60歳代

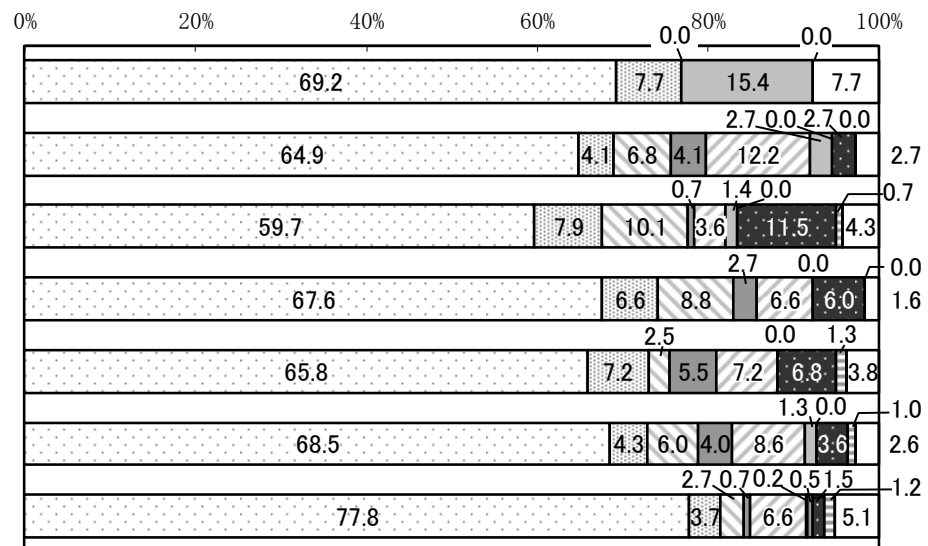
N =

302

70歳以上

N =

410



【居住地区別】

平田地区

N =

36

市辺地区

N =

46

玉緒地区

N =

60

御園地区

N =

60

建部地区

N =

33

中野地区

N =

79

八日市地区

N =

114

南部地区

N =

61

永源寺地区

N =

53

五個荘地区

N =

145

愛東地区

N =

61

湖東地区

N =

109

能登川地区

N =

314

蒲生地区

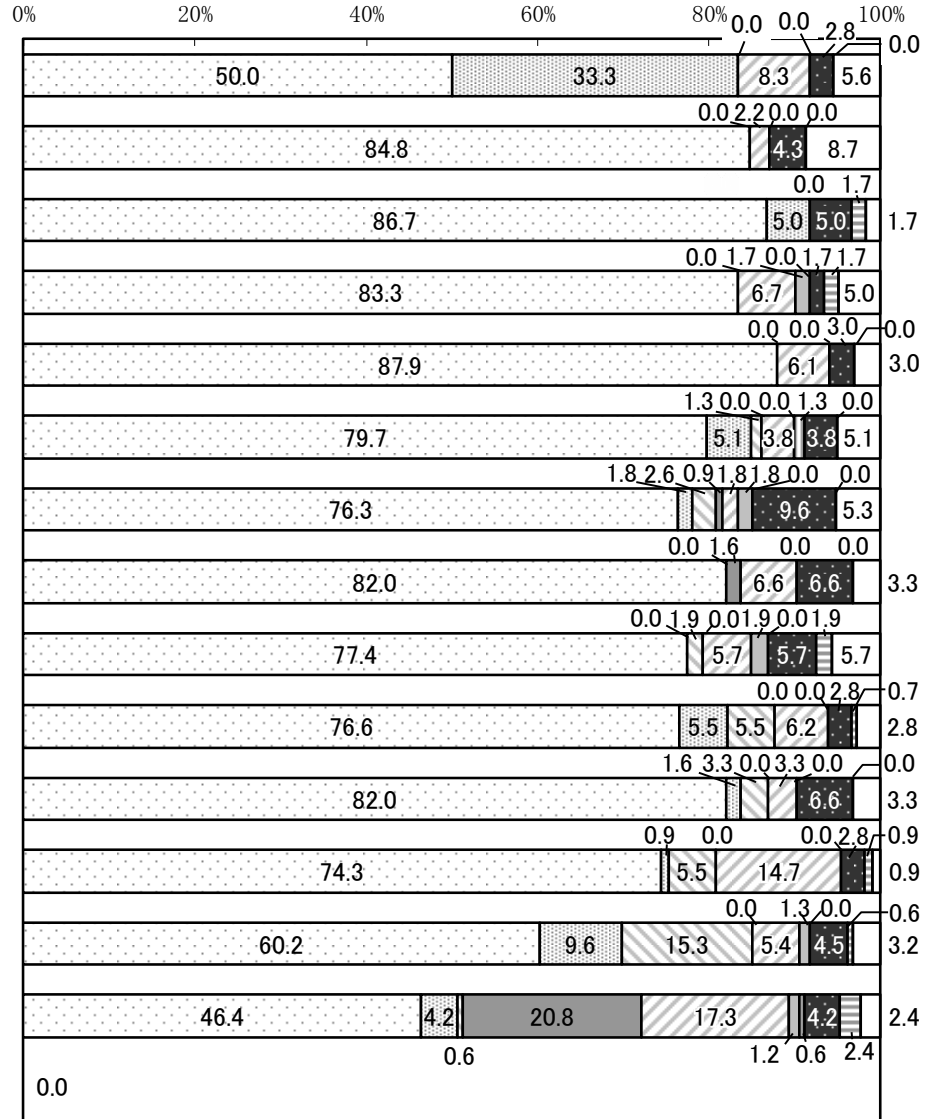
N =

168

わからない

N =

0



③ 衣料品

【性別】

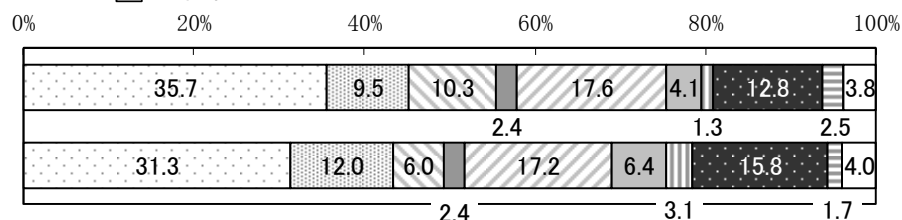
男性

N =

631

女性

702



【年代別】

10歳代

N =

13

20歳代

74

30歳代

139

40歳代

182

50歳代

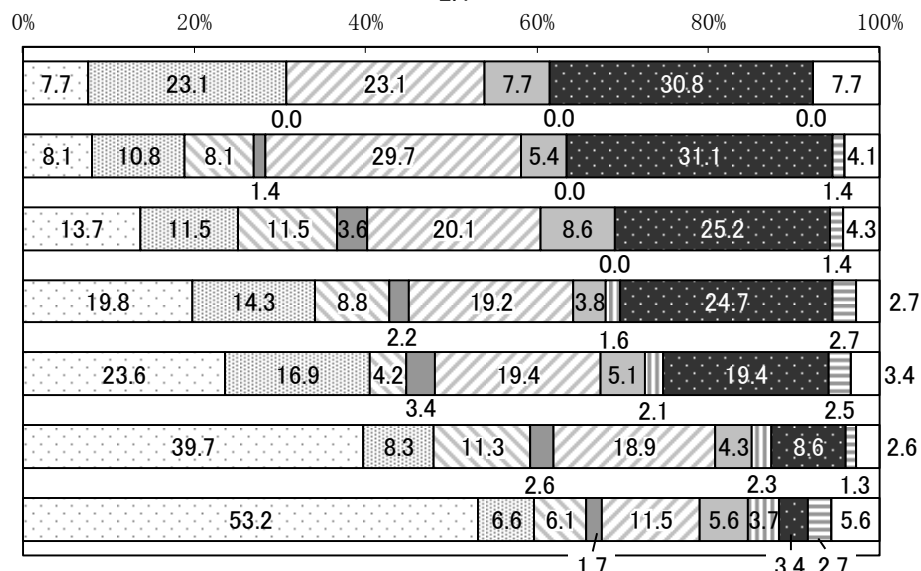
237

60歳代

302

70歳以上

410



【居住地区別】

平田地区

N =

36

市辺地区

46

玉緒地区

60

御園地区

60

建部地区

33

中野地区

79

八日市地区

114

南部地区

61

永源寺地区

53

五個荘地区

145

愛東地区

61

湖東地区

109

能登川地区

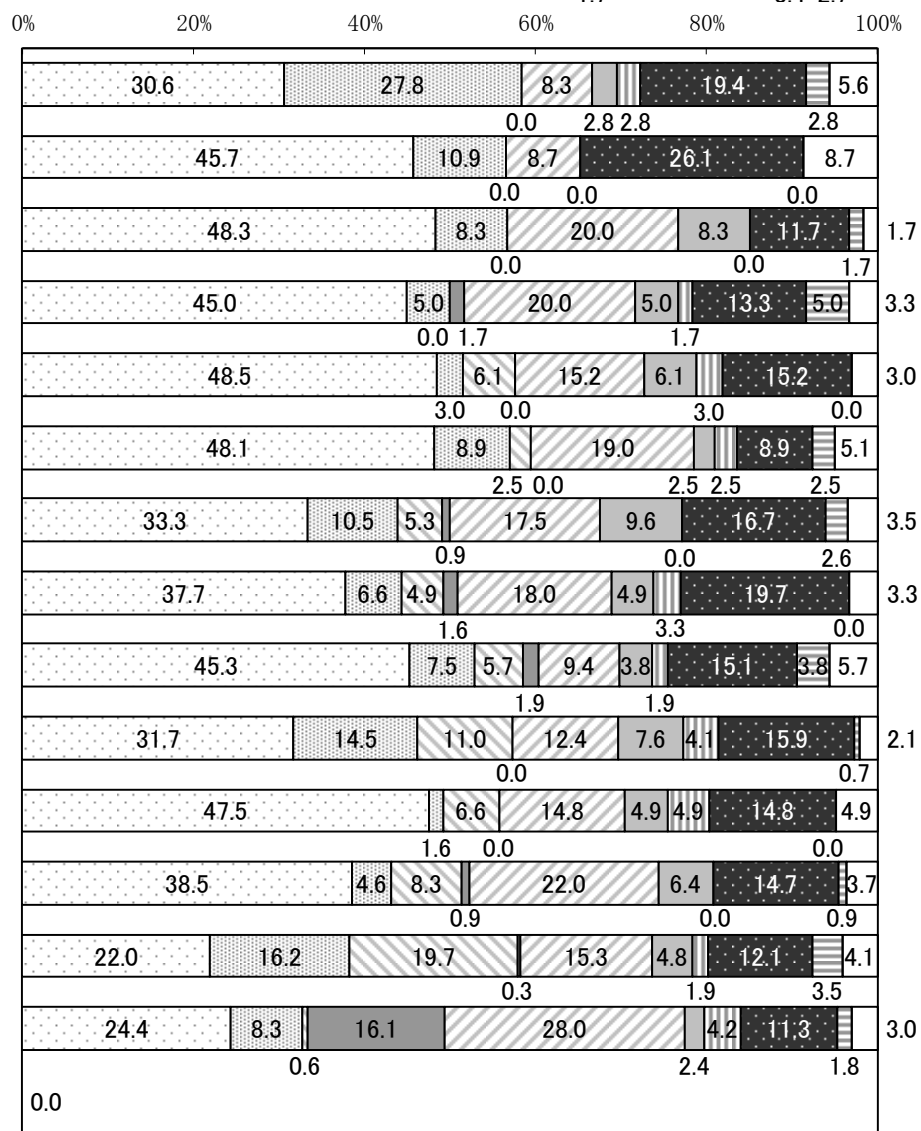
314

蒲生地区

168

わからない

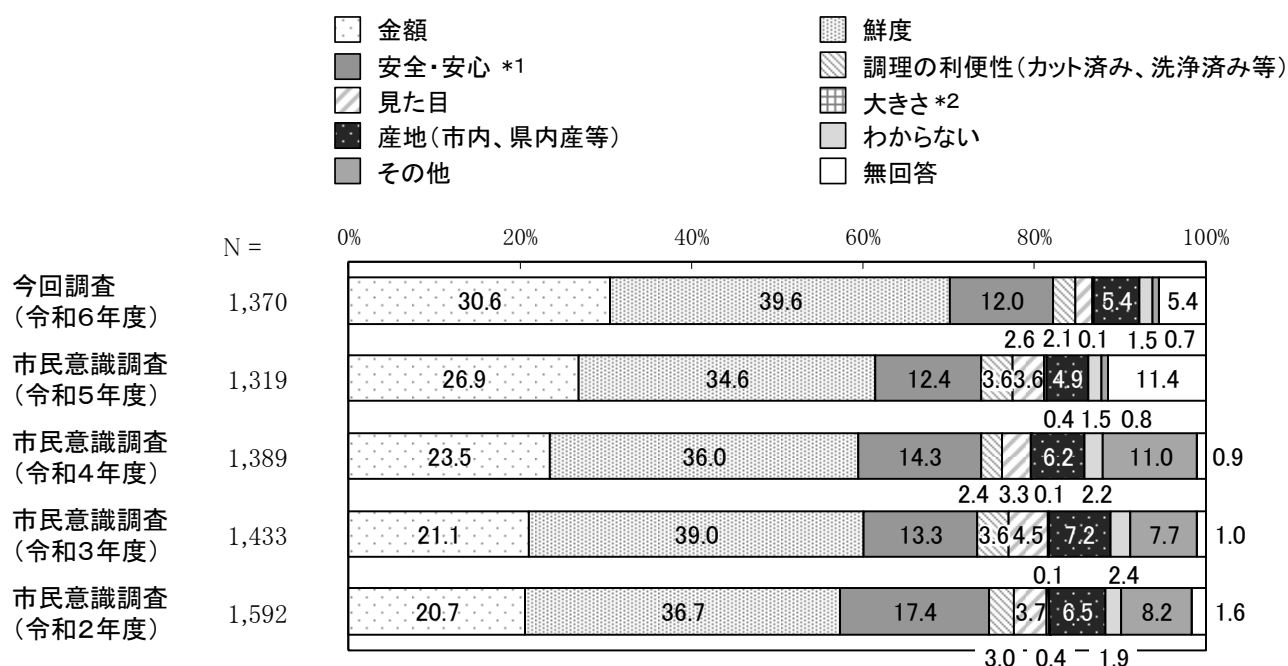
0



問 41 あなたの家庭では野菜等を購入するとき、主に何を基準に選んでいますか（自作している方も不足する野菜を購入する場合）。《○1つ》

野菜等を購入する際の基準は「鮮度」、「金額」、「安全・安心」

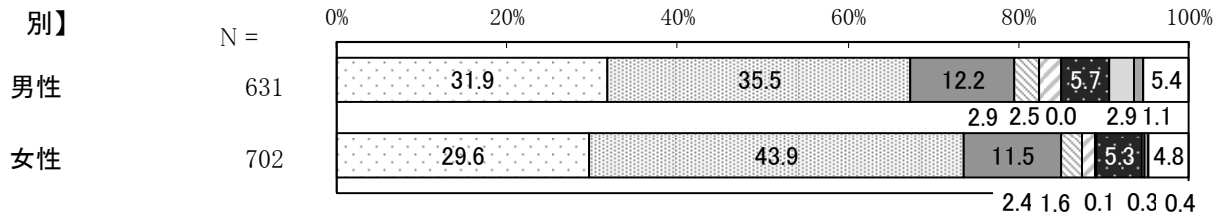
- ・ 野菜等を購入する際の基準としては、「鮮度」が 39.6%と最も多く、次いで「金額」が 30.6%、「安全・安心」が 12.0%と続きます。調理の利便性や見た目より、これらが重視されていることがわかります。
- ・ 過去の調査と比較すると、この5年間で、長引く不況や物価高騰の影響を受けてか、「金額」を重視する人の割合が増加する一方で、「安全・安心」を重視する人の割合が減少しています。
- ・ 性別では、男女ともに「鮮度」が最も多くあげられていますが、女性はその割合が男性より高くなっています。
- ・ 年代別では、40歳代までは「金額」が、50歳以上は「鮮度」が最も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、南部地区、八日市地区で「金額」が、そのほかの地区で「鮮度」が最も多くなっています。そのほか、中野地区、市辺地区で「安全・安心」が、玉緒地区、永源寺地区で「産地（市内、県内産等）」が、ほかの地区よりやや多くあげられています。



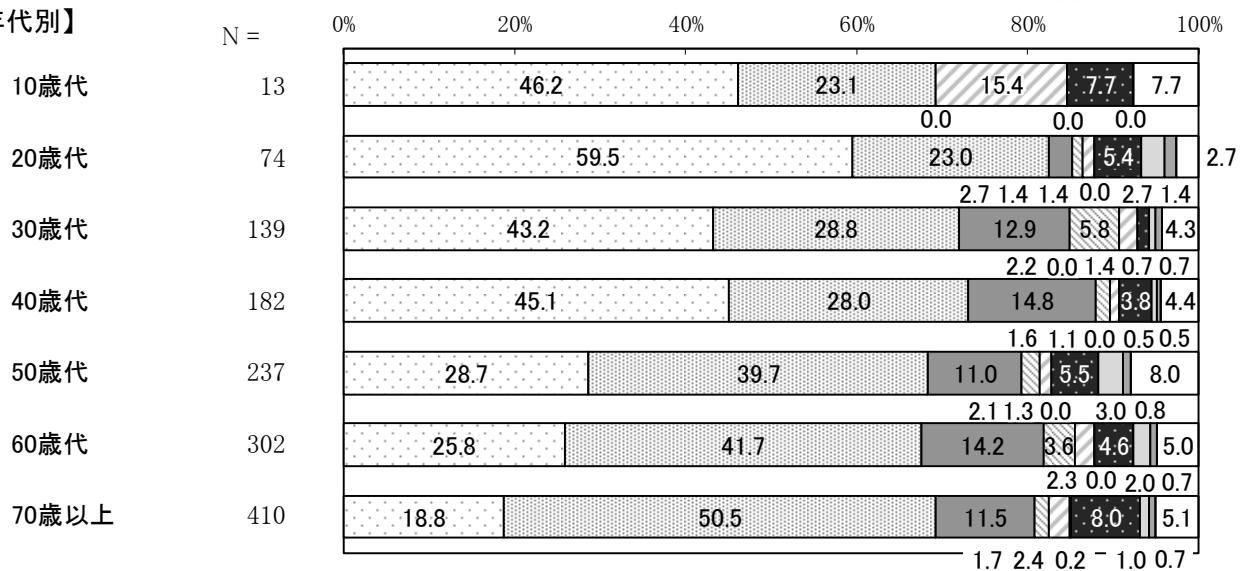
*1 令和2年度まで「安全と安心」
*2 令和2年度から「大きさ」を追加



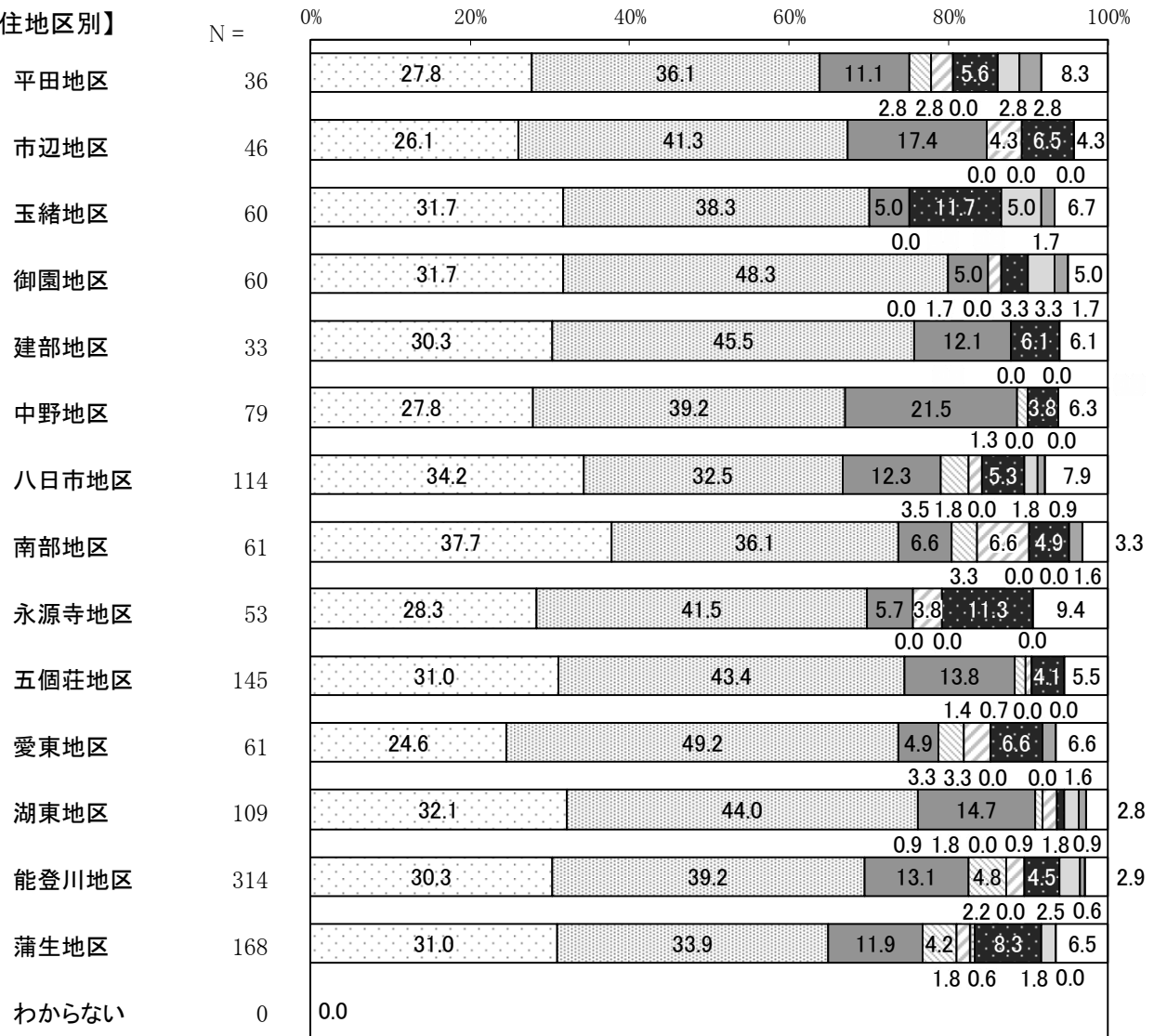
【性別】



【年代別】



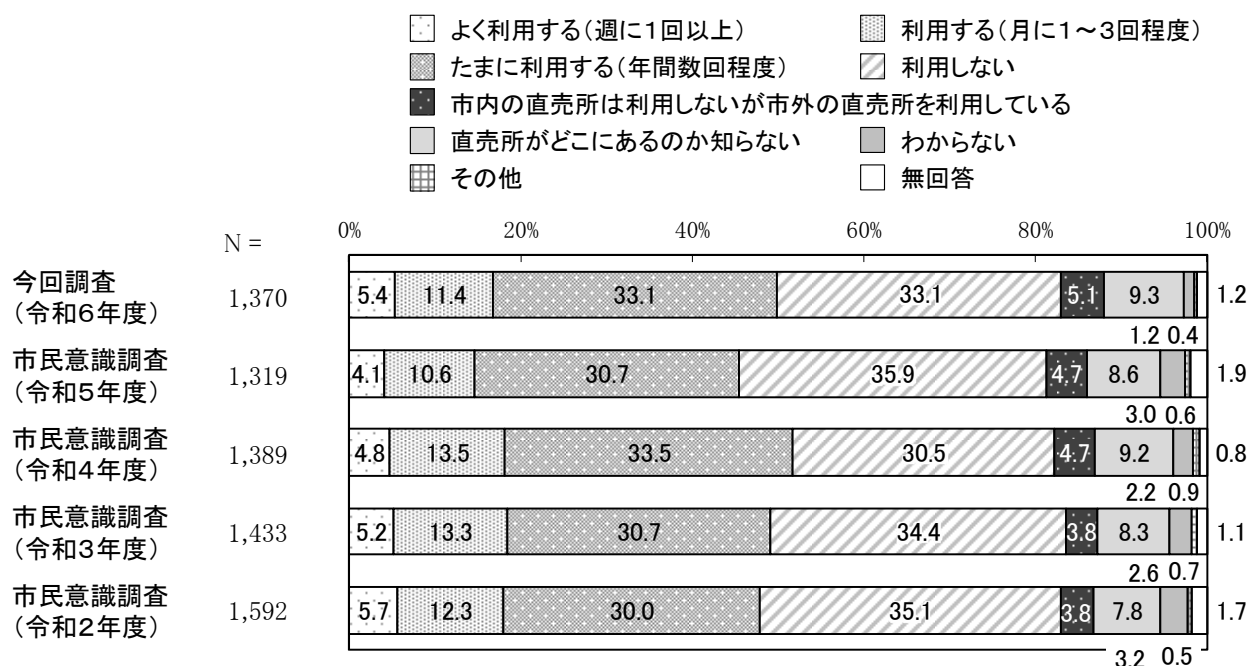
【居住地区別】



問 42 あなたの家庭では、市内の農産物直売所（青空市、無人販売所を含む。）を利用しますか。《○1つ》

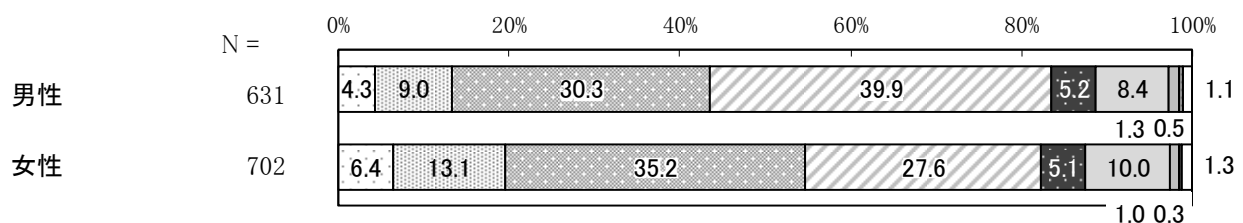
半数近くが市内の直売所を利用、年間数回程度の利用が最も多い

- ・ 市内の農産物直売所の利用状況については、「利用しない」と「たまに利用する（年間数回程度）」がともに 33.1%と最も多くなっています。利用している人（市内の直売所を年数回以上利用している人）の合計は 49.9%と半数近くで、市外も含めると農産物直売所の利用率は 55.0%になります。
- ・ 一方、「直売所がどこにあるのか知らない」と回答した人は 9.3%と 1 割近く見られます。
- ・ 過去の調査と比較すると、市内の直売所利用率は令和 5 年度に低下したものの、おおむね増加傾向にあります。
- ・ 性別では女性で、年代別では 10 歳代、50 歳代や 70 歳以上で利用している人（前述）が半数以上見られます。一方、20～30 歳代は、「利用しない」人が利用している人（前述）より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、利用している人（前述）が愛東地区で 7 割となっています。一方、平田地区では「利用しない」人が利用している人（前述）よりも多く見られます。

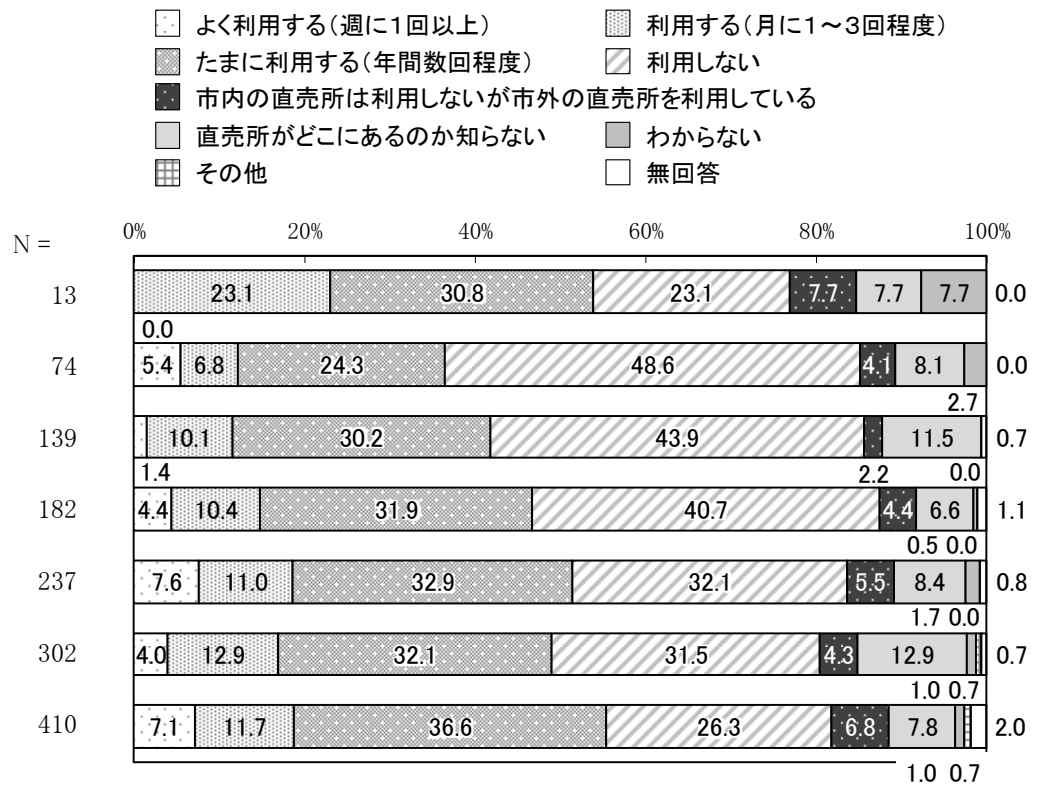


* 令和2年度から「直売所がどこにあるのか知らない」と「その他」を追加

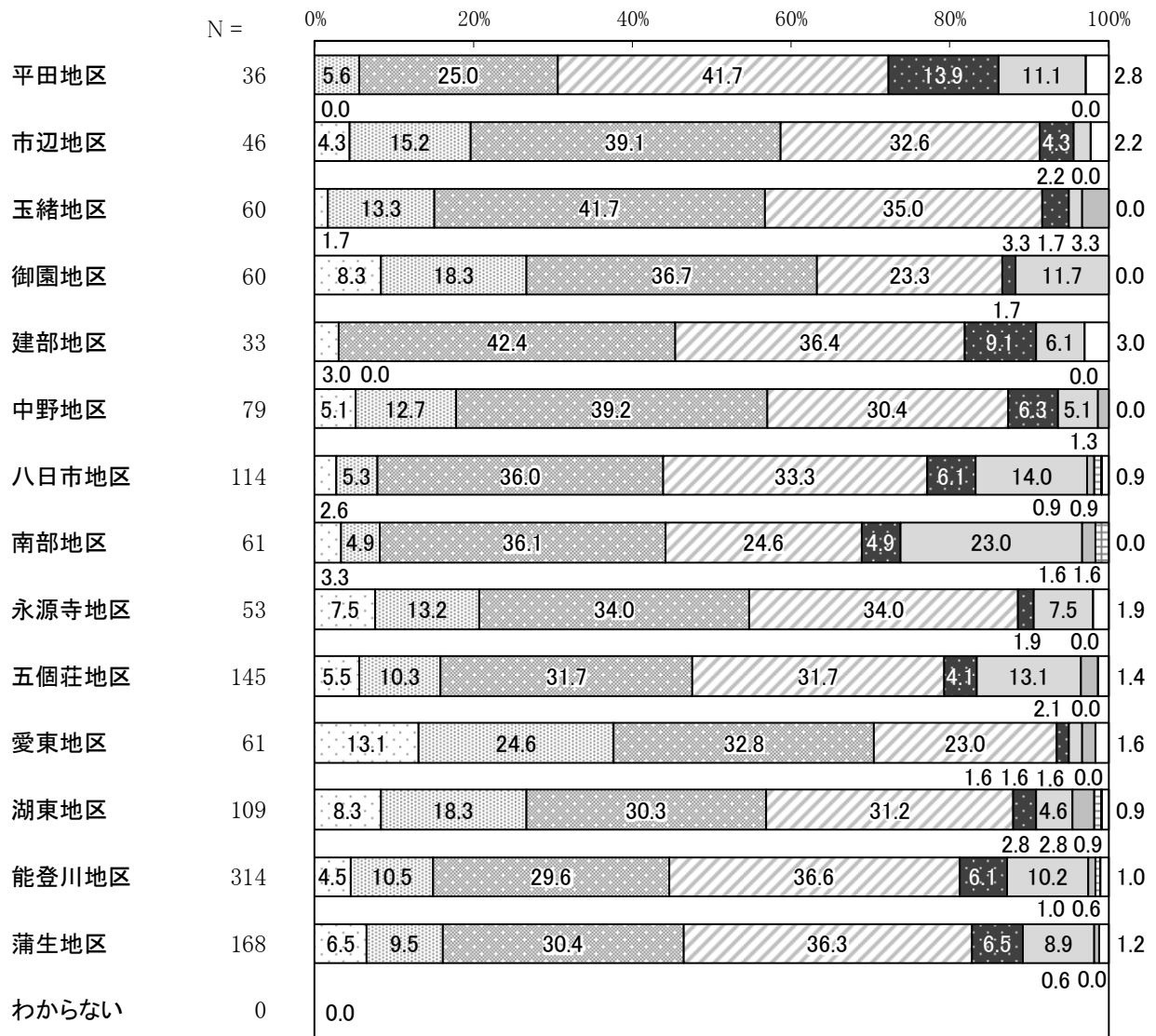
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



問 43 あなたは、次のキャッシュレス決済をどの程度利用していますか。《①～⑥それぞれの項目に○1つ》

流通系電子マネーは3割、QR/バーコード決済、クレジットカードは3割近くが週1回以上利用

- ・ キャッシュレス決済を週1回以上利用する人の割合は、「④流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）」が 32.2%と最も高く、次いで「③QR／バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）」が 29.7%、「①クレジットカード」が 28.8%、「⑤交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）」が 5.5%、「②デビットカード」が 1.8%となっています。
- ・ 「月に1～3回程度」や「年に数回程度」の利用も含めた利用している人の割合は、「①クレジットカード」が 71.6%で最も高く、次いで「④流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）」が 52.0%、「③QR／バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）」が 48.4%、「⑤交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）」が 32.8%、「②デビットカード」が 5.8%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、この4年間で、年変動はあるものの、いずれのキャッシュレス決済も利用率が向上しており、特に「③QR／バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）」で顕著となっています。

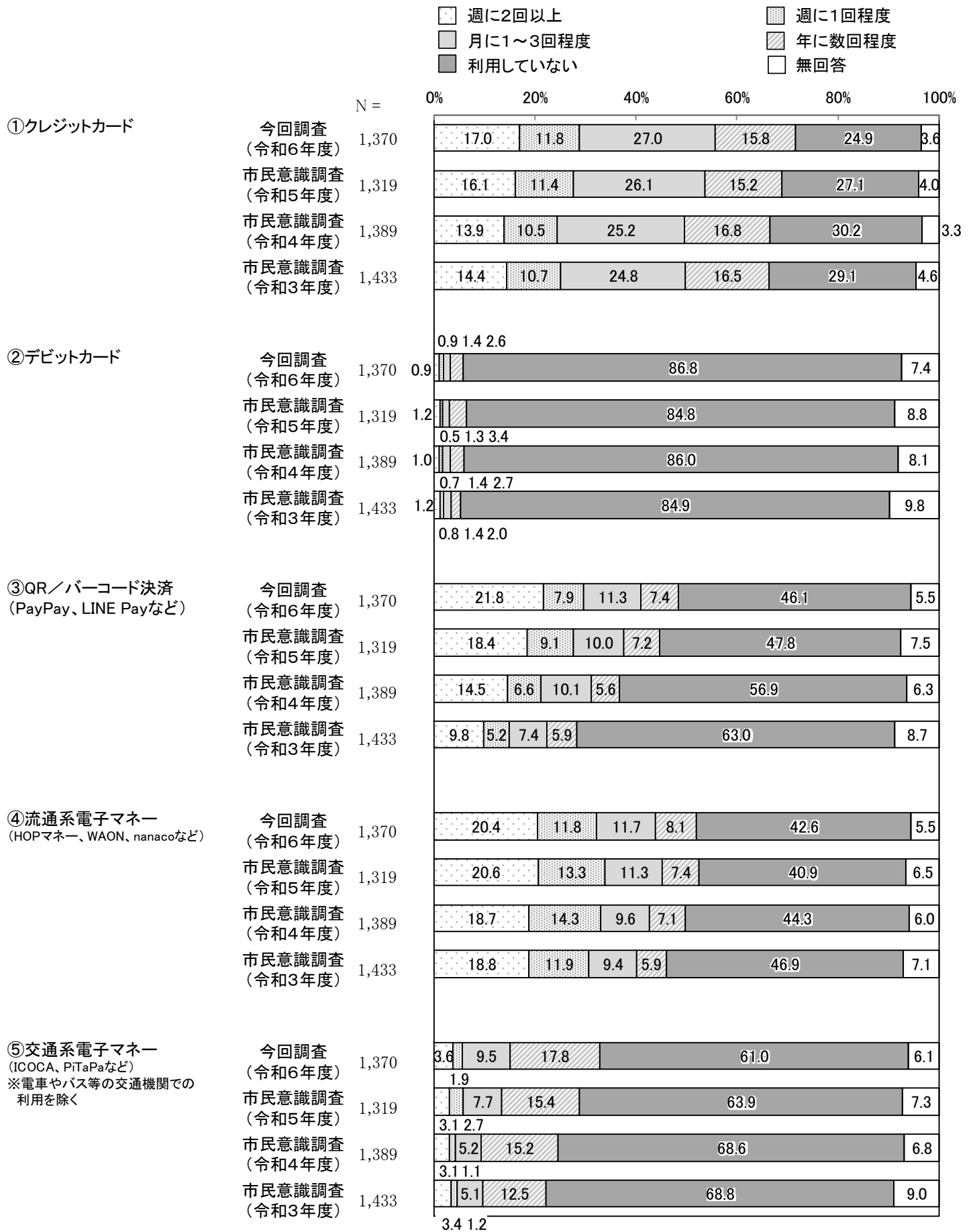
単位：％

	週1回以上 利用	利用している	利用して いない
①クレジットカード	28.8% (+1.3)	71.6% (+2.8)	24.9% (-2.2)
②デビットカード	1.8% (+0.1)	5.8% (-0.5)	86.8% (+2.0)
③QR／バーコード決済(PayPay、LINE Pay など)	29.7% (+2.2)	48.4% (+3.7)	46.1% (-1.7)
④流通系電子マネー(HOP マネー、WAON、nanaco など)	32.2% (-1.7)	52.0% (-0.6)	42.6% (+1.7)
⑤交通系電子マネー(ICOCA、PiTaPa など) ※電車やバス等の交通機関での利用を除く	5.5% (-0.3)	32.8% (+3.9)	61.0% (-2.9)

※()内の数値は令和5年度との差を示している。

「⑥その他」の内訳（現金などキャッシュレス決済以外のものや設問内に示されたものを除くと9件）

週2回以上	Edy(2件)、ID、Quick pay、電子マネー(流通系以外の)
週に1回程度	Quick pay、振替
月に1～3回程度	Edy、スマホアプリやインターネットバイキング
年に数回程度	—



① クレジットカード

- ・ 年代別では、利用率（年数回程度でも利用している人の割合）は、30～50 歳代で 8 割以上（特に 30 歳代で 9 割近く）と高くなっています。また利用頻度は、週 2 回以上が 30 歳代で 4 割近くと高くなっています。一方、10 歳代では 7 割近くが利用していません。
- ・ 居住地区別では、利用率（前述）は、市辺地区、玉緒地区、御園地区で 8 割近くと高くなっています。また利用頻度は、週 2 回以上が八日市地区や愛東地区で 3 割近くとほかの地区と比べ高くなっています。

② デビットカード

- ・ 年代別では、利用率（前述）は 20 歳代で 1 割以上ですが、そのほかの年代では 1 割未満にとどまっています。利用頻度も高くありません。
- ・ 居住地区別では、利用率（前述）は平田地区や御園地区で 1 割ですが、そのほかの地区では 1 割未満にとどまっています。利用頻度も高くありません。

③ QR／バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）

- ・ 年代別では、利用率（前述）は、40 歳代までで 7 割以上（特に 10～20 歳代は 8 割近く）と高い一方で、60 歳代で 4 割、70 歳以上は 2 割と低くなっています。前回調査と比較すると全体的に利用率は向上しています。また利用頻度は、週に 2 回以上が 20～30 歳代で半数前後となっています。
- ・ 居住地区別では、利用率（前述）は、八日市地区で 6 割と高くなっています。また利用頻度は、週 2 回以上が八日市地区で 4 割とほかの地区より高くなっています。

④ 流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）

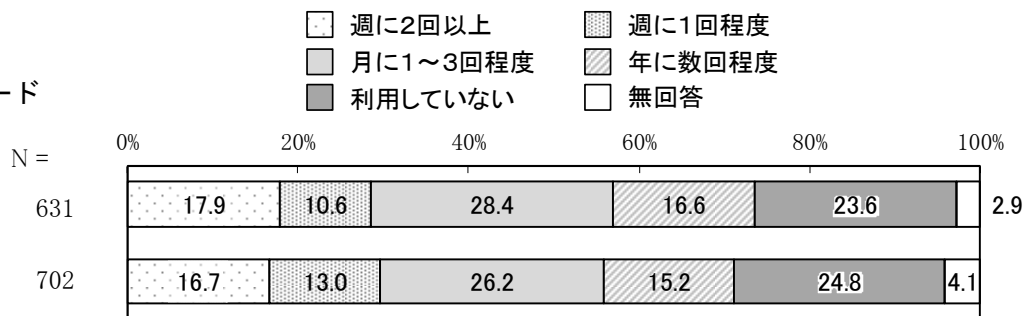
- ・ 性別では、利用率（前述）は、女性で 6 割と、男性の 4 割を大きく上回っています。また利用頻度も、週 2 回以上が女性で 3 割近くと高くなっています。
- ・ 年代別では、利用率（前述）は、50～60 歳代で 6 割以上と高くなっています。また利用頻度は、週 2 回以上が 60 歳代で 3 割近くと高くなっています。
- ・ 居住地区別では、利用率（前述）は、能登川地区や建部地区で 6 割近くと高くなっています。また利用頻度は、能登川地区、平田地区で週 2 回以上が 3 割近くと、ほかの地区より高くなっています。

⑤ 交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）

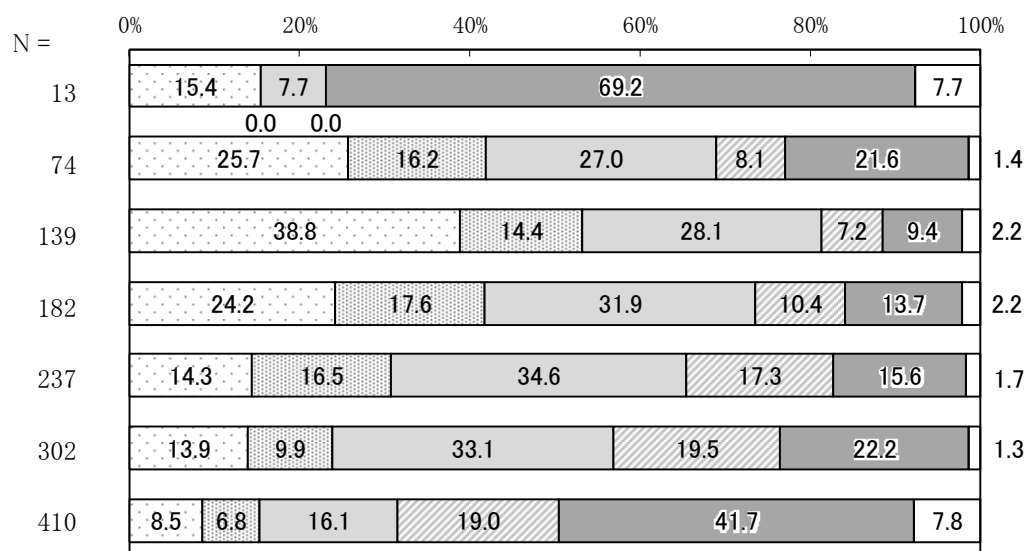
- ・ 年代別では、利用率（前述）は、10 歳代は 8 割近く、20 歳代が 6 割近くと高くなっています。また利用頻度は、週 2 回以上が 10～20 歳代で 2 割前後とほかの年代より高くなっています。

① クレジットカード

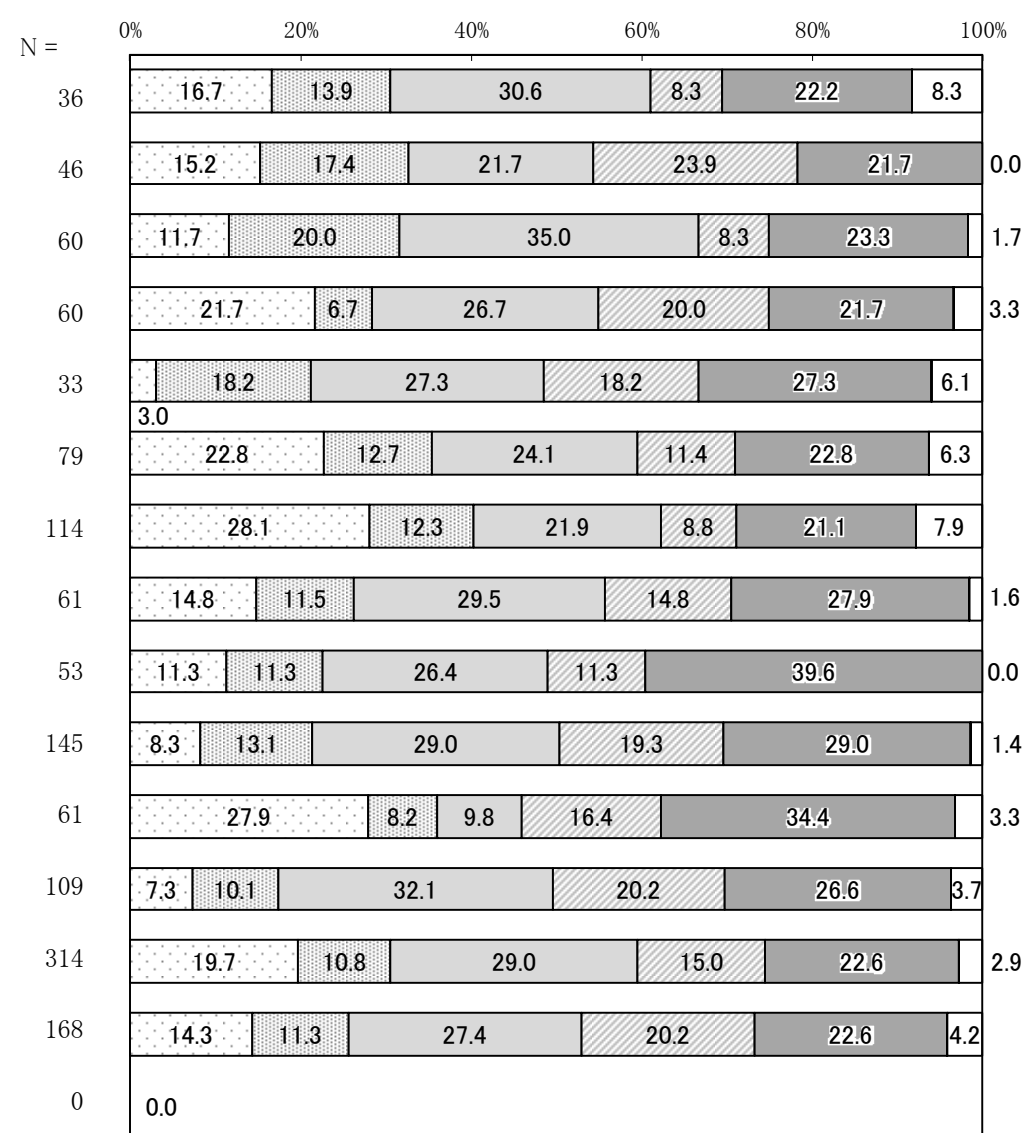
【性 別】



【年代別】



【居住地区別】



② デビットカード

【性 別】

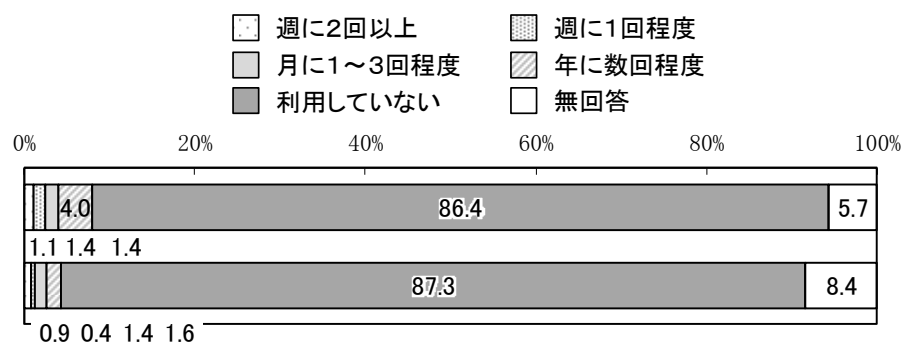
N =

男性

631

女性

702



【年代別】

N =

10歳代

13

20歳代

74

30歳代

139

40歳代

182

50歳代

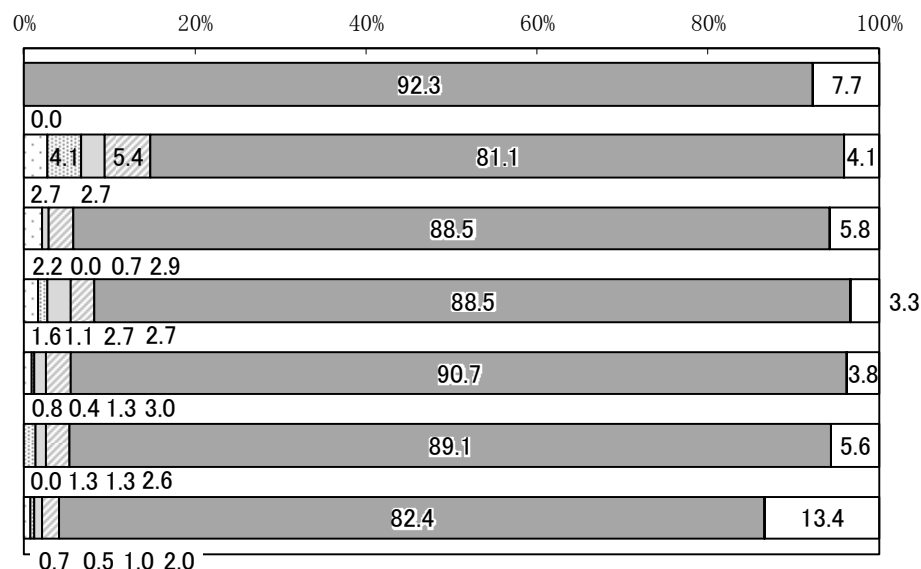
237

60歳代

302

70歳以上

410



【居住地区別】

N =

平田地区

36

市辺地区

46

玉緒地区

60

御園地区

60

建部地区

33

中野地区

79

八日市地区

114

南部地区

61

永源寺地区

53

五個荘地区

145

愛東地区

61

湖東地区

109

能登川地区

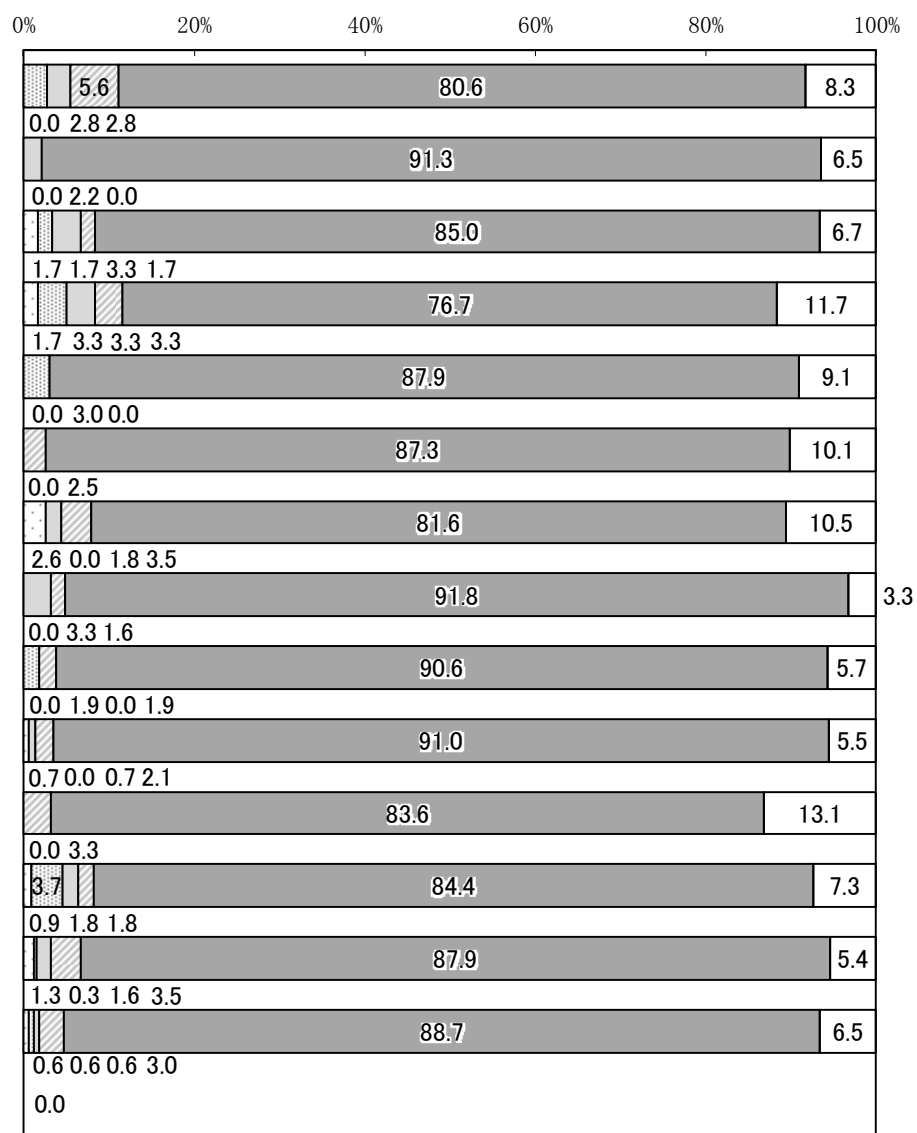
314

蒲生地区

168

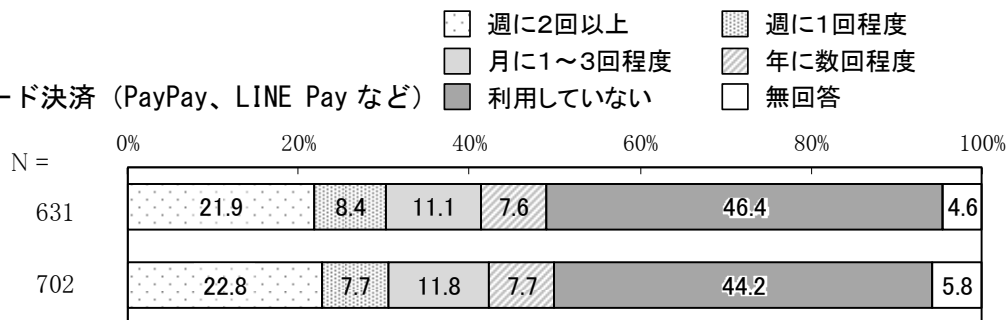
わからない

0

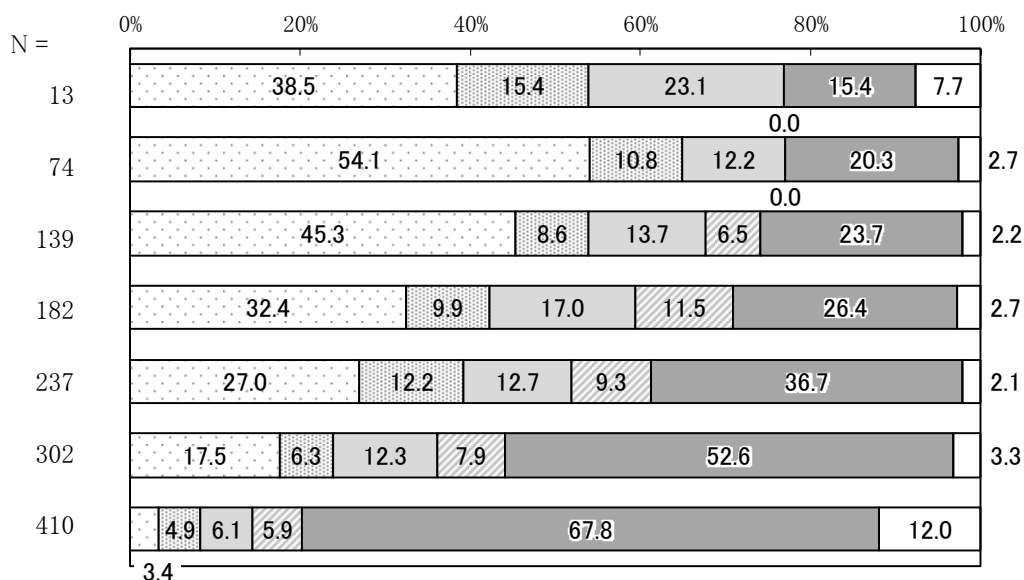


③ QR／バーコード決済 (PayPay、LINE Pay など)

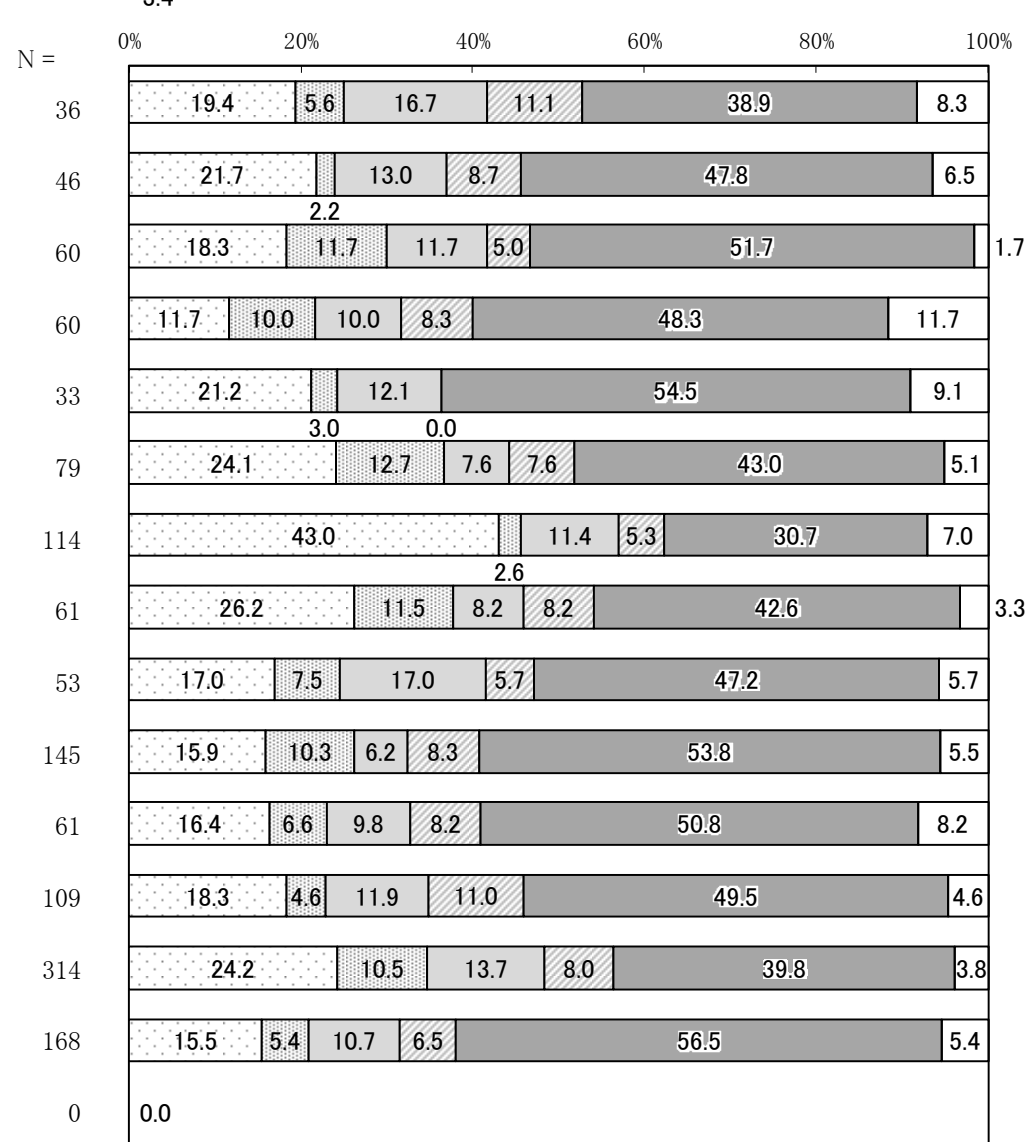
【性 別】



【年代別】



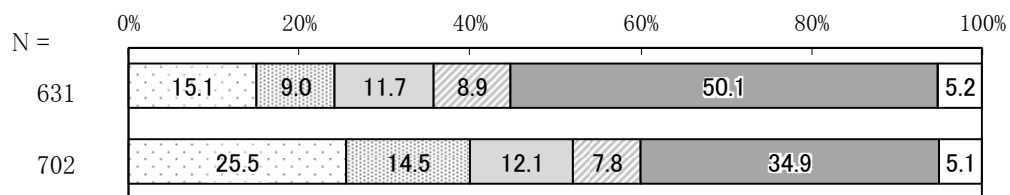
【居住地区別】



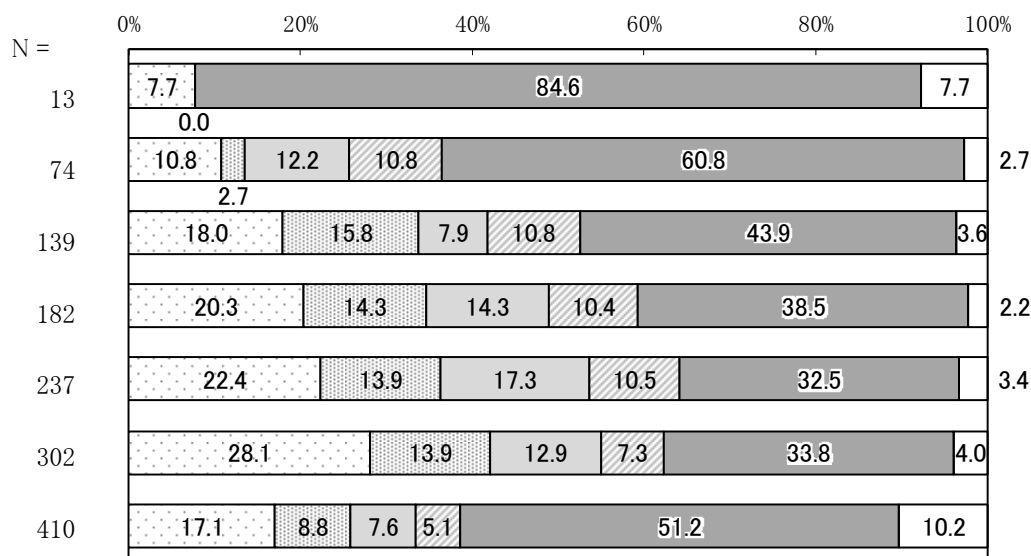
④ 流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）

週に2回以上
 週に1回程度
 月に1～3回程度
 年に数回程度
 利用していない
 無回答

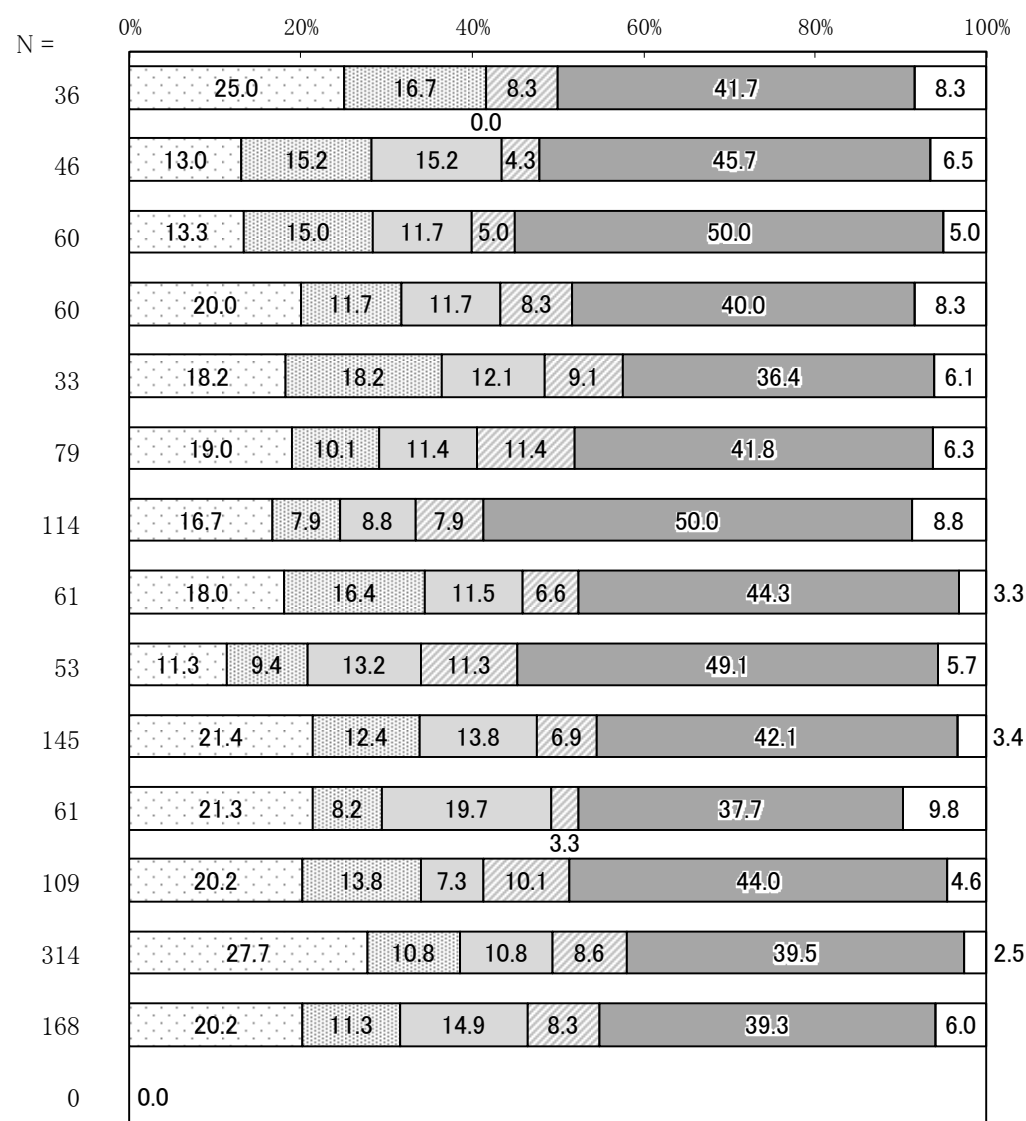
【性 別】



【年代別】

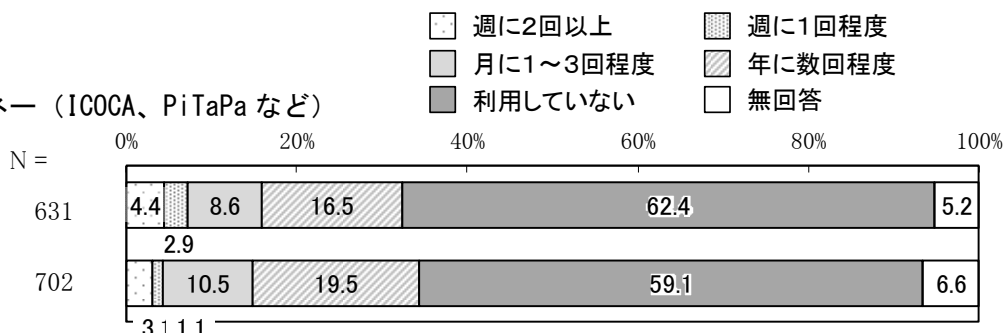


【居住地区別】

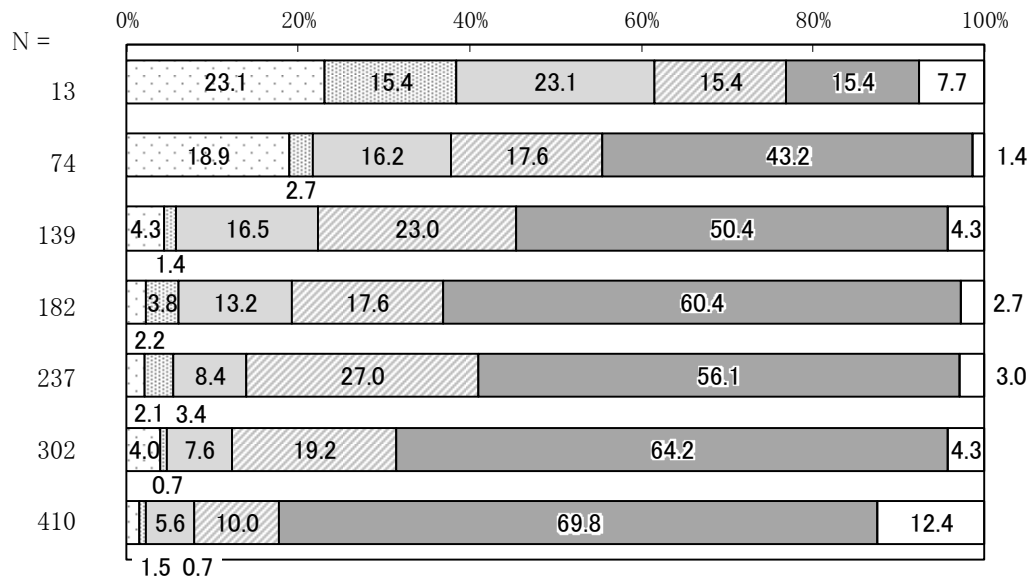


⑤ 交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）

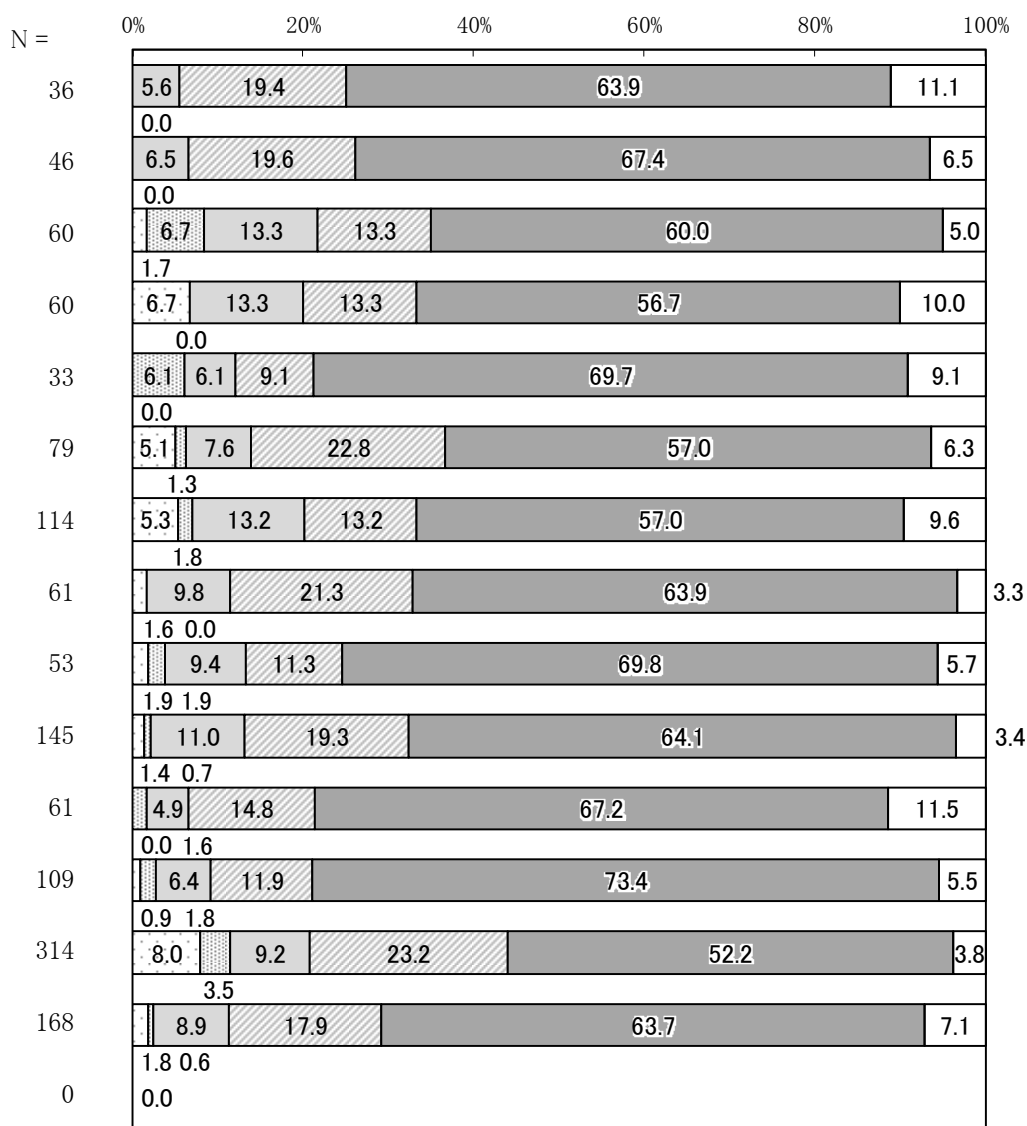
【性 別】



【年代別】



【居住地区別】

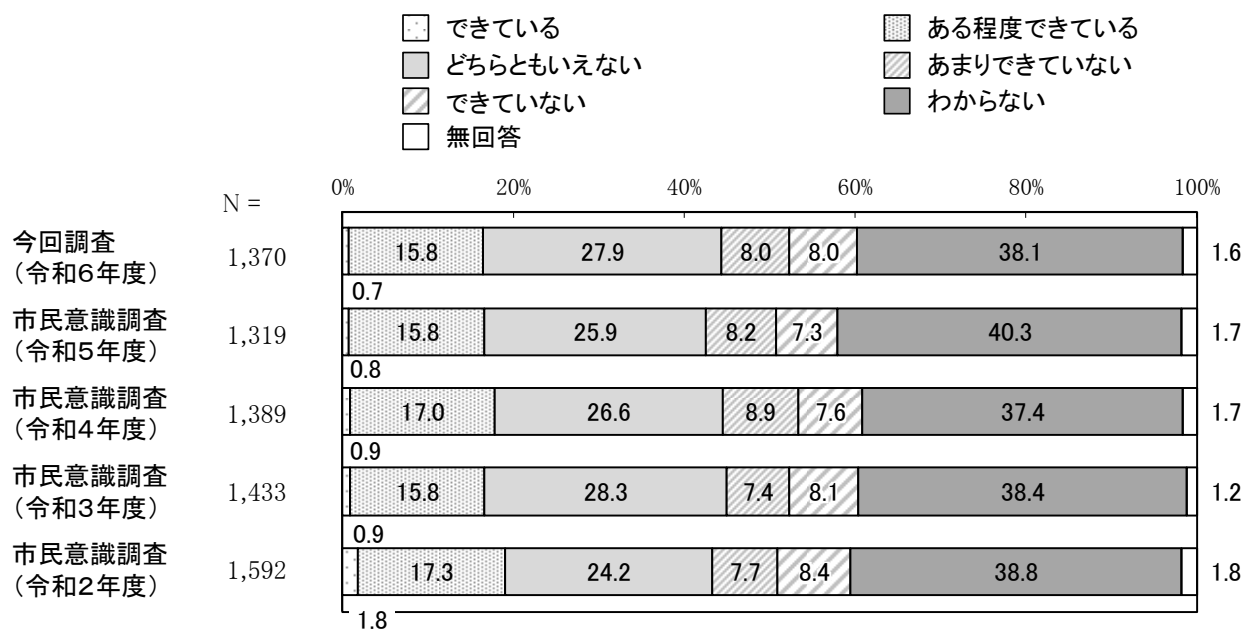


(8) 協働のまちづくりについて

問 44 あなたは、東近江市では市民、企業、行政等が共に考え、力を合わせた協働のまちづくりができていると思いますか。《○1つ》

できていると思う人は2割近く

- ・ 協働のまちづくりができていると思うかについては、できている（「できている」と「ある程度できている」の合計）と思う人の割合は16.5%で、できていない（「あまりできていない」と「できていない」の合計）と思う人の割合（16.0%）とほぼ同率となっています。また、「わからない」が38.1%、「どちらともいえない」が27.9%となっています。
- ・ 性別では、男性で、できていない（前述）と思う人の割合が高く、できている（前述）と思う人より多くなっています。
- ・ 年代別では、できている（前述）と思う人が、20歳代で2割以上となっています。一方、30歳代や50～60歳代は、できていない（前述）と思う人ができている（前述）と思う人より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、湖東地区、五個荘地区でできている（前述）と思う人が2割以上となっています。一方、中野地区、玉緒地区、永源寺地区、南部地区、平田地区では、できていない（前述）と思う人ができている（前述）と思う人より多くなっています。



単位：％

	できている*	できていない*	差
①今回調査(令和6年度)	16.5	16.0	0.5
②市民意識調査(令和5年度)	16.6	15.5	1.1
③市民意識調査(令和4年度)	17.9	16.5	1.4
④市民意識調査(令和3年度)	16.7	15.5	1.2
⑤市民意識調査(令和2年度)	19.1	16.1	3.0
①－⑤	-2.6	-0.1	-2.5

* できている:「できている」と「ある程度できている」の合計

* できていない:「あまりできていない」と「できていない」の合計

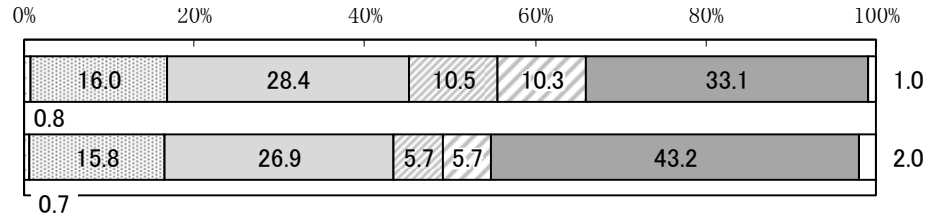


【性別】

男性

N =

631

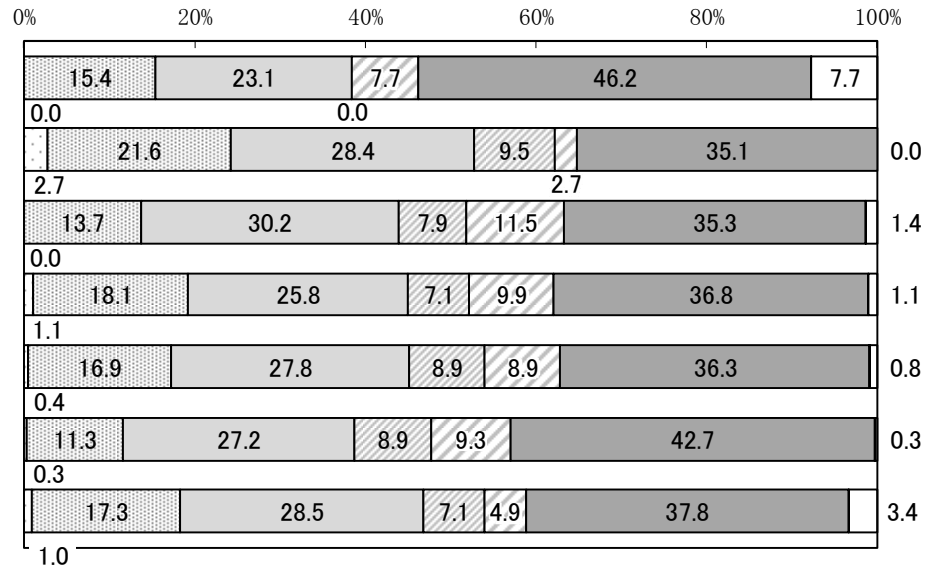


【年代別】

10歳代

N =

13

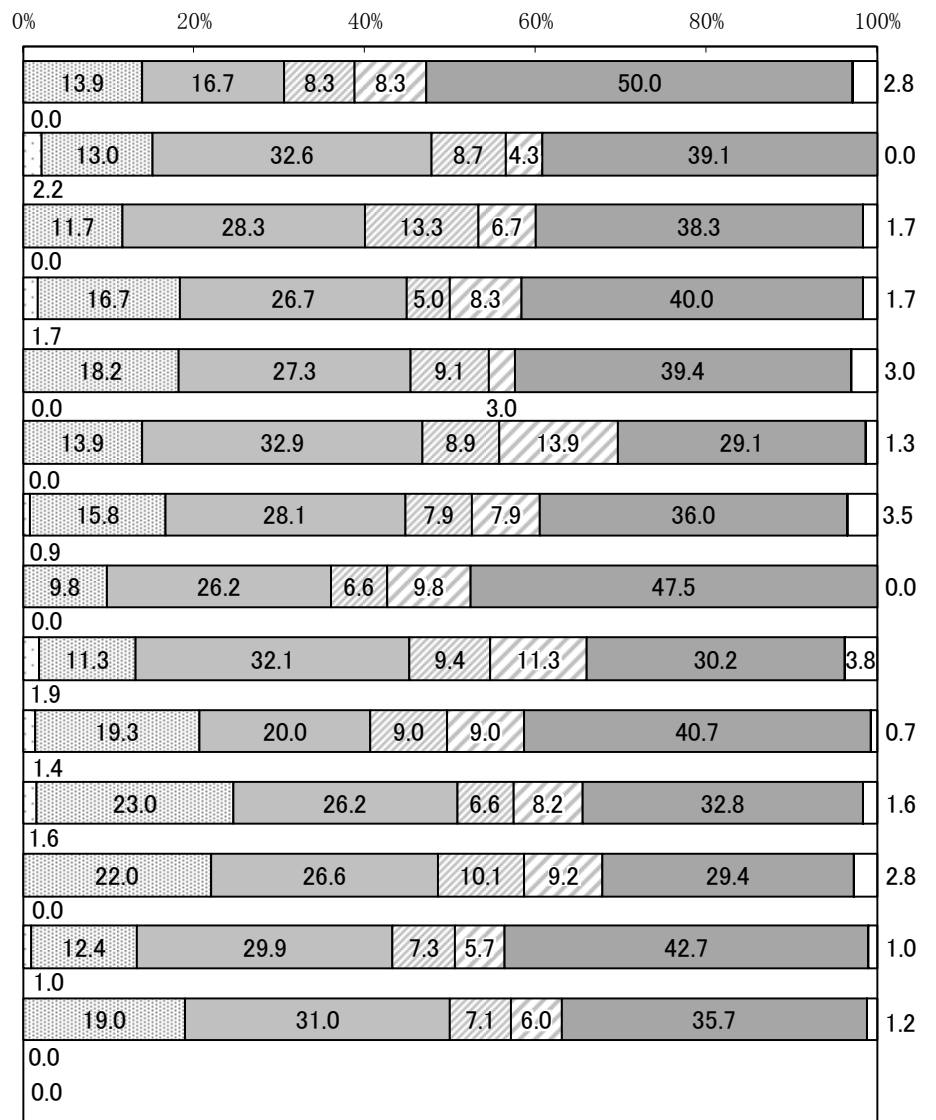


【居住地区別】

平田地区

N =

36



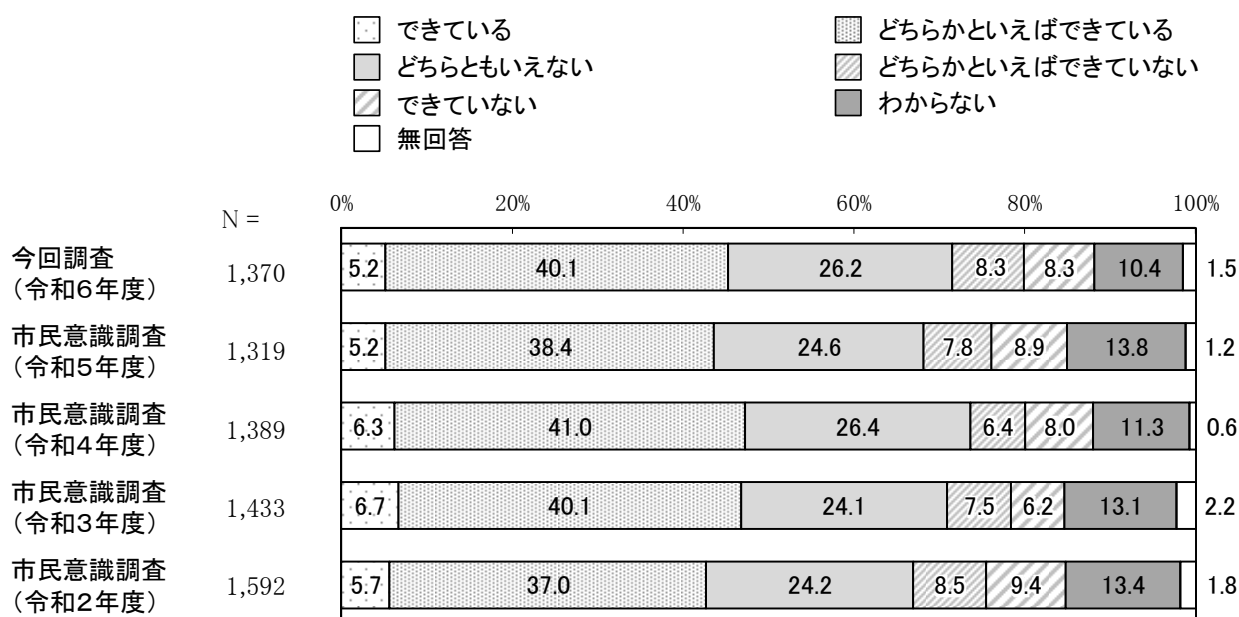
わからない

0

問 45 あなたの身近な地域では、住民同士の助け合いができていますか。《○1つ》

半数近くが住民同士の助け合いはできている

- ・ 地域での住民同士の助け合いができていると思うかについては、「どちらかといえばできている」が40.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が26.2%と続きます。できている（「できている」と「どちらかといえばできている」の合計）と思う人の割合が45.3%で、できていない（「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計）と思う人の割合（16.6%）より高くなっています。
- ・ 年代別では10歳代で半数以上、居住地区別では愛東地区で6割以上と、住民同士の助け合いができている（前述）と思う人が多く見られます。
- ・ 一方、年代別では30歳代で、居住地区別では南部地区、玉緒地区で、できていない（前述）と思う人が多く見られます。

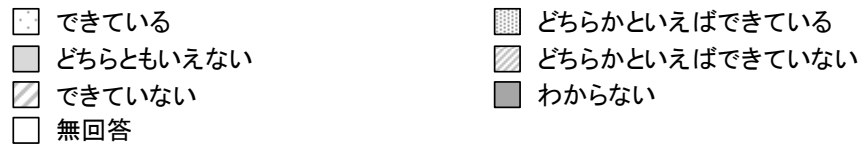


単位：％

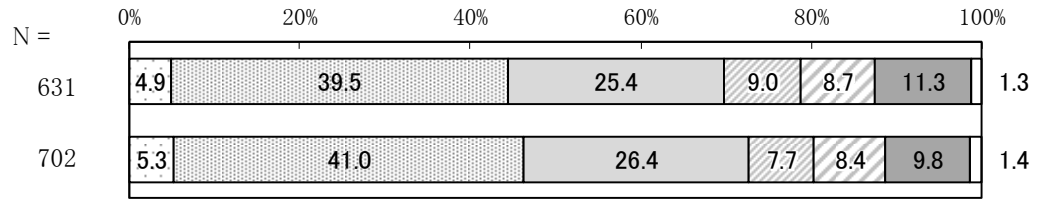
	できている*	できていない*	差
①今回調査(令和6年度)	45.3	16.6	28.7
②市民意識調査(令和5年度)	43.6	16.7	26.9
③市民意識調査(令和4年度)	47.3	14.4	32.9
④市民意識調査(令和3年度)	46.8	13.7	33.1
⑤市民意識調査(令和2年度)	42.7	17.9	24.8
①－⑤	2.6	-1.3	3.9

* できている:「できている」と「どちらかといえばできている」の合計

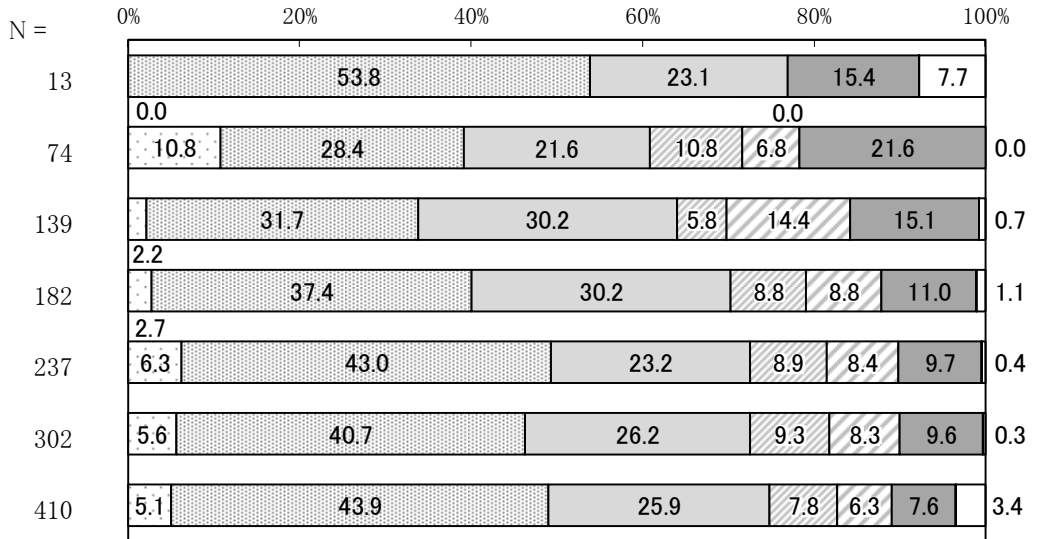
* できていない:「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計



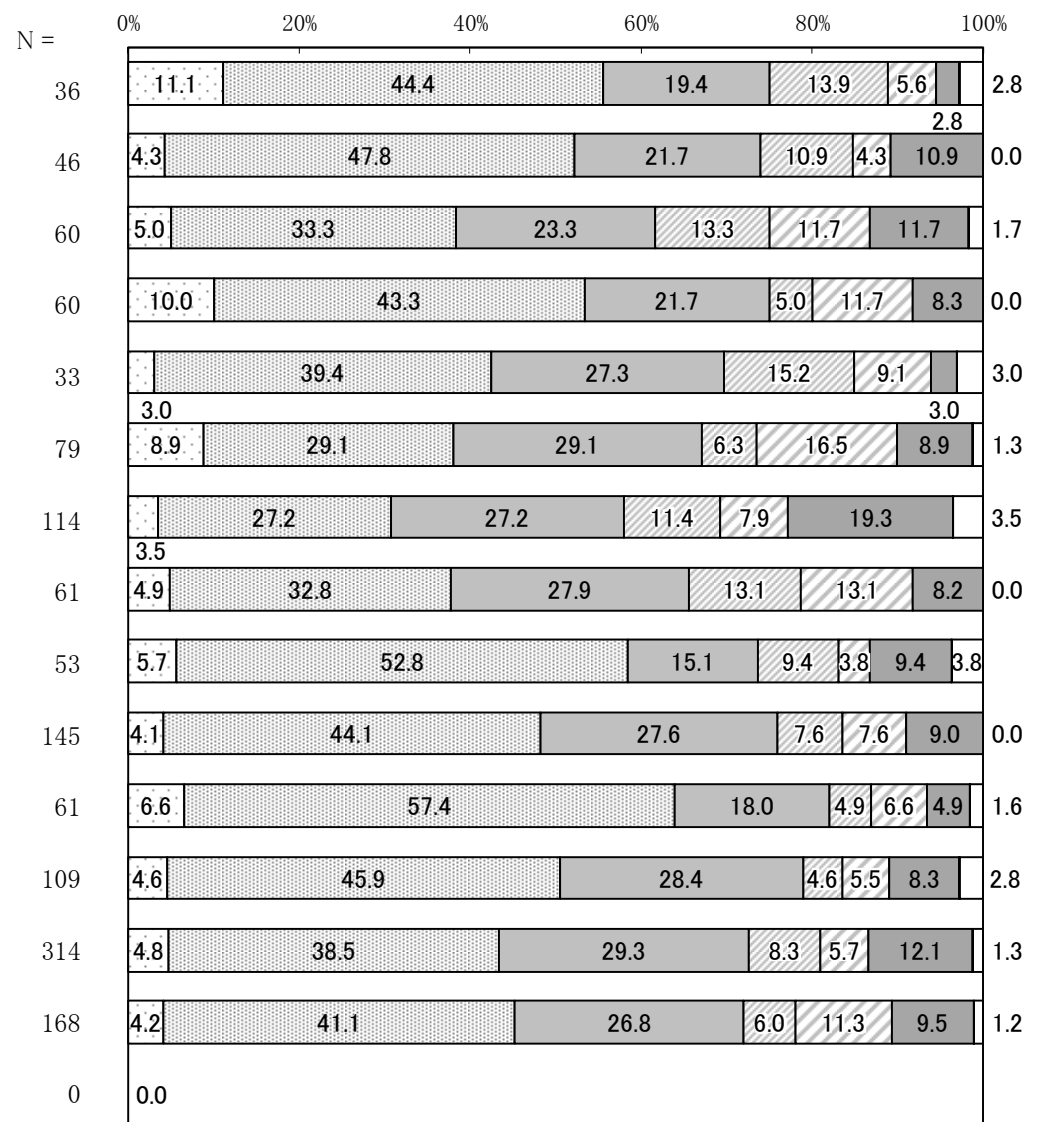
【性別】



【年代別】



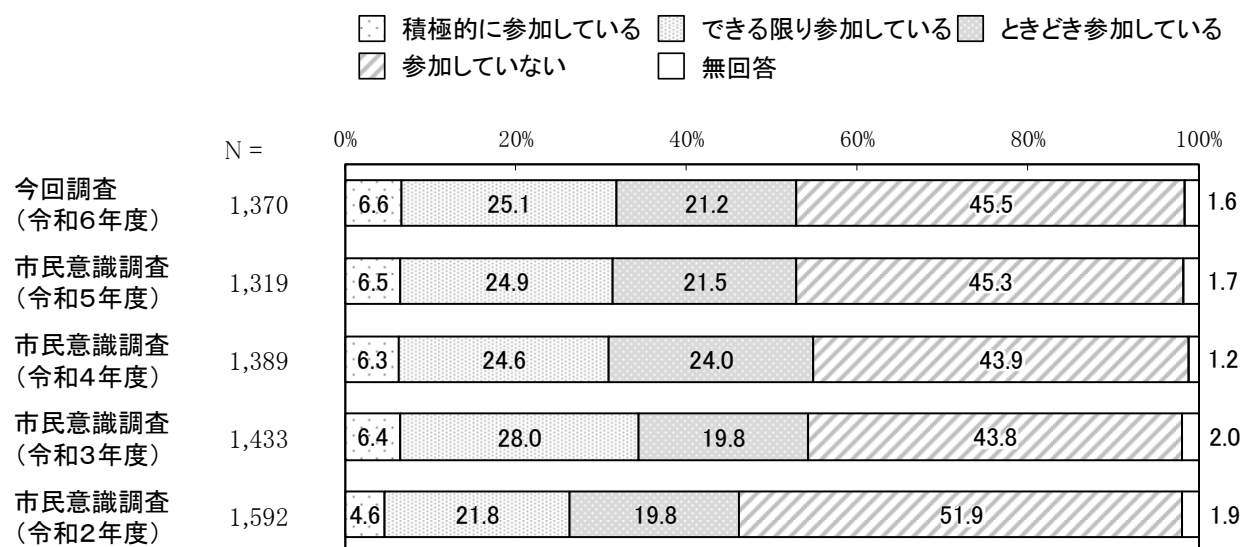
【居住地区別】



問 46 あなたは、自治会やまちづくり協議会等の地域活動又はNPOやボランティア等の活動にどの程度参加していますか。《○1つ》

半数以上が活動に参加している

- ・ 地域活動又はNPOやボランティア等の活動への参加頻度については、参加している人が52.9%と半数以上で、その内訳は、回答が多い順に「できる限り参加している」が25.1%、「ときどき参加している」が21.2%、「積極的に参加している」が6.6%となっています。一方、「参加していない」は45.5%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、地域活動又はNPOやボランティア等の活動に参加している人の割合は、年変動があるものの、おおむね半数程度で推移しています。
- ・ 性別では男性で、年代別では70歳以上を除いて年齢が上がるほど、参加している人が多く見られます。
- ・ 居住地区別では、平田地区で7割近く参加している人がいる一方、八日市地区では参加していない人が7割近く見られます。
- ・ また、性別では女性で、年代別では40歳代までで、居住地区別では八日市地区、中野地区、玉緒地区で参加している人よりも参加していない人が多くなっています。



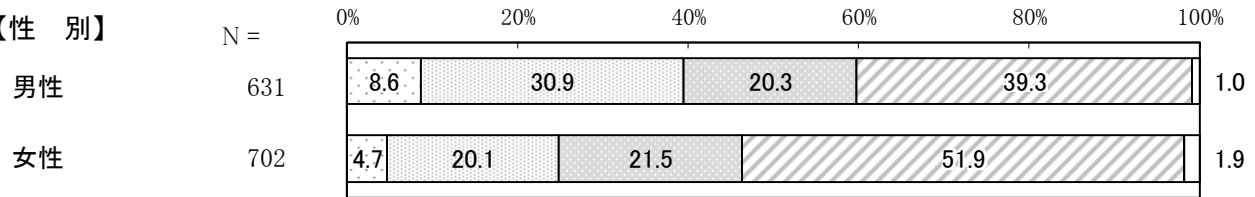
単位：％

	参加している*	参加していない	差
①今回調査(令和6年度)	52.9	45.5	7.4
②市民意識調査(令和5年度)	52.9	45.3	7.6
③市民意識調査(令和4年度)	54.9	43.9	11.0
④市民意識調査(令和3年度)	54.2	43.8	10.4
⑤市民意識調査(令和2年度)	46.2	51.9	-5.7
①－⑤	6.7	-6.4	13.1

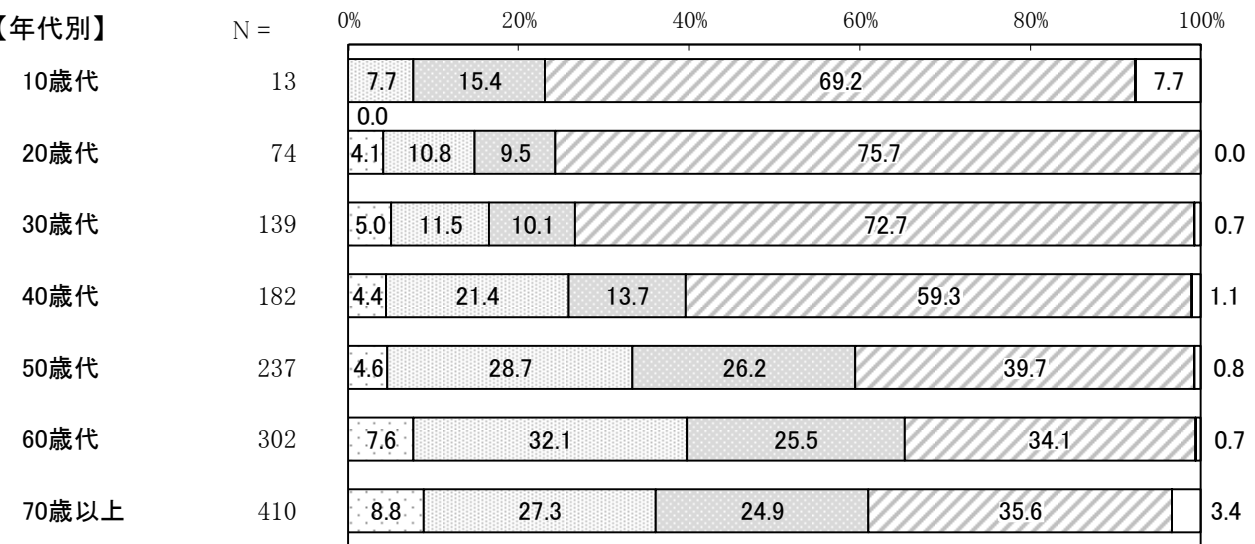
* 参加している：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」と「ときどき参加している」の合計

☐ 積極的に参加している
 ☐ できる限り参加している
 ☐ ときどき参加している
 ☐ 参加していない
 ☐ 無回答

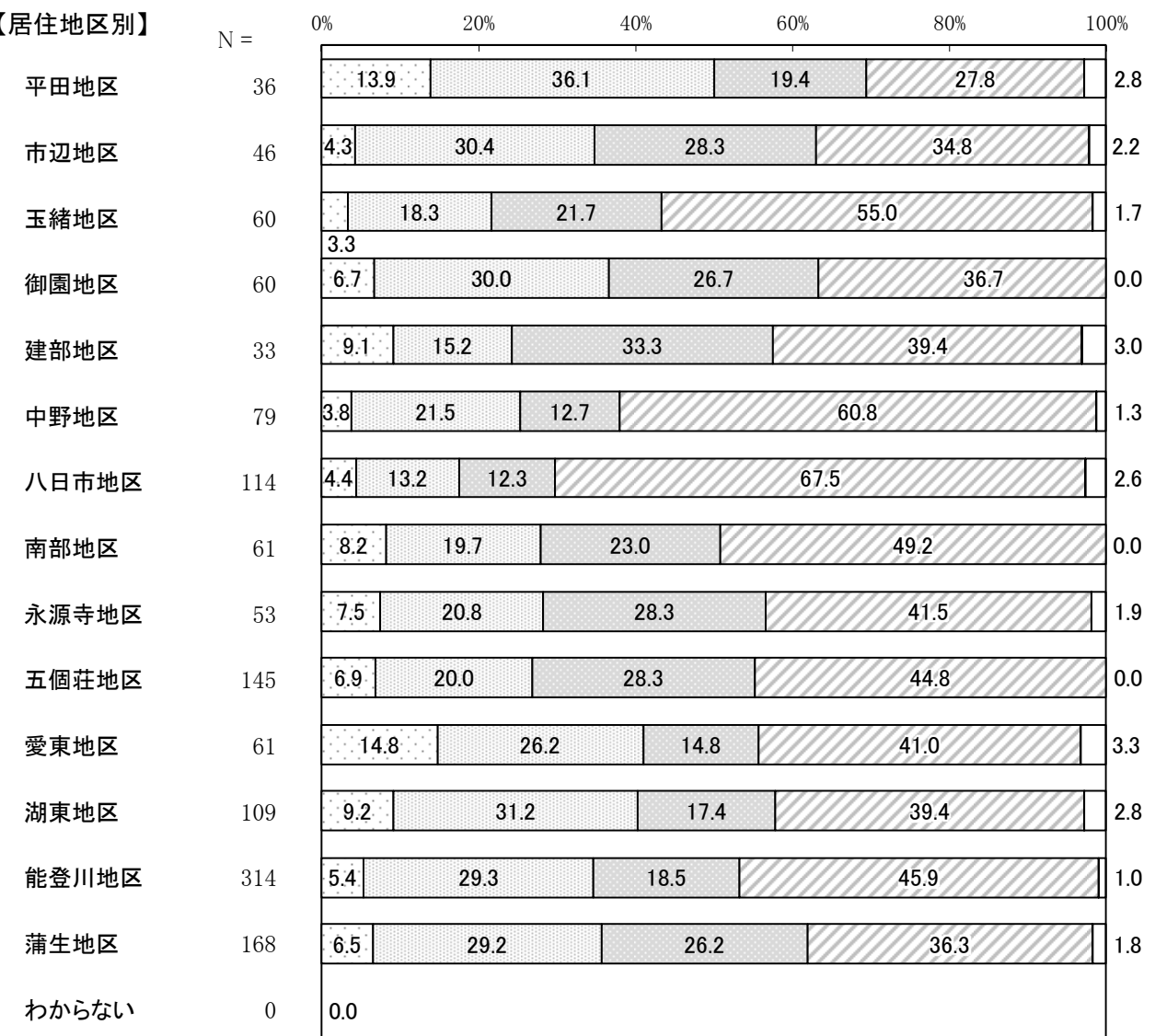
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

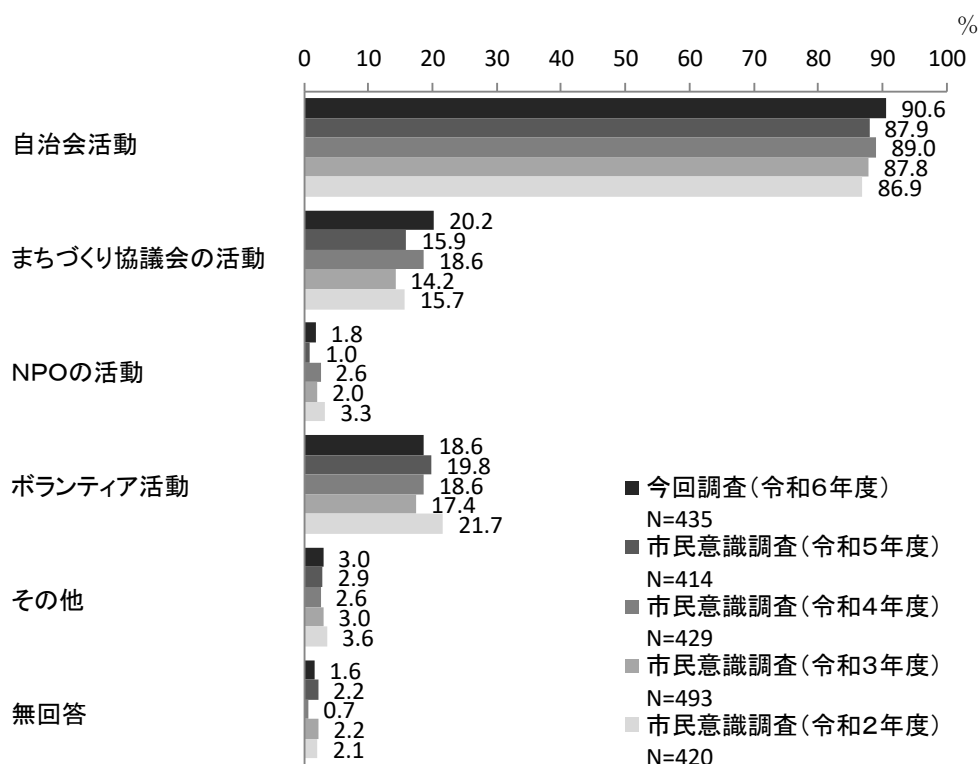


問 46-1 問 46 で「1. 積極的に参加している」「2. できる限り参加している」とお答えの方に
おたずねします。

この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

9割が「自治会活動」に参加、まちづくり協議会活動やボランティア活動への参加も2割前後

- ・ この1年間にどのような活動に参加したかについては、「自治会活動」が90.6%と最も多く、次いで「まちづくり協議会の活動」が20.2%、「ボランティア活動」が18.6%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「自治会活動」の割合がおおむね増加傾向にあります。また、今回「まちづくり協議会の活動」が「ボランティア活動」を抜いて、2番目に多くあげられています。
- ・ 性別、10歳代を除いた年代別、居住地区別のいずれも「自治会活動」が最も多くあげられています（10歳代は有効回答数が1なので、評価対象外）。
- ・ そのほか、性別では、男性で「まちづくり協議会の活動」が女性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、サンプル数が少ないため単純比較はできませんが、70歳以上で「まちづくり協議会の活動」や「ボランティア活動」がほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、八日市地区、永源寺地区で「まちづくり協議会の活動」が、八日市地区、南部地区、御園地区で「ボランティア活動」がほかの地区より多くあげられています。



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	自治会活動	動 まちづくり協議会の活	N P O の活動	ボランティア活動	その他	無回答
男性	249	92.4	25.3	0.8	17.7	1.2	2.4
女性	174	87.9	12.6	3.4	18.4	5.7	0.6

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数 (件)	自治会活動	動 まちづくり協議会の活	N P O の活動	ボランティア活動	その他	無回答
10歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20歳代	11	72.7	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0
30歳代	23	95.7	8.7	0.0	8.7	0.0	0.0
40歳代	47	89.4	21.3	4.3	8.5	2.1	4.3
50歳代	79	96.2	13.9	1.3	11.4	2.5	0.0
60歳代	120	92.5	18.3	1.7	16.7	3.3	1.7
70歳以上	148	87.8	28.4	2.0	27.0	3.4	2.0

※10歳代は、有効回答数が1のため、最大値を網掛けしていない。

【居住地区別】

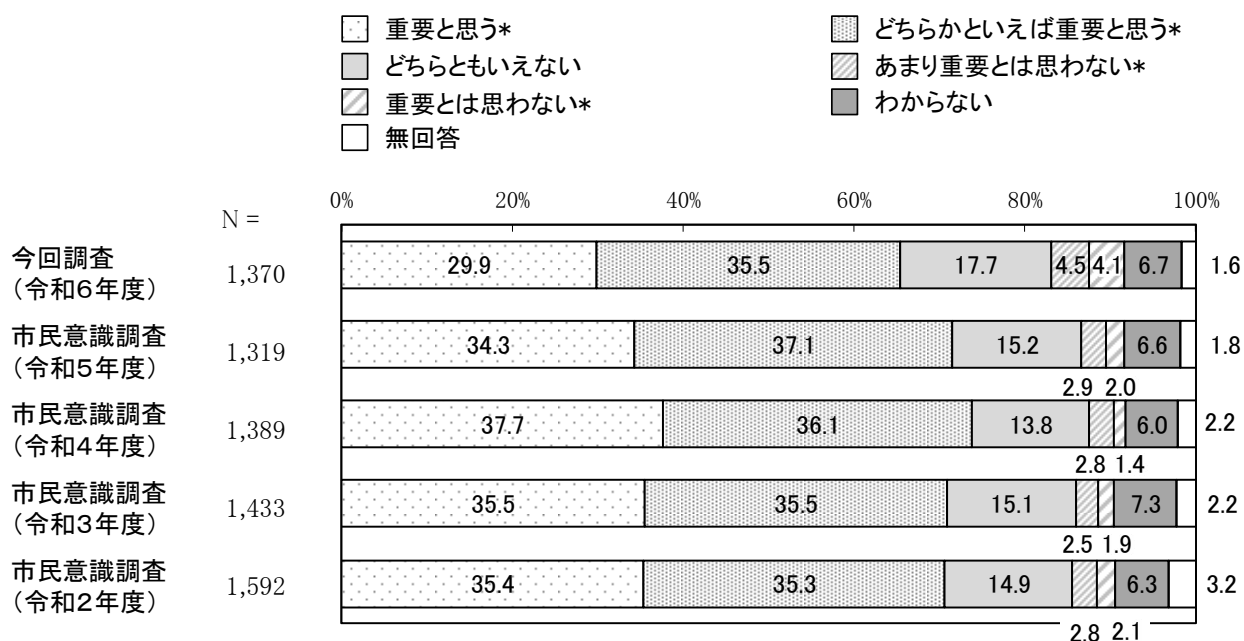
単位: %

区 分	有効回答数 (件)	自治会活動	動 まちづくり協議会の活	N P O の活動	ボランティア活動	その他	無回答
平田地区	18	94.4	27.8	5.6	16.7	5.6	0.0
市辺地区	16	87.5	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3
玉緒地区	13	76.9	23.1	0.0	7.7	0.0	7.7
御園地区	22	90.9	13.6	0.0	27.3	0.0	0.0
建部地区	8	100.0	50.0	0.0	12.5	12.5	0.0
中野地区	20	100.0	25.0	0.0	10.0	5.0	0.0
八日市地区	20	85.0	40.0	0.0	35.0	0.0	0.0
南部地区	17	88.2	17.6	5.9	29.4	5.9	0.0
永源寺地区	15	100.0	40.0	0.0	13.3	0.0	0.0
五個荘地区	39	89.7	28.2	0.0	17.9	5.1	2.6
愛東地区	25	88.0	20.0	0.0	8.0	0.0	4.0
湖東地区	44	84.1	20.5	4.5	15.9	0.0	4.5
能登川地区	109	92.7	10.1	0.9	22.9	4.6	0.0
蒲生地区	60	93.3	20.0	5.0	13.3	3.3	1.7
わからない	0	-	-	-	-	-	-

問 47 あなたは、国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現について
どう思いますか。《○1つ》

7割近くが重要だと思っている

- ・ 国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現については、「重要と思う」が 29.9%、「どちらかといえば重要と思う」が 35.5%で、これらを合わせると 65.4%となり、7割近くの人が重要だと思っています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「重要と思う」と回答した人の割合が、令和4年度をピークに減少傾向にあり、重要と思う（「重要と思う」と「どちらかといえば重要と思う」の合計）の割合も減少傾向にあります。
- ・ 性別では女性で、また、年代別では10～20歳代で「重要と思う」と回答した人の割合が高く、特に10歳代で半数以上となっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、市辺地区、平田地区で重要と思う（前述）の割合が8割近くとなっています。



* 令和2年度は、「重要だと思う」、「どちらかといえば重要だと思う」、「あまり重要だとは思わない」、「重要だとは思わない」

単位：％

	重要と 思う*	重要とは思 わない*	差
①今回調査(令和6年度)	65.4	8.6	56.8
②市民意識調査(令和5年度)	71.4	4.0	66.5
③市民意識調査(令和4年度)	73.8	4.2	69.6
④市民意識調査(令和3年度)	71.0	4.4	66.6
⑤市民意識調査(令和2年度)	70.7	4.9	65.8
①－⑤	-5.3	3.7	-9.0

* 重要と思う:「重要と思う」と「どちらかといえば重要と思う」の合計

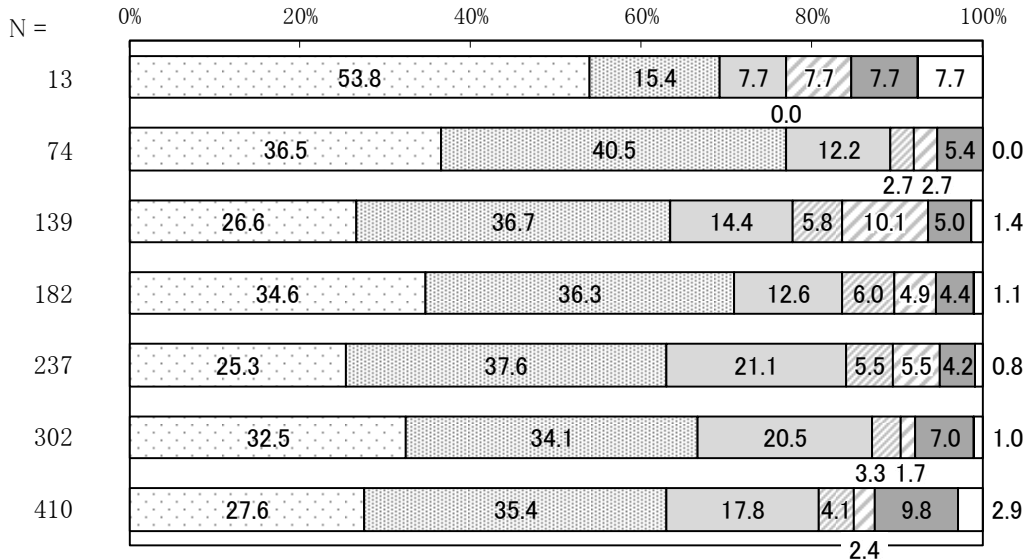
* 重要とは思わない:「あまり重要とは思わない」と「重要とは思わない」の
合計



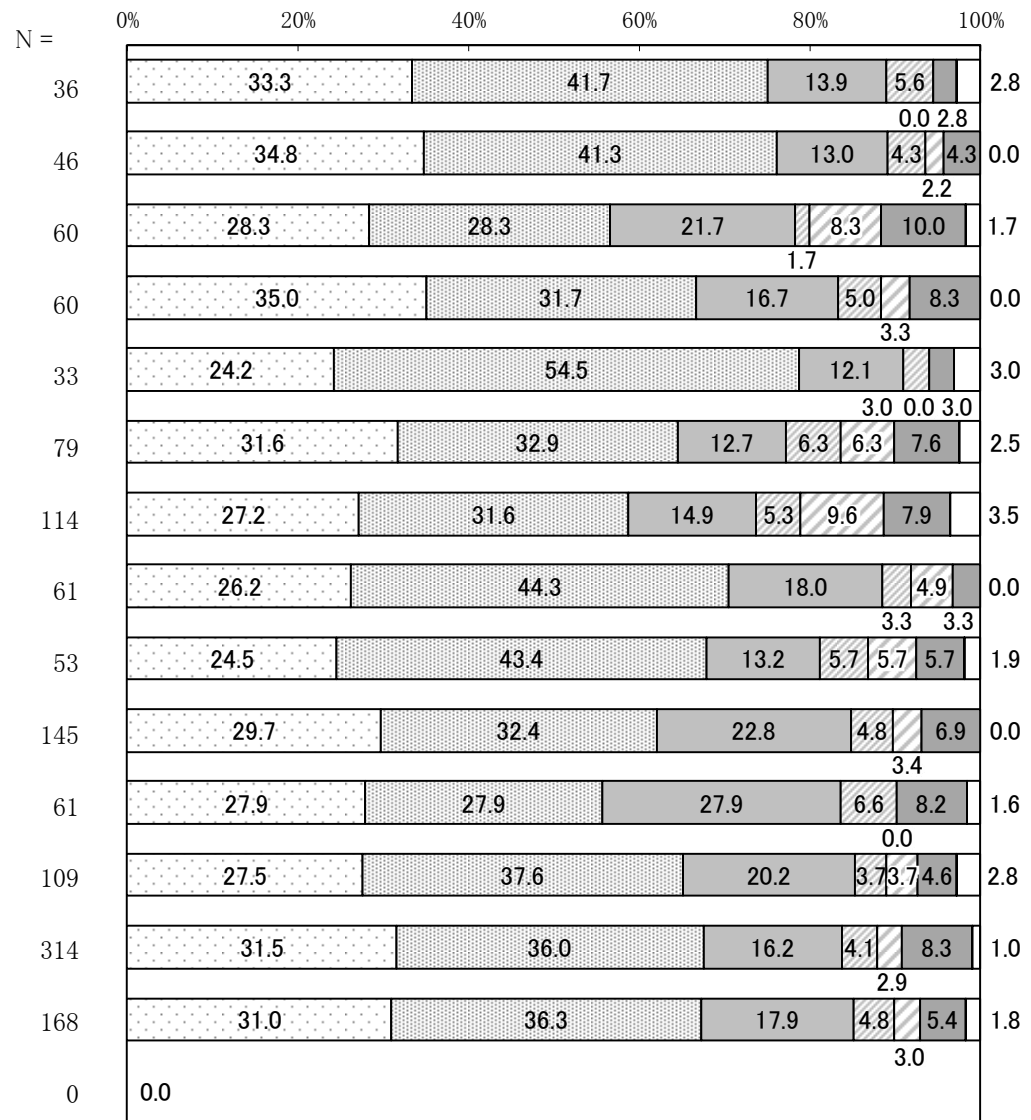
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

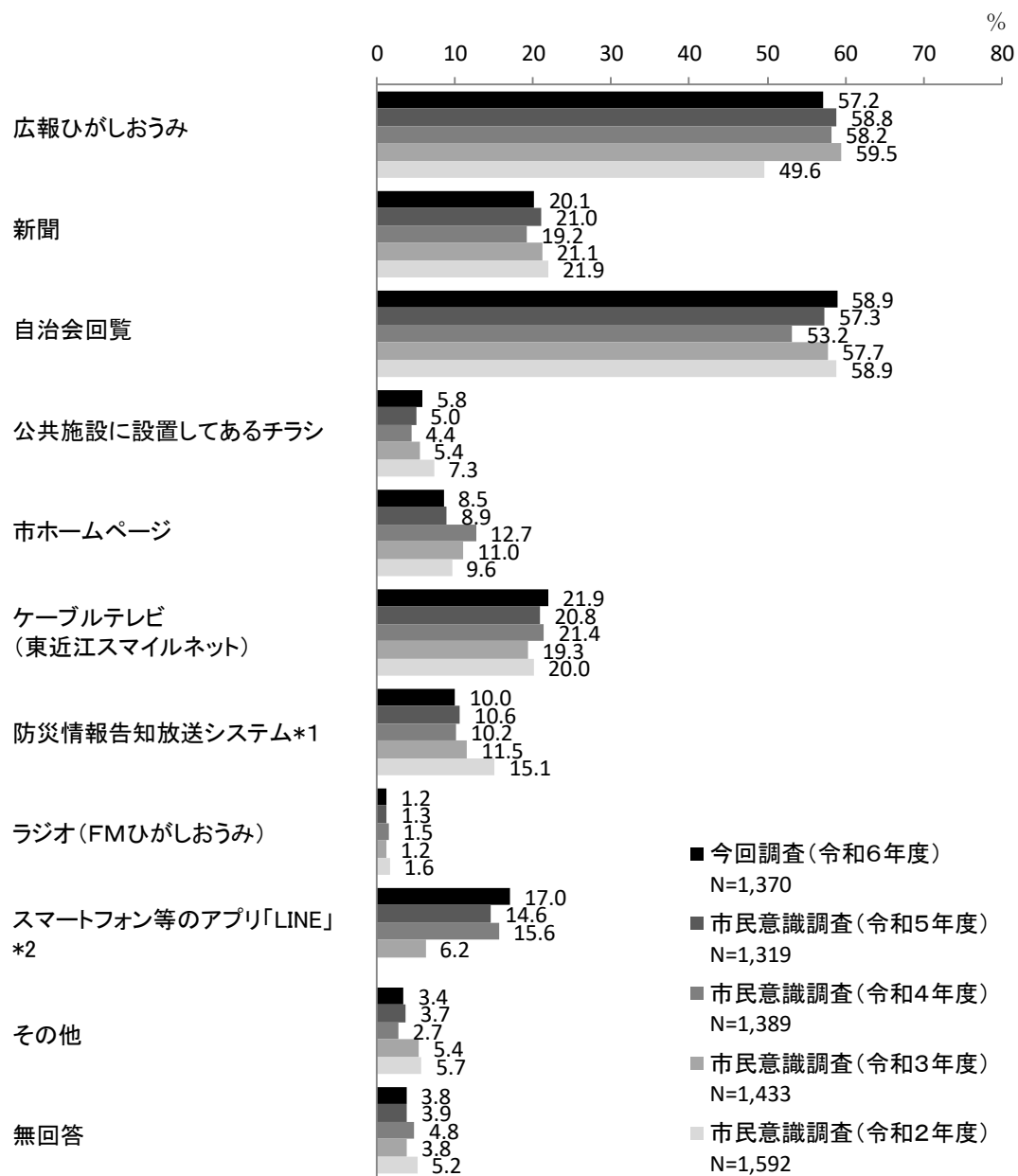


(9) 広報等の情報について

問 48 あなたは、市の情報（お知らせ）を主にどのような方法で取得していますか。《○3つまで》

6割近くが「自治会回覧」や「広報ひがしおうみ」で市の情報を取得

- ・ 市の情報（お知らせ）の主な取得方法については、「自治会回覧」が58.9%と最も多く、次いで「広報ひがしおうみ」が57.2%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、令和3年度以降「広報ひがしおうみ」が最も多くなっていたが、今回順位が再び逆転して、「自治会回覧」が最も多くなりました。
- ・ 性別では、男性で「自治会回覧」が、女性で「広報ひがしおうみ」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、10歳代や70歳以上で「広報ひがしおうみ」が、そのほかの年代で「自治会回覧」が最も多くあげられています。そのほか、「新聞」と「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」が70歳以上で、「市ホームページ」と「スマートフォン等のアプリ「LINE」」が30歳代でほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、御園地区、市辺地区、南部地区、愛東地区、八日市地区は「広報ひがしおうみ」が、そのほかの地区では「自治会回覧」が最も多くあげられています。そのほかに、玉緒地区で「新聞」が、愛東地区、湖東地区、永源寺地区で「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」が、ほかの地区より多くあげられています。



*1 令和2年度まで「音声告知端末」

*2 令和3年度から「スマートフォン等のアプリ「LINE」」を追加

【性別】*この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。単位:%

区 分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	防災情報告知放送システム	ラジオ(FMひがしおうみ)	スマートフォン等のアプリ	その他	無回答
男性	631	54.8	21.9	61.5	5.2	8.7	22.8	11.9	1.7	14.9	3.5	3.0
女性	702	59.7	18.2	56.7	6.3	8.7	20.8	7.8	0.9	18.8	3.6	4.3

【年代別】単位:%

区 分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	防災情報告知放送システム	ラジオ(FMひがしおうみ)	スマートフォン等のアプリ	その他	無回答
10歳代	13	38.5	15.4	23.1	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7	7.7	23.1	7.7
20歳代	74	21.6	9.5	27.0	9.5	10.8	10.8	6.8	0.0	24.3	14.9	2.7
30歳代	139	37.4	9.4	39.6	10.8	15.8	10.8	6.5	2.2	26.6	6.5	4.3
40歳代	182	45.1	11.5	46.7	9.3	9.3	15.9	8.8	1.6	20.9	6.0	6.0
50歳代	237	59.9	17.7	61.6	3.0	11.0	14.3	9.3	0.8	19.4	2.5	3.0
60歳代	302	60.3	18.2	67.2	5.3	8.3	22.8	12.6	1.0	16.9	1.7	2.0
70歳以上	410	72.4	32.4	69.8	4.4	4.4	33.4	11.0	1.2	9.5	0.5	4.6

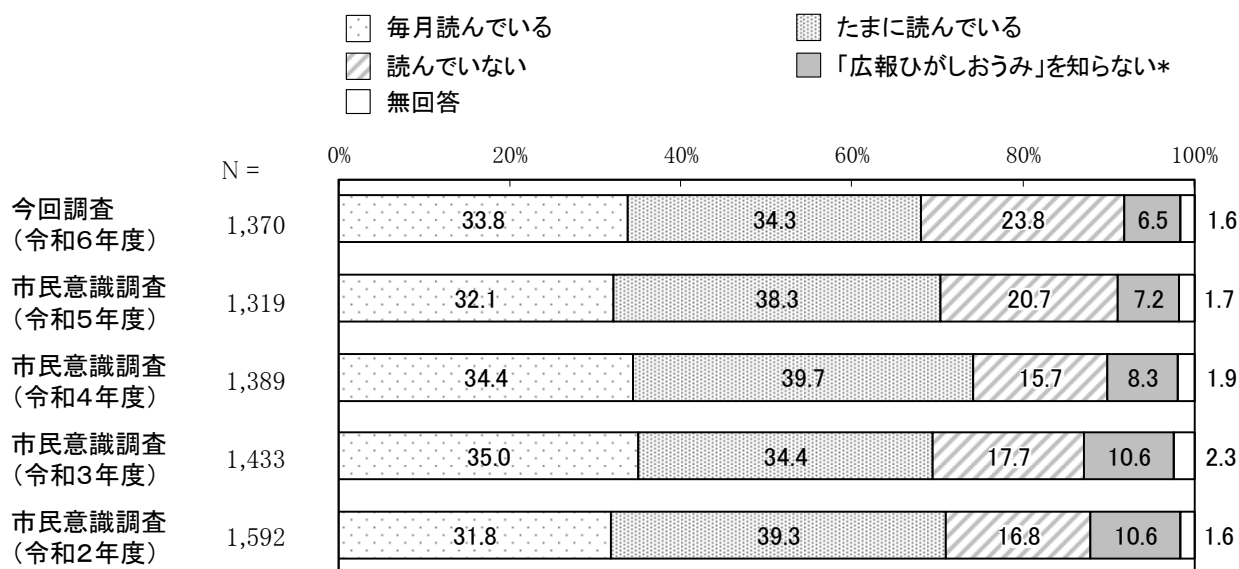
【居住地区別】単位:%

区 分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	防災情報告知放送システム	ラジオ(FMひがしおうみ)	スマートフォン等のアプリ	その他	無回答
平田地区	36	61.1	25.0	77.8	2.8	11.1	22.2	16.7	0.0	11.1	0.0	2.8
市辺地区	46	63.0	23.9	47.8	2.2	10.9	26.1	15.2	2.2	23.9	4.3	6.5
玉緒地区	60	53.3	30.0	56.7	5.0	11.7	13.3	10.0	5.0	13.3	3.3	3.3
御園地区	60	68.3	20.0	53.3	6.7	8.3	11.7	11.7	3.3	21.7	3.3	0.0
建部地区	33	69.7	21.2	63.6	3.0	12.1	18.2	6.1	0.0	12.1	3.0	6.1
中野地区	79	58.2	22.8	62.0	3.8	7.6	21.5	7.6	0.0	20.3	2.5	5.1
八日市地区	114	39.5	22.8	35.1	8.8	9.6	11.4	4.4	2.6	20.2	5.3	5.3
南部地区	61	55.7	21.3	55.7	9.8	4.9	14.8	4.9	3.3	24.6	6.6	3.3
永源寺地区	53	50.9	15.1	52.8	7.5	13.2	39.6	7.5	0.0	26.4	1.9	0.0
五個荘地区	145	57.2	15.2	62.8	2.1	9.0	26.2	13.1	0.7	12.4	2.8	2.1
愛東地区	61	55.7	14.8	49.2	0.0	4.9	47.5	14.8	0.0	9.8	1.6	4.9
湖東地区	109	59.6	19.3	62.4	2.8	5.5	42.2	11.9	0.0	11.0	1.8	3.7
能登川地区	314	59.6	20.1	64.0	8.3	8.3	15.6	6.7	1.0	18.5	4.5	4.5
蒲生地区	168	61.3	19.6	67.3	8.3	8.3	15.5	15.5	1.2	13.1	2.4	3.6
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 49 あなたは、市の広報紙「広報ひがしおうみ」を読んでいますか。《○1つ》

7割近くが広報紙を読んでおり、3割は「毎月読んでいる」

- ・ 「広報ひがしおうみ」については、「たまに読んでいる」が34.3%と最も多く、「毎月読んでいる」の33.8%と合わせると68.1%となり、7割近くの人を読んでいると回答しています。一方、「読んでいない」が23.8%、「「広報ひがしおうみ」を知らない」が6.5%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、広報ひがしおうみを読んでいる人（「毎月読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）の割合は令和4年度をピークに減少傾向にあります。
- ・ 広報紙を「毎月読んでいる」人の割合は、性別では女性で高く、年代別では20歳以上で年齢が上がるほど高くなる傾向があります。一方、20～30歳代は「読んでいない」又は「「広報ひがしおうみ」を知らない」人が読んでいる人（前述）より多く見られます。
- ・ 居住地区別では、広報紙を読んでいる人（前述）が、市辺地区で9割近く、御園地区、湖東地区、平田地区、建部地区で8割前後見られます。



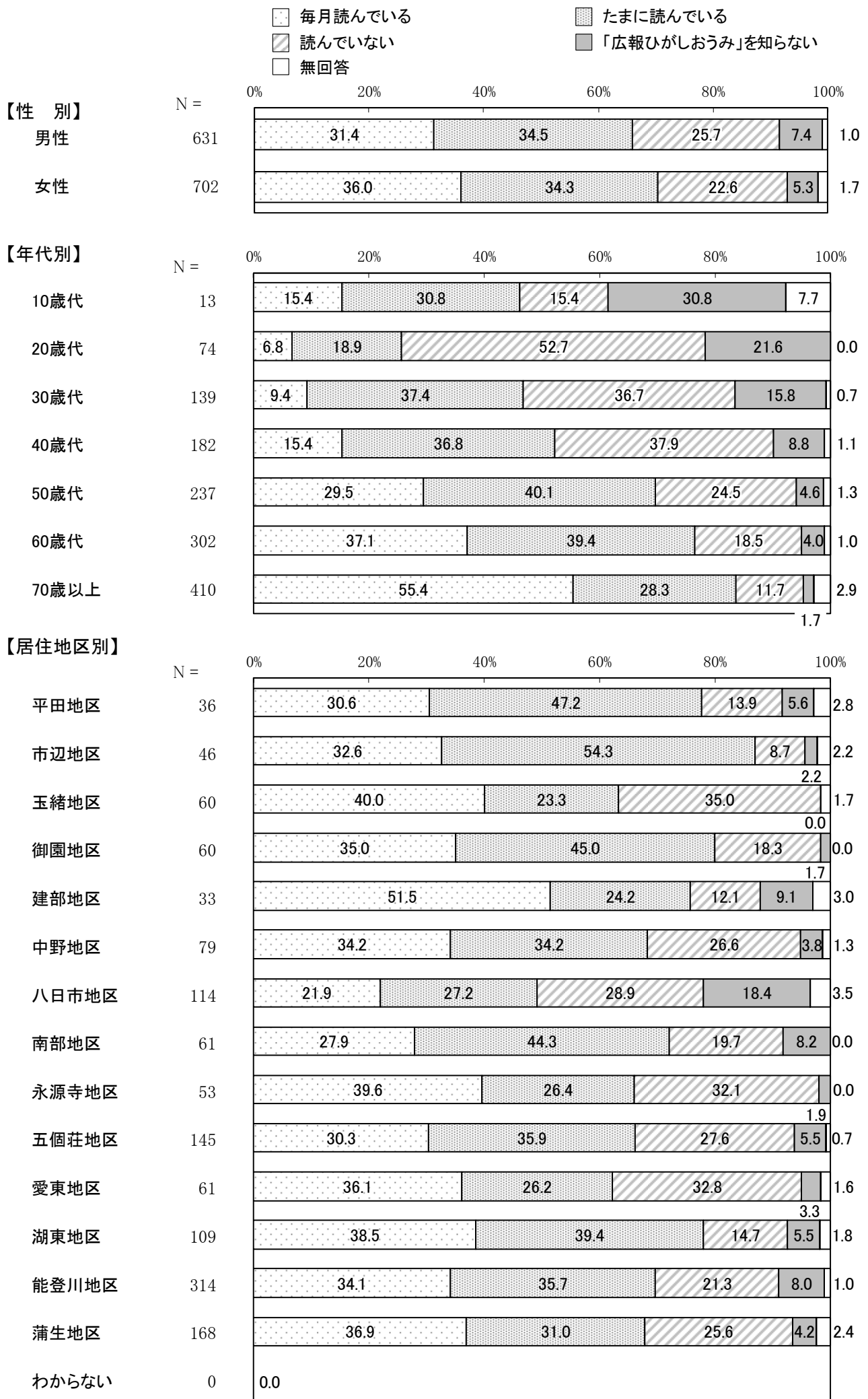
* 令和4年度までは「知らない」

単位：％

	読んでいる*	読んでいない・知らない*	差
①今回調査(令和6年度)	68.1	30.3	37.8
②市民意識調査(令和5年度)	70.4	27.9	42.5
③市民意識調査(令和4年度)	74.1	24.0	50.1
④市民意識調査(令和3年度)	69.4	28.3	41.1
⑤市民意識調査(令和2年度)	71.1	27.4	43.7
①－⑤	-3.0	2.9	-5.9

* 読んでいる:「毎月読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計

* 読んでいない・知らない:「読んでいない」と「「広報ひがしおうみ」を知らない」の合計

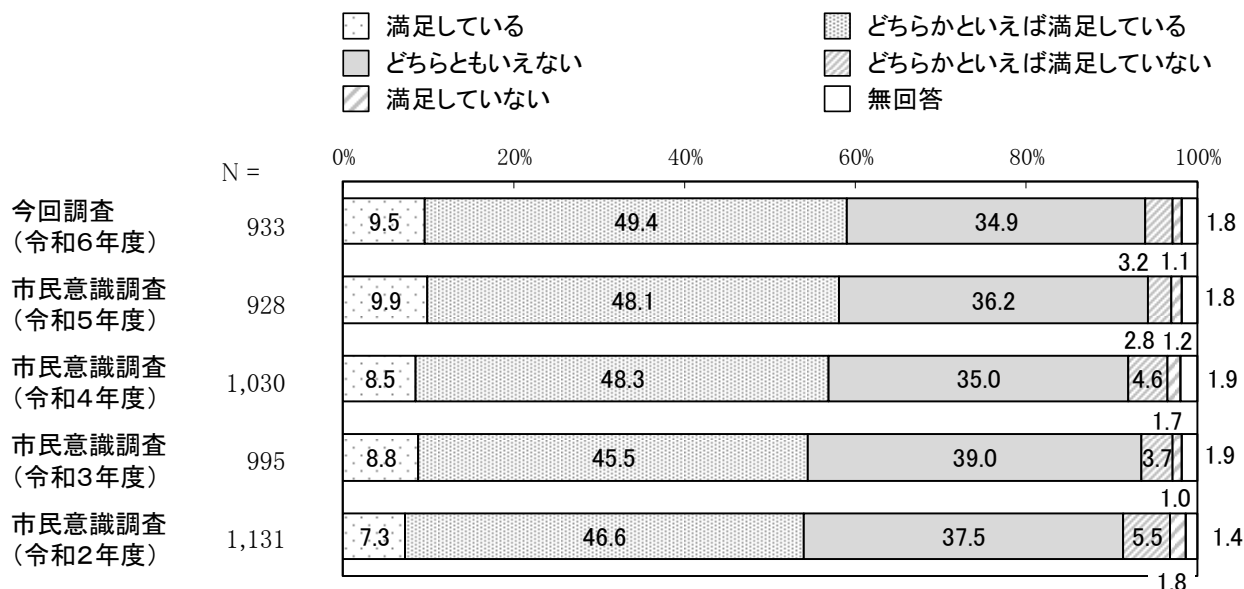


問 49-1 問 49 で「1. 毎月読んでいる」「2. たまに読んでいる」とお答えの方におたずねします。

あなたは、「広報ひがしおうみ」の内容について満足していますか。《○1つ》

6割近くが満足、3割が「どちらともいえない」

- 「広報ひがしおうみ」の満足度について広報紙を読んでいる人に聞いたところ、「どちらかといえば満足している」が 49.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 34.9%と続きます。満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が 58.9%に対し、満足していない（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合は 4.3%となっています。
- 過去の調査と比較すると、満足している人（前述）の割合は年々増加しています。
- 性別では女性で、年代別では 40 歳代や 70 歳以上で、居住地区別では永源寺地区、玉緒地区、愛東地区で、満足している人（前述）の割合が高くなっています。

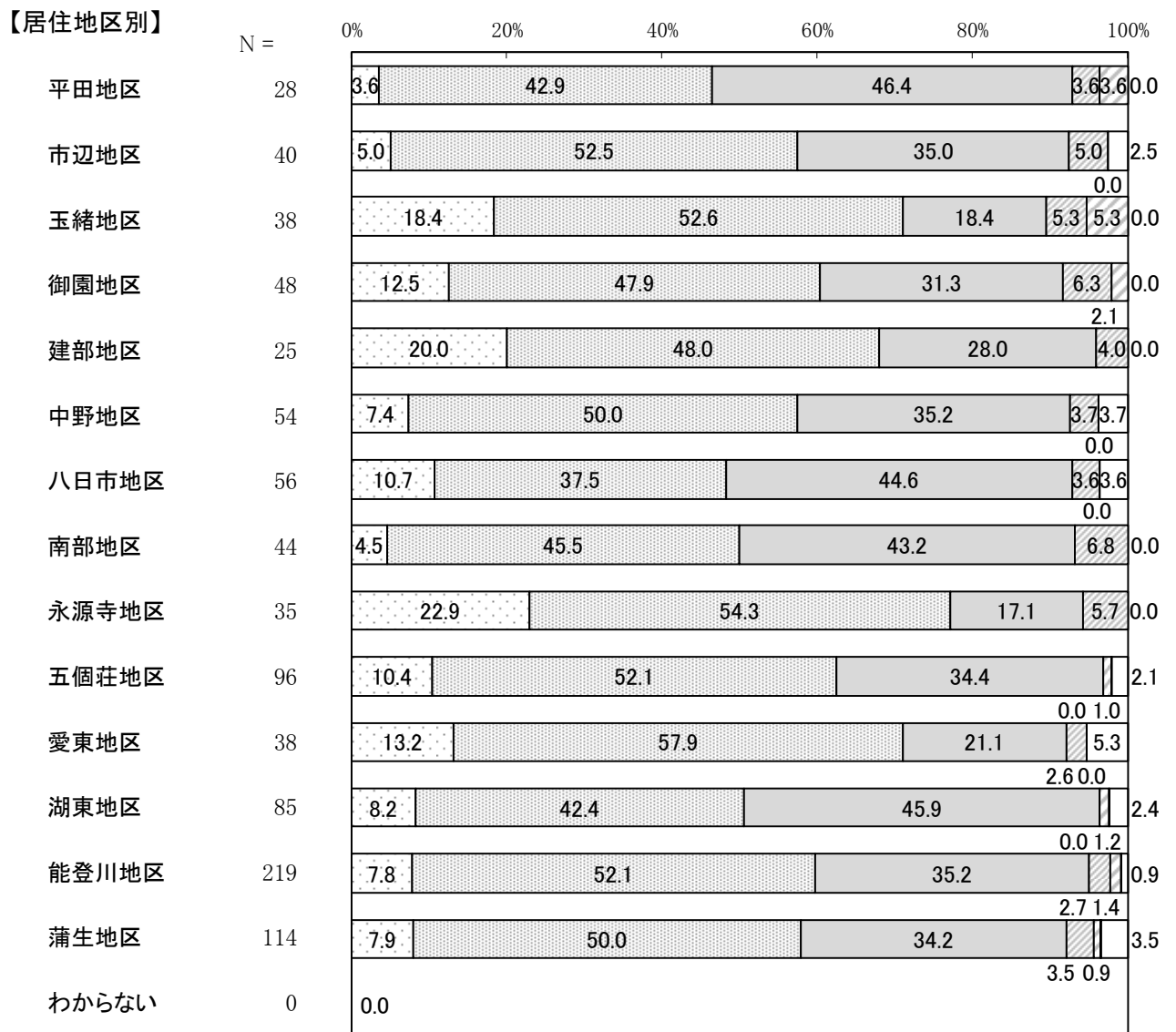
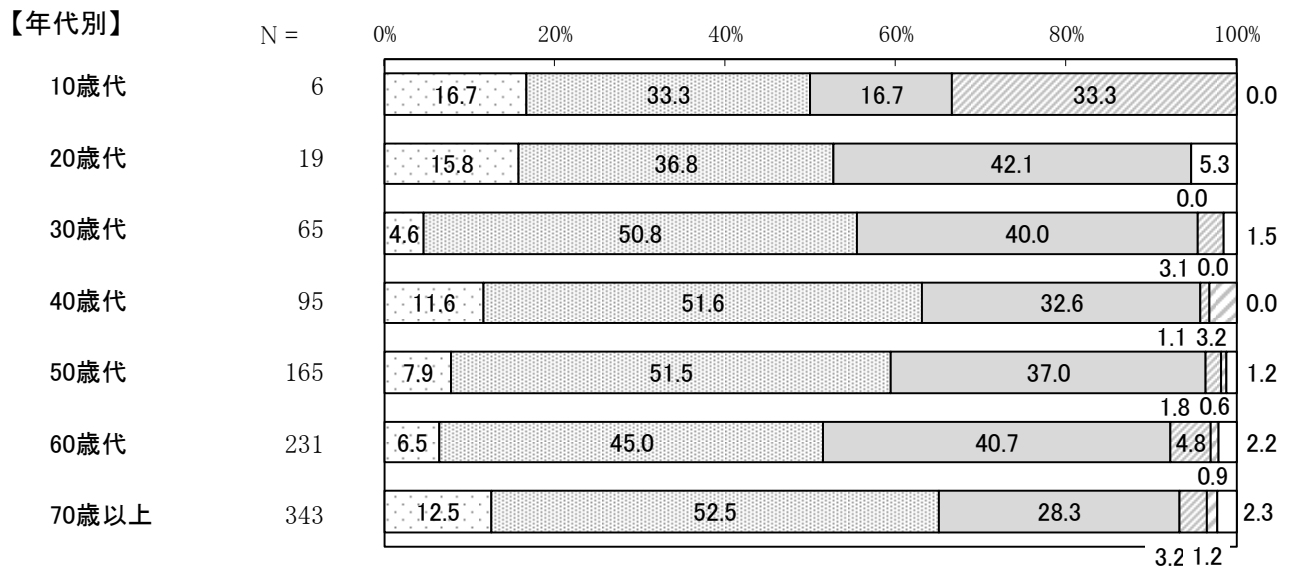
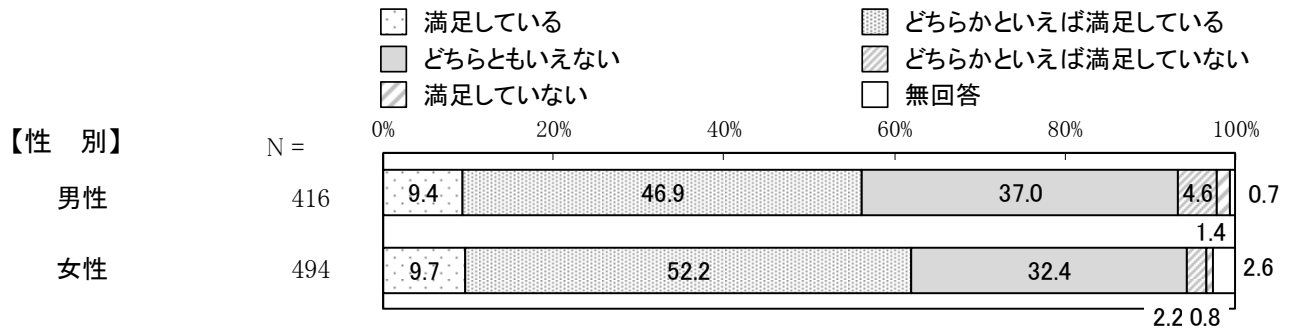


単位：％

	満足*	不満*	差
①今回調査(令和6年度)	58.9	4.3	54.6
②市民意識調査(令和5年度)	58.0	4.0	54.0
③市民意識調査(令和4年度)	56.8	6.3	50.5
④市民意識調査(令和3年度)	54.3	4.7	49.6
⑤市民意識調査(令和2年度)	53.9	7.3	46.6
①－⑤	5.0	-3.0	8.0

* 満足：「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

* 不満：「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計

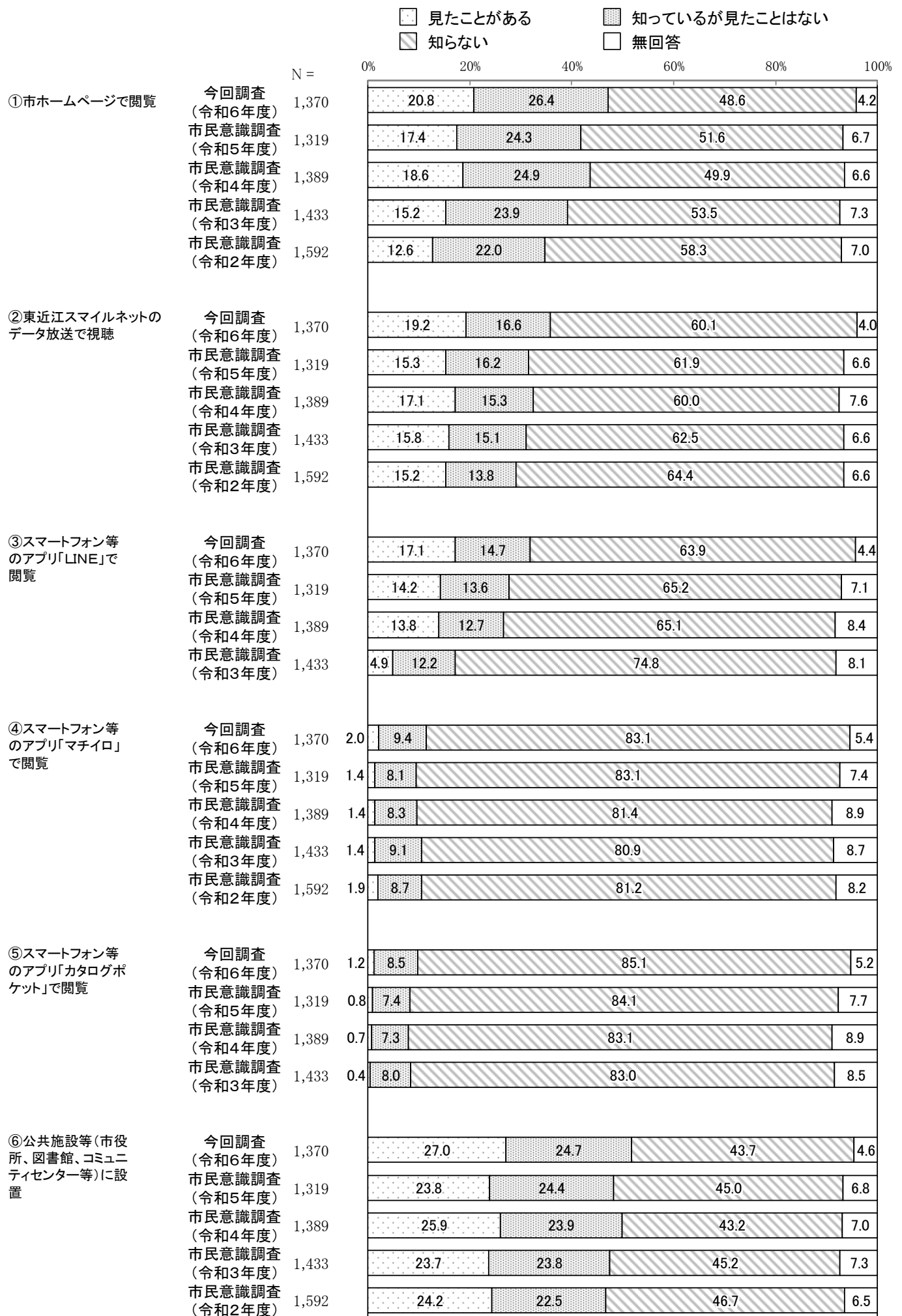


問 50 「広報ひがしおうみ」は、毎月新聞折込みによる配布のほかに次の方法で配信等を行っています。

あなたは、次の配信等の方法を知っていますか。《それぞれの項目に○1つ》

「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度は「公共施設等に設置」が最も高い

- ・ 「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度（「見たことがある」と「知っているが見たことはない」を合わせた割合）については、「⑥公共施設等に設置」が 51.7%と最も高く、次いで「①市ホームページで閲覧」が 47.2%、「②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴」が 35.8%、「③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧」が 31.8%となっています。一方、「④スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧」は 11.4%、「⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧」は 9.7%で、1 割前後と低くなっています。
- ・ 実際に「見たことがある」人が多かったのは、認知度と同様に「⑥公共施設等に設置」が 27.0%、「①市ホームページで閲覧」が 20.8%、「②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴」が 19.2%の順となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、この 5 年間で、おおむね「①市ホームページで閲覧」と「③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧」の認知度（前述）が向上し、実際に「見たことがある」人の割合も増加傾向にあります。



*「③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧」と「⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧」は、令和3年度から追加

単位：％

		認知度*	知らない	差
①市ホームページで閲覧	今回調査(令和6年度)	47.2	48.6	-1.4
	市民意識調査(令和5年度)	41.7	51.6	-9.9
	市民意識調査(令和4年度)	43.5	49.9	-6.4
	市民意識調査(令和3年度)	39.1	53.5	-14.4
	市民意識調査(令和2年度)	34.6	58.3	-23.7
	差	12.6	-9.7	22.3
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴	今回調査(令和6年度)	35.8	60.1	-24.3
	市民意識調査(令和5年度)	31.5	61.9	-30.4
	市民意識調査(令和4年度)	32.4	60.0	-27.6
	市民意識調査(令和3年度)	30.9	62.5	-31.6
	市民意識調査(令和2年度)	29.0	64.4	-35.4
	差	6.8	-4.3	11.1
③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧	今回調査(令和6年度)	31.8	63.9	-32.1
	市民意識調査(令和5年度)	27.8	65.2	-37.4
	市民意識調査(令和4年度)	26.5	65.1	-38.6
	市民意識調査(令和3年度)	17.1	74.8	-57.7
	差	14.7	-10.9	25.6
④スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧	今回調査(令和6年度)	11.4	83.1	-71.7
	市民意識調査(令和5年度)	9.5	83.1	-73.6
	市民意識調査(令和4年度)	9.7	81.4	-71.7
	市民意識調査(令和3年度)	10.5	80.9	-70.4
	市民意識調査(令和2年度)	10.6	81.2	-70.6
	差	0.8	1.9	-1.1
⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧	今回調査(令和6年度)	9.7	85.1	-75.4
	市民意識調査(令和5年度)	8.2	84.1	-75.9
	市民意識調査(令和4年度)	8.0	83.1	-75.1
	市民意識調査(令和3年度)	8.4	83.0	-74.6
	差	1.3	2.1	-0.8
⑥公共施設等(市役所、図書館、コミュニティセンター等)に設置	今回調査(令和6年度)	51.7	43.7	8.0
	市民意識調査(令和5年度)	48.2	45.0	3.2
	市民意識調査(令和4年度)	49.8	43.2	6.6
	市民意識調査(令和3年度)	47.5	45.2	2.3
	市民意識調査(令和2年度)	46.7	46.7	0.0
	差	5.0	-3.0	8.0

* 認知度:「見たことがある」「知っているが見たことはない」の合計

① 市ホームページで閲覧

- ・ 年代別では、20～60 歳代で年齢があがるほど認知度（前述）が高く、60 歳代で6割近くとなっています。また、40 歳代までは、知らない人が知っている人より多くなっています。実際に見たことがある人の割合は、20 歳代を除いて2割前後となっています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区、建部地区で、認知度（前述）が6割と高くなっています。一方、八日市地区、南部地区で知らない人が6割近くとほかの地区より高くなっています。実際に見たことがある人の割合は、建部地区、市辺地区で3割と高くなっています。

② 東近江スマイルネットのデータ放送で視聴

- ・ 年代別では、20 歳以上で年齢が上がるほど認知度（前述）が高くなる傾向があり、70 歳以上は

半数近くとなっています。また、60 歳代までは知らない人が知っている人より多くなっています。実際に見たことがある人の割合は、60 歳代で 2 割近く、70 歳以上で 3 割と 60 歳以上で高くなっています。

- ・ 居住地区別では、認知度（前述）は、湖東地区、市辺地区、永源寺地区の順に高く、知っている人が知らない人より多くなっています。一方、八日市地区、南部地区、蒲生地区で認知度（前述）が 3 割未満と低くなっています。実際に見たことがある人の割合は、湖東地区で 4 割近くと高くなっています。

③ スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧

- ・ 年代別では、すべての年代で知らない人が知っている人より多く、認知度（前述）は特に 10～20 歳代で 2 割と低くなっています。実際に見たことがある人の割合は、30～60 歳代で 2 割前後となっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区を除くすべての地区で知らない人が知っている人より多く、特に五個荘地区で知らない人が 7 割以上となっています。認知度（前述）は、建部地区で半数近くと高くなっています。また、実際に見たことがある人の割合は、市辺地区、永源寺地区で 3 割前後となっています。

④ スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧

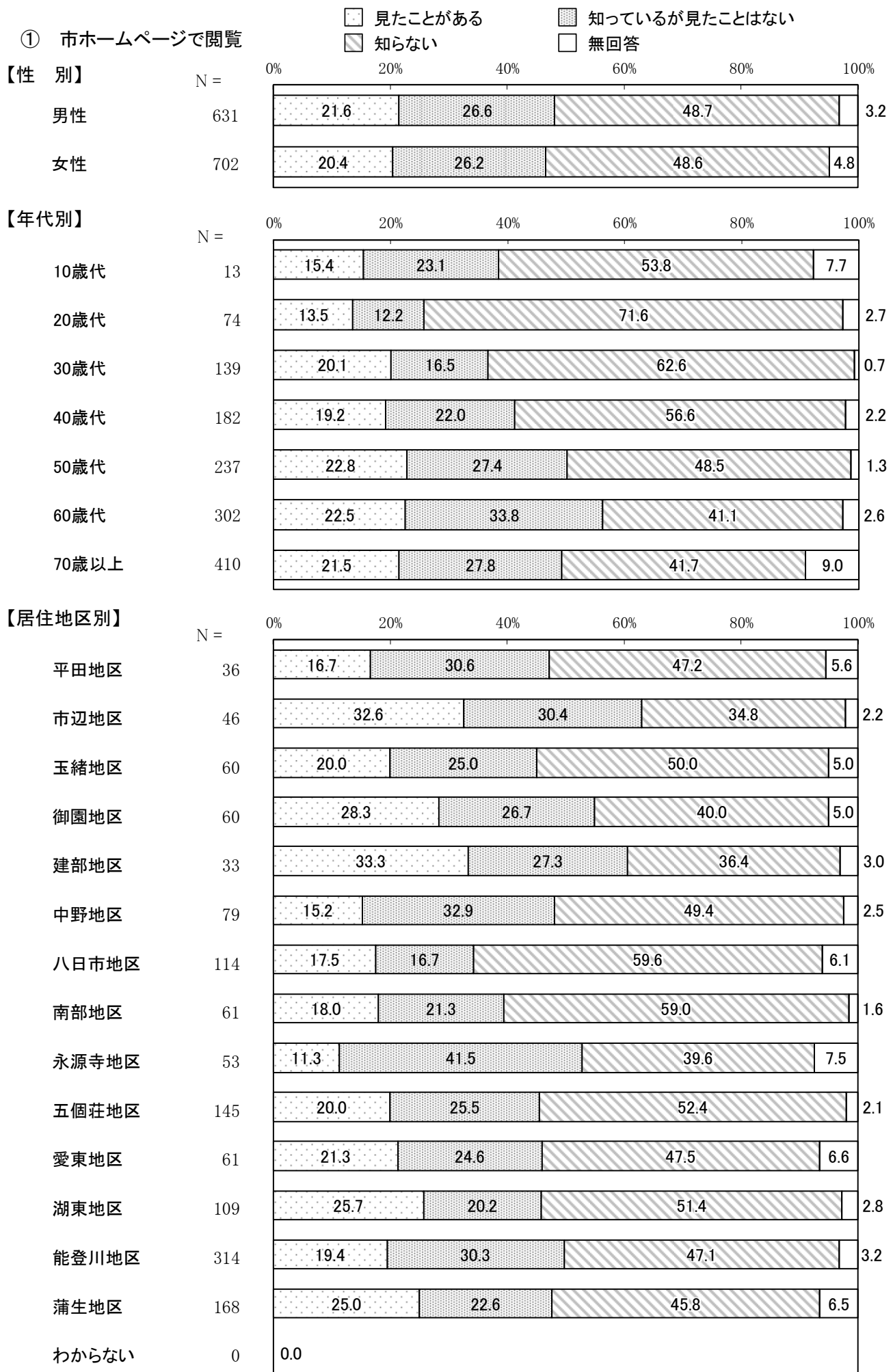
- ・ 年代別では、すべての年代で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、50 歳以上で 1 割を超えるも、ほかの年代は 1 割未満となっています。実際に見たことがある人の割合はすべての年代で 1 割未満となっています。
- ・ 居住地区別では、すべての地区で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、永源寺地区、御園地区、中野地区で 2 割近くとほかの地区と比べて高くなっています。

⑤ スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧

- ・ 年代別では、すべての年代で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、60 歳以上で 1 割を超えるも、ほかの年代は 1 割未満となっています。実際に見たことがある人の割合はすべての年代で 1 割未満となっています。
- ・ 居住地区別では、すべての地区で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、御園地区、永源寺地区で 2 割近くとほかの地区と比べてやや高くなっています。

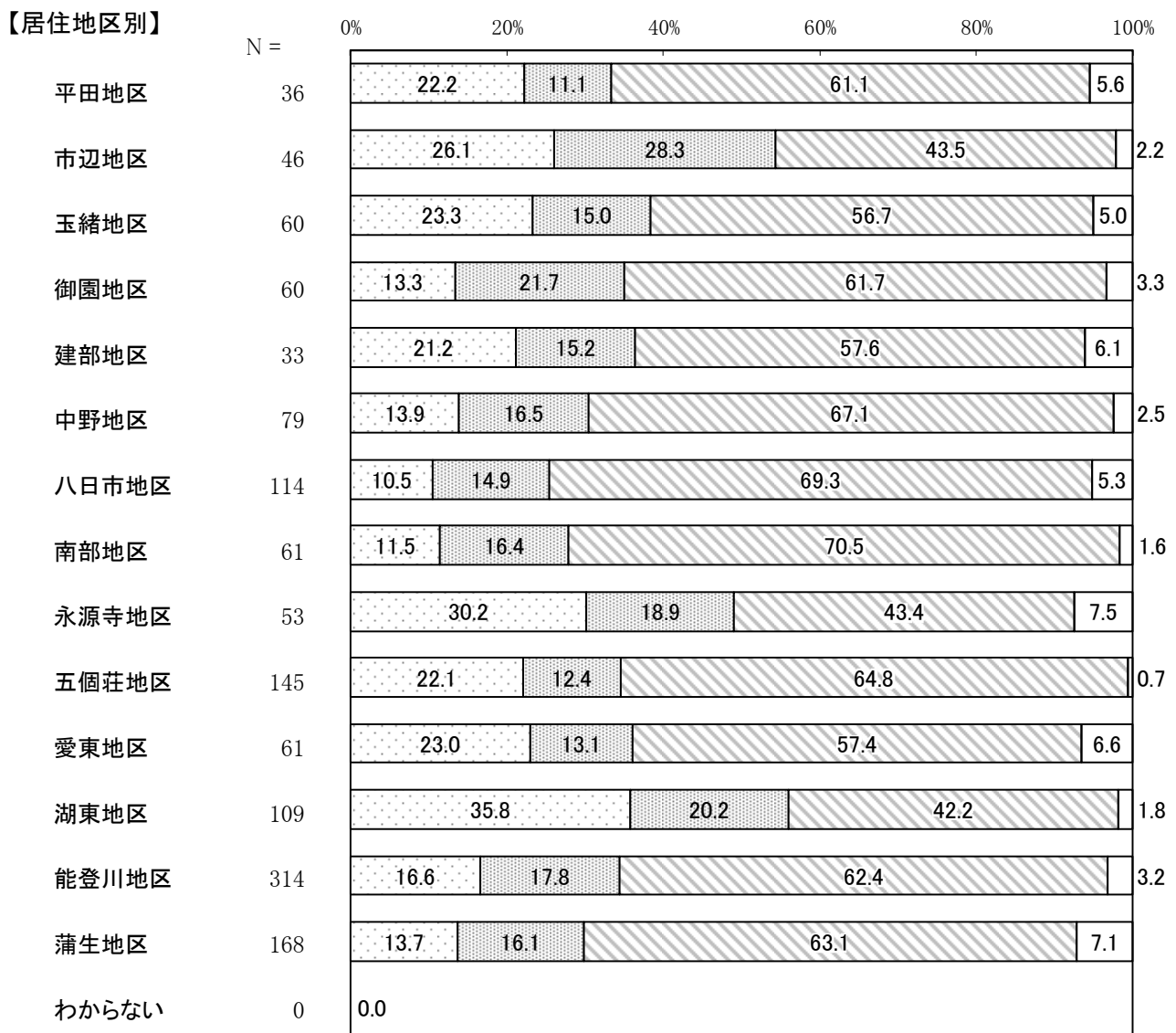
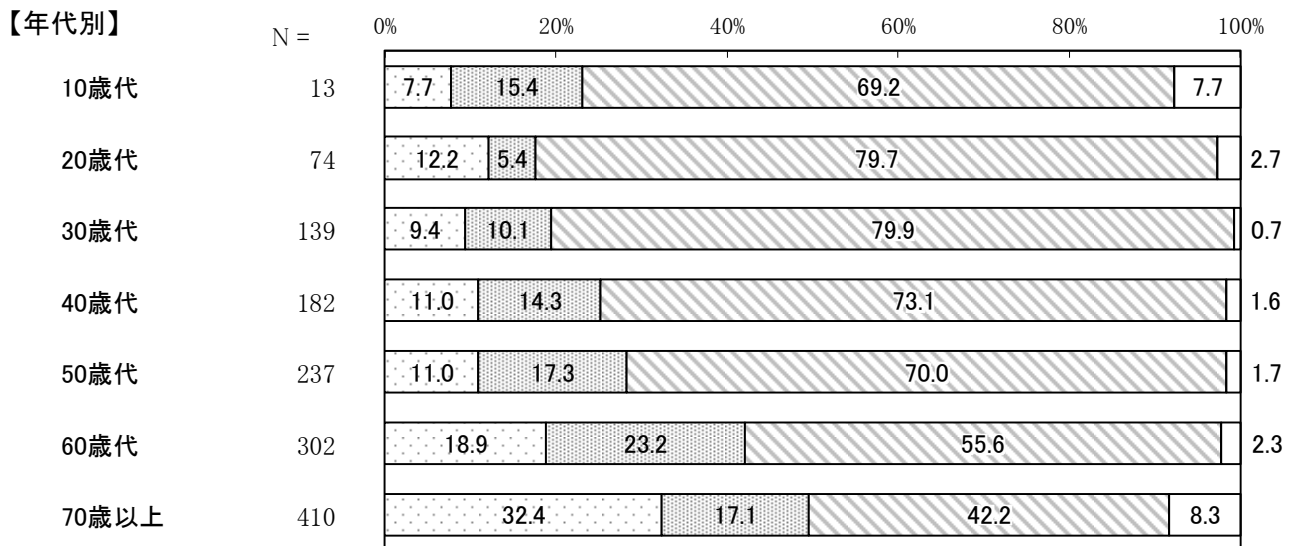
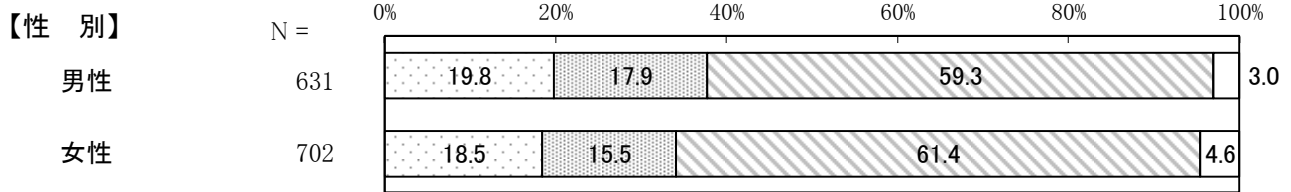
⑥ 公共施設等（市役所、図書館、コミュニティセンター等）に設置

- ・ 年代別では、10 歳代や 50 歳以上で認知度（前述）が半数以上と高く、特に 70 歳以上で 6 割近くとなっています。また、20～40 歳代は知らない人が知っている人より多くなっています。実際に見たことがある人の割合は、20 歳代や 50～60 歳代で 3 割以上と高くなっています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区で 7 割近く、永源寺地区、蒲生地区、南部地区で 6 割近くと、認知度（前述）が高くなっています。一方、八日市地区、五個荘地区では知らない人が半数を超えています。実際に見たことがある人の割合は、永源寺地区、蒲生地区、市辺地区、建部地区で 3 割以上と高くなっています。



② 東近江スマイルネットのデータ放送で視聴

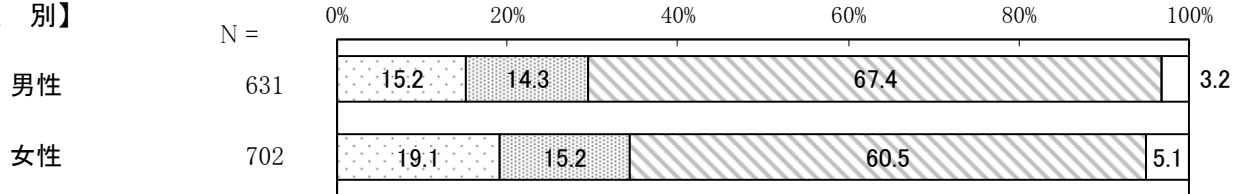
☐ 見たことがある ☐ 知っているが見たことはない
☐ 知らない ☐ 無回答



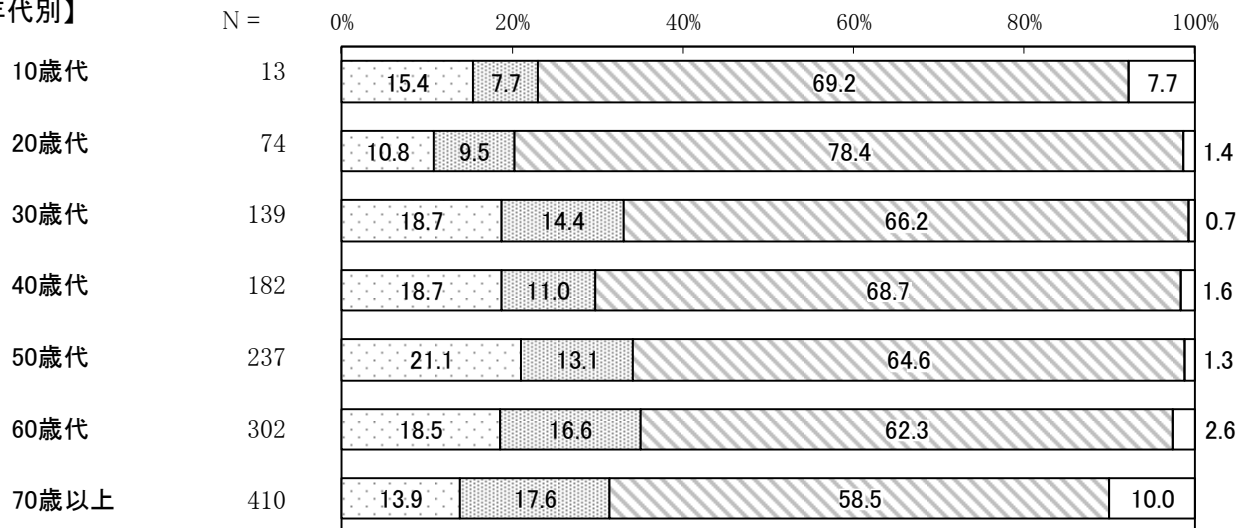
③ スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧

☐ 見たことがある ☒ 知っているが見たことはない
☒ 知らない ☐ 無回答

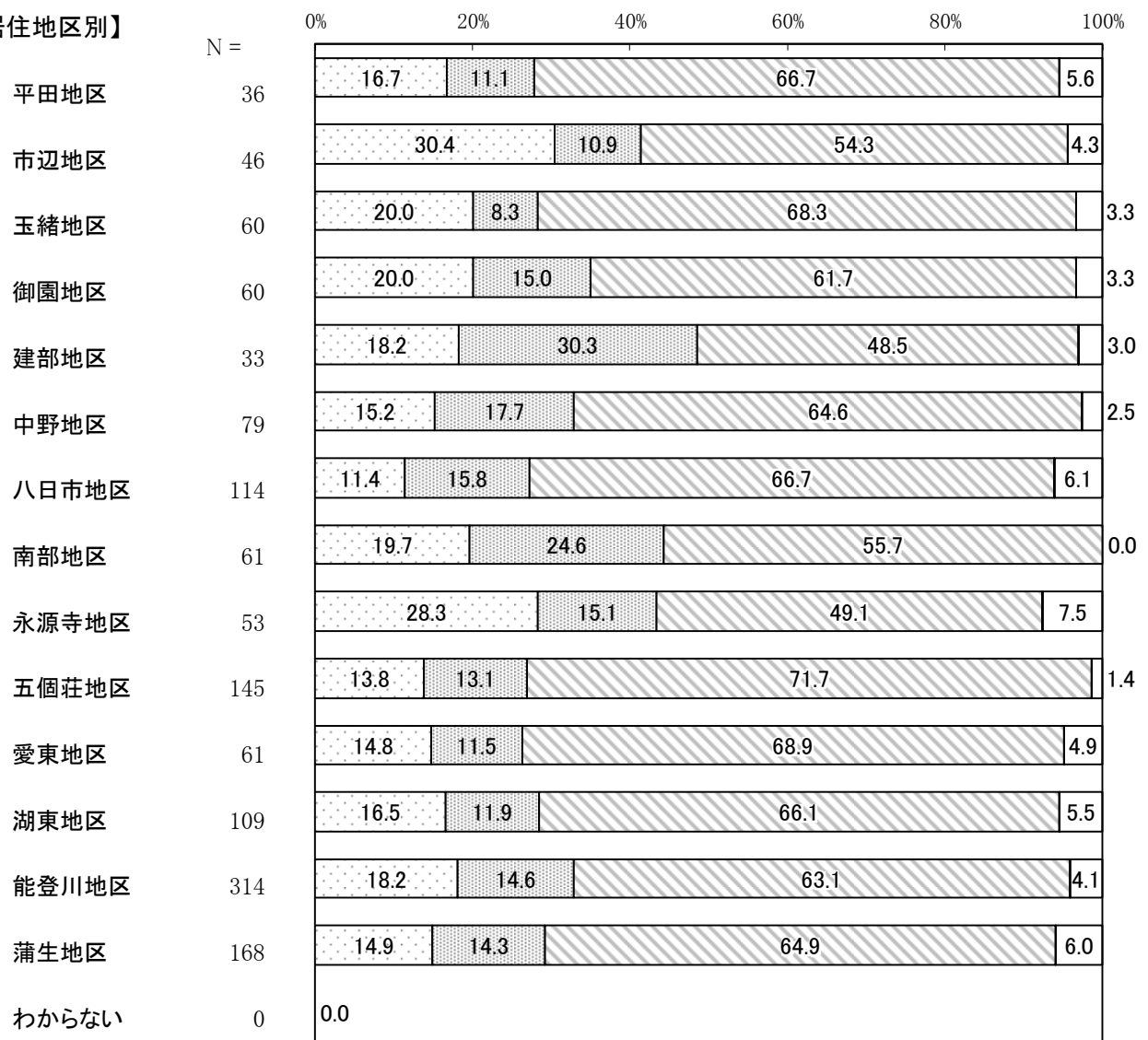
【性 別】



【年代別】

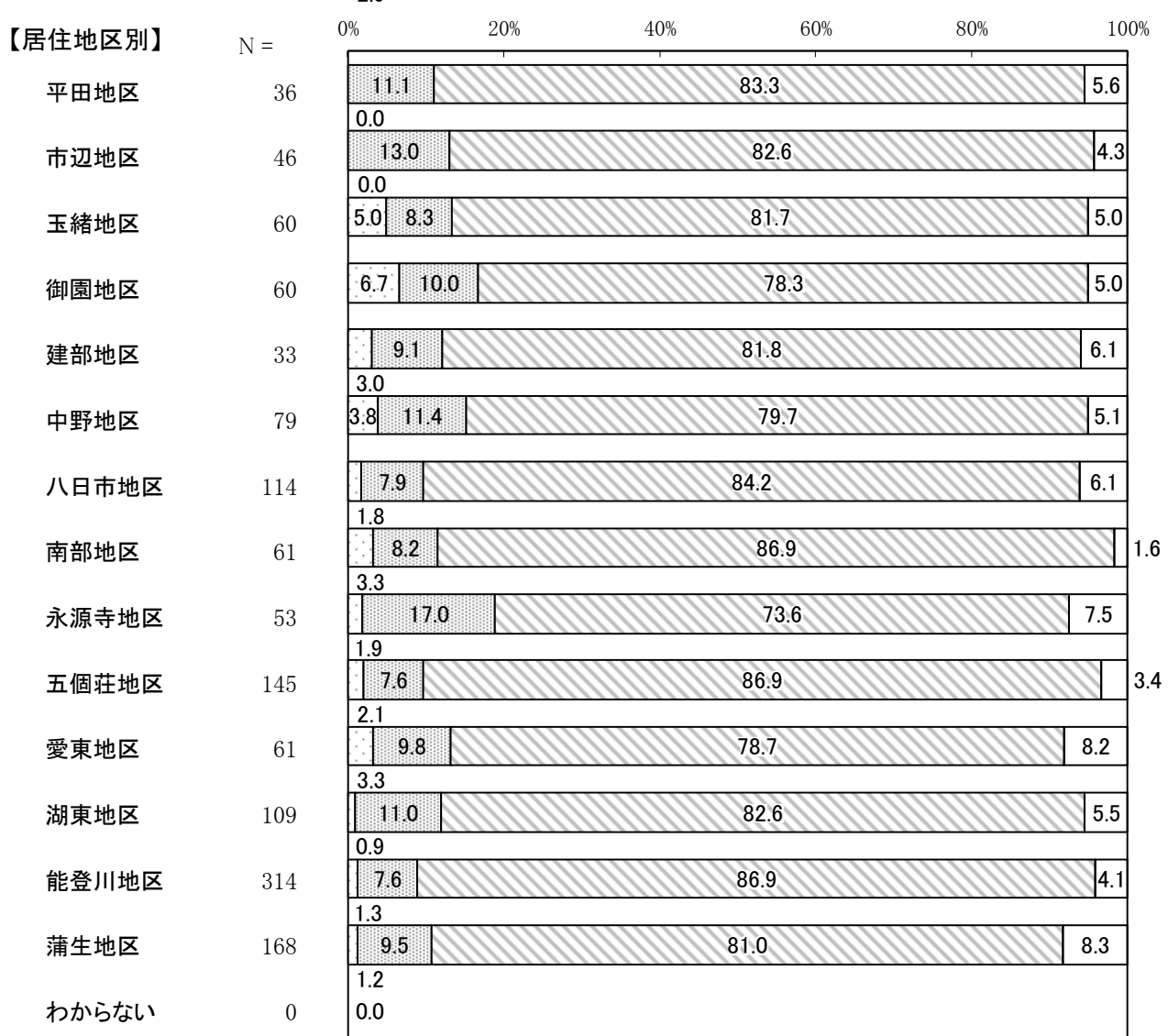
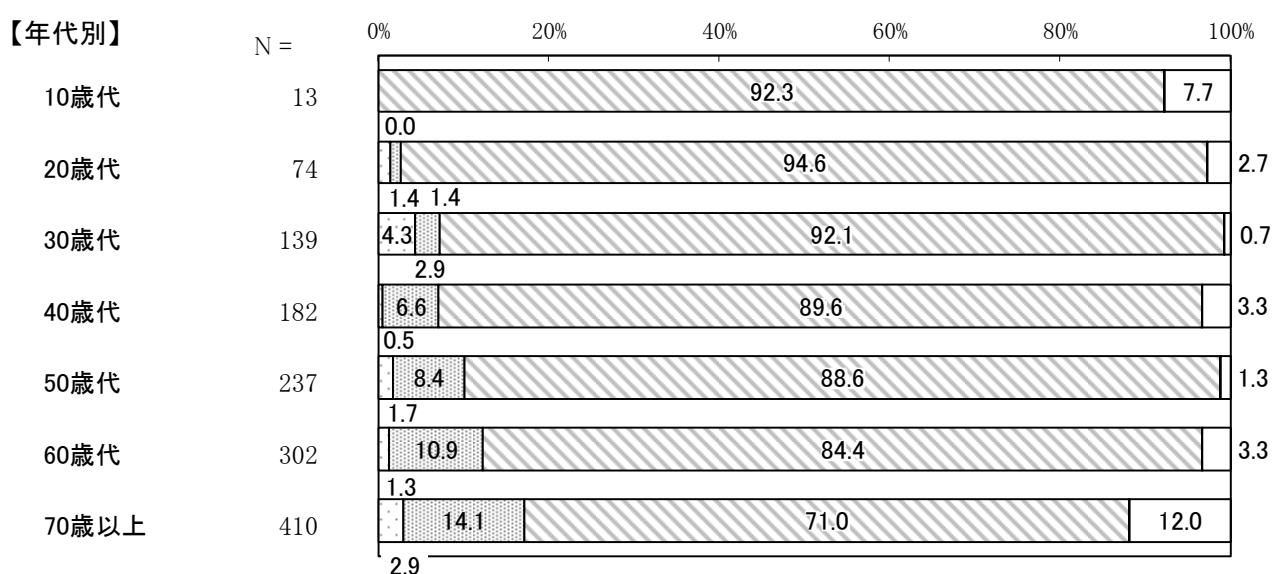
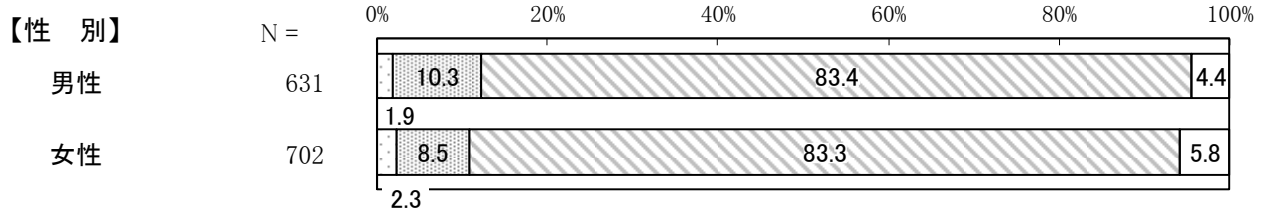


【居住地区別】



④ スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧

☐ 見たことがある ☐ 知っているが見たことはない
☐ 知らない ☐ 無回答



⑤ スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧

☐ 見たことがある ☐ 知っているが見たことはない
☐ 知らない ☐ 無回答

【性 別】

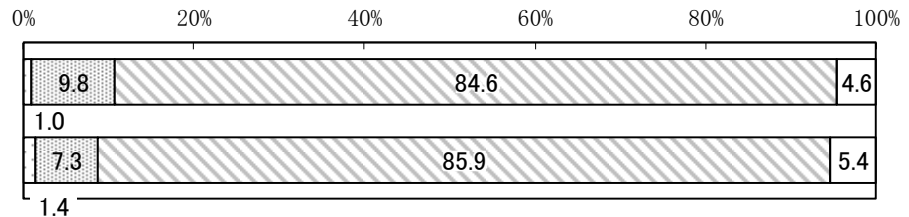
N =

男性

631

女性

702



【年代別】

N =

10歳代

13

20歳代

74

30歳代

139

40歳代

182

50歳代

237

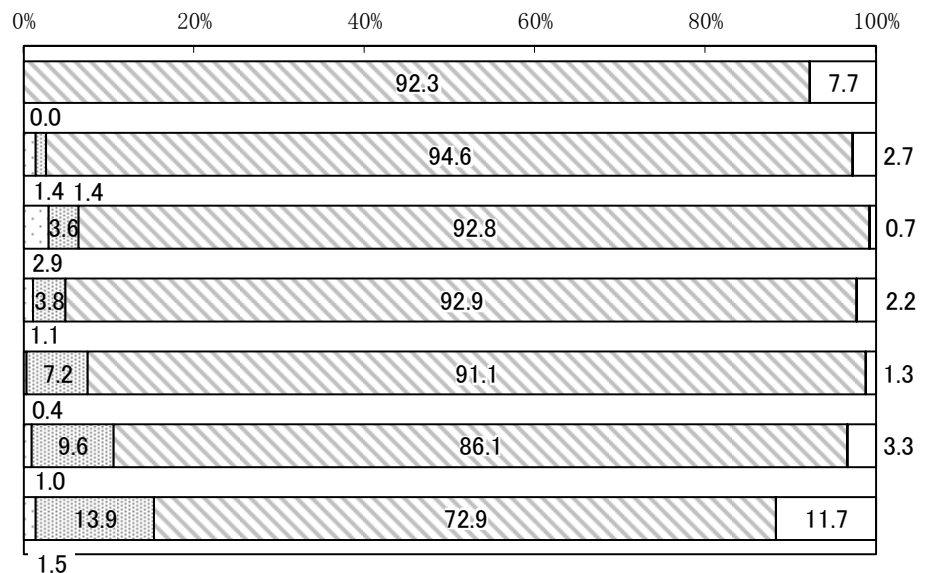
60歳代

302

⑥

70歳以上

410



【居住地区別】

N =

平田地区

36

市辺地区

46

玉緒地区

60

御園地区

60

建部地区

33

中野地区

79

八日市地区

114

南部地区

61

永源寺地区

53

五個荘地区

145

愛東地区

61

湖東地区

109

能登川地区

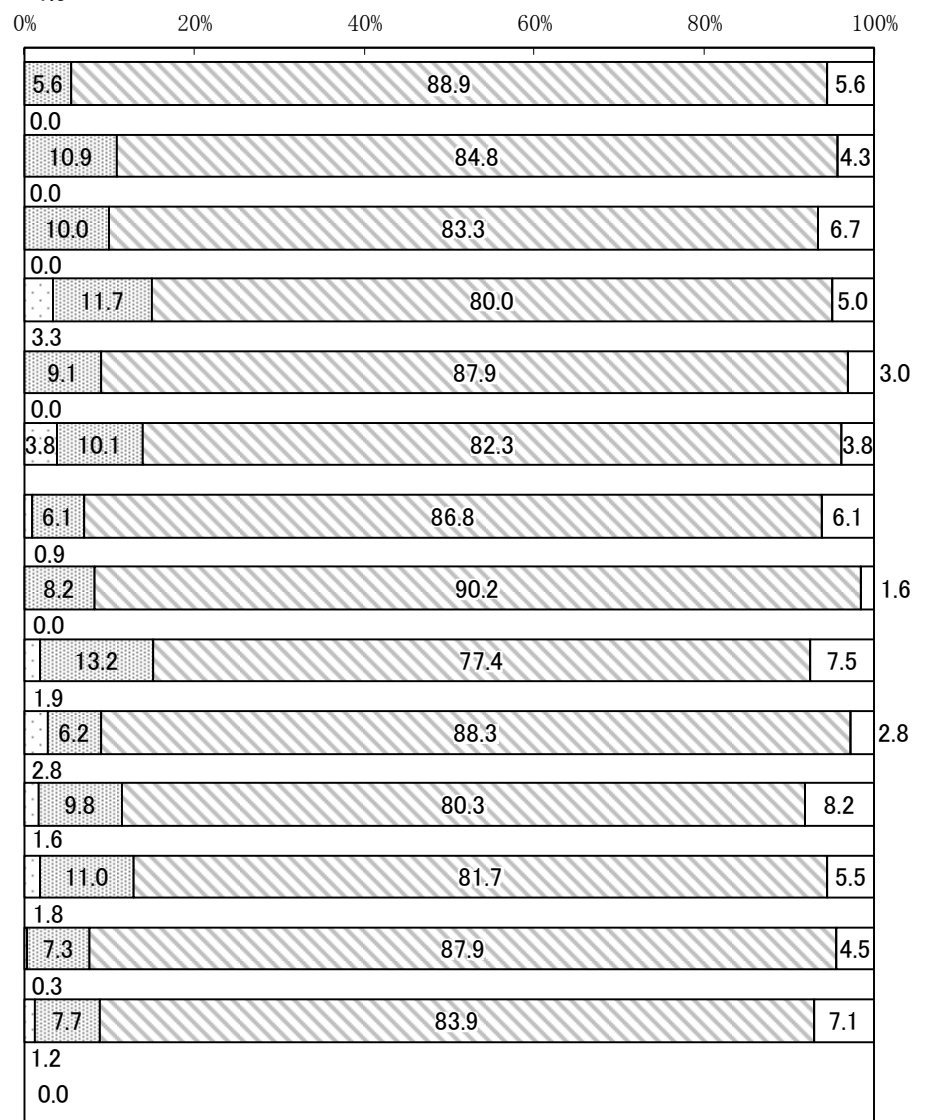
314

蒲生地区

168

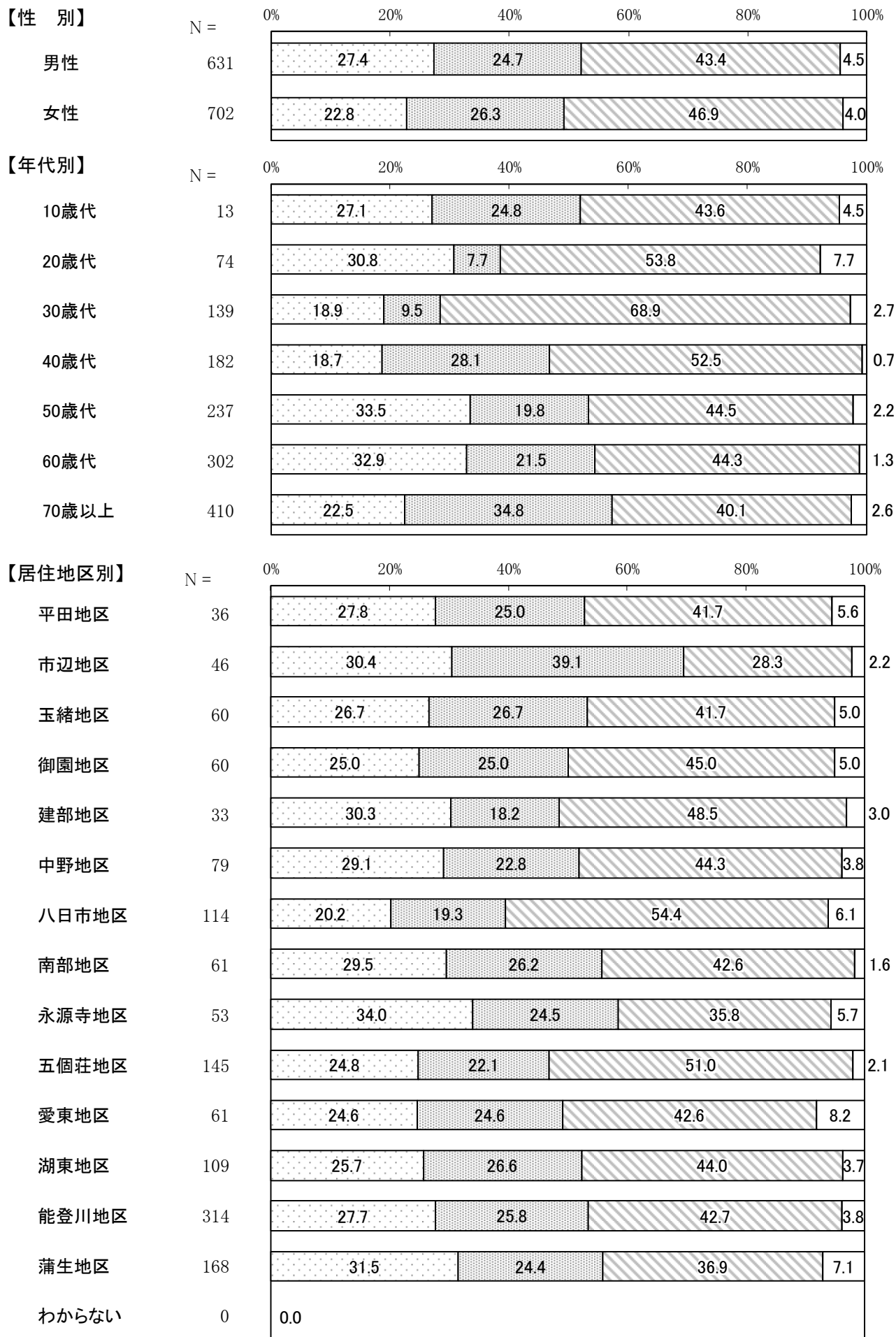
わからない

0



公共施設等に設置

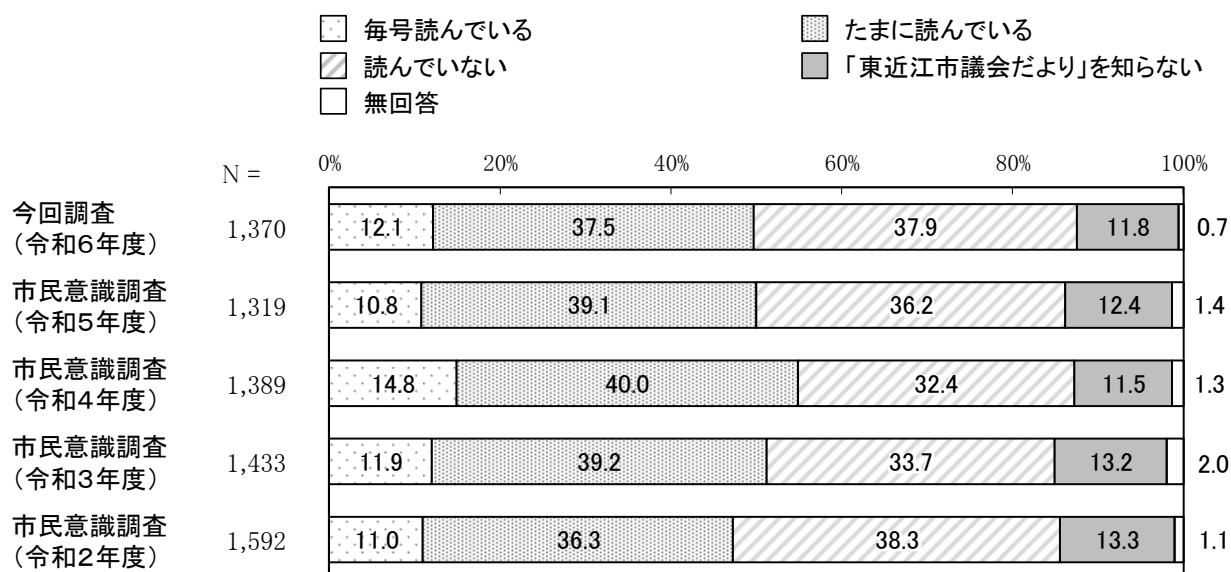
☐ 見たことがある ☐ 知っているが見たことはない
☐ 知らない ☐ 無回答



問 51 あなたは「東近江市議会だより」を読んでいますか。《○1つ》

半数近くが「東近江市議会だより」を読んでいる

- ・ 「東近江市議会だより」については、「毎号読んでいる」が12.1%、「たまに読んでいる」が37.5%で、これらを合わせると49.6%となり、半数近くの人が読んでいると回答しています。一方、「読んでいない」が37.9%、「東近江市議会だより」を知らない」が11.8%となっています。
- ・ 年代別では、20歳以上で年齢が上がるほど、「東近江市議会だより」を読んでいる人（前述）が多く見られ、70歳以上は7割以上となっています。一方、50歳代までは、読んでいない又は知らない人が、読んでいる人（前述）より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区、御園地区、平田地区などで「東近江市議会だより」を読んでいる人（前述）が多く見られます。一方、八日市地区、南部地区、湖東地区、五個荘地区、愛東地区では、読んでいない又は知らない人が、読んでいる人（前述）より多くなっています。



単位：％

	読んでいる*	読んでいない・知らない*	差
①今回調査(令和6年度)	49.6	49.7	-0.1
②市民意識調査(令和5年度)	49.9	48.6	1.3
③市民意識調査(令和4年度)	54.8	43.9	10.9
④市民意識調査(令和3年度)	51.1	46.9	4.2
⑤市民意識調査(令和2年度)	47.3	51.6	-4.3
①－⑤	2.3	-1.9	4.2

* 読んでいる:「毎号読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計

* 読んでいない・知らない:「読んでいない」と「東近江市議会だより」を知らない」の合計

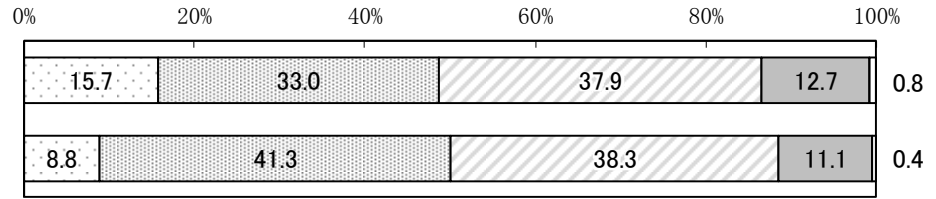
毎号読んでいる
 たまに読んでいる
 読んでいない
 「東近江市議会だより」を知らない
 無回答

【性別】

男性

N =

631

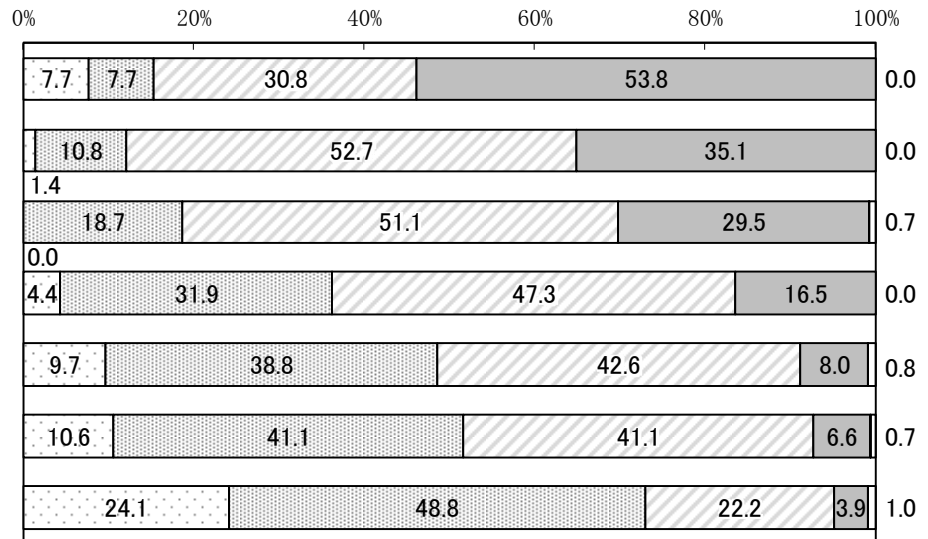


【年代別】

10歳代

N =

13

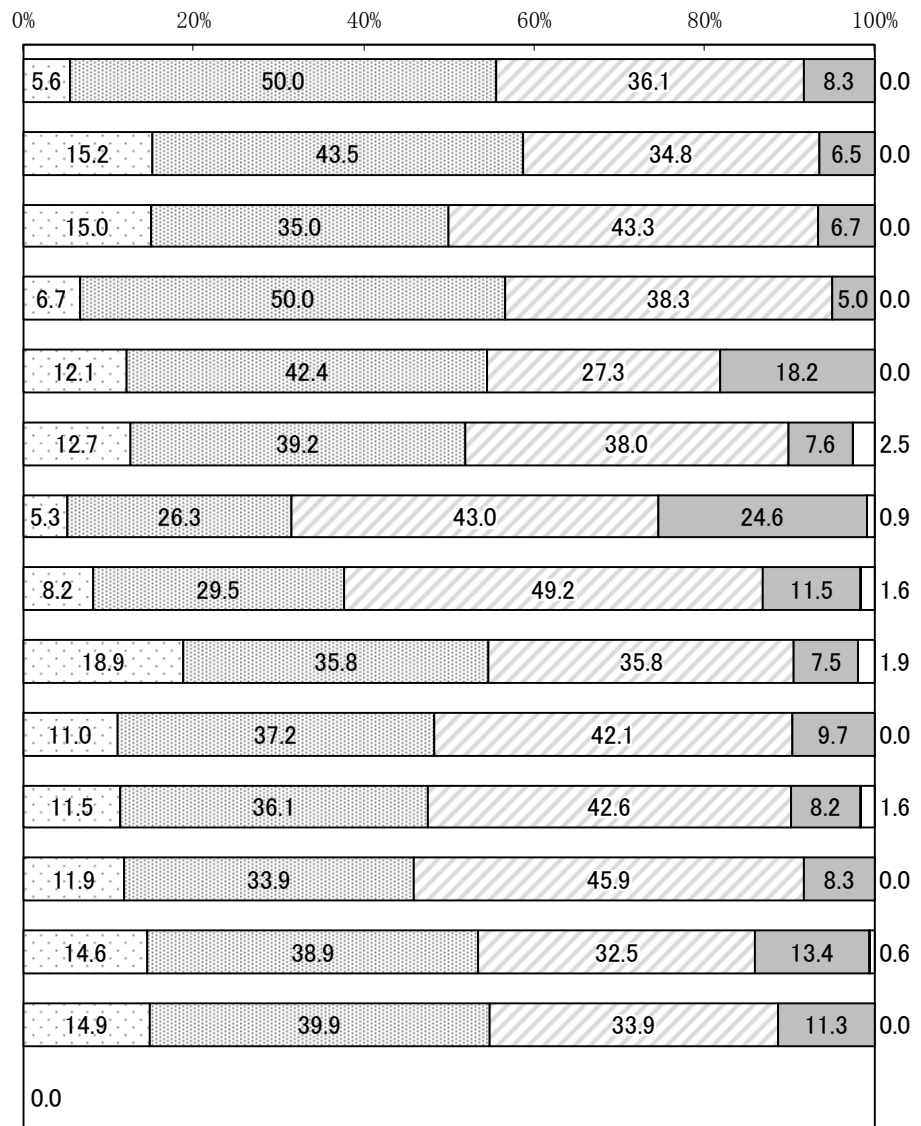


【居住地区別】

平田地区

N =

36

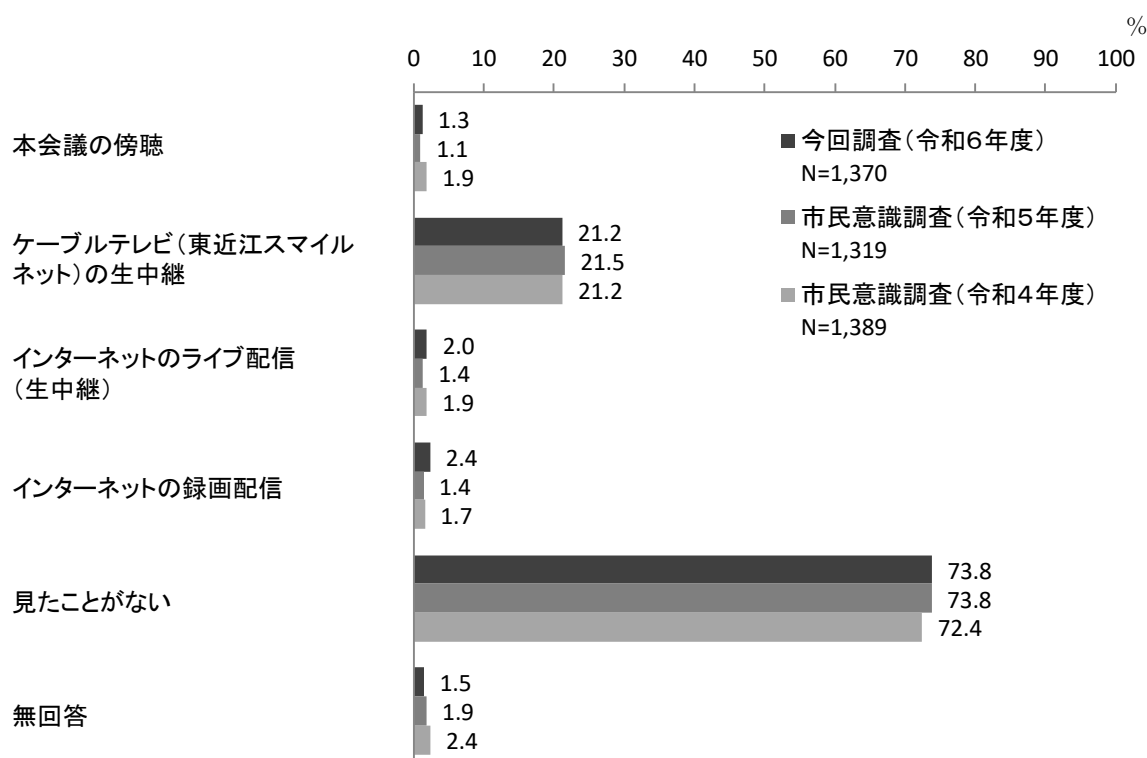


問 52 あなたは、「市議会本会議」の様子を次のいずれかの方法で見たことがありますか。《あてはまるものすべてに○》

7割が「市議会本会議」の様子を見たことがない

- ・ 「市議会本会議」の様子を見たことがあるかについては、「見たことがない」が73.8%と最も多くなっています。一方、見たことがある人の割合*は、24.7%で、具体的な方法としては「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）の生中継」は21.2%と2割見られますが、他の方法は、1割未満となっています。
- ・ 性別、年代別、永源寺地区を除いた居住地区別のいずれも、「見たことがない」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、年齢が若いほど「見たことがない」人の割合が高い傾向があり、10～20歳代は9割前後となっています。「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）の生中継」は、年齢が上がるほど増加する傾向があり、70歳以上は4割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、南部地区、八日市地区、能登川地区などで「見たことがない」人の割合が高く、「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）の生中継」は、永源寺地区で半数近く、湖東地区で4割と高くなっています。

*有効回答数（1,370件）に対する「見たことがない」と「無回答」を除いた338件の割合



【性 別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	本会議の傍聴	生江ケ 中スマブ 継イルル テネット （東の近	ブイン 配ター 信（生 中ネット ）のライ	配イン 信ター ネット の録画	見たことがない	無回答
男性	631	1.7	23.9	2.4	3.2	70.5	1.6
女性	702	1.0	18.5	1.7	1.9	76.8	1.4

【年代別】

単位: %

区 分	有効回答数（件）	本会議の傍聴	生江ケ 中スマブ 継イルル テネット （東の近	ブイン 配ター 信（生 中ネット ）のライ	配イン 信ター ネット の録画	見たことがない	無回答
10歳代	13	0.0	7.7	0.0	0.0	92.3	0.0
20歳代	74	1.4	8.1	1.4	0.0	89.2	0.0
30歳代	139	1.4	8.6	3.6	5.0	84.2	1.4
40歳代	182	0.5	13.2	1.6	2.2	84.1	0.5
50歳代	237	0.4	13.9	3.0	3.0	80.2	1.7
60歳代	302	0.3	16.6	1.7	1.7	79.8	1.0
70歳以上	410	2.9	39.0	1.5	2.4	54.6	2.4

【居住地区別】

単位: %

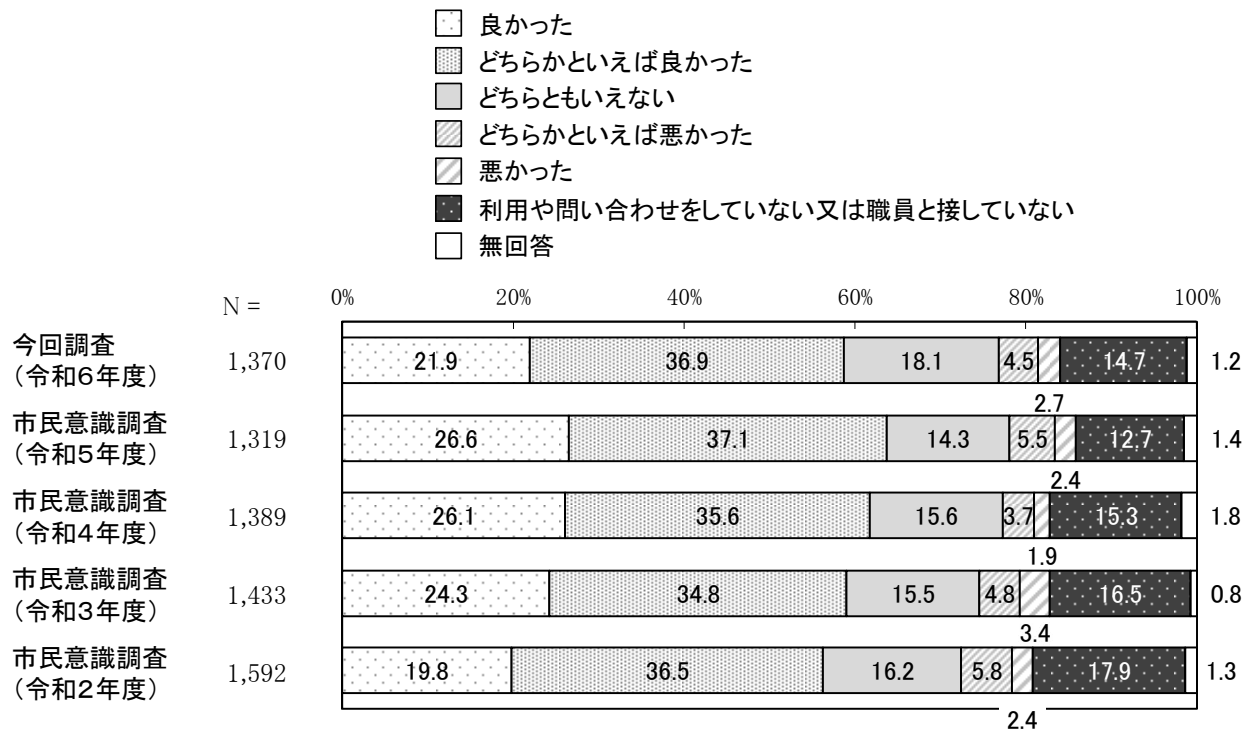
区 分	有効回答数（件）	本会議の傍聴	生江ケ 中スマブ 継イルル テネット （東の近	ブイン 配ター 信（生 中ネット ）のライ	配イン 信ター ネット の録画	見たことがない	無回答
平田地区	36	2.8	19.4	0.0	5.6	77.8	0.0
市辺地区	46	0.0	26.1	2.2	2.2	71.7	2.2
玉緒地区	60	3.3	21.7	5.0	1.7	70.0	0.0
御園地区	60	1.7	18.3	0.0	0.0	78.3	1.7
建部地区	33	0.0	21.2	6.1	3.0	69.7	0.0
中野地区	79	0.0	19.0	3.8	6.3	70.9	5.1
八日市地区	114	0.9	12.3	2.6	3.5	81.6	0.9
南部地区	61	6.6	9.8	3.3	1.6	82.0	0.0
永源寺地区	53	1.9	49.1	0.0	5.7	47.2	1.9
五個荘地区	145	1.4	19.3	1.4	1.4	77.2	0.7
愛東地区	61	1.6	32.8	3.3	3.3	63.9	1.6
湖東地区	109	0.9	41.3	4.6	1.8	55.0	0.0
能登川地区	314	0.3	16.2	0.6	1.3	80.6	1.6
蒲生地区	168	1.8	17.9	0.6	2.4	75.6	1.8
わからない	0	-	-	-	-	-	-

(10) 市役所のサービスに関して

問 53 この1年間に、市役所（支所・出張所を含む）の窓口利用や電話でのお問い合わせ、又は市役所外で職員に接した際の市役所職員の対応はどのように感じましたか。《○1つ》

6割近くが市役所職員の対応は良かった

- ・ 市役所職員の対応の印象については、「良かった」が21.9%、「どちらかといえば良かった」が36.9%で、これらを合わせると58.8%となり、6割近くが良かったと回答しています。一方、悪かった（「どちらかといえば悪かった」と「悪かった」の合計）の割合は7.2%と、1割未満となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「良かった」の割合も、「どちらかといえば良かった」を合わせた割合も年々増加していましたが、今回はいずれもやや減少しました。
- ・ 年代別では、10～20歳代で「利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない」が、ほかの年代で「どちらかといえば良かった」が最も多くなっています。また、良かった（前述）の割合は70歳以上で6割以上と高くなっています。
- ・ 居住地区別では、良かった（前述）の割合が市辺地区、湖東地区で7割近くと高くなっています。



単位：％

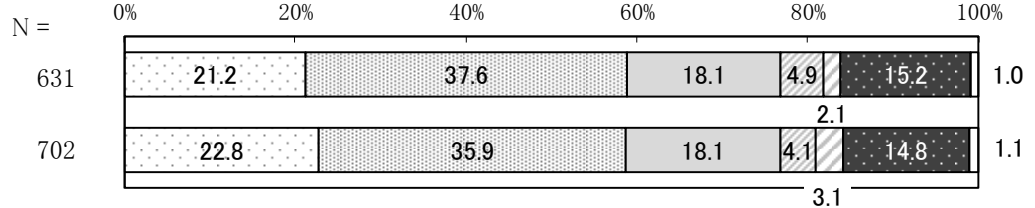
	良かった*	悪かった*	差
①今回調査(令和6年度)	58.8	7.2	51.6
②市民意識調査(令和5年度)	63.7	7.9	55.8
③市民意識調査(令和4年度)	61.7	5.6	56.1
④市民意識調査(令和3年度)	59.1	8.2	50.9
⑤市民意識調査(令和2年度)	56.3	8.2	48.1
①－⑤	2.5	-1.0	3.5

* 良かった:「良かった」と「どちらかといえば良かった」の合計

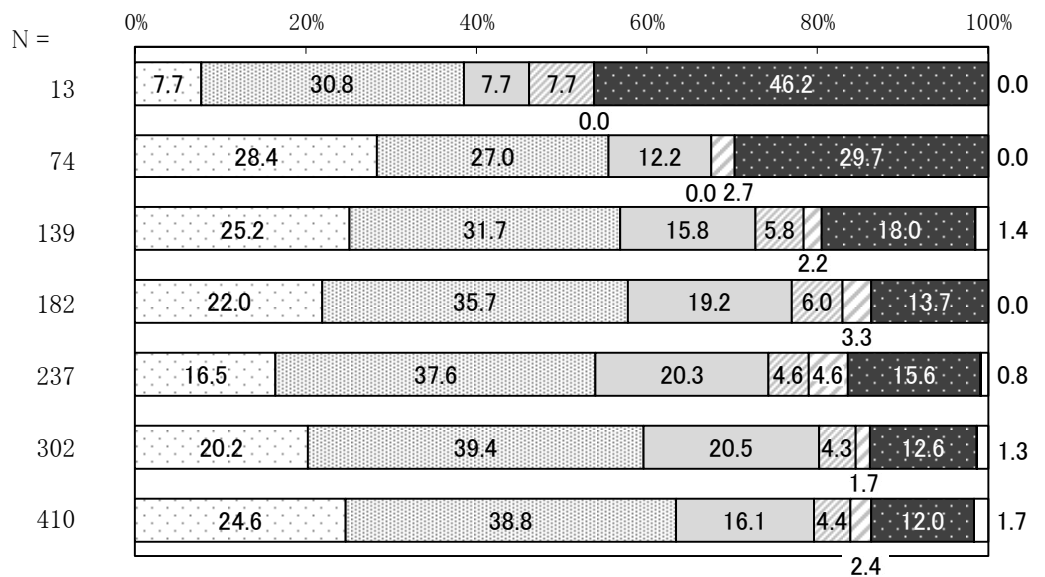
* 悪かった:「どちらかといえば悪かった」と「悪かった」の合計

☐ 良かった ☐ どちらかといえば良かった ☐ どちらともいえない
☐ どちらかといえば悪かった ☐ 悪かった
☐ 利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない ☐ 無回答

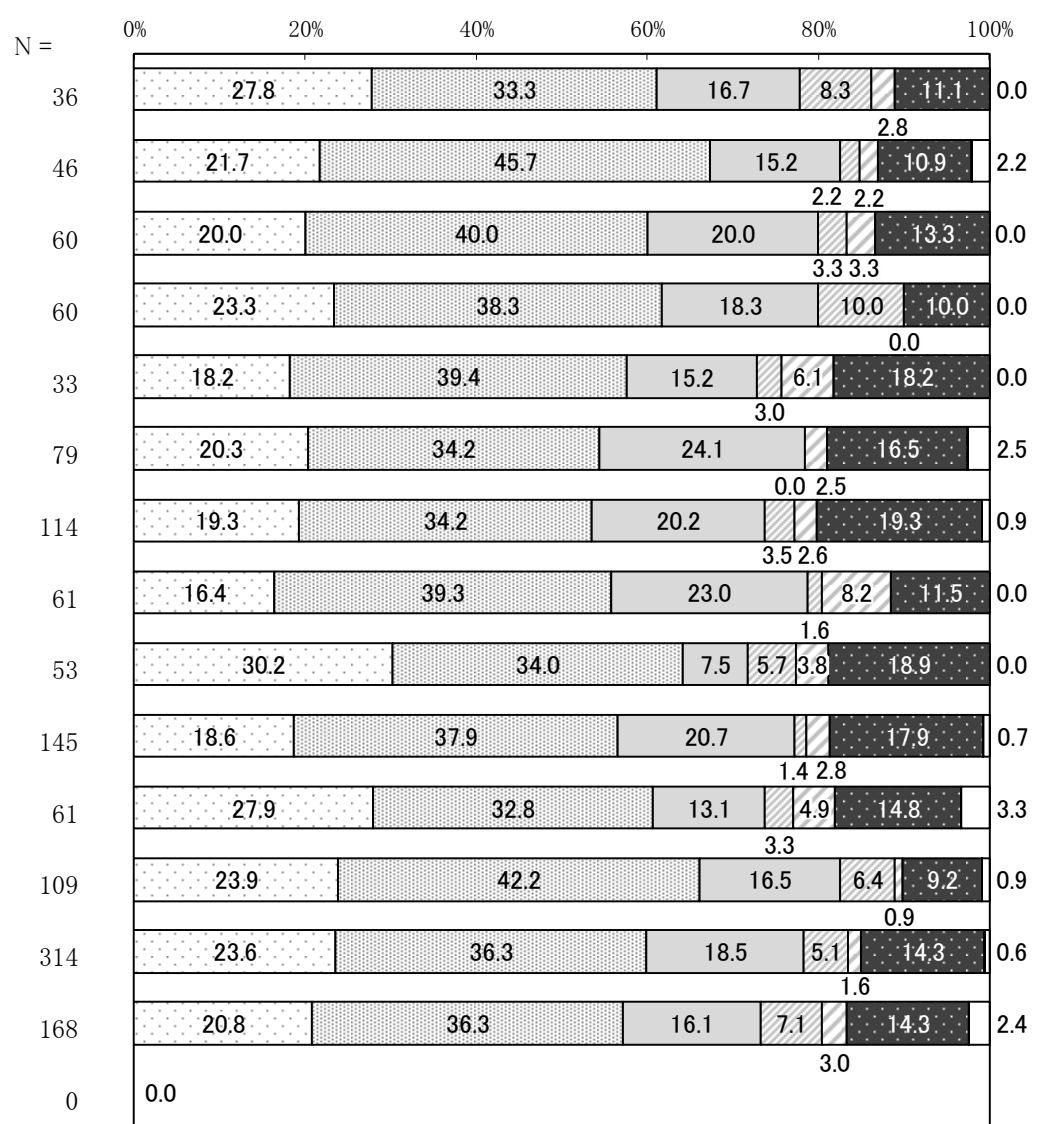
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



(11) まちづくりに対する意見等について

問 54 東近江市のまちづくりについて、意見や提案等がありましたら御記入ください。

- ・ 有効回収数 1,370 件のうち、自由記述への記入件数は 467 件（34.1%）でした。これらの意見をおおむね本意識調査票の調査項目ごとに分類した件数は、次のとおりです。
- ・ なお、同じ人が複数の項目の意見を書かれているものも多いため、調査項目ごとに分類した件数の合計件数は 467 件以上となっています。

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
住みごこちや愛着等について	16 件	・ 私は今年に入って東京から滋賀に帰ってきたが、やはりどうしても比較すると不便であったり、働ける業種などが少なく感じたりすることが多い。人口の違いや地方と都会ということで単純に「東京のような町」とは言えなくとも、最低限人口流出を抑える為にも、もう少し若者、特に学生世代の子たちに「こんな田舎から出ていきたい」と思わせるより「この地元で頑張っていきたい」と思わせてほしい。（能登川地区 20 歳代男性） ・ 家庭事情により、東近江市に戻ってきた。小さい頃より住み慣れているということも大きいですが、子育てもしやすく、自然にも触れやすく、安心して過ごせている。能登川地区がもう少し発展すれば嬉しい。（能登川地区 30 歳代女性） ・ 自然豊かで落ち着いた集落に住んでいる。神社で行われる神事なども継続しており大変よい所だと思っている。（蒲生地区 50 歳代女性）
東近江の将来について	30 件	・ 少子高齢化社会に向けて子供達が生活しにくいまちにしてほしくない。未来ある子供に対して税金を使用していくべきだと思う。20 年・30 年先を考えた場合、便利ではない地域と中心部とで人が住むエリア、農業やレジャーするエリア等に選択と集中をしていく必要があるかと思う。（中野地区 30 歳代男性） ・ どの世代も安心して生活できる東近江市にしてほしい。子供が小さい頃は医療体制に不安があり、夜体調を崩したら近江八幡まで行かないといけなかった。親が認知症になった時は、どこに行けばいいのか誰に相談したらいいのか分からず、とても苦しい思いをした。どんどん人口減少していき、自分達もずっとここに居るかは自信がないので、活気のある魅力的なまちづくりのための取組に期待している。（永源寺地区 50 歳代女性） ・ 人口減少を防ぐため、企業誘致の推進、U ターンしやすい環境作り、特に教育環境の整備を進めてほしい。（能登川地区 70 歳以上男性）
健康や福祉について	21 件	・ 小児科の数が少なく、子供が病気になった時にすぐに診てもらえないことが多い。（八日市地区 30 歳代女性） ・ スポーツでもっとまちづくりするべきだと思う。（八日市地区 30 歳代男性） ・ 高齢者や障害者が安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。（平田地区 70 歳以上女性）

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
環境や暮らしについて	98 件	・近江鉄道バスの本数を多くし、運賃を下げた方が良いと思う。高齢者の免許返納や利用者の増加につながると思う。また学生にとって運賃が高いと利用しにくいので、効果があると考えた。（蒲生地区 20 歳代男性） ・東近江市は交通の便が悪く、市外からの観光や就労、就学の支障となっている。（平田地区 30 歳代女性） ・現在マイカーの運転中も、近々返納のつもり。その後もう少し高齢者が買い物等、便利な交通の便を考えてほしい。他の市町村に比べて、便利が悪い。（五箇荘地区 70 歳以上女性） ・もっと農業をしっかり充実させて長く続けられる様に、真剣に考え取り組んで欲しい。鈴鹿からの良い水でできる農産物を守る意識が低すぎる。農業者をもっと知り、寄り添い考えてほしい。（愛東地区 40 歳代女性）
子育てや教育について	52 件	・子育てがしやすいまちづくりを行っていただきたい。1、2 年後に結婚を考えており、子育て支援が充実した市町村に住みたいと思っている。 ・保育士、教師等、教育に関わる方への待遇を良くする。 ・保育料 0 円、義務教育終了までの医療費 0 円 ・子育て給付金の金額UP 検討いただければと思う。（湖東地区 20 歳代男性） ・もう少し子供が遊べる場所を増やしてほしい。（玉緒地区 30 歳代女性） ・子育て施設の充実を望む。（能登川地区 60 歳代男性）
都市整備について	72 件	・旧市町間の道路を充実させないと、市の一体感は生まれなと思う。（無回答 40 歳代女性） ・歩道がない道が多く危険。住宅街の道路が狭いため広くする。（能登川地区 30 歳代男性） ・継続性のある施設作り（例、グリーンスタジアム周辺の草ボウボウである。作ったら終わりではいけない。）（玉緒地区 70 歳以上男性）
商業やにぎわいの創出について	62 件	・商店街の活性化。八日市駅周辺だけでなく駅郊外でも飲食店等を増やし、市外からも気軽に立ち寄れる場所を作してほしい。（湖東地区 20 歳代女性） ・たくさん新しいお家が建っているので人口が増えていると思えば良い事だが、空家の利用や古く良い建築物の利用ができれば良いと思う。後は、家が増える事で田畑が減っていて、緑が減ってとても暑くなっている気がする。空家利用や田畑管理する方へ補助など、あれば良いと思う。（八日市地区 40 歳代女性） ・フリーマーケット、骨董市、古本市、旧車イベントなどのイベントをもっとやってほしい。（愛東地区 50 歳代男性）
協働のまちづくりについて	24 件	・各地区のまちづくり協議会の活性化が必要。（メンバーが高齢化している。マンネリ化している。事業・行事等）（市辺地区 70 歳以上男性） ・子供会が各地区でなくなったり、無活動という所が多いと思う。コロナ以降、自治会の行事も減少。人と人とのつながりが薄くなっているように感じる。（建部地区 50 歳代男性） ・色々な人が様々な状況で暮らしている。そのそれぞれの人が少しでも居心地の良い町であるようにみんなが力を合わせられたらいいなあと思う。（能登川地区 60 歳代女性）

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
広報等の情報について	11 件	・高齢化社会の中で、デジタル化について行けない人が多く存在すると思う。誰もが理解しやすい工夫が必要かと思う。（南部地区 60 歳代男性） ・広報紙「広報ひがしおうみ」を新聞取ってないお家にも配布してほしい。新聞を取ってないお家も多いのでそうした方が読む人も増えると思う。（御園地区 40 歳代女性） ・どの様な事に取り組み、どの様な結果が出た等が分かりにくい。市民側から情報にアクセスする方法の周知をし、発信する事で、市に興味を持つ人が増えるのではないか。（湖東地区 40 歳代男性）
市役所のサービスについて	38 件	・平日、週に 1 日でも良いから、窓口利用時間を延ばしてほしい。（玉緒地区 20 歳代女性） ・ネット配信の PR、可能な限り申請書の電子化（湖東地区 60 歳代男性） ・窓口や電話での対応は他市に比べてあまり丁寧ではない。市民やその他の方々に寄り添う対応を切に願う。（蒲生地区 30 歳代男性） ・五箇庄支所の人達是对応がすごく良い。（能登川地区 20 歳代女性）
まちづくり全般について	51 件	・一部の地域にかたよった開発が進められている感有り。もっと全体のバランスを見ていってほしい。（中野地区 70 歳以上男性） ・町村合併により広い範囲になり、まだ市内（同じ）と意識していない地域があるように思う。（能登川地区 60 歳代女性） ・50 代、60 代からでも働ける企業等の広報をお願いしたい。経済的に帰りたくても帰れない事も、U ターンが進まない要因であると思われる。（南部地区 50 歳代男性） ・居住地区の高齢化が進み、同時に空家が対策も必要になっている。放棄田も増加している。河川愛護活動も将来的には困難になる。目先のことも大切だが、長期的な視点で対策してほしい。（平田地区 40 歳代女性）
アンケートについて	27 件	・このアンケートなどは二次元コードで回答できるようにすれば経費も安くつくのでは。（御園地区 60 歳代男性） ・アンケートを取ってから集計と対策、計画（方針）も伝えてほしい。取るだけでは困る。（蒲生地区 60 歳代男性） ・書面調査（アンケート）ではなく、町別懇談会等直接市民と対話する時間が必要。直接対話こそ、まちづくりの基礎であり基本。時間、金がかかりますが是非直接対話に取り組んでほしい。（建部地区 60 歳代男性） ・このアンケートも、八日市駅のことや八日市のことは書いていても、市全体であればその辺りにも注目してほしいと思う。（八日市地区 30 歳代女性）
その他	53 件	・その他（42 件） ・特になし（11 件）

3 総括

1. 回答者属性

- ・男女比は、女性が多くなっています。
- ・60 歳以上が半数以上を占めています。
- ・居住地区は、2 割が能登川地区、1 割が蒲生地区、五個荘地区となっています。旧八日市市 8 地区を合計すると 4 割近くとなっています。

2. 住みごこちや愛着等について

- ・8 割近くが住みごこちが良く、7 割近くが「住み続けたい」と回答しています。また 7 割近くが東近江市に対して愛着があると回答しています。定住意向や東近江市への愛着は、年齢が上がるほど高くなる傾向があります。
- ・東近江市を自慢できるかについては、4 割が自慢できるとする一方、4 割が「どちらともいえない」としています。
- ・「鈴鹿 10 座」の認知度は 2 割で、年齢が上がるほど認知度が高くなる傾向があります。
- ・友人・知人に東近江市を紹介するところは、6 割が「山や川、湖などの自然が楽しめる」と回答しています。
- ・近江鉄道八日市駅周辺（市役所周辺を含む。）への来訪頻度は、2 割が週 1 回以上で、10 歳代で高くなっています。また、中心市街地活性化に向けては、駐車場の整備、空店舗の解消などが必要と考えられています。比較的若い世代では、駅前や歩道等を活用したオープンカフェやおしゃれな雑貨店など店舗の増加やイベントの定期開催等での活性化を望む声も多くあります。
- ・東近江市の現在のイメージは、自然豊かで落ち着いていて、治安が良く、災害に強いまちで、将来は、医療・福祉サービスが充実し（特に 40 歳以上）、交通利便性が高い（特に 10 歳代）まちになってほしいとされています。20～30 歳代は子育てしやすいまちへの希望が多くなっています。
- ・人口減少に対応し、持続可能なまちづくりを進めていく上で必要な取組としては、保健・医療・福祉の充実や、企業支援、子育て・教育における経済的負担の軽減、公共交通の利便性向上などが求められています。
- ・持続可能で安定的な行財政運営を行うためには、自主財源の確保などが必要とされています。

3. 健康や福祉について

- ・6 割近くが市内の医療機関にかかりつけ医がいると回答していますが、40 歳代は半数近くがかかりつけ医がいないと回答しています。
- ・病院や救急時の医療体制は半数が満足しています。
- ・健康づくりの取組は半数近くが取り組んでおり、40 歳代が最も低く、50 歳以上は年齢が上がるほど取り組んでいる人が多くなる傾向があります。また、その内容としては、運動、食事、睡眠などが多くあげられており、運動以外は性別・年代によって異なります。
- ・朝食を毎日食べている人は 8 割で、朝食を食べない理由の多くは、食べる時間がない、以前から食べる習慣がないなどです。
- ・運動習慣については、半数近くの人が週 1 回以上の運動をしている一方、「ほとんどしていない」人も 4 割見られます。

- ・ 7割近くが不安、悩み、ストレスを感じており（女性、30～40歳代で高い）、4割の人が「仕事のこと」や「経済的なこと」を原因としてあげています。また、60歳以上で「自分の健康」が1位にあげられるなど、それぞれのライフステージに応じて多様化しています。
- ・ 不安、悩み、ストレスは、7割近くが解消できていると回答しています。ただし、30～60歳代は3割以上が解消できていません。
- ・ 東近江市民の障害者に対する理解は、「わからない」が4割近くと最も多く、理解を深めるために今後特に力を入れるべき取組は、バリアフリーのまちづくりや施設整備における配慮のほか、子どもたちへの人権・福祉教育の充実なども求められています。

4. 環境や暮らしについて

- ・ 自然環境保全の取組への満足度は、3割近くが満足、「どちらともいえない」又は「わからない」が6割ですが、6割近くの人が日々の営みの中で自然との関わりを感じています。
- ・ 節電や節水、太陽光発電等の設置、省エネ機器への買替えなどの環境にやさしい取組は7割以上が取り組んでいます。
- ・ 東近江市の働く場所（希望する業種・職種）については、3割近くが十分ないと考えており、半数以上が「どちらともいえない」又は「わからない」と回答しています。
- ・ 男女の地位の平等については、「職場の中で」について4割、「地域社会の中で」について半数近く、「社会全体の中で」について6割近くの人が、男性が優遇されていると考えています。
- ・ 市役所内に消費生活センターがあること及び市役所内の市民生活相談課で法律相談や登記相談等が受けられることの認知度はともに4割となっています。
- ・ 公共交通に満足している人は1割で、半数以上が満足していません。
- ・ 近江鉄道は8割以上が重要と感じているものの、9割が利用していないと回答しています。また、半数以上が改善を望んでいます。
- ・ 災害への備えについては、7割以上が何らかの備えをしており、30～60歳代で水や食料を3日以上備蓄、70歳以上で一時集合場所や避難所を家族で確認が最も多くあげられています。

5. 子育てや教育関連の取組について

- ・ 4割が子育てをするのに良い環境と感じています。また、3割が通学路の安全確保ができていると回答しています。
- ・ 人権が尊重されるまちになっていると思う人は3割近くで、6割が「どちらともいえない」又は「わからない」と回答しています。また、何らかの人権に関する講座や講演、研修等に参加した人は3割以上となっています。

6. 都市整備について

- ・ 都市基盤整備に対する満足度の総合評価(加重平均)は、評価が高い順に並べると、主要幹線道路、河川、雨水排水、地域の生活道路、公園の順で、地域の生活道路と公園はマイナス評価となっています。
- ・ 過去の調査（前回）と比較すると、主要幹線道路、河川、雨水排水はマイナス評価からプラス評価へと評価が向上しています。

7. 購買状況等について

- ・食品は8割近く、日用雑貨品は7割近くが市内で購入していますが、衣料品は4割が市外で購入しています。年代や居住地区によって購入場所が異なっています。
- ・野菜を購入する際の基準は、「鮮度」、「金額」、「安全・安心」が多くあげられています。
- ・農産物直売所は、半数近くが市内の直売所を利用しており、年間数回程度の利用が最も多くなっています（女性、愛東地区で利用者が多い。）。
- ・キャッシュレス決済の利用状況について、週1回以上の利用が多いのはHOP マネーなどの流通系電子マネー（女性、50～60 歳代中心）、PayPay などのQR／バーコード決済（10～30 歳代中心）やクレジットカード（30 歳代中心）となっており、PayPay などのQR／バーコード決済の普及率向上が顕著です。

8. 協働のまちづくりについて

- ・協働のまちづくりができていると思う人は2割近くとなっています。
- ・半数近くが、住民同士の助け合いはできていると回答しています。10 歳代は半数以上ができているとしています。
- ・地域活動又はNPOやボランティア等の活動には、半数以上が参加していると回答しており、70 歳以上を除いて年齢が上がるほど活動参加率も上がる傾向があります。その内容としては、9割が自治会活動で、まちづくり協議会の活動やボランティア活動も2割前後見られます。
- ・国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現については、7割近くが重要としており、年齢が若いほど強く認識している傾向があります。

9. 広報等の情報について

- ・市の情報の取得方法は、6割近くが「自治会回覧」や「広報ひがしおうみ」をあげています。
- ・「広報ひがしおうみ」は7割近くが読んでおり、3割は毎月読んでいます。年齢が上がるほど、読んでいる人の割合や読む頻度も上がる傾向があります。また、6割近くがその内容に満足しています。
- ・「広報ひがしおうみ」の配信方法は、「公共施設等に設置」が最もよく知られており、スマートフォン等のアプリ「マチイロ」や「カタログポケット」での閲覧はほとんど知られていません。実際に見たことがある人は、公共施設等に設置が3割近く、市ホームページが2割、東近江スマイルネットのデータ放送やスマートフォンアプリLINEが2割近くで、そのほかは1割未満となっています。
- ・「東近江市議会だより」は半数近くが読んでおり、20 歳以上で年齢が上がるほど、読んでいる人の割合や読む頻度も上がる傾向があります。
- ・「市議会本会議」の様子を見たことがある人は2割で、7割が「見たことがない」と回答しています。視聴方法は、ケーブルテレビの生中継を視聴する人が2割となっています。

10. 市役所のサービスに関して

- ・市役所職員の対応については、6割近くが良かったと回答しています。

4 調査票

令和6年度 東近江市 市民意識調査

◆アンケート調査への御協力をお願い◆

平素は東近江市政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を目指し、平成28年度に策定しました「第2次東近江市総合計画」に基づき、まちづくりを進めております。

住みよいまちづくりを実現するため、皆さまの意識や生活スタイルなどの幅広い項目について御意見をお聞かせいただきたく、市内にお住まいの18歳以上の市民の中から約3,000名を無作為に抽出し、アンケート調査を毎年実施しております。

また、「第2次東近江市総合計画」の計画期間が令和8年3月末で終了することから、現在、次期総合計画の策定に向け取り組んでいるところです。新たなまちづくりの指針となる計画の策定に当たっては、市民の皆さまが東近江市の将来についてどのように考えておられるかを把握することが極めて重要です。

皆さまにおかれましては御多用のことと存じますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、お答えいただきました内容につきましては、統計的に処理し、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。

令和6年9月

東近江市長 小椋 正清

アンケートの記入・返信について

- ・調査の回答は、封筒宛名の本人が記入してください。本人による回答（記入）が難しい場合は、家族の方が本人の意思を反映して、記入してください。
- ・回答は、質問にしたがって、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・選択肢の中で「その他」に回答された場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ・記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和6年10月4日（金）までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

アンケートに関する問い合わせ

東近江市企画部政策推進課

〒527-8527 東近江市八日市緑町10番5号

IP電話：050-5802-9950 電話：0748-24-5628

FAX：0748-24-1457

Eメール：seisui@city.higashiomi.lg.jp

※宛先は、令和6年9月1日現在の住民基本台帳から抽出しました。



令和6年度 東近江市 市民意識調査 調査票

1 あなた自身のことについておたずねします。

問1 性別《○1つ》	1. 男性	2. 女性		
問2 年齢《○1つ》	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	
問3 居住地区 《○1つ》	1. 平田地区	2. 市辺地区	3. 玉緒地区	
	4. 御園地区	5. 建部地区	6. 中野地区	
	7. 八日市地区	8. 南部地区	9. 永源寺地区	
	10. 五個荘地区	11. 愛東地区	12. 湖東地区	
	13. 能登川地区	14. 蒲生地区	15. わからない(町・丁目名)	

2 住みごちや愛着等についておたずねします。

問4 あなたは、東近江市の住みごちをどう思いますか。《○1つ》

1. 良い	2. どちらかといえば良い	3. どちらかといえば悪い
4. 悪い	5. わからない	

問5 あなたは、東近江市にずっと住み続けたいと思いますか。《○1つ》

1. 住み続けたい	2. 市外に転出したい	3. わからない
-----------	-------------	----------

問6 あなたは、東近江市に対して愛着がありますか。《○1つ》

1. とても愛着がある	2. やや愛着がある	3. どちらともいえない
4. あまり愛着がない	5. 愛着がない	

問7 あなたは、東近江市を自慢できますか。《○1つ》

1. とても自慢できる	2. やや自慢できる	3. どちらともいえない
4. あまり自慢できない	5. 自慢できない	

問8 東近江市では、平成27年度に鈴鹿の山々から「鈴鹿10座」を選定し、鈴鹿山脈の素晴らしさと存在意義を広く周知するとともに、市の知名度アップに取り組んでいます。

あなたは、「鈴鹿10座」を知っていますか。《○1つ》

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問9 あなたは、友人・知人に東近江市を紹介する場合、どのようなところを紹介しますか。《あてはまるものすべてに○》

1. 山や川、湖などの自然が楽しめる場所	2. 町なみ景観が楽しめる場所
3. 歴史・文化にふれられる場所	4. 食事や買い物が楽しめる場所
5. 観光農園や農業体験ができる場所	6. スポーツ施設や子どもが遊べる公園
7. その他()	

問 10 あなたは、この1年間で近江鉄道八日市駅周辺(市役所周辺を含む。)にどの程度訪れましたか。
《○1つ》

1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回程度	3. 週に1回程度
4. 月に数回程度	5. 年に数回程度	6. 訪れていない

問 11 あなたは、八日市駅周辺の中心市街地が活性化するには、どのようなお店や施設、イベントなどの開催が必要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

1. 空店舗に新しい店が入る	2. おしゃれな雑貨店が増える
3. 駅前や歩道等の空間をオープンカフェなどに活用する	4. 魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする
5. マルシェなどのイベントを定期的に開催する	6. イベントホールやテナントが入るビルをつくる
7. 自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる	8. 観光客が地元の名産品を買えるようにする
9. 延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする	10. その他()

3 東近江市の将来について、あなたの意見をおたずねします。

問 12 あなたは、東近江市のイメージについてどう感じていますか。以下の中から、現在のイメージと、将来どのようなイメージになってほしいか、それぞれ3つまでお答えください(現在と将来の回答が同じであってもかまいません)。《①現在・②将来ごとに○3つまで》

	治安が良いまち	災害に強いまち	自然が豊かで落ち着いたまち	若い世代が多いまち	子育てがしやすいまち	医療や福祉サービスが充実しているまち	教育環境が充実しているまち	歴史や文化芸術に親しめるまち	イベントや祭りが盛んで活気があるまち	豊かな食材を有するまち	農林水産業が盛んで、地域経済が活発なまち	商工業が盛んで交通の利便性が高いまち
① 現在	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
② 将来	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

問 13 日本の総人口が減少している中、東近江市においても同様に人口が減少していくことが予想されます。人口減少に対応し、持続可能なまちづくりを進めていく上で、どのような取組が必要であると思いますか。以下の①～④の4つの分野ごとにそれぞれお答えください。

①地域経済の好循環を生み出すまちづくり 《○3つまで》

1. 企業誘致の推進
2. 起業しやすい環境の整備
3. 経済団体との連携等による商工業の振興
4. 安定した市民の雇用と市内事業所の労働力確保のための企業支援
5. 地域で稼いだお金を地域で消費する域内経済循環の推進
6. 生産量・付加価値の向上や地域ブランド化による農林水産業の振興

②行きたい住みたい魅力あるまちづくり 《〇3つまで》

1. 定住・移住やUターンを促進する取組
2. 商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり
3. 豊かな自然や歴史・文化などの観光資源の磨き上げによる魅力向上
4. 住宅取得やリフォームの支援、住宅地の供給、空家の有効活用
5. 子どもの教育環境の整備とふるさとへの誇りや愛着の醸成
6. 東近江ライフ(東近江の奥深い歴史や自然をいかした生活)の魅力の情報発信

③結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり 《〇3つまで》

1. 若者の就労支援
2. 結婚につながる出会いの機会の創出、支援
3. 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
4. 妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備
5. 保育料減免や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減
6. 病児保育や外国籍児童、不登校児童生徒など多様な保育・教育機会の提供

④誰もが安心して暮らせるまちづくり 《〇3つまで》

1. 地域公共交通の利便性向上
2. 円滑な交通を確保する幹線道路網の整備
3. 自治会やまちづくり協議会等の活動支援による地域のつながりがある社会づくり
4. 長期的な視点に立った公共施設等の適正な整備、更新、再編
5. 地域の防災、防犯対策の充実
6. 暮らしを支える保健・医療・福祉の充実

問 14 人口減少により税収減が懸念される中で、持続可能で安定的な行財政運営を行うため、特にどのような取組が必要だと思いますか。《〇3つまで》

1. 自主財源の確保
2. 老朽化等を踏まえた公共施設の適正配置
3. 民間活力をいかした取組の推進
4. 市政情報の効果的な発信
5. 市職員の意識改革・資質向上
6. 市民参加・協働の推進
7. 窓口サービスの利便性向上
8. デジタル活用による事務の効率化
9. 事務事業の選択と集中
10. わからない
11. その他()

4 健康や福祉についておたずねします。

問 15 あなたには、日常的な診療や健康の管理をしてくれるお医者さん(かかりつけ医)はいますか。《○1つ》

- | | | |
|---------------|---------------|--------|
| 1. 市内の医療機関にいる | 2. 市外の医療機関にいる | 3. いない |
|---------------|---------------|--------|

問 16 あなたは、病院や救急時の医療体制に満足していますか。《○1つ》

- | | | |
|------------|-------------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらかといえば満足していない |
| 4. 満足していない | 5. わからない | |

問 17 あなたは、自分の健康づくりのために何か取り組んでいますか。《○1つ》

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組みたいと思っている | →問 17-1 へ |
| 3. 取り組むつもりはない | →問 17-2 へ | |

問 17-1 問 17 で「1. 取り組んでいる」「2. 取り組みたいと思っている」とお答えの方におたずねします。
具体的にどのような取組をしていますか、又は取り組みたいと思っていますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 運動をする | 2. 趣味(運動以外)の時間をつくる |
| 3. 休養を十分にとる | 4. 食事の量や質に注意する |
| 5. 睡眠を十分にとる | 6. 定期的に健康診査やがん検診を受ける |
| 7. 規則正しい生活をする | 8. たばこを控える又はやめる |
| 9. アルコールを控える又はやめる | 10. その他() |

問 17-2 問 17 で「3. 取り組むつもりはない」とお答えの方におたずねします。
その理由は何のようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. どのように取り組んだらよいかわからない | 2. 自分の健康づくりに興味、関心がない |
| 3. 取り組んでも効果が期待できない | 4. その他() |

問 18 あなたは、朝食を食べていますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週4～5日食べる | →問 18-1 へ |
| 3. 週2～3日食べる | 4. ほとんど食べない | |

問 18-1 問 18 で「2. 週4～5日食べる」「3. 週2～3日食べる」「4. ほとんど食べない」とお答えの方におたずねします。
食べない日がある理由は何のようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 食欲がないから | 2. 太りたくないから |
| 3. 食べる時間がないから | 4. 以前から食べる習慣がないから |
| 5. 朝食を用意するのが面倒だから | 6. その他() |

問 19 あなたは、スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っていますか(運動には、散歩やラジオ体操といった簡単に体を動かすものも含まれます。)。《○1つ》

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1～2回 |
| 3. 月1～2回程度 | 4. ほとんどしていない |

問 20 あなたはこの1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じましたか。《○1つ》

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 大いにある | 2. 多少ある | →問 20-1 へ |
| 3. あまりない | 4. まったくない | |

問 20-1 問 20 で「1. 大いにある」「2. 多少ある」とお答えの方におたずねします。

あなたの不安、悩み、ストレスの原因は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | | |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 経済的なこと | 2. 仕事のこと | 3. 人間関係(家族以外) |
| 4. 家族関係 | 5. 子育てに関すること | 6. 親の介護に関すること |
| 7. 自分の健康 | 8. 家族の健康 | 9. その他() |

問 21 あなたの不安や悩み、ストレスは解消できていますか。《○1つ》

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. うまくできている | 2. ある程度できている |
| 3. あまりできていない | 4. まったくできていない |

問 22 あなたは、東近江市民の障害者に対する理解は進んできたと思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|--------------|--------------|
| 1. かなり進んできた | 2. ある程度進んできた | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり進んできたとは思わない | 5. 進んでいない | 6. わからない |

問 23 あなたは、障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. スポーツや文化活動で地域交流を深める | 2. 障害者に関するイベントを充実する |
| 3. 市民対象の福祉講座や講演会を開催する | 4. 福祉施設を地域に開放し交流を図る |
| 5. グループホームを地域の中につくる | 6. 子どもたちへの人権・福祉教育を充実する |
| 7. 障害者団体や関係グループの活動をPRする | 8. ボランティアの育成を図る |
| 9. 障害者も使いやすい施設をつくる | 10. 障害者がまちに出かけやすい整備を進める |
| 11. わからない | 12. その他() |

5 環境や暮らしについておたずねします。

問 24 あなたは、東近江市の自然環境保全の取組について満足していますか。《○1つ》

- | | | |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば満足していない | 5. 満足していない | 6. わからない |

問 25 あなたは、暮らしや仕事等日々の営みの中で自然との関わりを感じていますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば感じている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば感じていない | 5. 感じていない | 6. わからない |

問 26 あなたは、環境にやさしい取組を行っていますか(節電や節水、太陽光発電等の設置、省エネ機器への買替え、自転車や公共交通機関の利用等)。《○1つ》

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. 常に取り組んでいる | 2. ときどき取り組んでいる | 3. 取り組んでいない |
| 4. 取り組もうと思わない | 5. わからない | |

問 27 あなたは、東近江市の働く場所(希望する業種・職種)について、どのように考えていますか。《○1つ》

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 十分にある | 2. どちらかといえば十分にある | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば十分でない | 5. 十分でない | 6. わからない |

問 28 あなたは次のような分野で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

	男性が優遇されている	男性が優遇されている どちらかといえば	平等である	女性が優遇されている どちらかといえば	女性が優遇されている	わからない
① 職場の中で	1	2	3	4	5	6
② 地域社会の中で	1	2	3	4	5	6
③ 社会全体の中で	1	2	3	4	5	6

問 29 あなたは、消費者トラブルに巻きこまれたときや、多重債務に陥ったときの相談窓口として、市役所内に消費生活センターがあることを知っていますか。《○1つ》

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 30 あなたは、市役所内の市民生活相談課で、暮らしの困りごとに関して法律相談や登記相談等を受けられることを知っていますか。《○1つ》

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 31 あなたは、市内の鉄道やバス等の公共交通に対して満足していますか。《○1つ》

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | 6. わからない |

問 32 市内には近江鉄道の駅が13箇所あり、全線を将来にわたって存続させていくために、令和6年4月1日から公有民営方式による上下分離の新たな運行形態に移行しました。

あなたは、近江鉄道線についてどう感じていますか。《○1つ》

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 重要であると感じる | 2. 重要でないと感じる |
| 3. 重要であるが利便性等の改善が必要と感じる | 4. その他() |

問 33 あなたは、近江鉄道をどの程度利用しますか。《○1つ》

- | | | | |
|--------------|--------------|----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1～2日 | 3. 月1～2日 | →問 33-1 へ |
| 4. ほとんど利用しない | 5. 利用したことはない | | |

問 33-1 問 33 で「1. ほぼ毎日」「2. 週1～2日」「3. 月1～2日」とお答えの方におたずねします。

近江鉄道を利用する目的は何ですか。《○1つ》

- | | | | |
|----------|-------|-----------|-------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 仕事 | 3. 買物 | 4. 通院 |
| 5. 遊び・趣味 | 6. 観光 | 7. その他() | |

問 34 あなたは、地震等の災害に備えてどのような準備をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 水や食料を3日分以上備蓄 | 2. 携帯トイレや衛生用品等を3日分以上備蓄 |
| 3. 非常持ち出し袋の準備 | 4. 家具の転倒防止 |
| 5. 地域の防災訓練に参加 | 6. 一時集合場所や避難所を家族で確認 |
| 7. 安否連絡方法を家族で確認 | 8. 特に何もしていない |
| 9. その他() | |

6 子育てや教育についておたずねします。

問 35 あなたは、東近江市は子育てをするのに良い環境であると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 36 あなたは、市内において児童・生徒の通学路の安全は確保できていると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. できている | 2. どちらかといえばできている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばできていない | 5. できていない | 6. わからない |

問 37 あなたは、「東近江市は人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 38 あなたは、この1年間に職場、市又は地区等が開催する人権に関する講座や講演、研修等に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 職場の講演や研修に参加した | 2. 市の講座や講演に参加した |
| 3. 地区の講座や講演に参加した | 4. 自治会の町別懇談会に参加した |
| 5. 参加していない | 6. その他() |

7 都市整備についておたずねします。

問 39 市内の都市基盤の整備に対する満足度をお答えください。《①～⑤それぞれの項目に○1つ》

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満	不満	わからない
①主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)	1	2	3	4	5	6
②地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)	1	2	3	4	5	6
③河川の整備(一級河川等)	1	2	3	4	5	6
④雨水排水の整備(身近な水路等)	1	2	3	4	5	6
⑤公園の整備(広場、遊び場等)	1	2	3	4	5	6

8 購買状況等についておたずねします。

問 40 あなたは、日頃、食品や日用雑貨品、衣料品を主にどこで購入しますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

	東近江市内	近江八幡市	彦根市	甲賀市	県内市町 その他	県外	通販 カタログ	ショッピング ネット	その他
①食品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②日用雑貨品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③衣料品	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問 41 あなたの家庭では野菜等を購入するとき、主に何を基準に選んでいますか(自作している方も不足する野菜を購入する場合)。《○1つ》

1. 金額	2. 鮮度	3. 安全・安心
4. 調理の利便性(カット済み、洗浄済み等)	5. 見た目	6. 大きさ
7. 産地(市内、県内産等)	8. わからない	9. その他()

問 42 あなたの家庭では、市内の農産物直売所(青空市、無人販売所を含む。)を利用しますか。《○1つ》

1. よく利用する(週に1回以上)	2. 利用する(月に1～3回程度)
3. たまに利用する(年間数回程度)	4. 利用しない
5. 市内の直売所は利用しないが市外の直売所を利用している	6. 直売所がどこにあるのか知らない
7. わからない	8. その他()

問 43 あなたは、次のキャッシュレス決済をどの程度利用していますか。《①～⑥それぞれの項目に○1つ》

	週に2回以上	週に1回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	利用していない
①クレジットカード	1	2	3	4	5
②デビットカード	1	2	3	4	5
③QR/バーコード決済(PayPay、LINE Pay など)	1	2	3	4	5
④流通系電子マネー(HOP マネー、WAON、nanaco など)	1	2	3	4	5
⑤交通系電子マネー(ICOCA、PiTaPa など) ※電車やバス等の交通機関での利用を除く	1	2	3	4	5
⑥その他()	1	2	3	4	5

9 協働のまちづくりについておたずねします。

問 44 あなたは、東近江市では市民、企業、行政等が共に考え、力を合わせた協働のまちづくりができていますか。《○1つ》

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. できている | 2. ある程度できている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりできていない | 5. できていない | 6. わからない |

問 45 あなたの身近な地域では、住民同士の助け合いができていますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. できている | 2. どちらかといえばできている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばできていない | 5. できていない | 6. わからない |

問 46 あなたは、自治会やまちづくり協議会等の地域活動又はNPOやボランティア等の活動にどの程度参加していますか。《○1つ》

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. 積極的に参加している | 2. できる限り参加している | →問 46-1 へ |
| 3. とくとき参加している | 4. 参加していない | |

問 46-1 問 46 で「1. 積極的に参加している」「2. できる限り参加している」とお答えの方におたずねします。
この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 自治会活動 | 2. まちづくり協議会の活動 |
| 3. NPOの活動 | 4. ボランティア活動 |
| 5. その他() | |

問 47 あなたは、国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。《○1つ》

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1. 重要と思う | 2. どちらかといえば重要と思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり重要とは思わない | 5. 重要とは思わない | 6. わからない |

10 広報等の情報についておたずねします。

問 48 あなたは、市の情報(お知らせ)を主にどのような方法で取得していますか。《○3つまで》

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 広報ひがしおうみ | 2. 新聞 |
| 3. 自治会回覧 | 4. 公共施設に設置してあるチラシ |
| 5. 市ホームページ | 6. ケーブルテレビ(東近江スマイルネット) |
| 7. 防災情報告知放送システム | 8. ラジオ(FMひがしおうみ) |
| 9. スマートフォン等のアプリ「LINE」 | 10. その他() |

問 49 あなたは、市の広報紙「広報ひがしおうみ」を読んでいますか。《○1つ》

- | | | |
|------------|--------------------|-----------|
| 1. 毎月読んでいる | 2. たまに読んでいる | →問 49-1 へ |
| 3. 読んでいない | 4. 「広報ひがしおうみ」を知らない | |

問 49-1 問 49 で「1. 毎月読んでいる」「2. たまに読んでいる」とお答えの方におたずねします。
あなたは、「広報ひがしおうみ」の内容について満足していますか。《○1つ》

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | |

問 50 「広報ひがしおうみ」は、毎月新聞折込みによる配布のほかに次の方法で配信等を行っています。
あなたは、次の配信等の方法を知っていますか。《①～⑥それぞれの項目に○1つ》

	見たことがある	見たことはないが知っている	知らない
①市ホームページで閲覧	1	2	3
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴	1	2	3
③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧	1	2	3
④スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧	1	2	3
⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧	1	2	3
⑥公共施設等(市役所、図書館、コミュニティセンター等)に設置	1	2	3

問 51 あなたは「東近江市議会だより」を読んでいますか。《○1つ》

1. 毎号読んでいます
2. たまに読んでいます
3. 読んでいない
4. 「東近江市議会だより」を知らない

問52 あなたは、「市議会本会議」の様子を次のいずれかの方法で見たことがありますか。《あてはまるものすべてに○》

1. 本会議の傍聴
2. ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)の生中継
3. インターネットのライブ配信(生中継)
4. インターネットの録画配信
5. 見たことがない

11 市役所のサービスに関しておたずねします。

問 53 この1年間に、市役所(支所・出張所を含む)の窓口利用や電話でのお問い合わせ、又は市役所外で職員に接した際の市役所職員の対応はどのように感じましたか。《○1つ》

1. 良かった
2. どちらかといえば良かった
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば悪かった
5. 悪かった
6. 利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない

12 まちづくりに対する意見等についておたずねします。

問 54 東近江市のまちづくりについて、意見や提案等がありましたら御記入ください。

[illegible]

調査に御協力いただき、ありがとうございました。
調査票を返信用封筒に入れ、10月4日（金）までにポストに投函してください。

令和6年度 市民意識調査結果報告書

発 行 年 月 令和7年1月

発 行 東近江市 企画部 政策推進課

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10 番5号

IP電話:050-5801-5610 電話:0748-24-5610